

佐世保市
障がい者（児）・難病患者の福祉に
関するアンケート調査結果報告書

令和7年12月

佐 世 保 市

目 次

第1部	業務の概要.....	1
第2部	調査の結果.....	5
2-1	回答者について	6
2-2	生活状況	33
2-3	外出状況	37
2-4	福祉パスについて	42
2-5	外出時や生活での困りごとについて	50
2-6	日中の過ごし方について	58
2-7	就労状況について	64
2-8	現在の福祉サービスなどの利用について	73
2-9	悩みや困ったことがあるときの相談相手について	95
2-10	災害の時の避難などについて.....	102
2-11	権利擁護について	109
第3部	障がい者・難病患者 関係団体ヒアリング調査の結果	124
第4部	調査票.....	133

第 1 部 業務の概要

1 業務の概要

1) 調査の目的

令和8年度に佐世保市障がい者プラン並びに佐世保市障がい福祉計画及び障がい児福祉計画を策定するにあたり、本市の障がい者及び難病患者の状況やニーズ等を把握するため。

2) 調査の対象

令和7年8月31日現在、市内在住者の中から無作為抽出した身体障害者手帳所持者：1,000人、療育手帳所持者：500人、精神障害者保健福祉手帳所持者：500人及び特定医療費（指定難病）医療受給者証保持者：500人の計2,500人

3) 調査期間

令和7年9月16日（火）から 令和7年10月17日（金）まで

4) 調査方法

38問のアンケートを対象者に郵送し、記入後返送。

設問項目は、身体、療育、精神及び難病患者ともに同一。

5) 調査結果

	令和7年度
調査対象者数	2,500人
回収件数	1,332人
※身体障がい者	638人
※知的障がい者	264人
※精神障がい者	240人
※難病患者	348人
有効回収率	53.3%

※身体障がい者数、知的障がい者数、精神障がい者数、難病患者数は、アンケートで手帳を所持又は認定を受けていると回答があった人数であり、手帳及び認定の重複所持も含まれるため、これらの件数の合計は、回答件数と一致しません。

6) 注意事項

この資料で使われているグラフは、帯グラフと横棒グラフで表現されています。

アンケートで「1つに○」が帯グラフ、「あてはまるものにすべてに○」が横棒グラフとなっています。

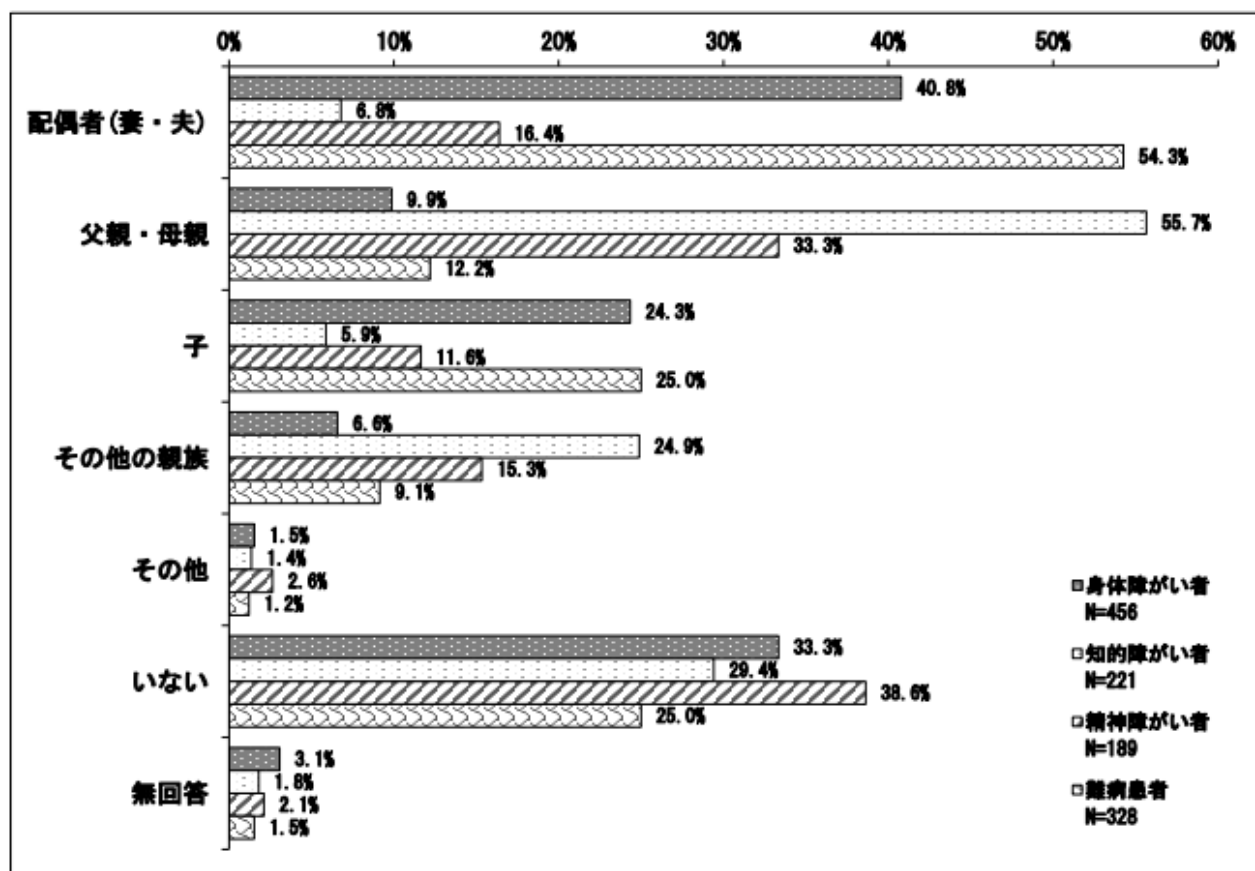
グラフ内にある「N」は、「回答があった調査対象者の人数」を表しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数です。例えば、下のグラフでは身体障がい者 456 人のうち 186 人(40.8%)が「配偶者」と回答したことを表しています。

ただし、前述したように身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・難病患者の調査対象者は、対応する障害者手帳を所有又は難病認定を受けている人数となっています。仮に身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳を重複所有している方が「配偶者」と回答した場合、身体障がい者・精神障がい者のどちらにおいても集計対象となっています。

回答率(割合(%))は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しているため、合計が100にならない場合があります。

複数回答方式の設問では、回答率(割合(%))は回答者総数に対する回答数の割合を示しています。

したがって、回答率と合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。

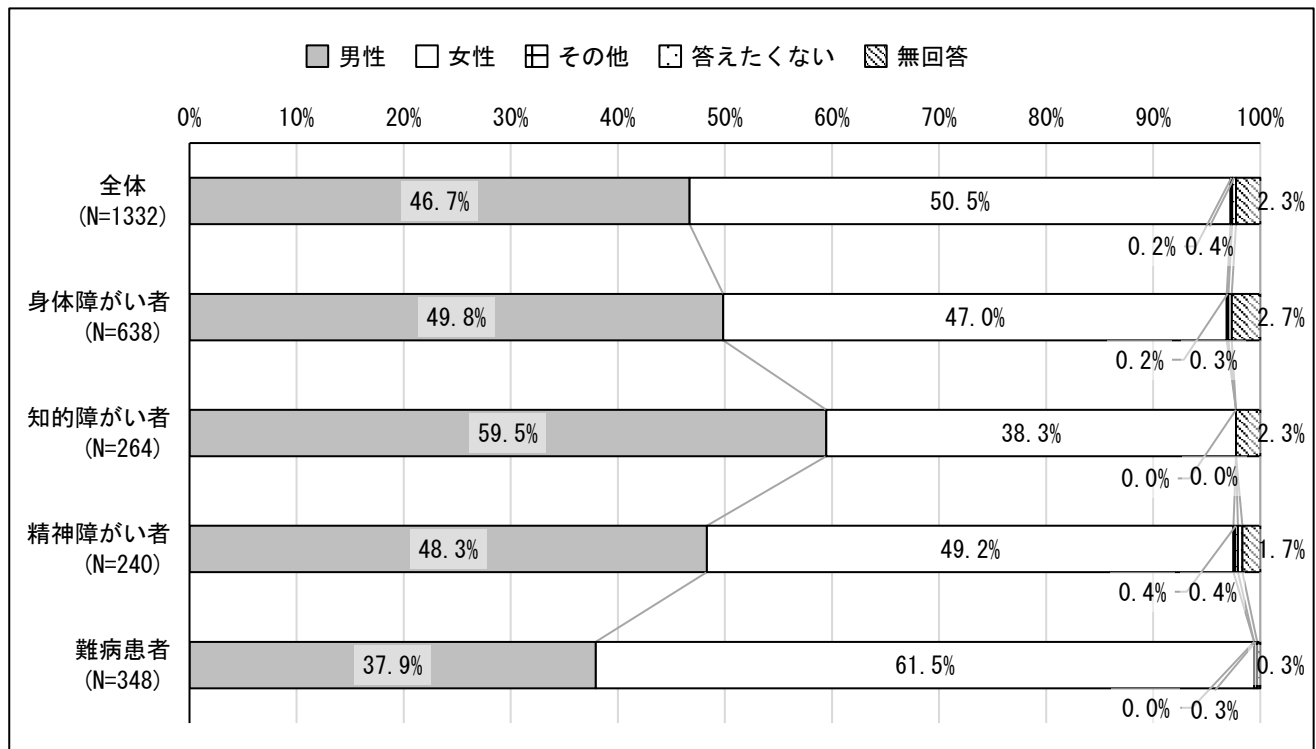


第 2 部 調査の結果

2 調査の結果

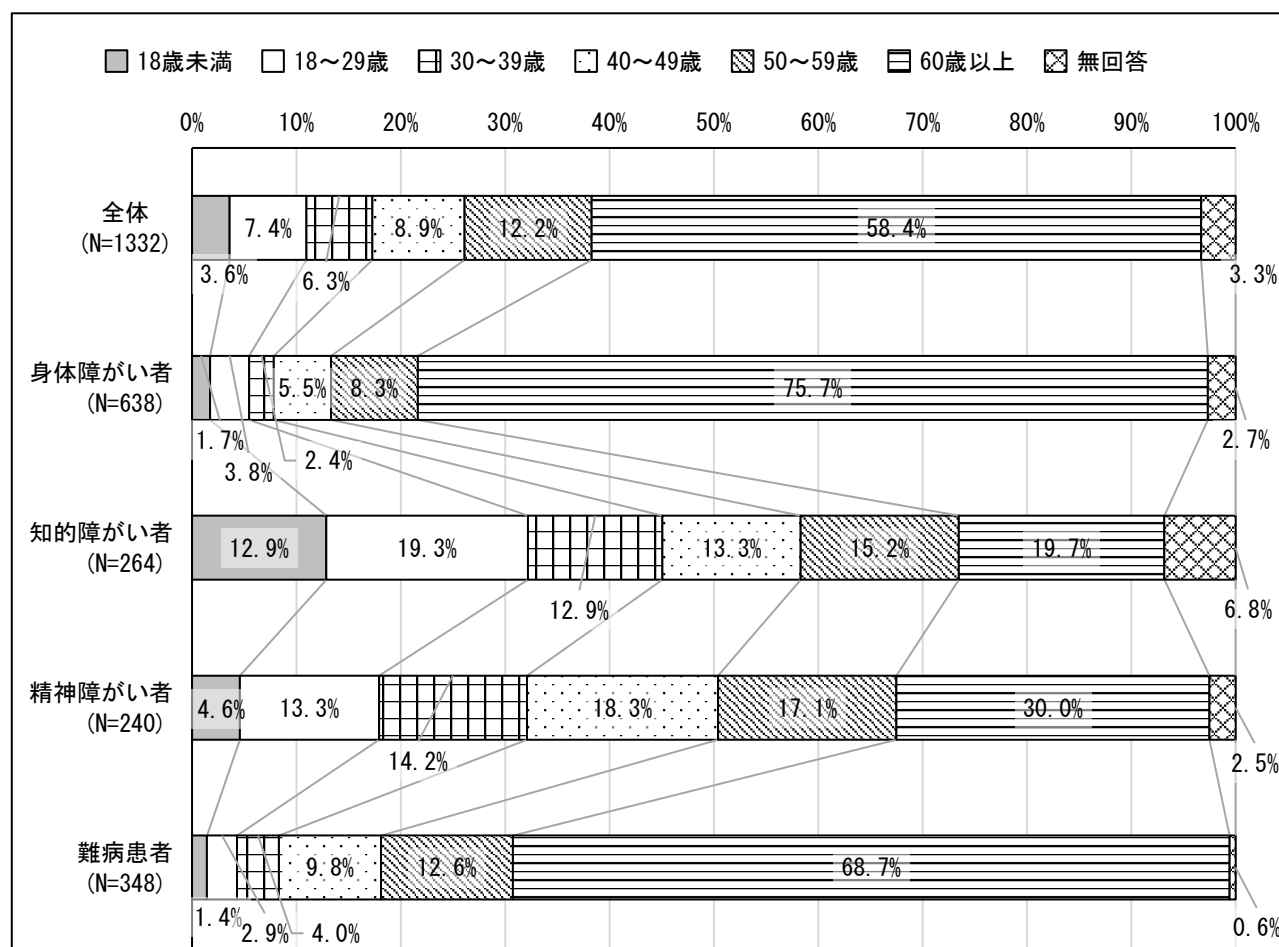
2-1 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○印）



- 回答の割合は、障がい者においては、ほぼ同割合となっているが、難病患者では、女性の割合が男性の約1.6倍となっている。

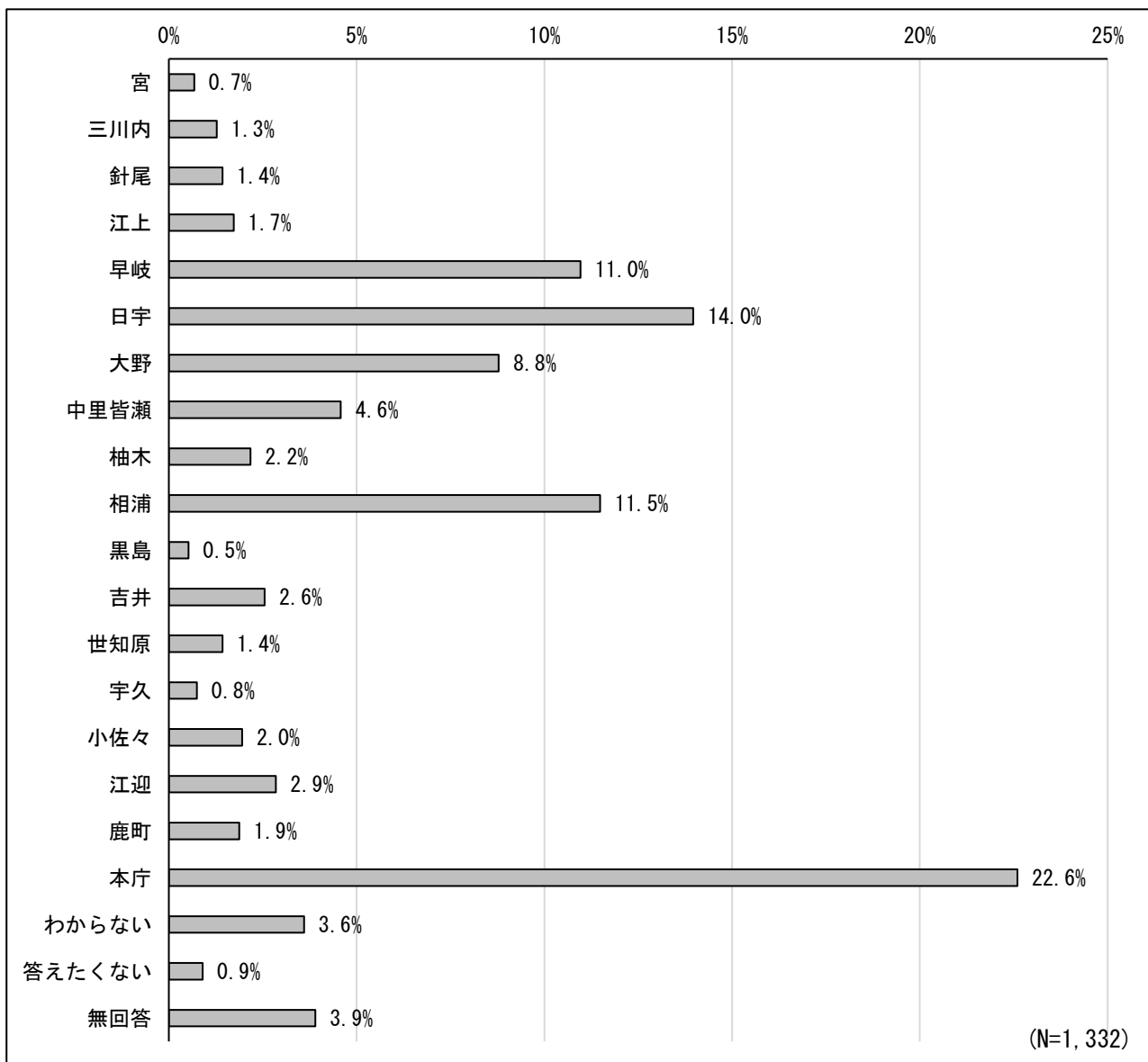
問2 あなたの年齢をお答えください。（令和7年9月1日現在）



- 身体障がい者では、60歳以上が75.7%、難病患者では60歳以上が68.7%と6割以上を占めている。知的障がい者及び精神障がい者では均等に年齢が分布している。ただし、全障がい者及び難病患者において、18歳未満の割合が少なく、特に身体障がい者では1.7%、難病患者では1.4%と30歳未満が少なくなっている。

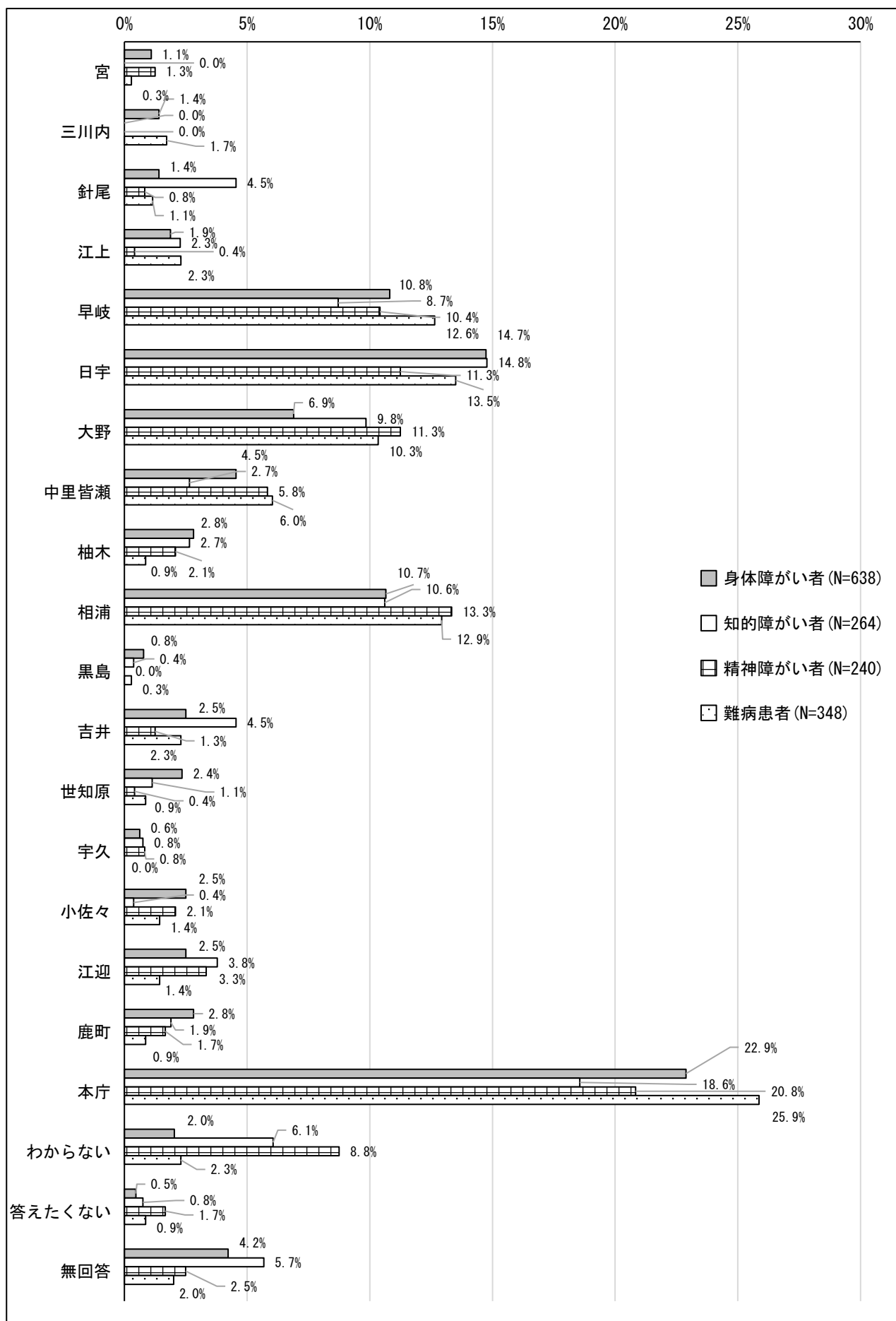
2 調査の結果

問3 現在、あなたがお住まいの地区（本庁・支所行政センター管内）はどちらですか。
（1つに○印）



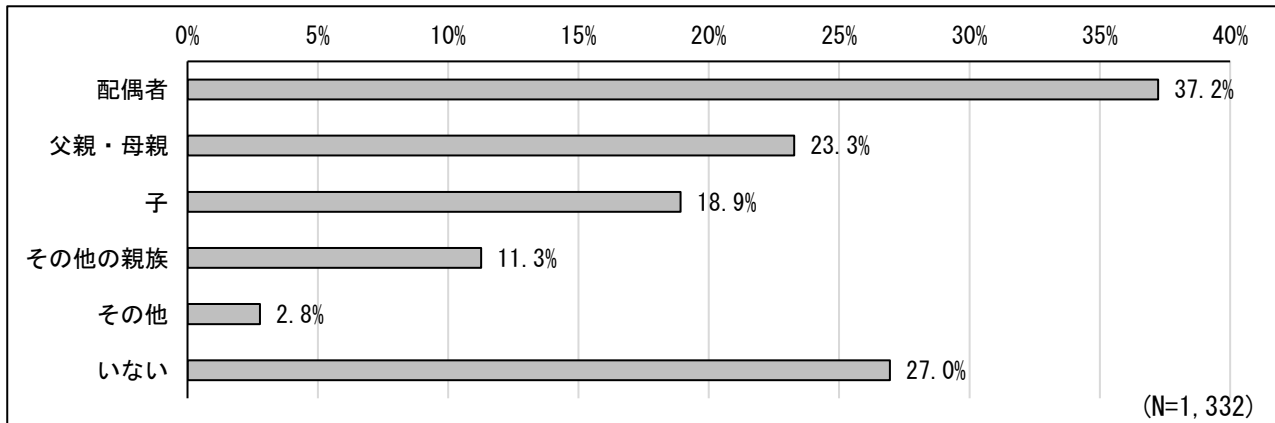
- 最も高いのが「本庁」であり、続いて「日宇」、「相浦」、「早岐」の順となっている。これら4地区合計で59.1%を占める。

障がい種別クロス集計結果

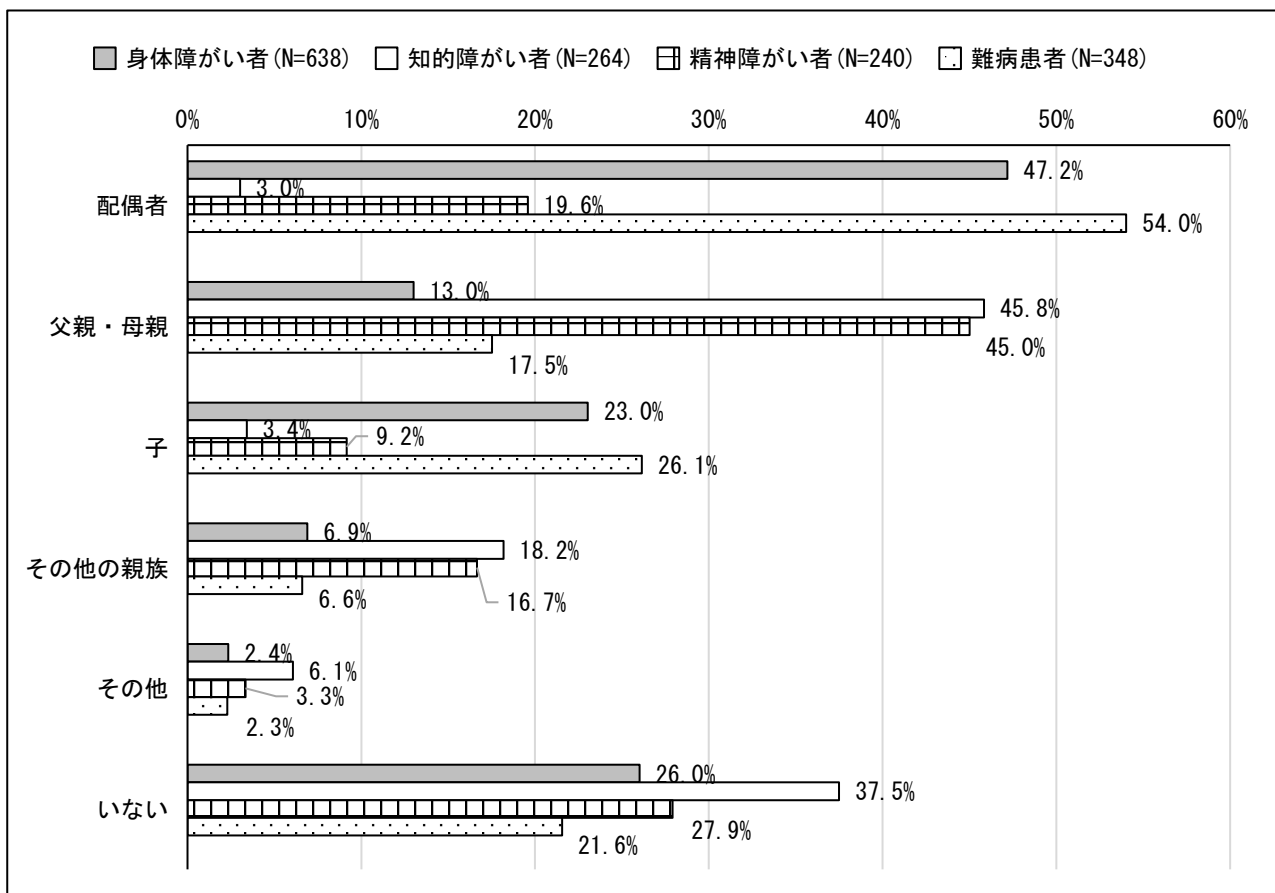


2 調査の結果

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、誰ですか。(あてはまるものすべてに○印)



■ 障がい種別クロス集計結果



■ その他回答

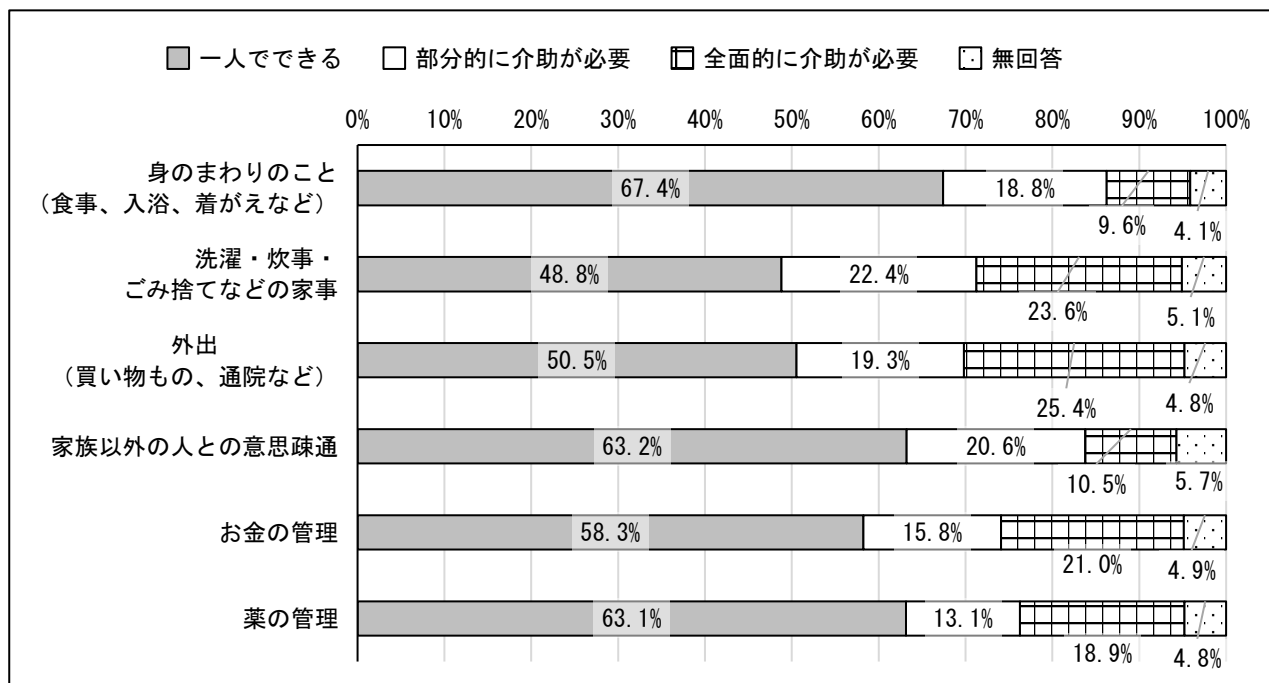
カテゴリ	件数
施設	10
入院中	6
知人	5
その他	2

- 身体障がい者・難病患者では「配偶者」、知的障がい者・精神障がい者では「父親・母親」と回答した割合が高くなっている。また、すべての障がい種別で「いない」が20%を超えている。

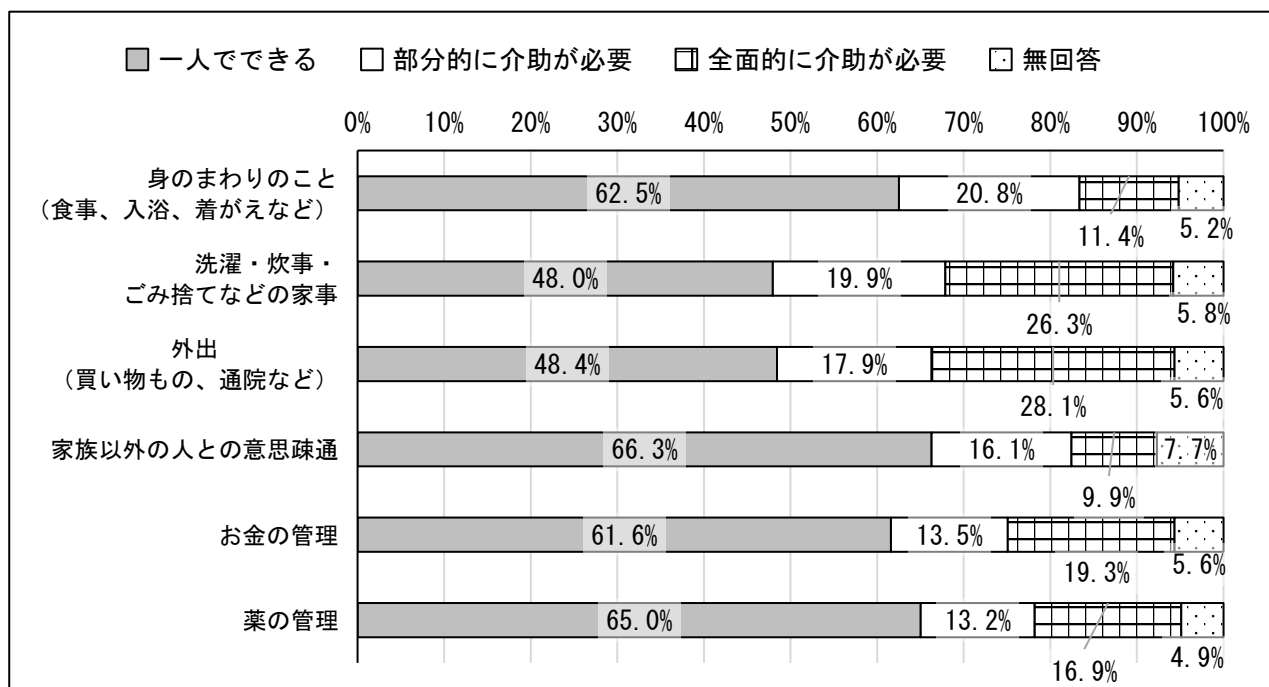
問5 日常生活及び社会生活を送る上で、次のことをするのに介助が必要ですか。項目①から⑥のそれぞれにお答えください。(①から⑥ごとに、1つに○印)

※「部分的に介助が必要」とは「その日によって介助が必要」な場合を含みます。

A 全体 (N=1332)



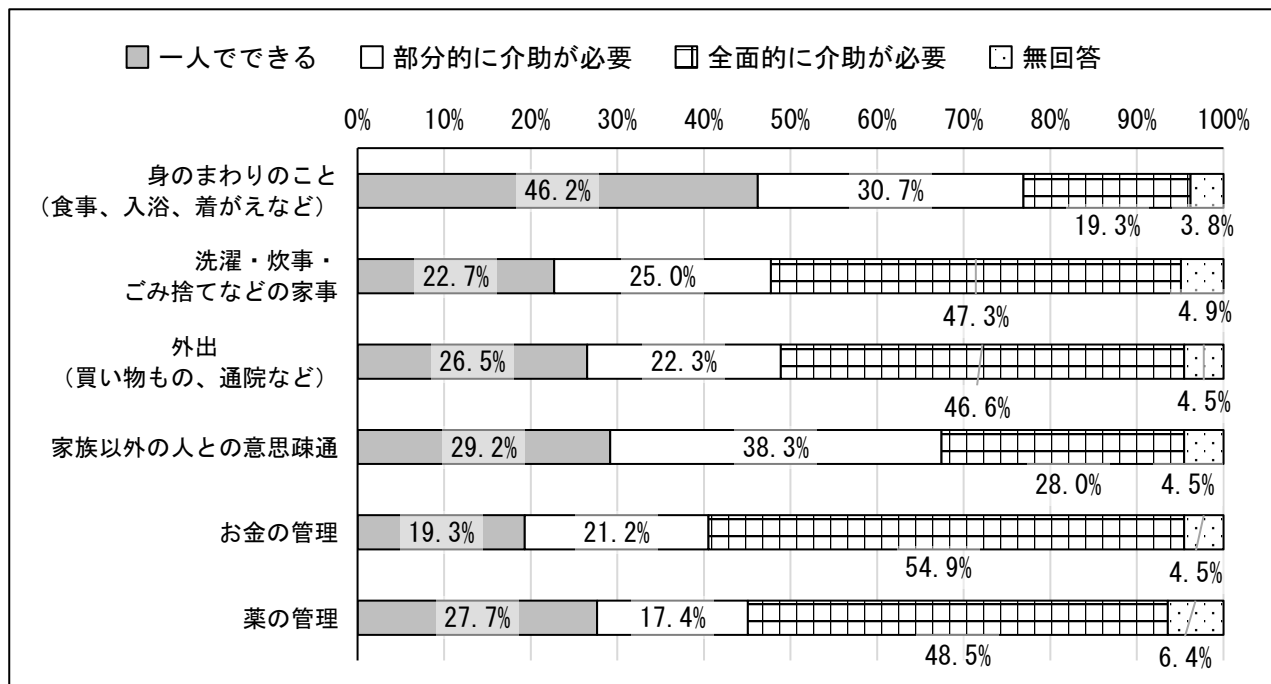
B 身体障がい者 (N=638)



- 身体障がい者では「洗濯・炊事・ごみ捨てなどの家事」「外出（買い物、通院など）」で「一人できる」と回答した割合が約48%と他の項目と比較して低くなっており、全面的に介助が必要と回答した割合が高くなっている。

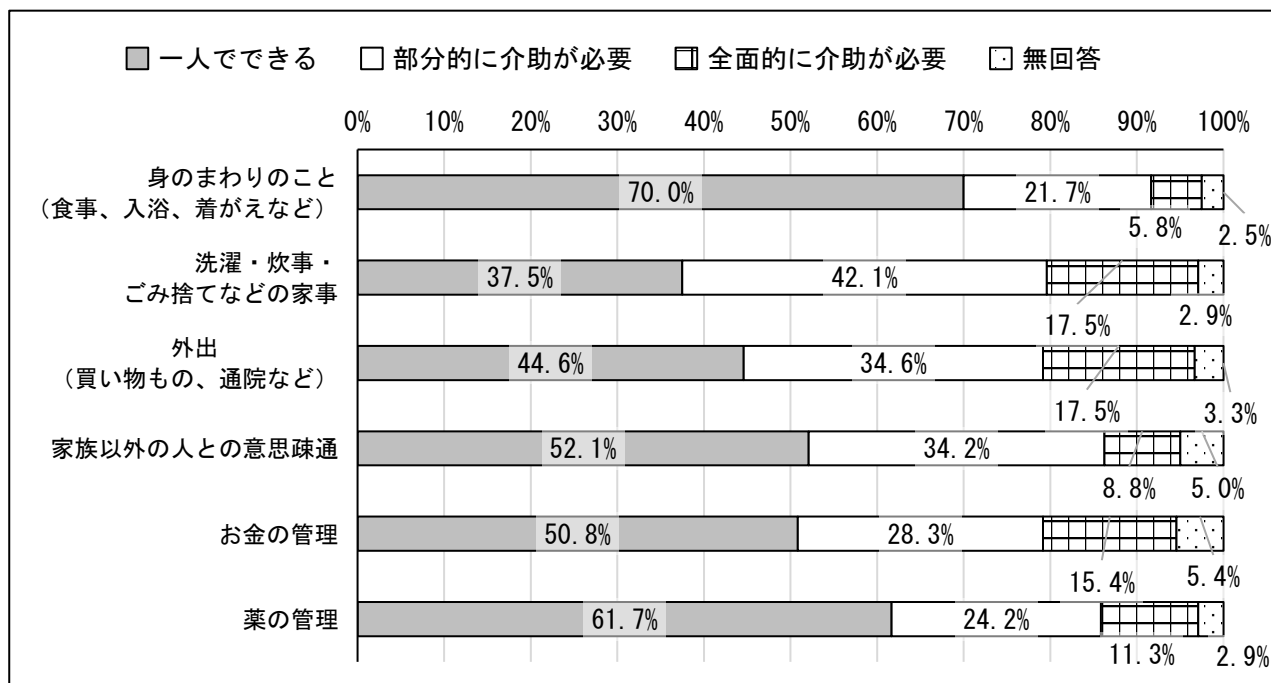
2 調査の結果

C 知的障がい者 (N=264)



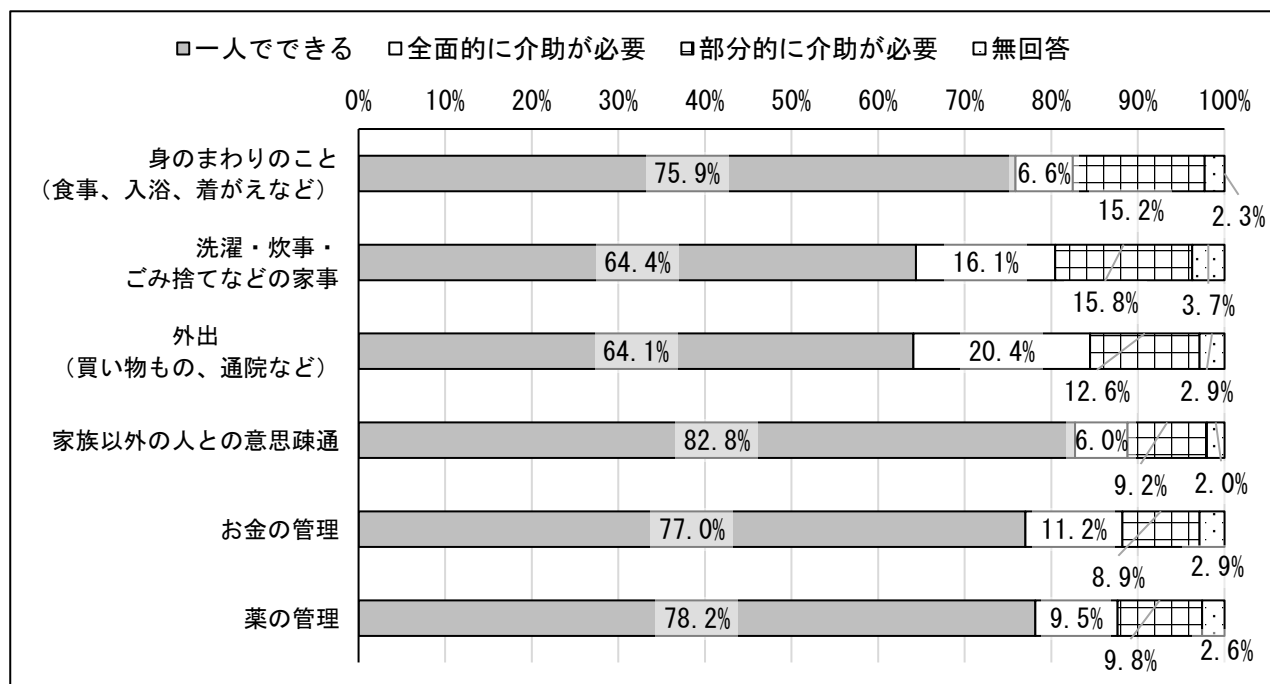
- 知的障がい者では「身のまわりのこと」は「一人できる」と回答した割合が46%を超えているが、その他の項目では「一人できる」と回答した割合が低くなっている。一方「全面的に介助が必要」と回答した割合は高くなっている。

D 精神障がい者 (N=240)



- 精神障がい者では、身体障がい者と同様に「一人できる」と回答した割合が高くなっている。一方「全面的に介助が必要」と回答した割合は低くなっている。

E 難病患者 (N=348)

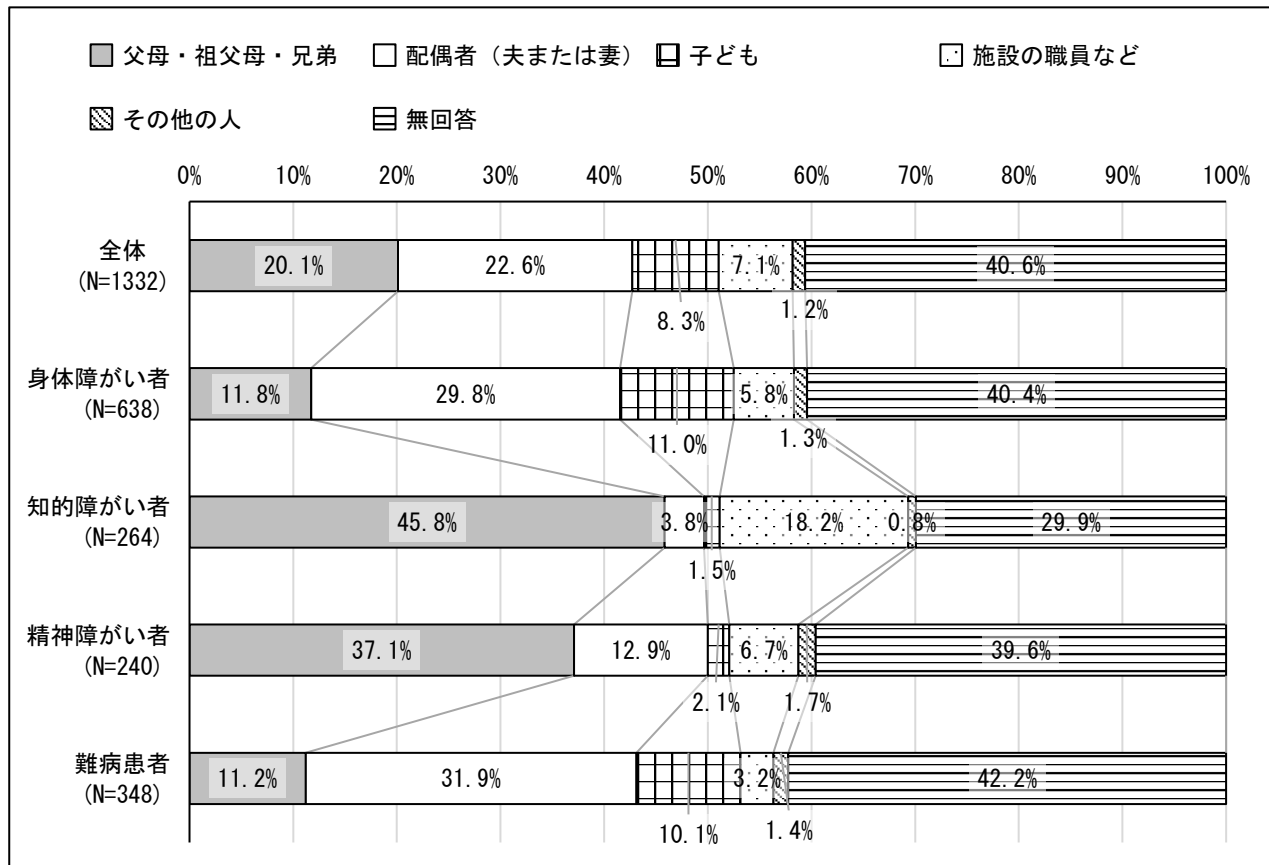


- 難病患者では、すべての項目において「一人で行える」が60%を超えている。「洗濯・炊事・ゴミ捨てなどの家事」、「外出」など身体を使う項目においては「全面的に介助が必要」と回答した割合が高い。

2 調査の結果

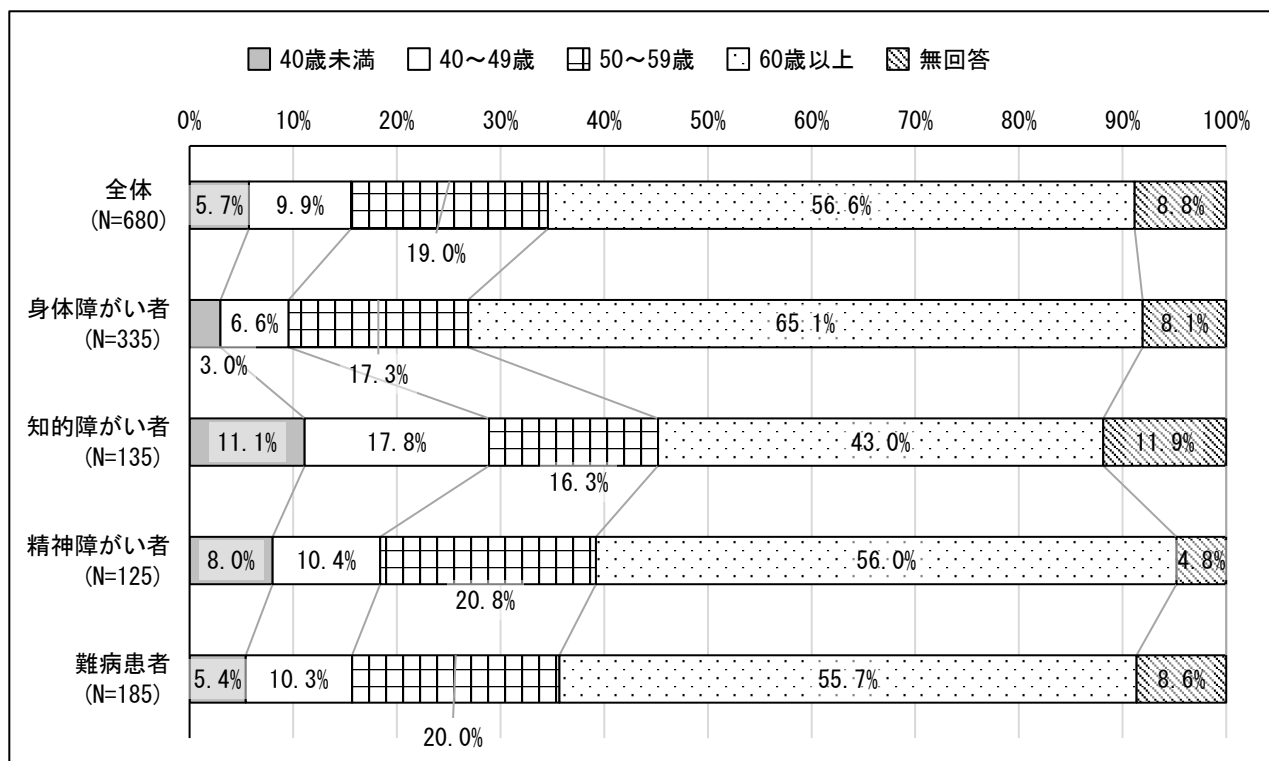
問6 主な介助者・年齢・性別・健康状態・障がい（難病）の有無についてお答えください。
 （主な介助者につき1つに○印、年齢を記載し、性別と健康状態及び障がい（難病）の有無につき1つに○印） ※年齢については令和7年9月1日現在

A 主な介助者



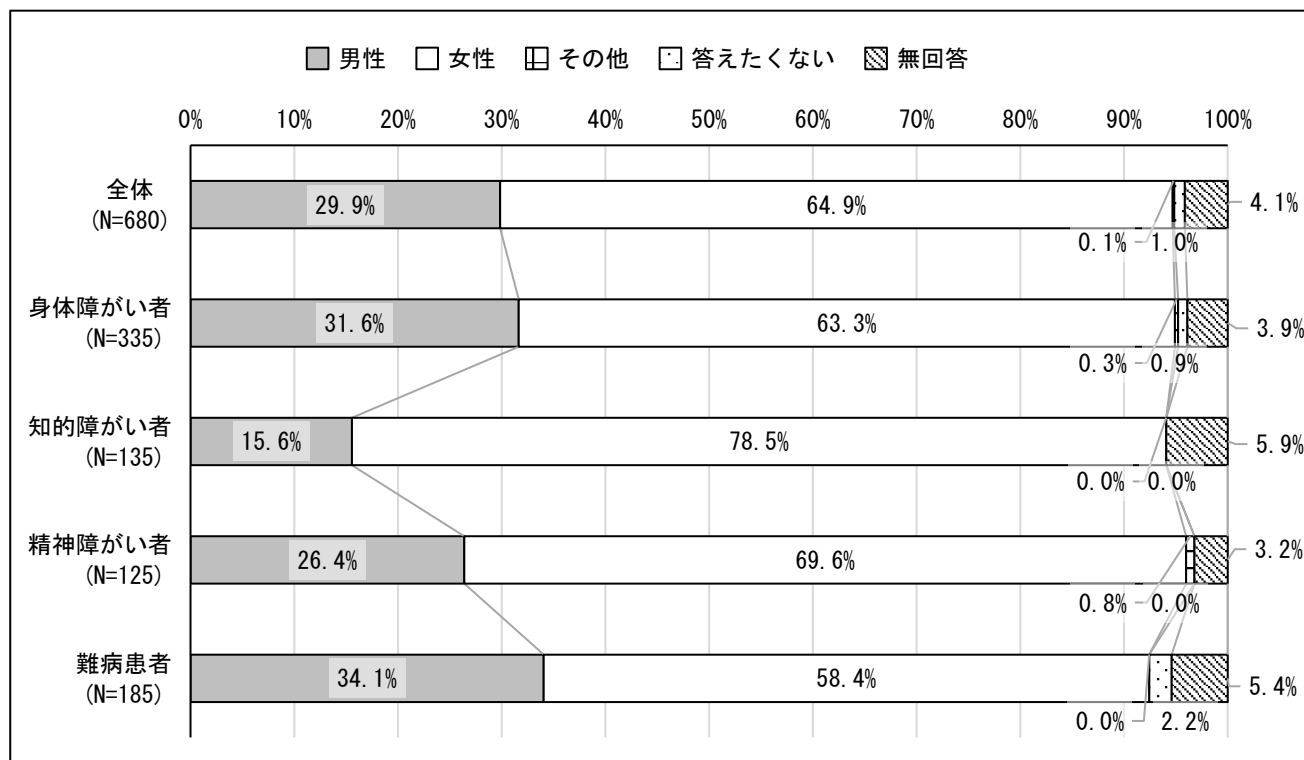
- 主な介助者について、身体障がい者及び難病患者では「配偶者」と回答した割合が高くなっている。知的障がい者及び精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟」と回答した割合が最も高くなっている。全体的に「無回答」の割合が高いが、無回答の中には「介助者がいない」、「介助を必要としない」人が多く見受けられる。

B 年齢



- 介助者の年齢については、全障がい種別において「60歳以上」と回答した割合が最も高くなっている。

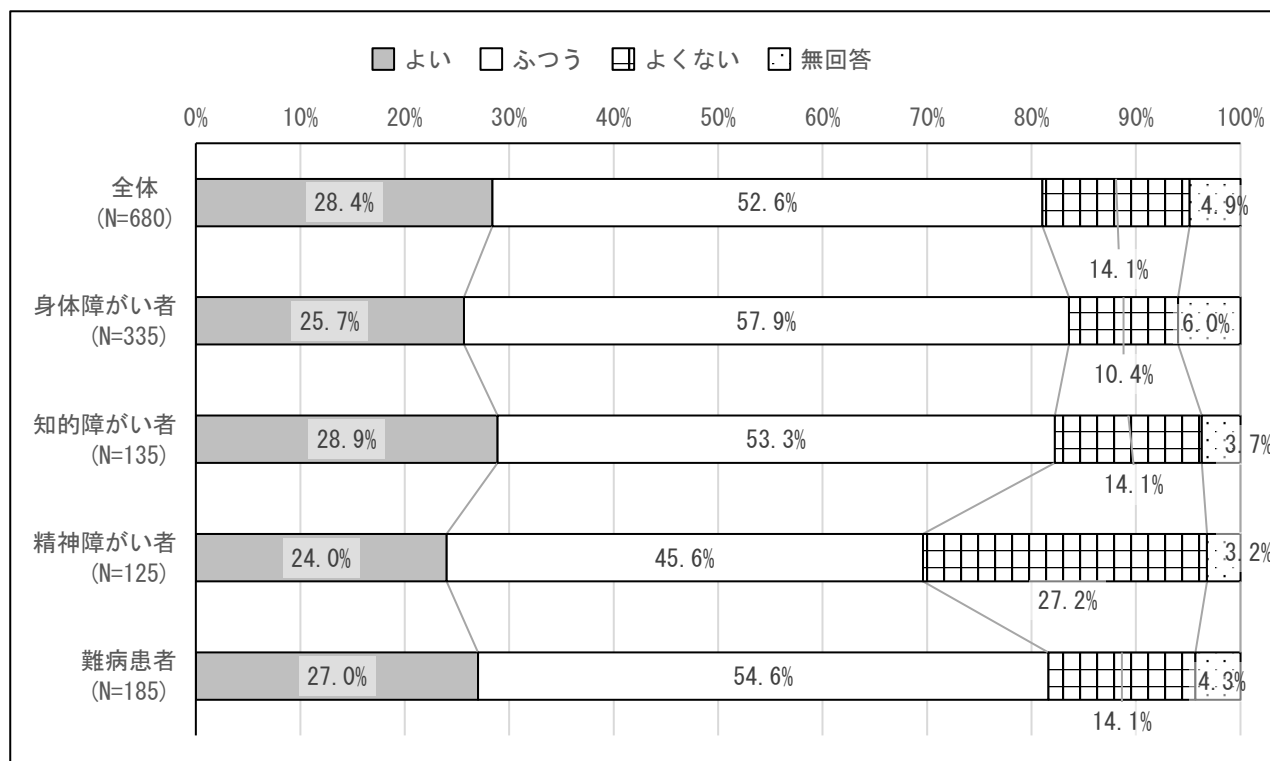
C 性別



- 全般的に「女性」の割合が高くなっている。

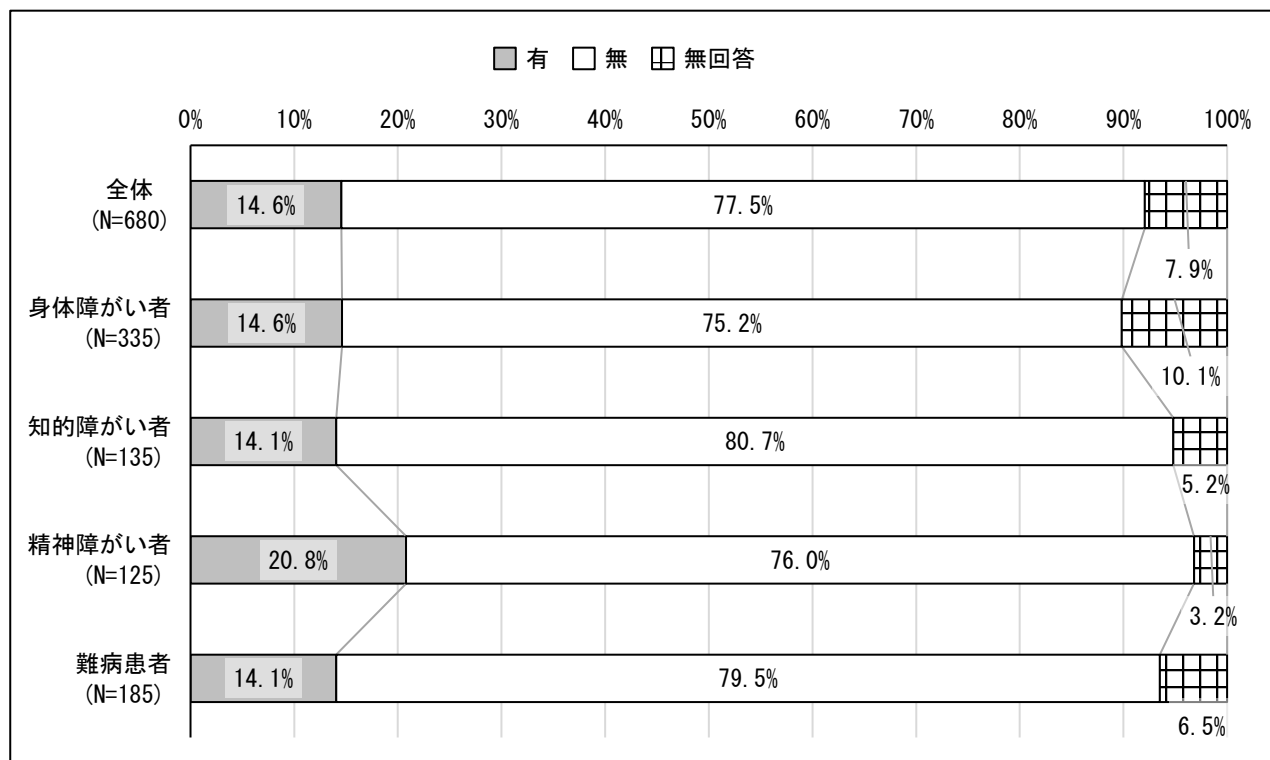
2 調査の結果

D 健康状態



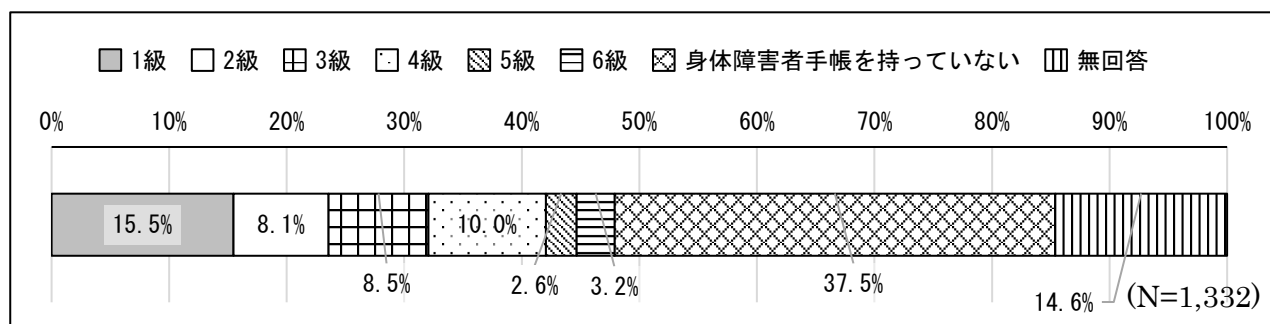
- 身体障がい者、知的障がい者、難病患者では「よい」、「ふつう」と回答した割合が80%を超えているが精神障がい者においては「よくない」と回答した割合が他の障がい種別及び難病患者より高くなっている。

E 障がい（難病）の有無



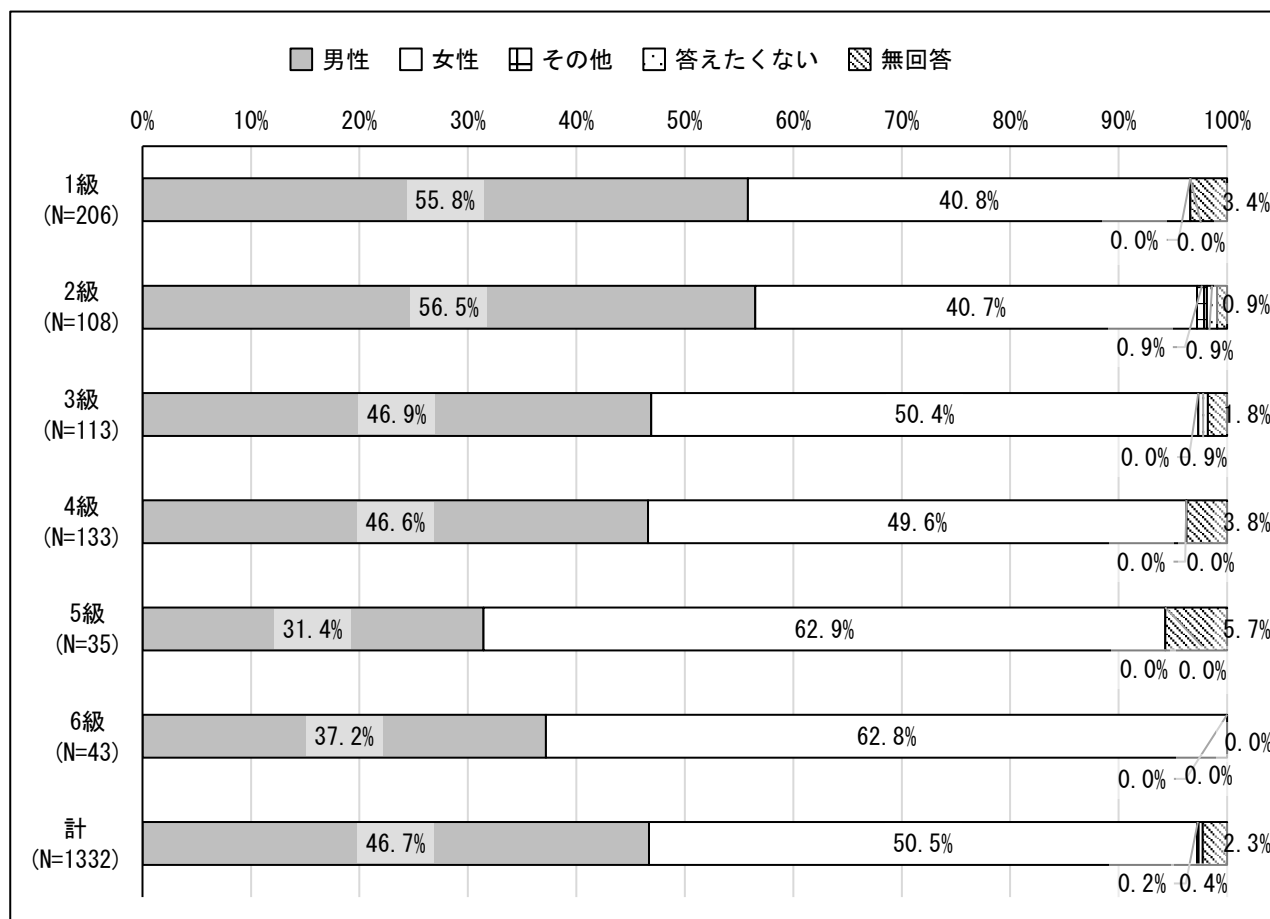
- すべての障がい種別において「無」と回答した割合が過半数を超えている。ただし、「有」と回答した割合は、精神障がい者のみ他の障がい種別と比較すると高い割合となっている。

問7 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。持っている場合、あなたの「身体障害者手帳」に記載された総合等級は何級ですか。(1つに○印)



- 47.9%の人が、「身体障害者手帳」を持っていると回答している。その中で一番高い回答は、「1級」の16.5%であった。

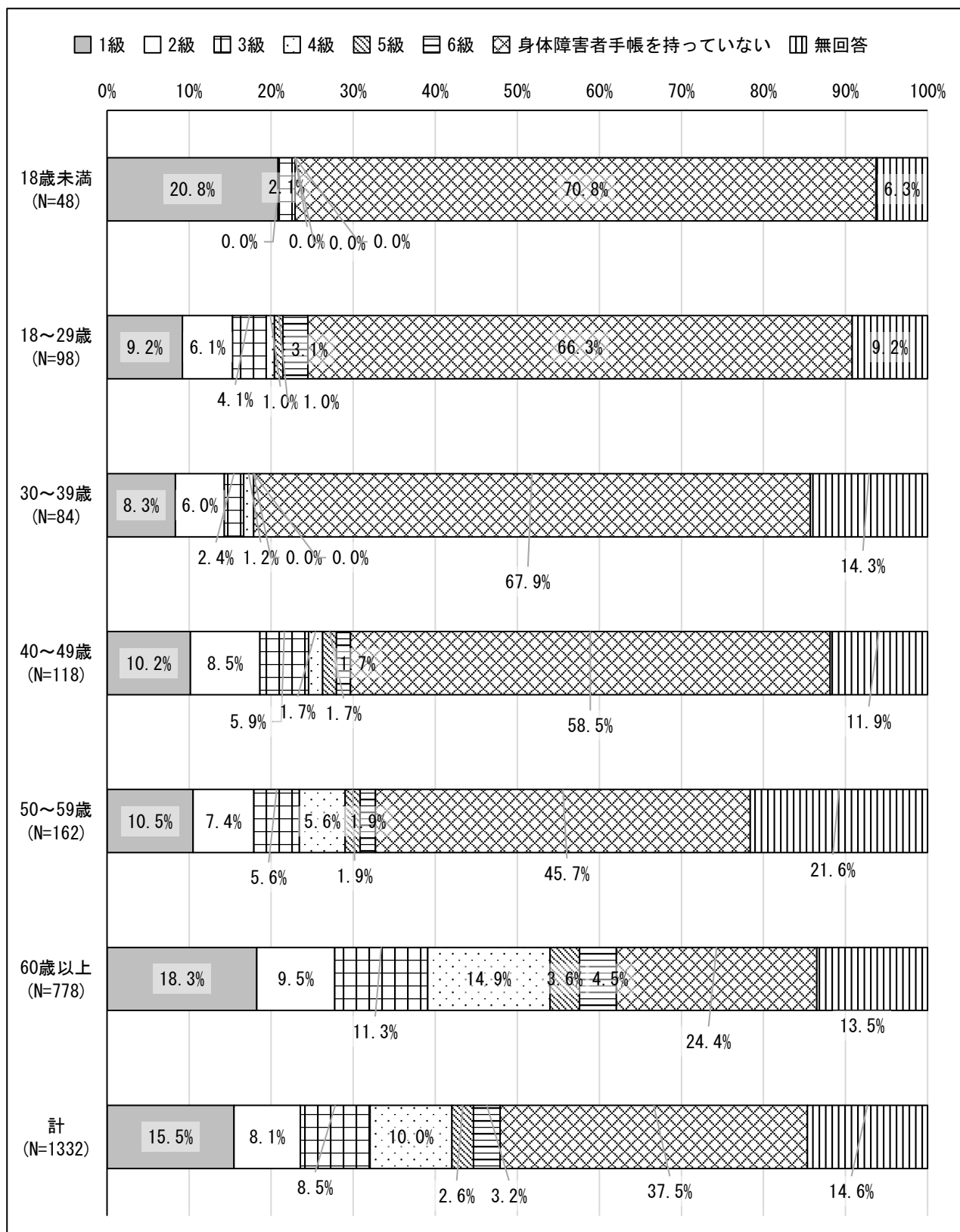
■ 等級と性別のクロス集計



- 「1級」、「2級」は、「男性」の方が高いが、その他の等級は「女性」の方が高い割合となる。

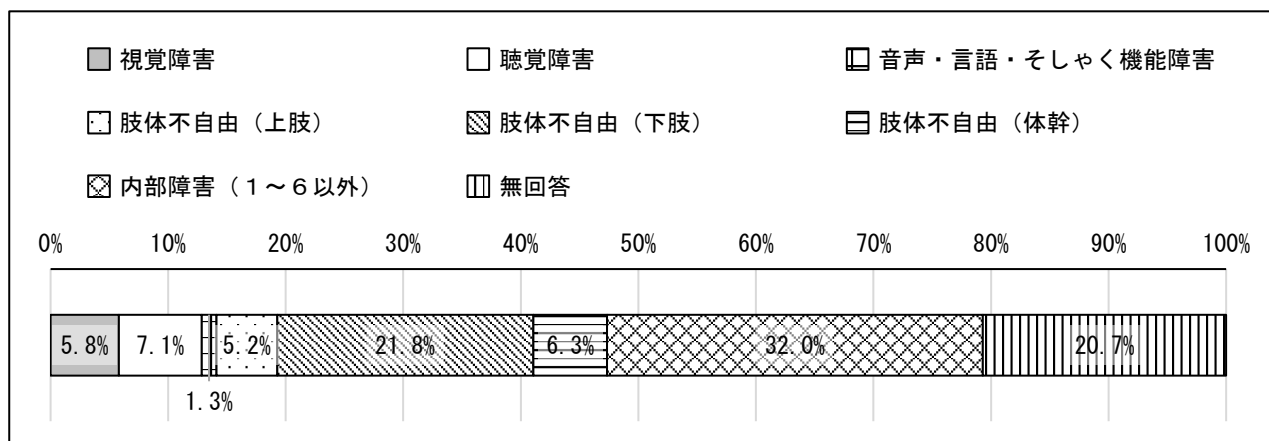
2 調査の結果

■ 年齢と等級のクロス集計

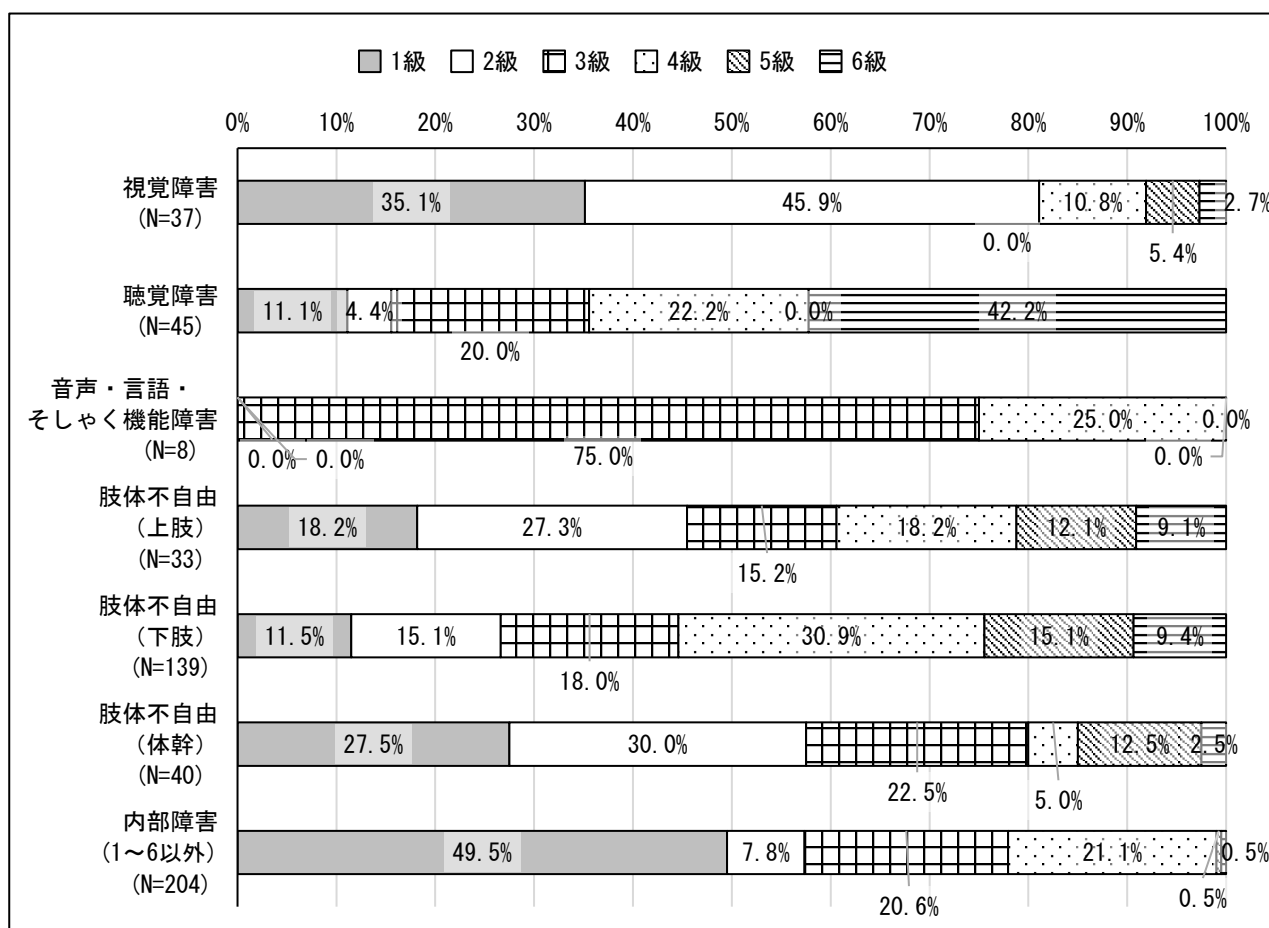


- 「60歳」未満の「身体障害者手帳」の所有割合は3割程度であるが、「60歳以上」では62.1%となる。年齢別の「1級」を所有する割合が最も高いのは「18歳未満」であり、続いて「60歳以上」となる。

問7 (1)「身体障害者手帳」をお持ちの方は、主たる障がいをお答えください。(1つに○印) (N=638)



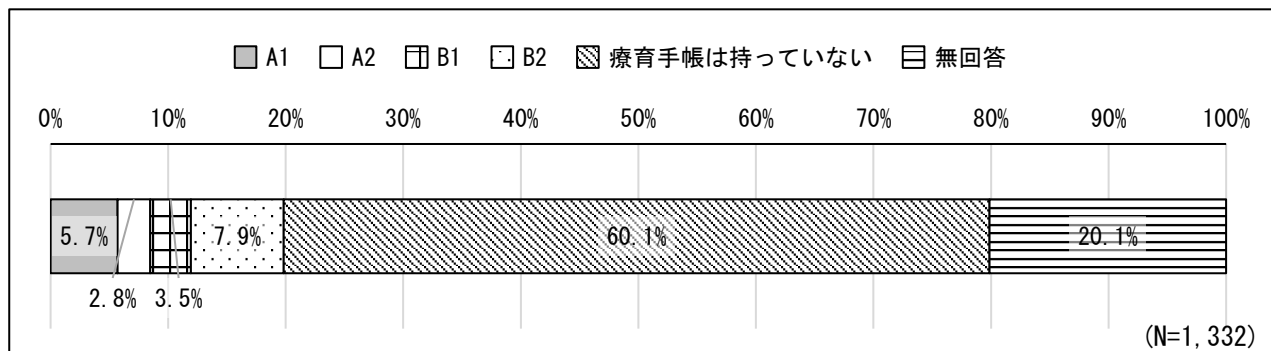
■ 障がい種別と等級のクロス集計



- 身体障がいの内訳をみると、「内部障害」が最も多く、その過半数が「1級」となっている。
- 重度障がいである「1級」及び「2級」が過半数に近いもしくは超えている障がいは、「視覚障害」、「肢体不自由 (体幹)」、それと「内部障害」となっている。

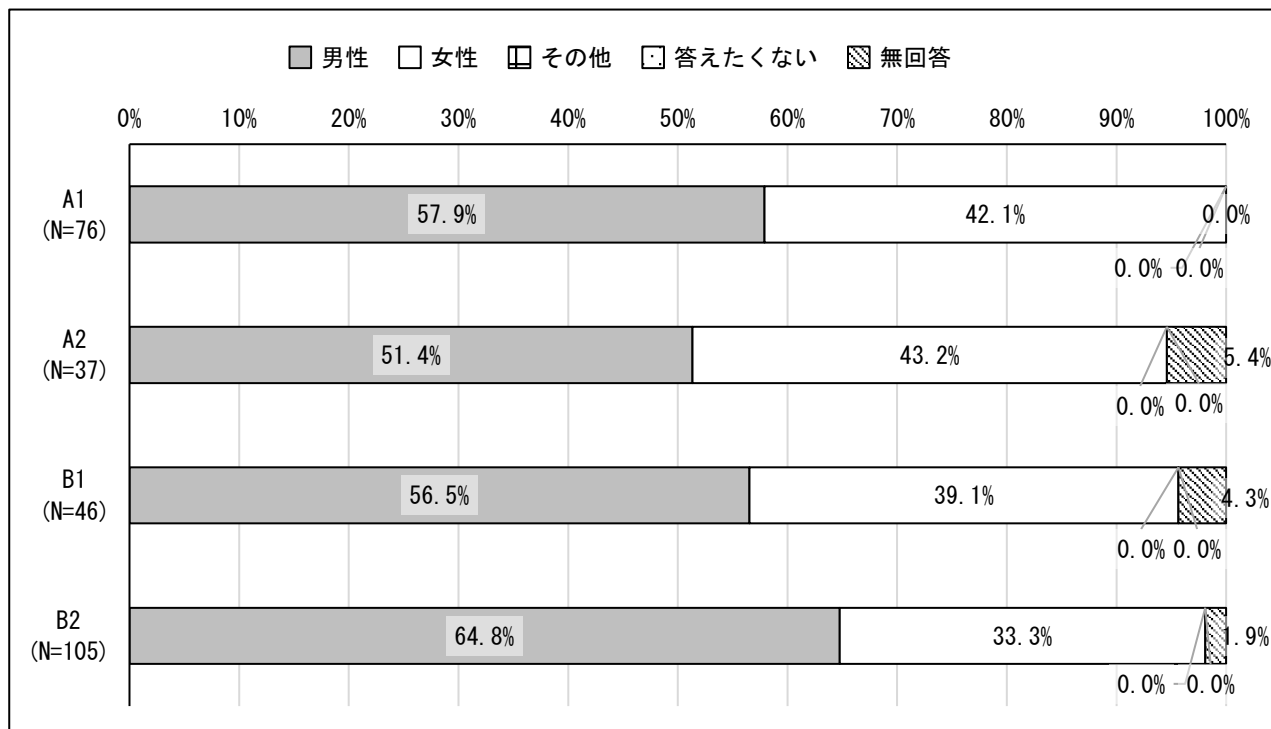
2 調査の結果

問8 あなたは「療育手帳」をお持ちですか。持っている場合、あなたの「療育手帳」に記載された判定はどれですか。(1つに○印)



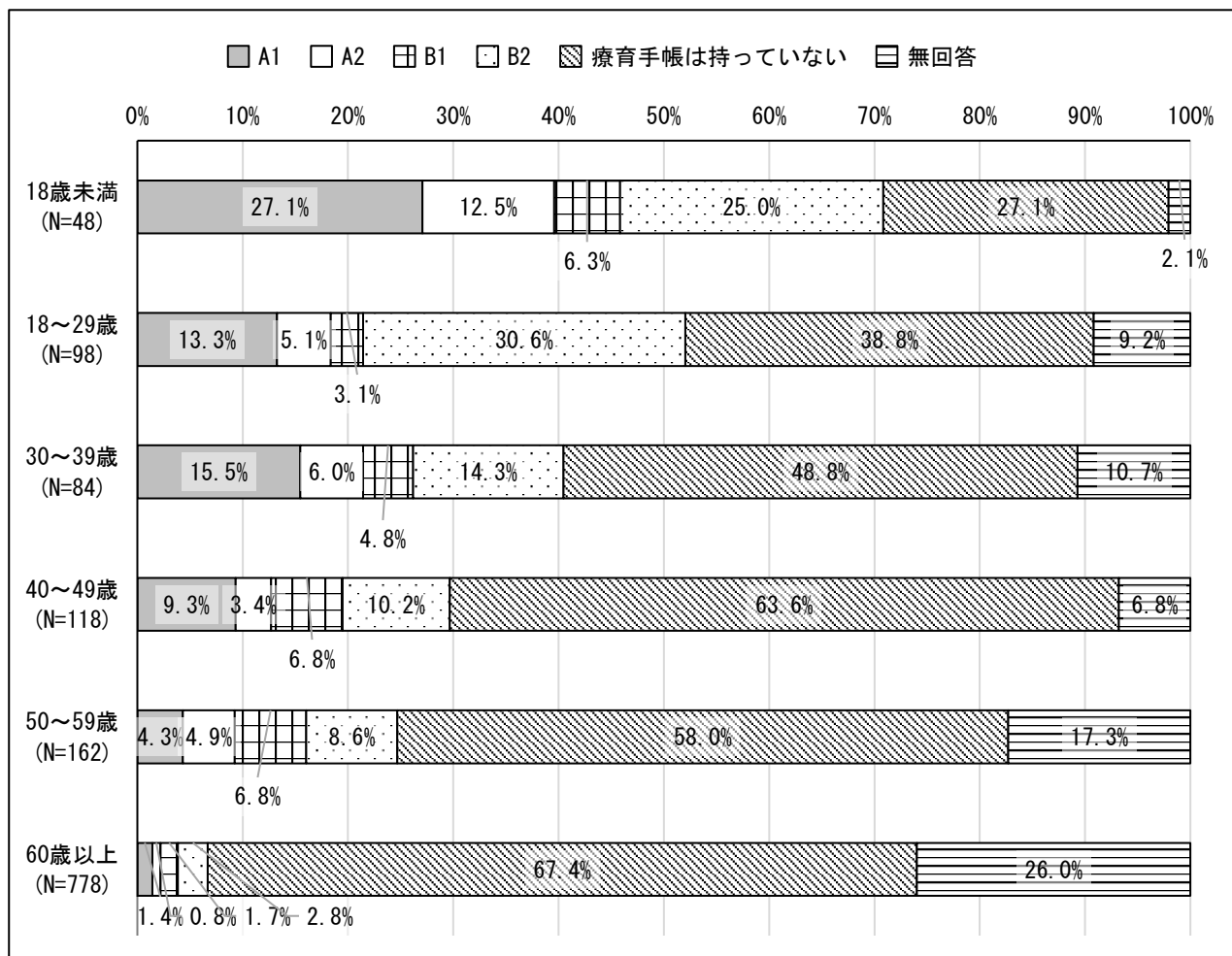
- 19.8%の人が、「療育手帳」を持っていると回答している。一番高い回答は、「B2」の7.9%であった。

■ 等級と性別のクロス集計



- 全ての等級で「男性」の方が高い割合となった。

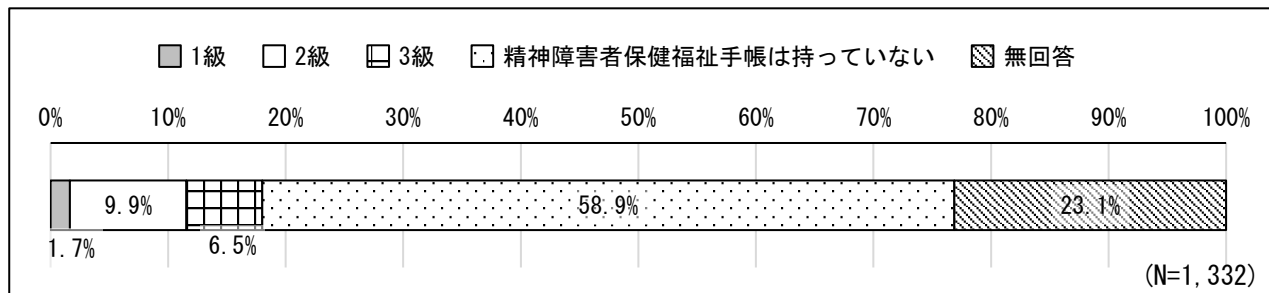
■ 年齢と等級のクロス集計



- 年齢が高くなるにつれ、「療育手帳」を持っている割合は減少する傾向にある。

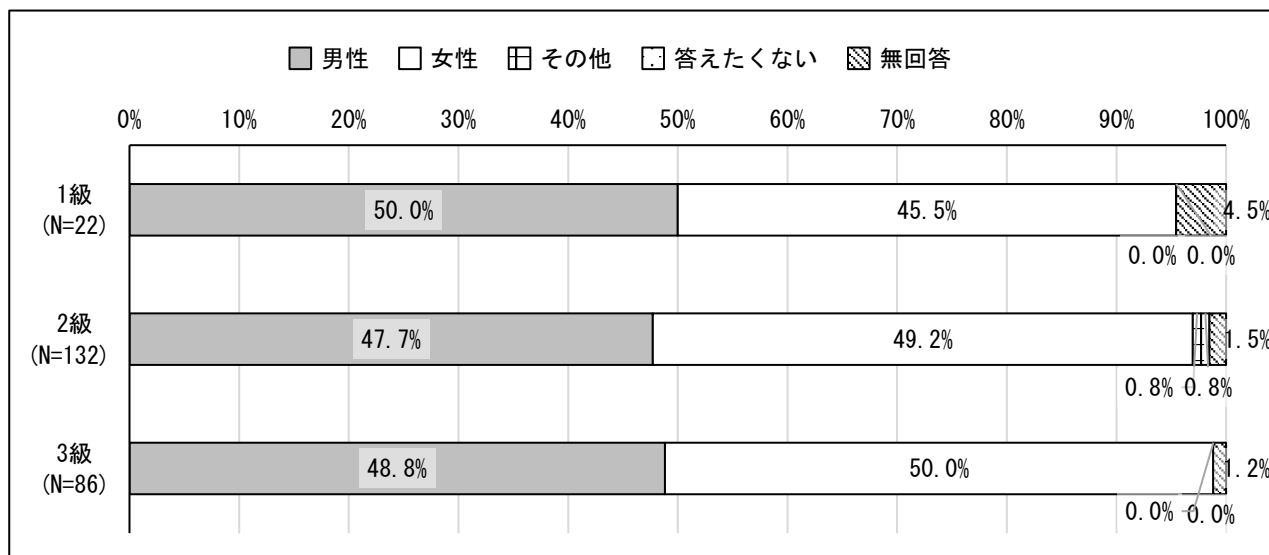
2 調査の結果

問9 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。持っている場合、あなたの「精神障害者保健福祉手帳」に記載された判定はどれですか。(1つに○印)



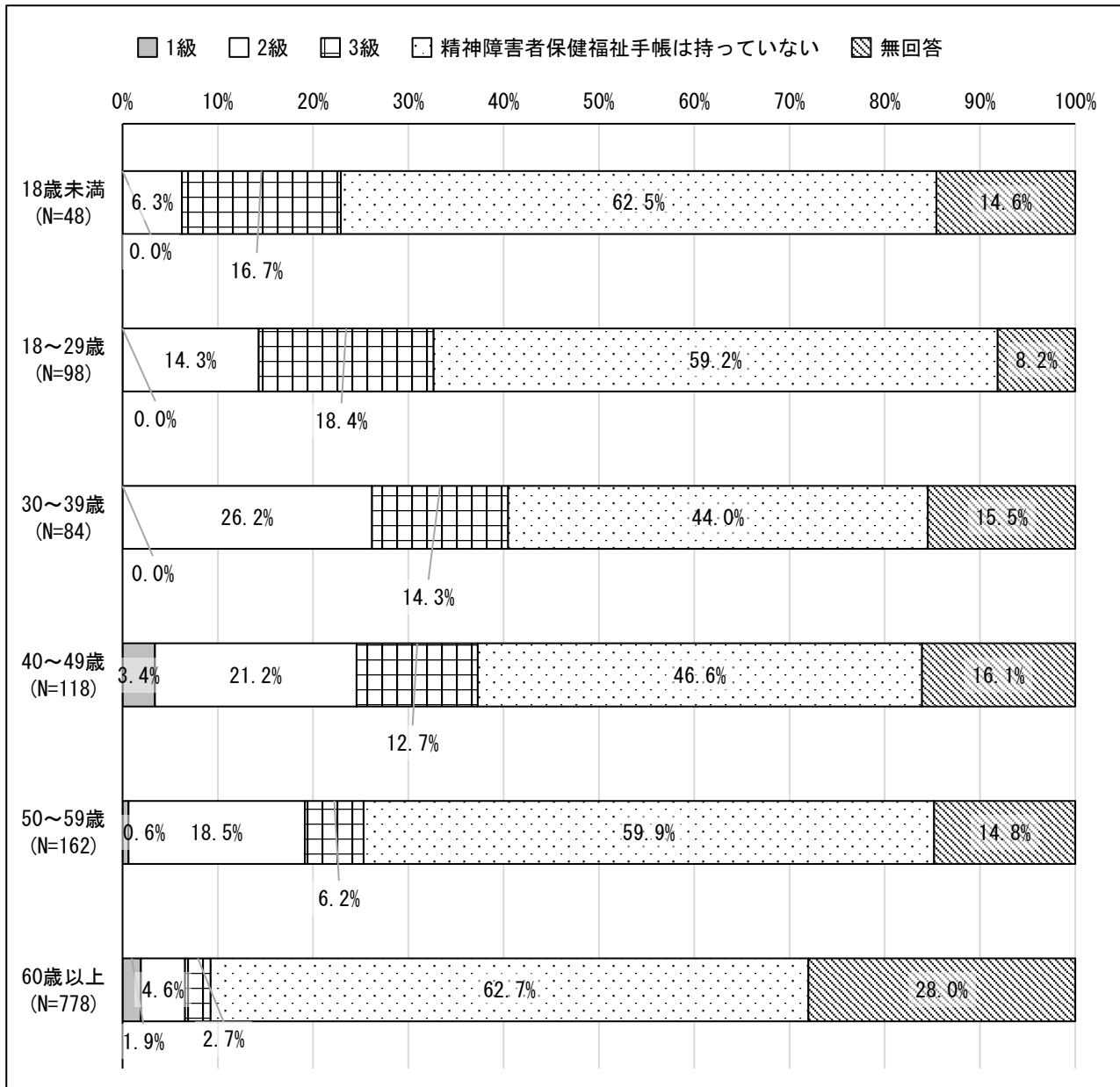
- 18.0%の人が、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていると回答している。一番高い回答は、「2級」の9.9%であった。

■ 等級と性別のクロス集計



- 「男性」及び「女性」は、ほぼ同じ割合となっている。

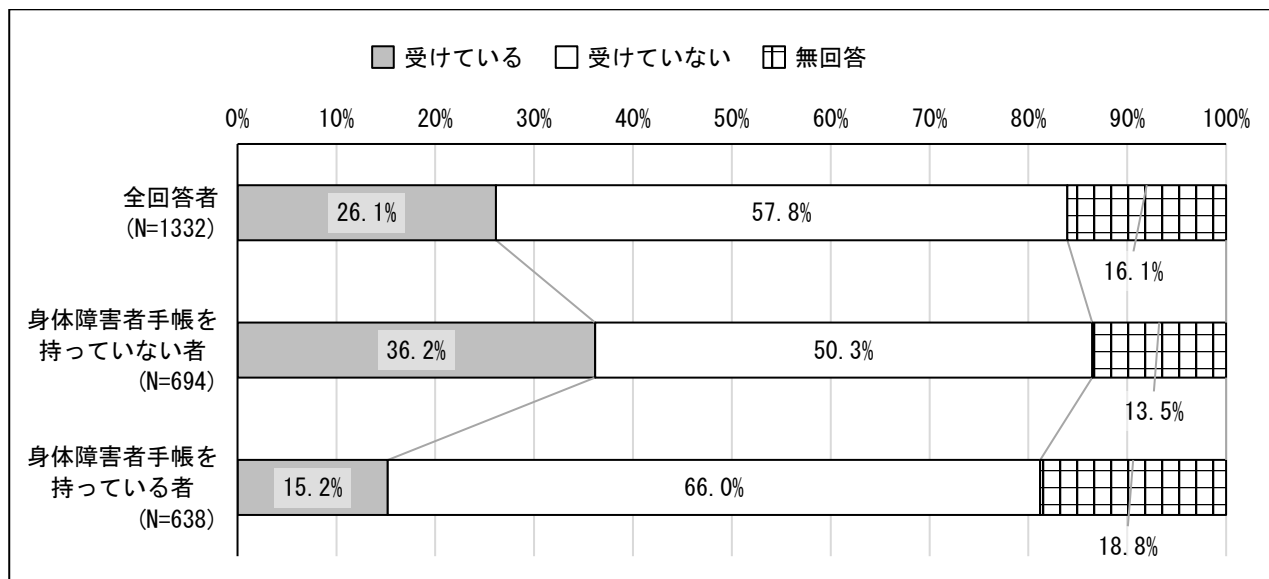
■ 年齢と等級のクロス集計



- 「精神障害者保健福祉手帳」を持っているという回答が最も高かったのが、「30～39歳」であった。この年齢をピークとし、年齢が変わるにつれ割合は小さくなる。

2 調査の結果

問１０ あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。認定を受けている場合、あなたの疾患名は何ですか。（１つに○印、１．受けている場合は疾患名を記入）



- 全回答者 (N=1332) の内、26.1%の人が認定を受けている。
- 「身体障害者手帳」を持っていない障がい者では、36.2%の人が認定を受けている。
- 「身体障害者手帳」を持っている障がい者では、15.2%の人が認定を受けている。

■ 重複所有状況

所有状況	件数
身体	443
療育	183
精神	166
難病	238
身体+療育	50
身体+精神	42
身体+難病	85
療育+精神	12
療育+難病	6
精神+難病	7
身体+療育+精神	6
身体+療育+難病	5
身体+精神+難病	5
身体+療育+精神+難病	2
所有していない	82
計	1332

■ 疾患名

難病（指定難病）に該当するもののみ抜粋して記載しています

疾患名	件数	疾患名	件数
C. I. D. P（慢性炎症性脱髄性多発神経炎）	1	ベーチェット病	2
EPGA（好酸球性多発血管炎性肉芽腫症）	1	もやもや病（ウィリス動脈輪閉塞症）	5
HTLV1-1 関連脊髄症	2	リウマチ※	3
IgA 腎症	5	リンパ脈管筋腫症	1
I Gg4 関連疾患	1	ルビンシュタインテイビ症候群	1
SLE（全身性エリテマトーデス）	7	悪性リウマチ	4
アルツハイマー※	1	一次性ネフローゼ症候群	1
ウィリアムズ症候群	1	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
クッシング病	1	下垂体前葉機能低下症	1
クローン病	14	拡張型心筋症、慢性心不全※	1
サルコイドーシス	2	間質性肺炎※	5
シェーグレン症候群	11	関節リウマチ 間質性肺炎※	1
シャルコー・マリー・トゥース病	1	球脊髄性筋萎縮症	1
ジュベール症候群	1	強直性脊椎炎	2
ソトス症候群	1	強皮症※	2
ネフローゼ症候群	3	強皮症、シェーグレン症候群	1
パーキンソン病	28	頸椎後縦靱帯骨化症	1
ビュルガー病（バージャー病）	1	結節性硬化症	1
ファロー四徴症	1	大脳皮質基底核変性症	2
プラダー・ウィリ症候群	1	潰瘍性大腸炎	28
細胞色素変性症	1	特発性間質性肺炎	2
自己免疫性肝炎	5	特発性基底核石灰化症	1
重症筋無力症	4	特発性血小板減少性紫斑病（免疫性血小板減少症）	1
神経線維腫症 I 型	1	特発性大腿骨頭壊死症	4
進行性核上性麻痺	4	突発性拡張型心筋症	1
水疱性類天疱瘡	1	突発性間質性肺炎	1
成人発症スチル病	1	突発性両側大脳基底核石灰化症	1
脊髄小脳変性症	6	膿疱性乾癬	1
脊柱管狭窄症※	1	肺動脈閉鎖※	1
全身性エリテマトーデス	10	皮膚筋炎・多発性筋炎	3
全身性強皮症	8	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1
多系統萎縮症	3	網膜黄斑変性症※	1
多発血管炎性肉芽腫症	2	網膜色素変性症	5

2 調査の結果

疾患名	件数	疾患名	件数
多発性ニューロパチー※	1	緑内障※	1
多発性筋炎	1	類天疱瘡	1
多発性硬化症	5	膠原病※	2
多発性硬化症・視神経脊髄炎	1	頸椎後縦靱帯骨化症	1
多発性嚢胞腎	4	シェーグレン症候群	2
多発性皮膚筋炎	1	筋萎縮性側索硬化症	2
大腿骨骨頭壊死※	1		

※アルツハイマーに関連する側頭葉変性症（FTLD）」は指定難病

※脊柱管狭窄症の内、広範脊柱管狭窄症のみ指定難病

※多発性ニューロパチーの一部、「慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）」や「多巣性運動ニューロパチー（MMN）」は指定難病

※大腿骨骨頭壊死の内、「特発性大腿骨頭壊死症」は指定難病

※リウマチの内、「悪性関節リウマチ」と「若年性特発性関節炎」は指定難病

※拡張型心筋症の内、「特発性拡張型心筋症」は指定難病

※間質性肺炎の内、「特発性間質性肺炎（IIPs）」は指定難病

※関節リウマチの内、「悪性関節リウマチ」や、「若年性特発性関節炎」は指定難病

※強皮症の内、「全身性強皮症」は指定難病

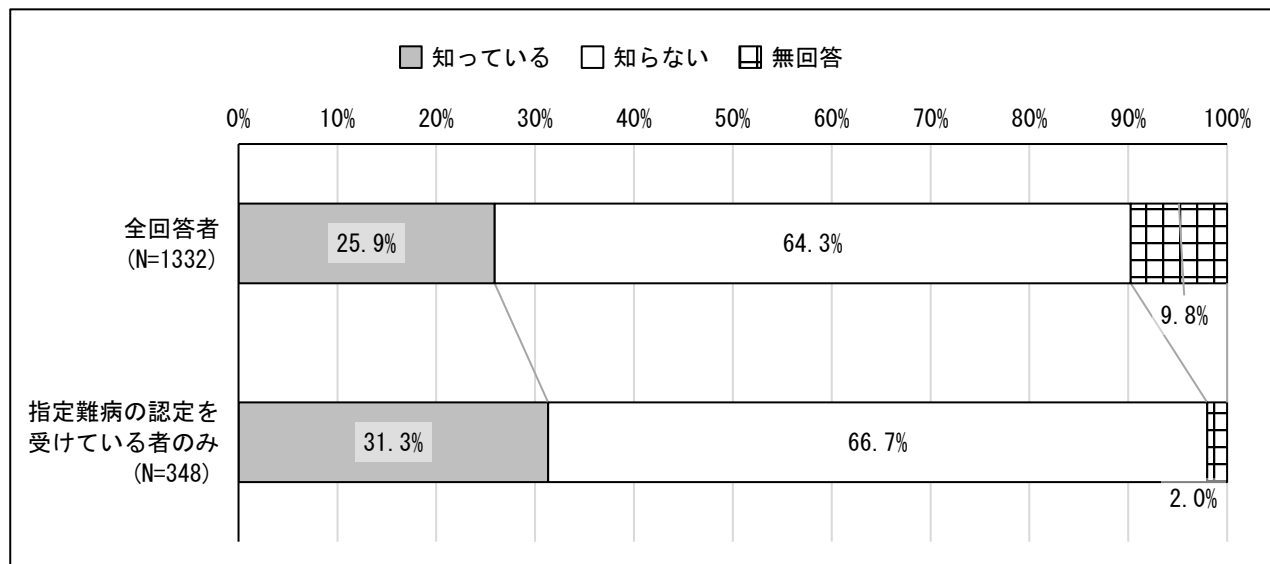
※肺動脈閉鎖を発生させる「心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症」もしくは「心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症」は指定難病

※網膜黄斑変性症の内、「網膜色素変性症」や「黄斑ジストロフィー」は指定難病

※緑内障の内、「スタージ・ウェーバー症候群」、「前眼部形成異常」、「無虹彩症」などを伴う場合は指定難病

※膠原病の多くは指定難病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェーグレン症候群など）

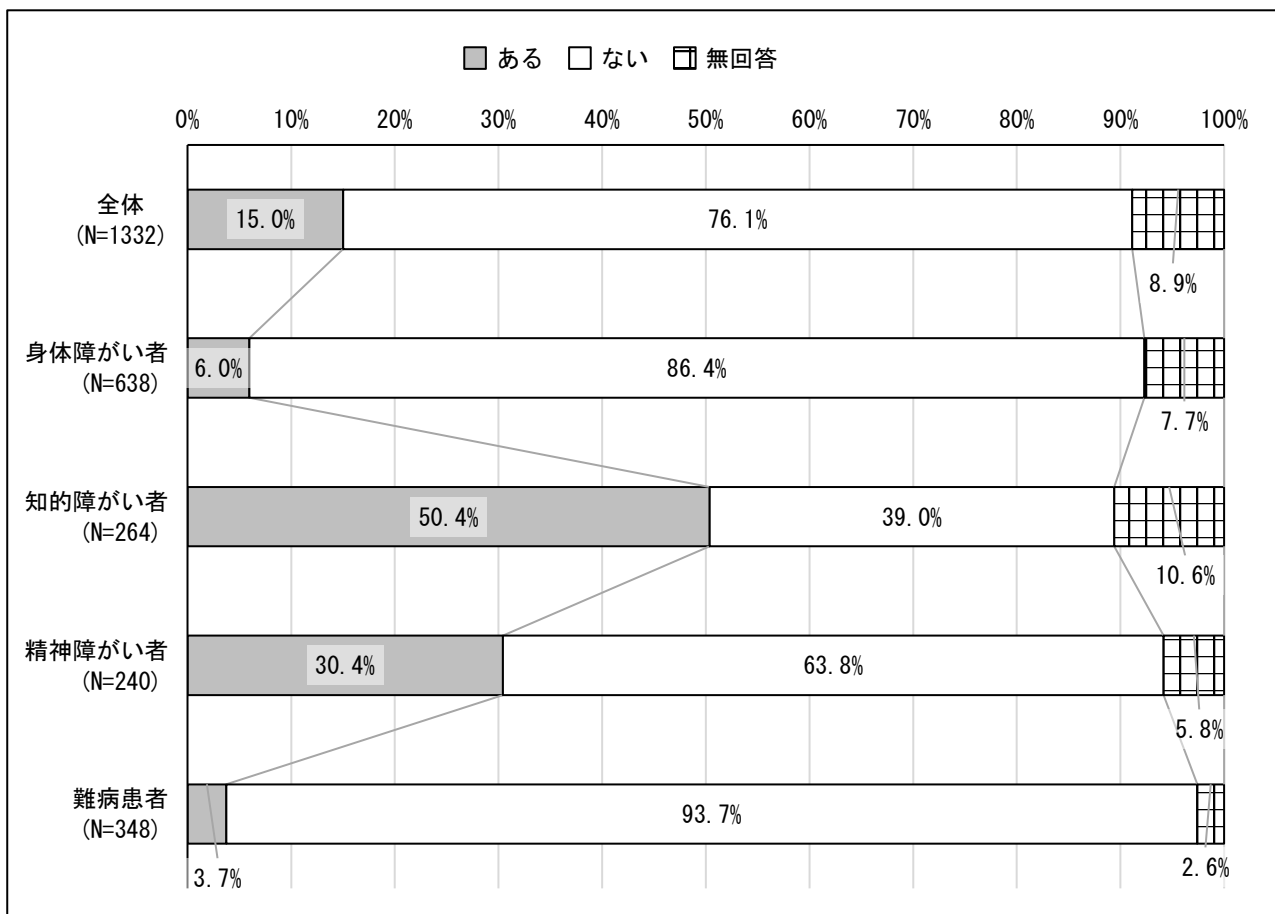
問 1 1 あなたは難病患者が、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく「障害福祉サービス等」の対象となることを知っていますか。（1つに○印）



- 全回答者 (N=1332 人) の内、26.9%の人が指定難病の認定を受けている人が、「障害福祉サービス等」の対象となることを知っている。
- 指定難病の認定を受けている人 (N=348 人) のみで分析すると、66.7%の人が「障害福祉サービス等」の対象となることを知らない。

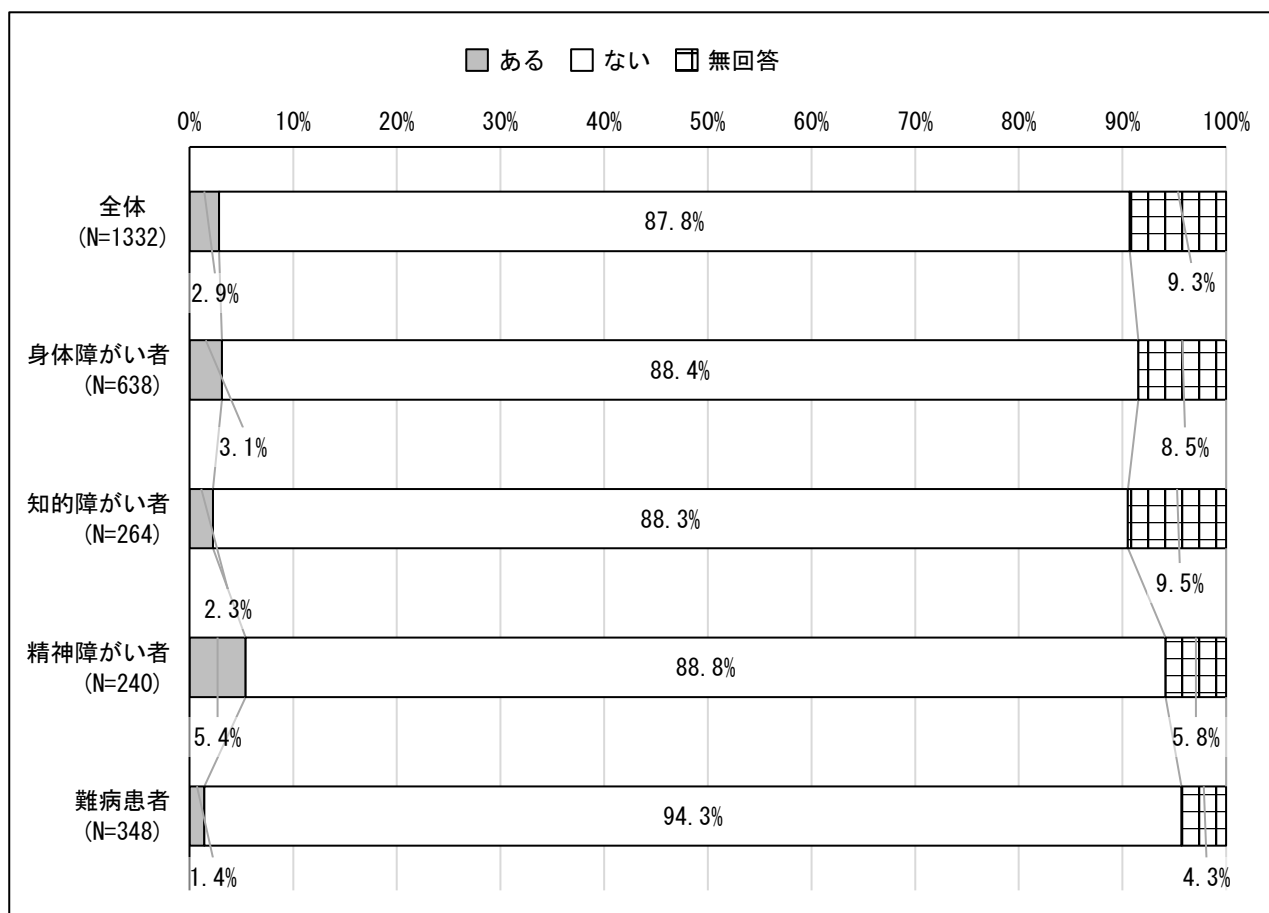
2 調査の結果

問 1 2 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(1つに○印)



- 全回答者 (N=1332 人) の内、15.0% の人が発達障害として診断されたと回答している。
- 発達障害として診断されたと回答している割合が高いのは、「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」を所持している人である。
- 「身体障害者手帳」のみを保持している人でも、5人ほど発達障害として診断を受けている。

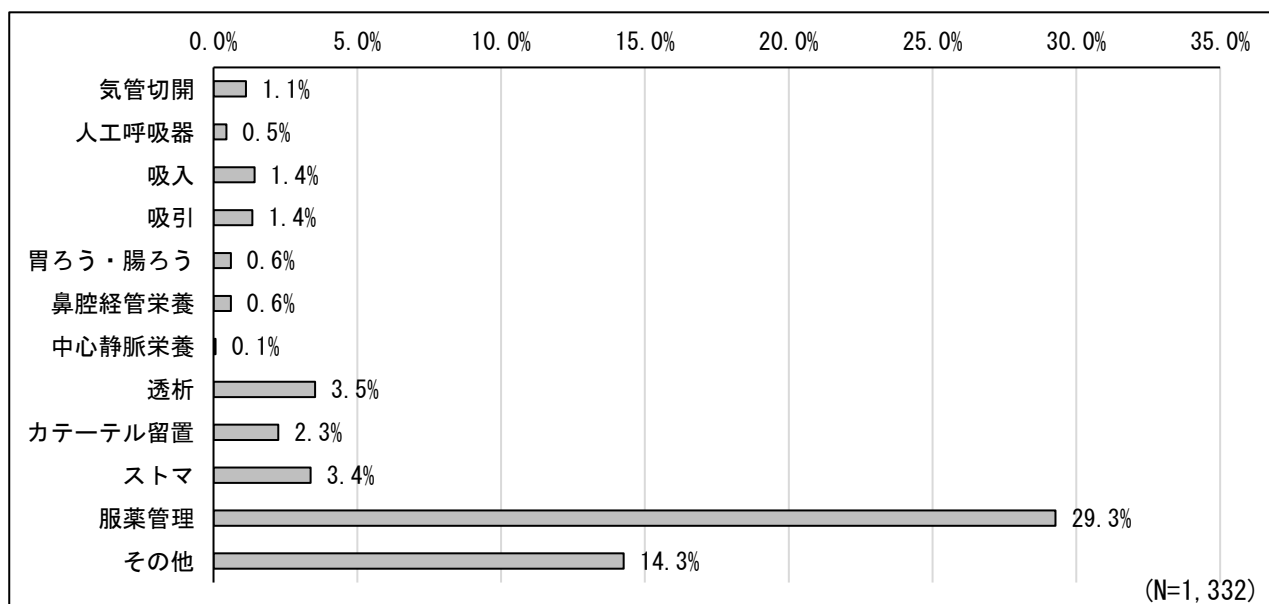
問 1 3 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(1つに○印)



- 全回答者 (N=1332 人) の内、 2.9% の人が高次脳機能障害として診断されたと回答している。
- 高次脳機能障害として診断されたと回答している割合が高いのは、「精神障害者保健福祉手帳」及び重複保持している人である。
- 「身体障害者手帳」のみを保持している人でも、13人ほど高次脳機能障害として診断を受けている。

2 調査の結果

問14 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。（あてはまるものすべてに○印）



● 最も割合が高いのは「服薬管理」であった。続いて「透析」「ストマ」となった。

■ その他

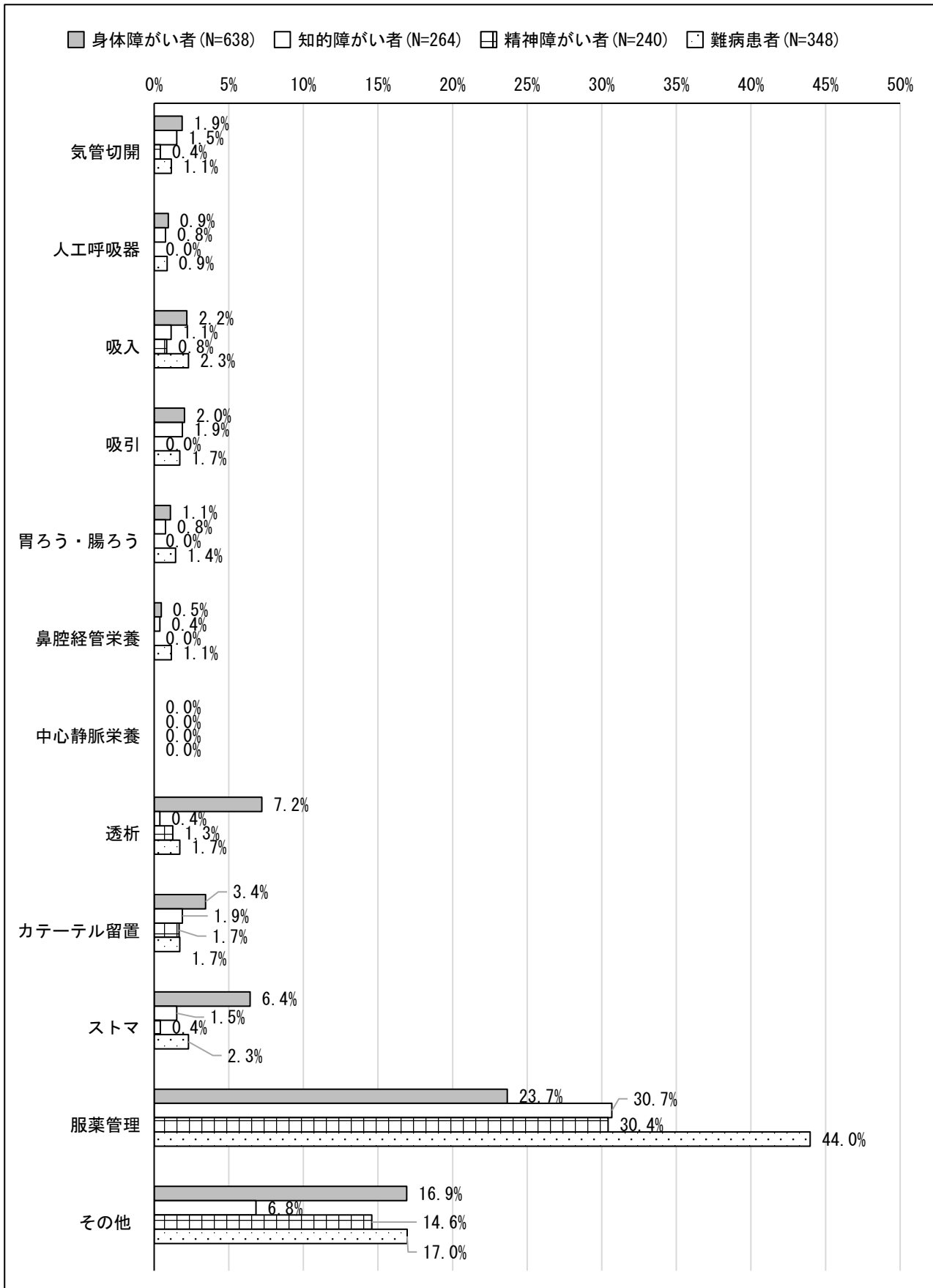
その他	件数	その他	件数
1か月に4か所は病院かかってます。	1	子宮筋腫	1
3才でOP その後ずっと経過観察 MRIや診察あり	1	歯	1
アトピー性皮膚炎	1	自己注射	1
アルコール依存症	1	自己注射 エタネルセプトBS 関節リウマチ	1
カウンセリング	5	自己注射 4週間おき	1
グロブリン、ハイゼントラ点滴	1	受けていない	3
ケアー	1	受診時通訳手引き	1
コレステロール	1	循環器内科	1
ステロイド剤治療	1	心疾患 人工弁	1
ぜんそく	1	心臓、腰、眼科、糖尿病	1
ディケアで下肢の筋力強化のリハビリ 杖を使用	1	心臓便まく所 ペースメーカー（入）	1
てんかん発作	1	心療内科に通院	1
バイタル測定、病院受診引率、同行	1	人工股関節両足	1
バイタル測定、病院受診引率同行、説明を聞いてもらう。	1	人工弁（心臓）	1

2 調査の結果

その他	件数	その他	件数
バクロフェンポンプ	1	腎臓治療	1
ひざ	1	生体三尖弁	1
ペースメーカー	17	生物学的製剤の点滴（一か月に一回）	1
リウマチ	1	足切断	1
リハビリ	9	大腿骨折で入院中	1
医師に話を聞いてもらう	1	大動脈弁術	1
右腕ひじ骨接 手術後の検査	1	注射	3
下肢静脈瘤	1	通院	2
角化症治療剤・尿素クリーム 10%を 2 ヶ月に 1 回病院に行っています	1	定期的に検査	1
肝性脳症	1	点滴注射	1
関節リウマチ	1	投薬（ヌーカラ）	1
眼科受診（視力、眼圧、OCT、散瞳検 査、ドライアイ改善のための点眼 薬）。リウマチ膠原病科受診（採血・ 尿、心電図、肺機能、レントゲン胸 部）	1	糖尿病	3
経皮的肺動脈バルーン形成術	1	年 1 回の定期健診のみリハビリテー ションを週に 2 回	1
血圧	2	年に 1 回 MRI	1
血液尿検査	1	脳腫瘍	1
月 1 回の注射	1	排便調整 2 回/W	1
月 1 回注射治療	1	排泄障害、脊髄損傷他	1
月 1 回注射貧血	1	半年に 1 回レントゲンで経過観察	1
原発性胆汁性胆管炎	1	皮下注射	1
呼吸器科、肺、リンパ、泌尿器科、通 院	1	病院を受診し定期的検査を受けてい る	1
高血圧 てんかん	1	服薬のみ	1
高血圧、狭心症	1	福祉医療費受給	1
高血圧、糖尿	1	補聴器	1
左足膝関節炎治療中	1	訪問看護	2
在宅酸素	2	網膜静脈閉塞症光凝固術	1
在宅酸素療法	1	目薬	2
酸素（吸入）を必要な時もある？02 使用しせず深呼吸でいい	1	薬	4
酸素ボンベ	1	浣腸・導尿	1
酸素濃縮器	1	鍼灸とリハビリ運動	1

2 調査の結果

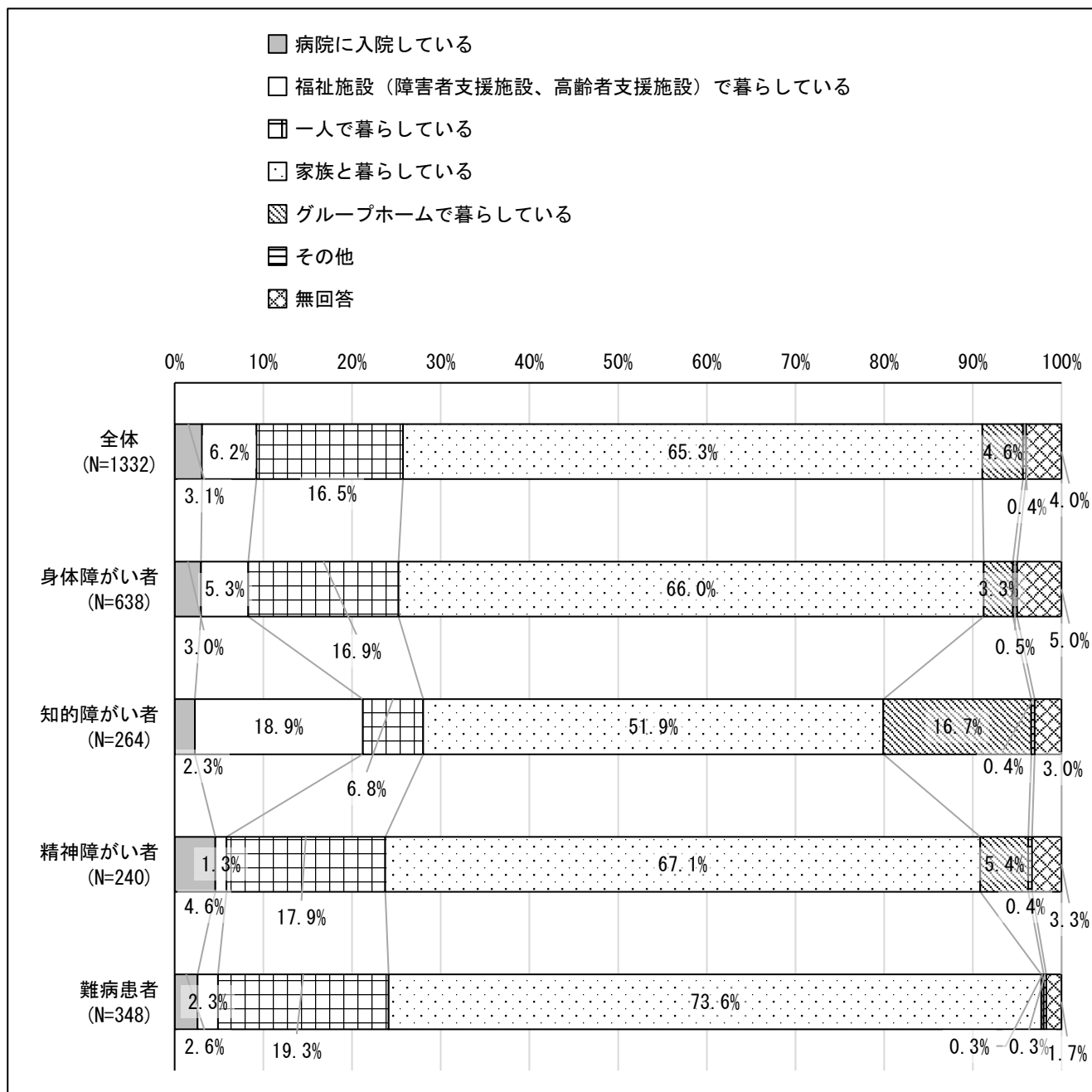
障がい種別クロス集計結果



- 他の障がい種別と比較して割合が高いのは、難病患者の「服薬管理」、身体障がい者の「透析」「ストマ」であった。

2-2 生活状況

問15 あなたは現在どのように暮らしていますか。（1つに○印）



■ その他回答

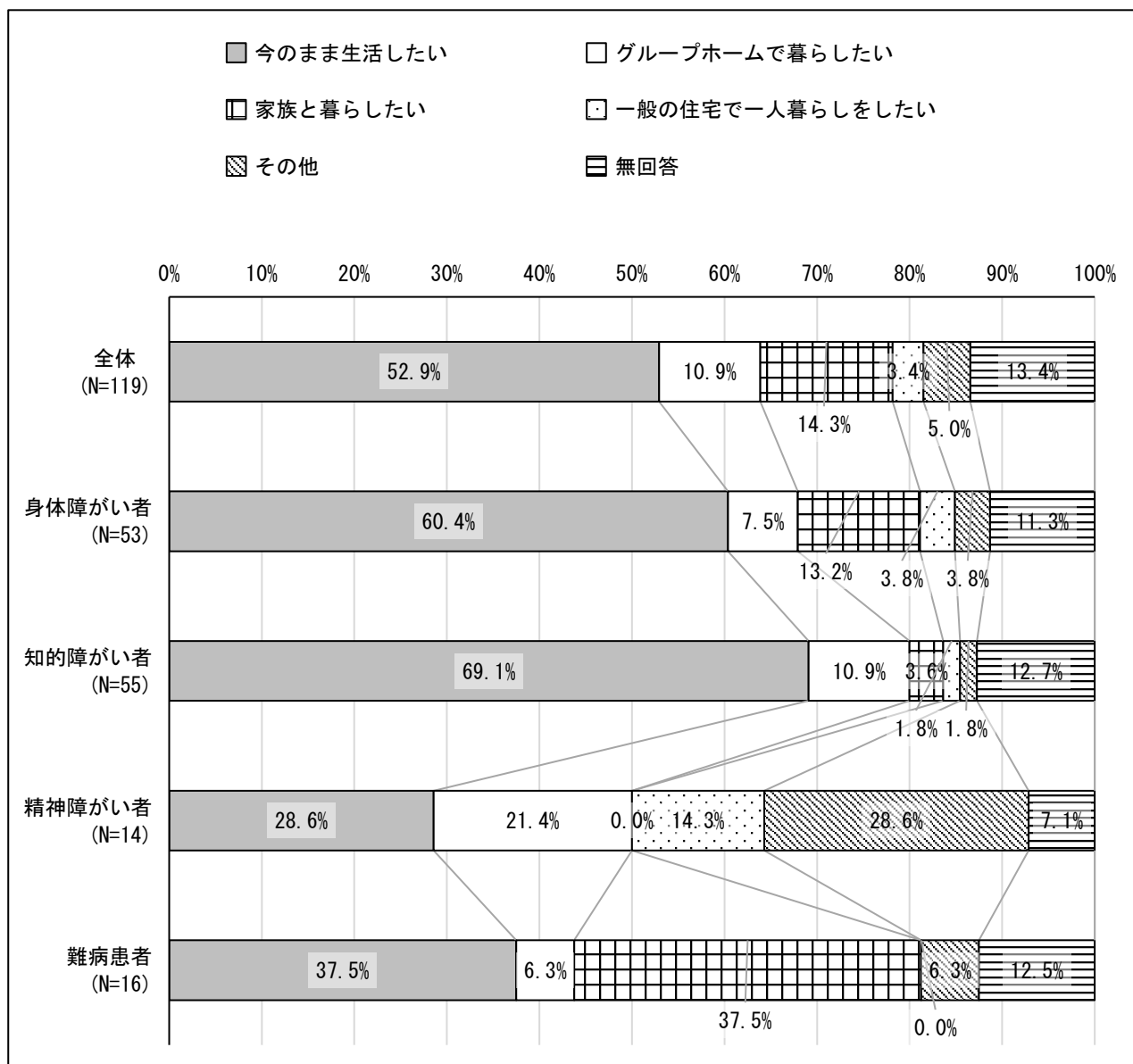
寮で1人暮らし（県外の所） 1件

- 全障がい種別で「家族と暮らしている」と回答した割合が最も高くなっているが（51.9%～65.8%）、知的障がい者に限っては、「一人で暮らしている」が他より低く、その分「福祉施設」、「グループホームで暮らしている」の割合が高くなる傾向がある。

2 調査の結果

問 15 (1) あなたは将来どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

※問 15で「病院に入院している」または「福祉施設で暮らしている」を選択した方のみ



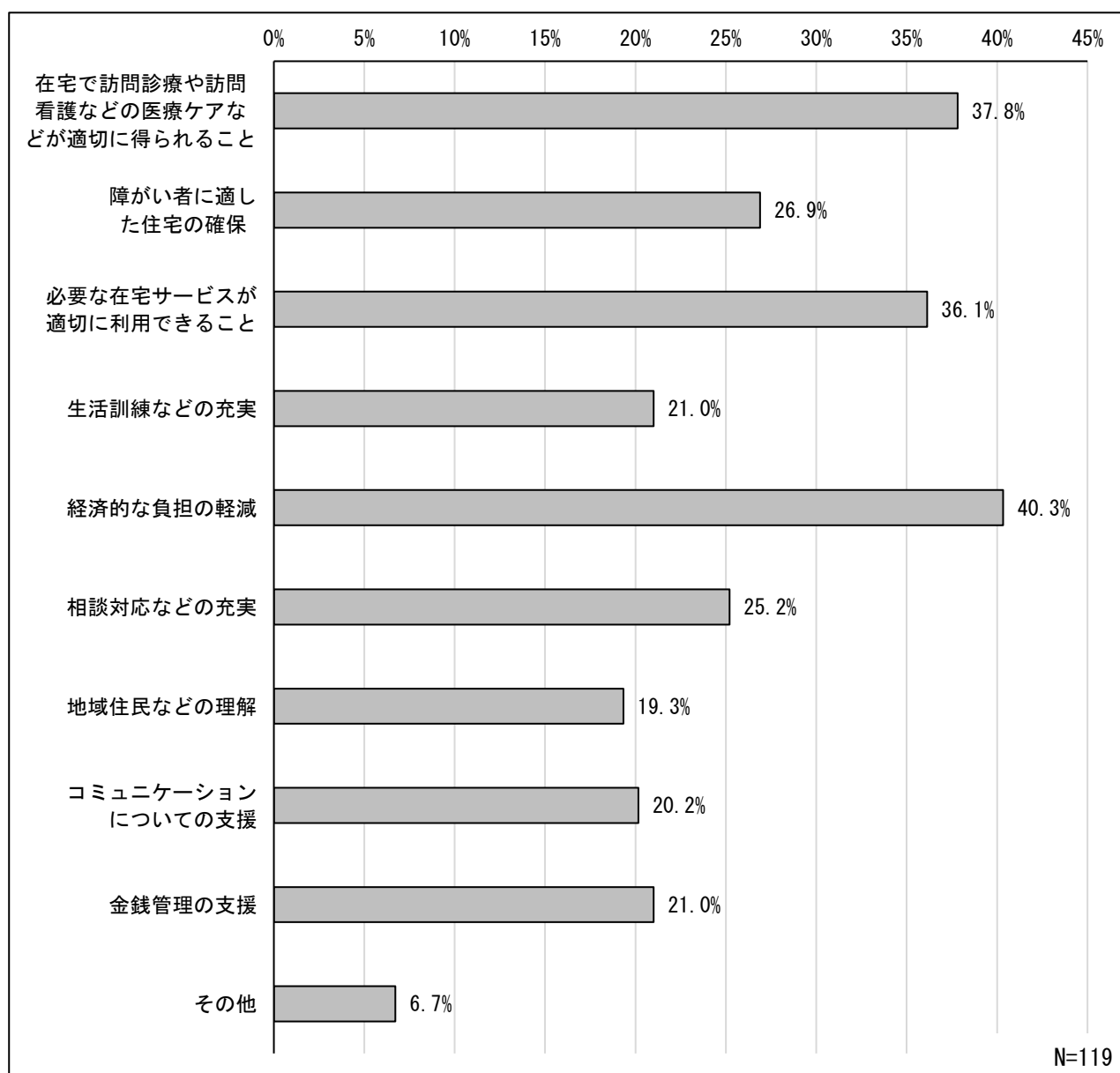
■ その他回答

わからない・不明・未定(8)、病院(1)

- 身体障がい者、知的障がい者では、「今のまま生活したい」と回答した割合が最も高くなっている。
- 精神障がい者では、「今のまま生活したい」の他、「その他」「グループホームで暮らしたい」「一般の住宅で一人暮らしをしたい」の回答割合が他の障害と比較して高い割合を示すが、逆に「家族と暮らしたい」と回答した人はいない。
- 難病患者では「今のまま生活したい」と同じ割合で「家族と暮らしたい」が高い割合だった。

問15(2) 地域で生活するためには、どのような支援があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

※問15で「病院に入院している」または「福祉施設で暮らしている」を選択した方のみ

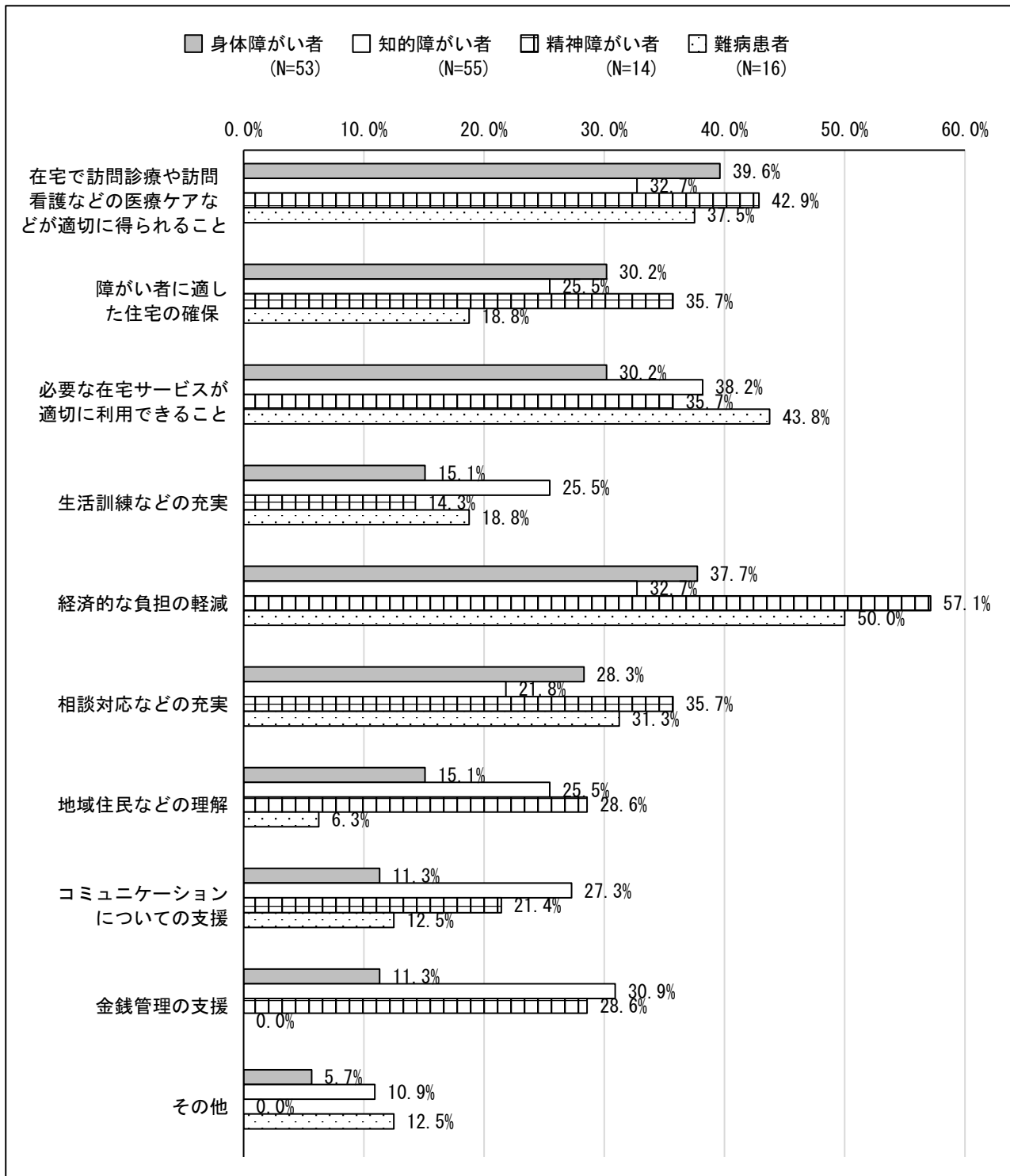


■ その他回答

わからない(6)、独身者への対応(1)

2 調査の結果

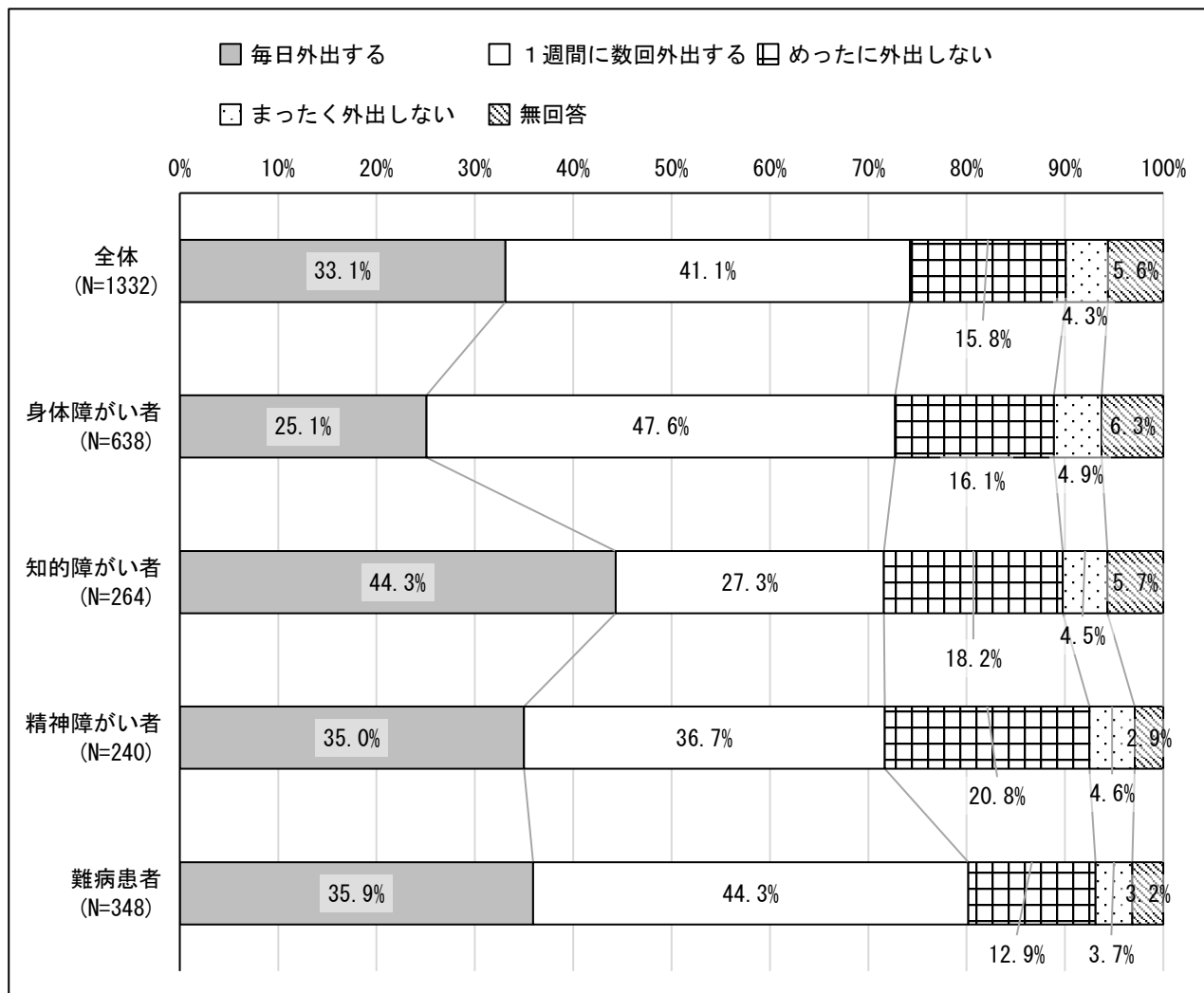
■ 障がい種別クロス集計結果



- 身体障がい者では、「在宅で訪問診療や訪問看護などの医療ケアなどが適切に得られること」が、最も高い割合であった。
- 知的障がい者では、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が、最も高い割合であった。
- 精神障がい者、難病患者では、「経済的な負担の軽減」が最も高い割合であった。
- 障害種別による比較では、身体障がい者は、全項目において他の障がい種別より比較的低い割合を示す。知的障がい者では、「生活訓練などの充実」が他の障がい者と比較して高い。精神障がい者では、「経済的な負担の軽減」が他の障がい者と比較して高い。

2-3 外出状況

問16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(1つに○印)

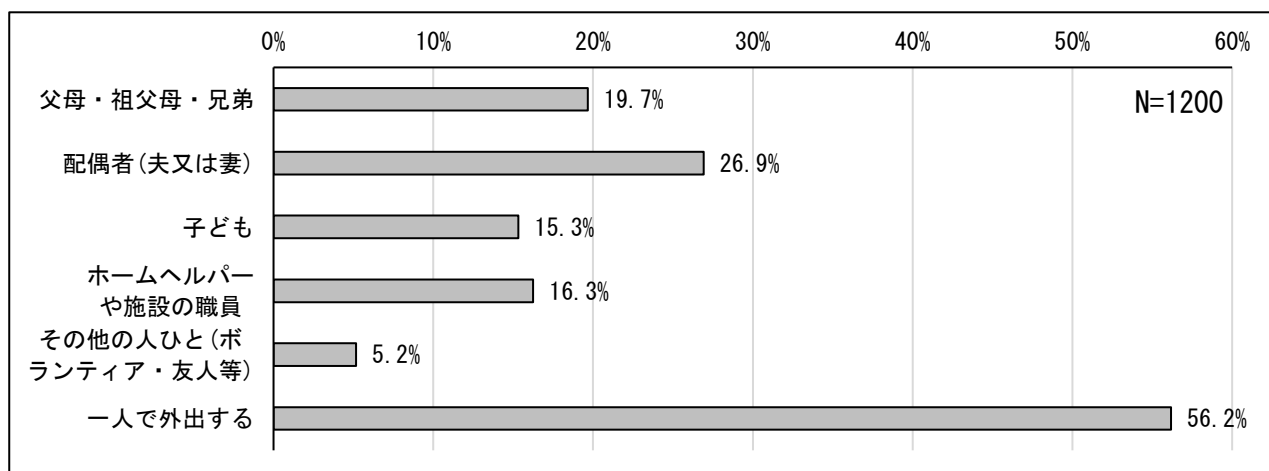


- どの種別においても「毎日外出する」、「1週間に数回外出する」の合計は70%を超えている。ただし、知的障がい者のみが、「毎日外出する」が「1週間に数回外出する」を上回っている。

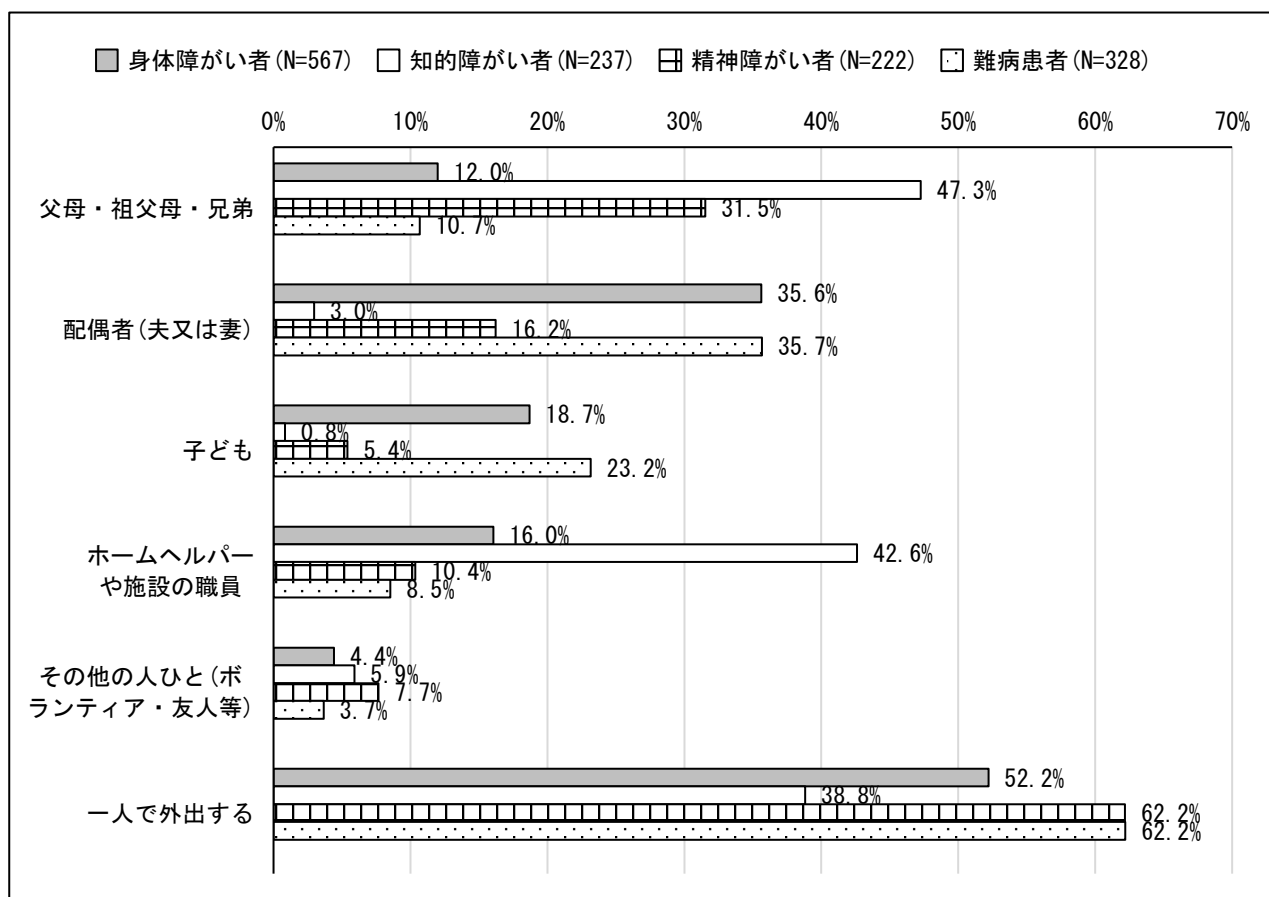
2 調査の結果

問 1 6 (1) あなたが外出する時は、主に誰と一緒にですか。(あてはまるものすべてに○印)

※問 1 6 で「毎日外出する」「1 週間に数回外出する」「めったに外出しない」を選択した方のみ



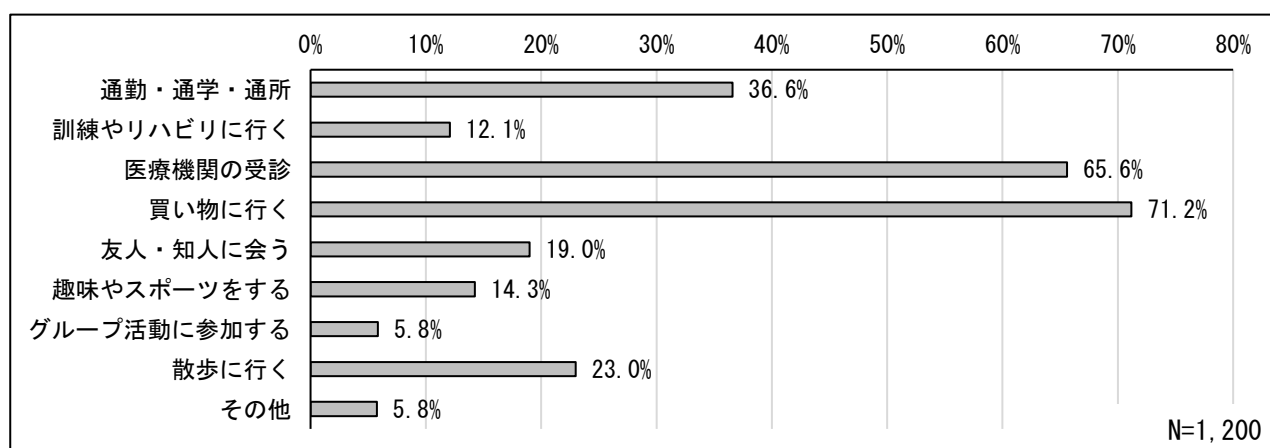
■ 障がい種別クロス集計結果



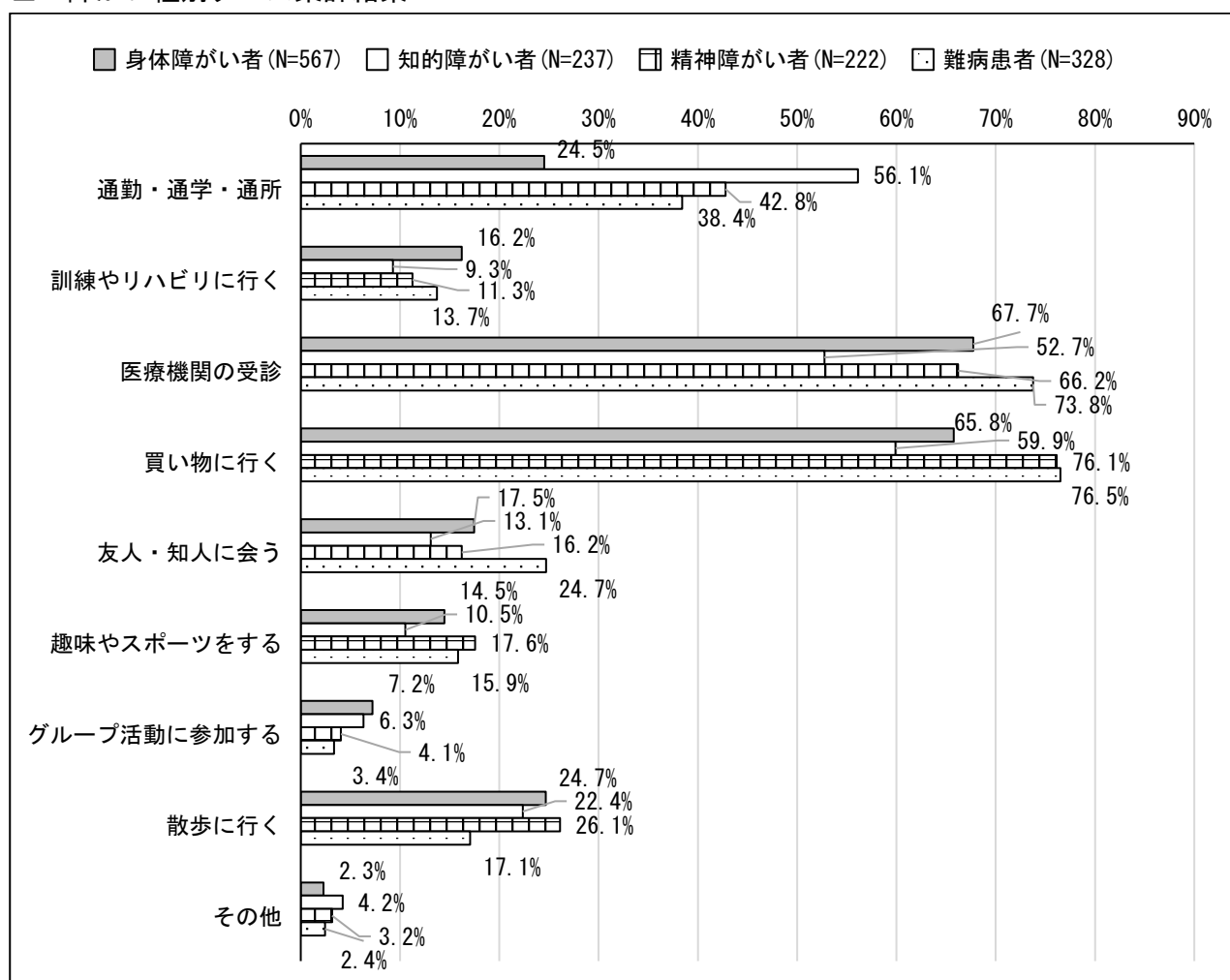
- 身体障がい者、難病患者では、「一人で外出する」が最も高い割合となっている。他の障害と比較すると、「配偶者」、「子ども」が高い割合となっている。
- 知的障がいでは、「父母・祖父母・兄弟」に集中しており、47.3%となっている。続いて、「ホームヘルパーや施設の職員」、「一人で外出する」の順になっている。特に、「ホームヘルパーや施設の職員」は他の障がい種別と比較しても極めて高い割合となっている。
- 精神障がい者では、「一人で外出する」に回答が集中している(62.2%)。これ以外の項目は、他の障害種別と比較すると低い割合となっている。

問16(2) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○印)

※問16で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「めったに外出しない」を選択した方のみ



障がい種別クロス集計結果



- 全障がい種別で「医療機関の受信」、「買い物に行く」と回答した割合（52.7%～76.1%）が最も高くなっている。また、知的障がい者のみは、「通勤・通学・通所」も56.1%と多く回答されている。

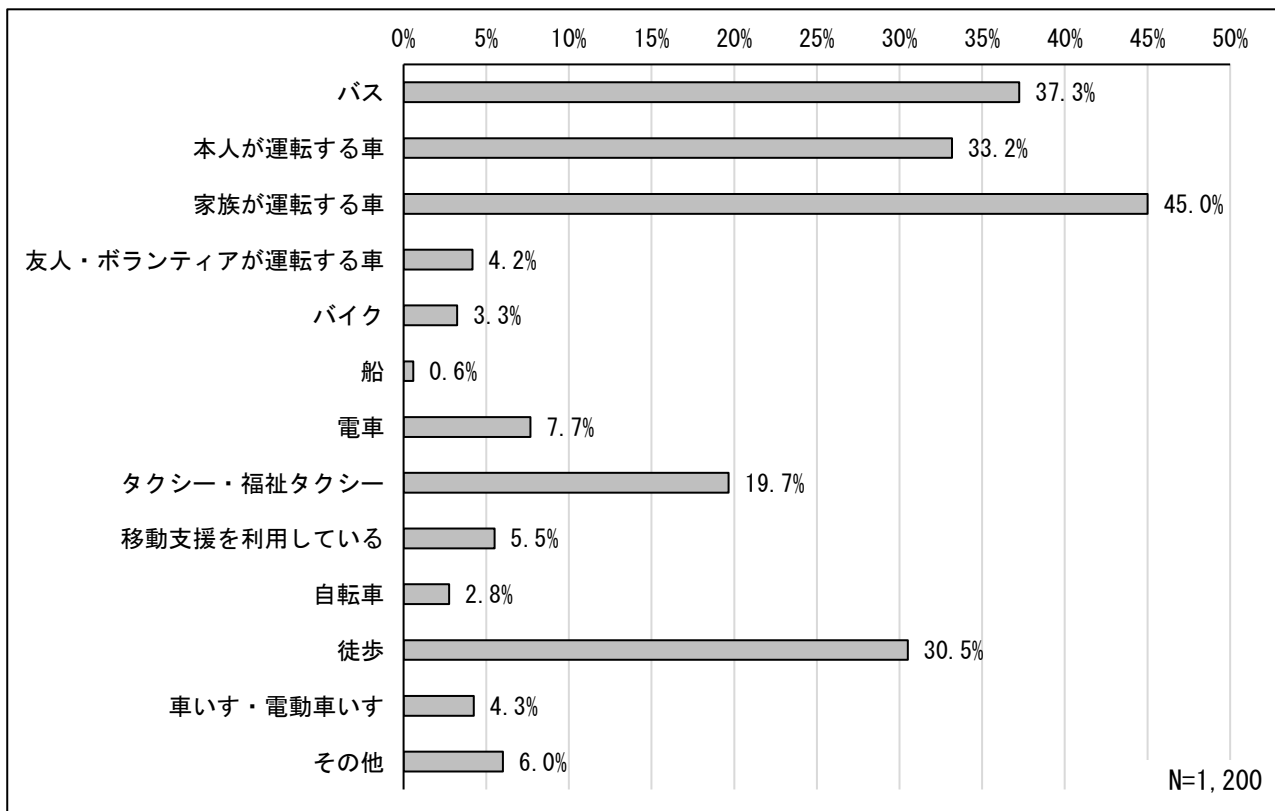
2 調査の結果

■ その他回答

その他	件数
いろいろ	1
ゴミ出し	1
兄弟に会う	1
行政書類や母の看病	1
仕事	7
子どもの送迎	1
子供の送迎	2
子供の送迎等	1
床屋	1
祖父母宅へ（帰省）	1
地域活動支援センターに行く	1
母親の見舞い（入院中）	1

問１６（３）外出するときは何を使いますか。（あてはまるものすべてに○印）

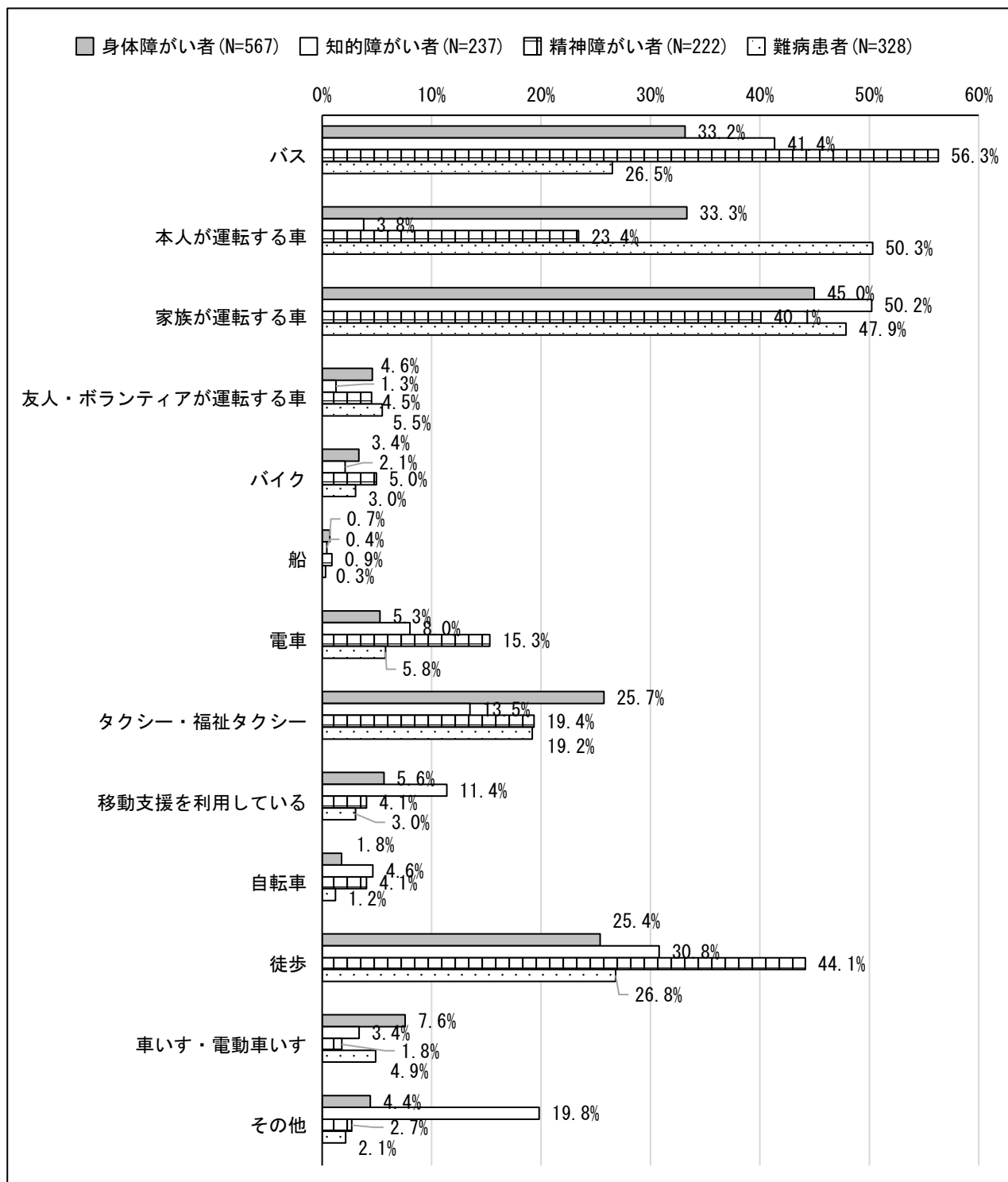
※問１６で「毎日外出する」「１週間に数回外出する」「めったに外出しない」を選択した方のみ



■ その他回答

施設送迎車（16）、飛行機（1）

障がい種別クロス集計結果

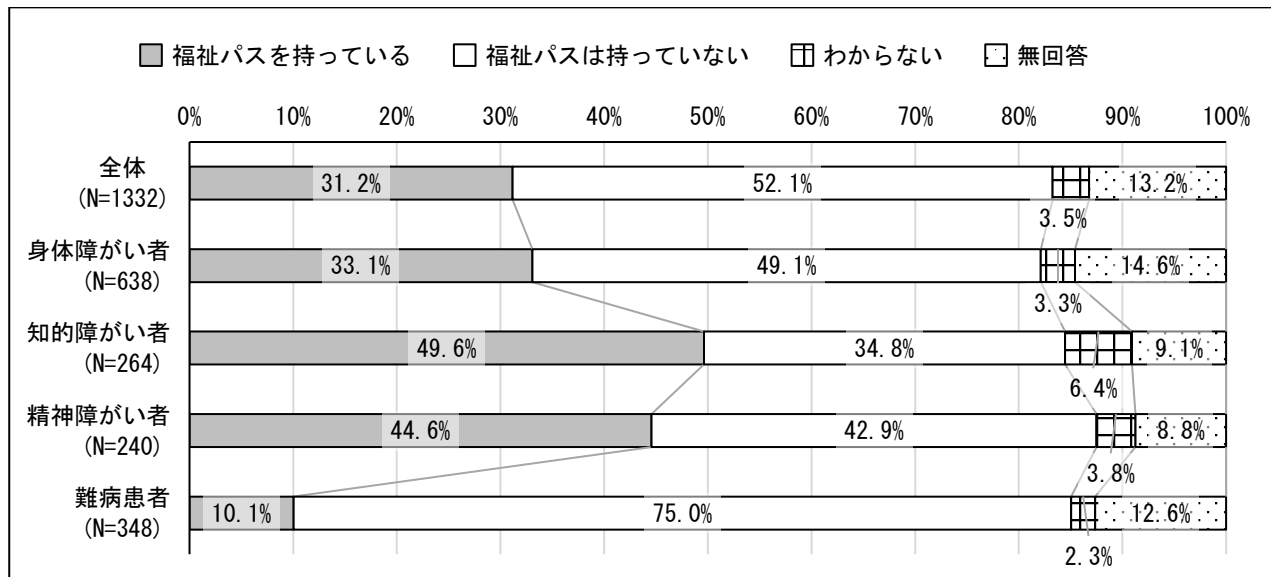


- 身体障がい者で最も高い割合は、「家族が運転する車」であった。続いて「本人が運転する車」、「バス」となっている。
- 知的障がい者で最も高い割合は、「家族が運転する車」であった。続いて「バス」、「徒歩」となっている。
- 精神障がい者で最も高い割合は、「バス」であった。続いて「徒歩」、「家族が運転する車」となっている。
- 難病患者で最も高い割合は、「本人が運転する車」であった。続いて「家族が運転する車」となっている。

2 調査の結果

2-4 福祉パスについて

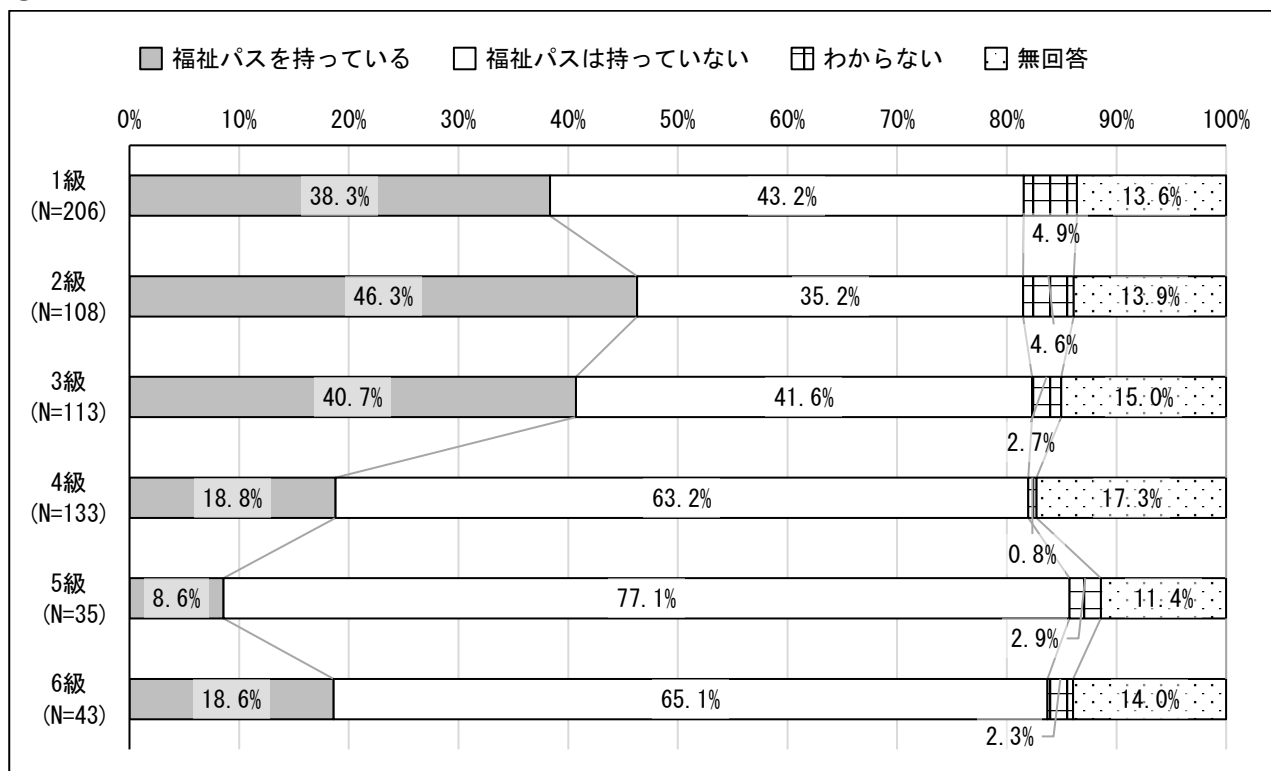
問17 あなたは、「福祉パス」を持っていますか。(1つに○印)



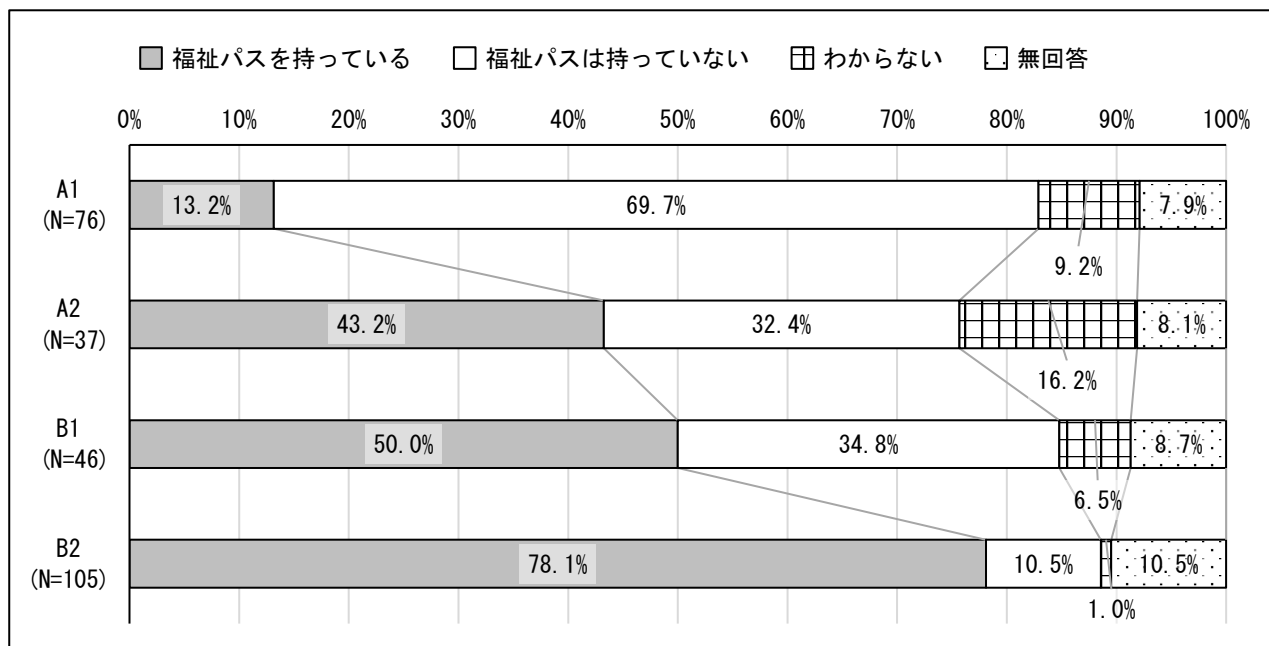
- 身体障がい者のみが、「福祉パスは持っていない」と回答した割合が、「福祉パスを持っている」と回答した割合を上回っている。
- 難病患者では「福祉パスを持っている」と回答した割合は、他の障がい種別と比較して極端に低い割合となった。

■ 障がい種別集計

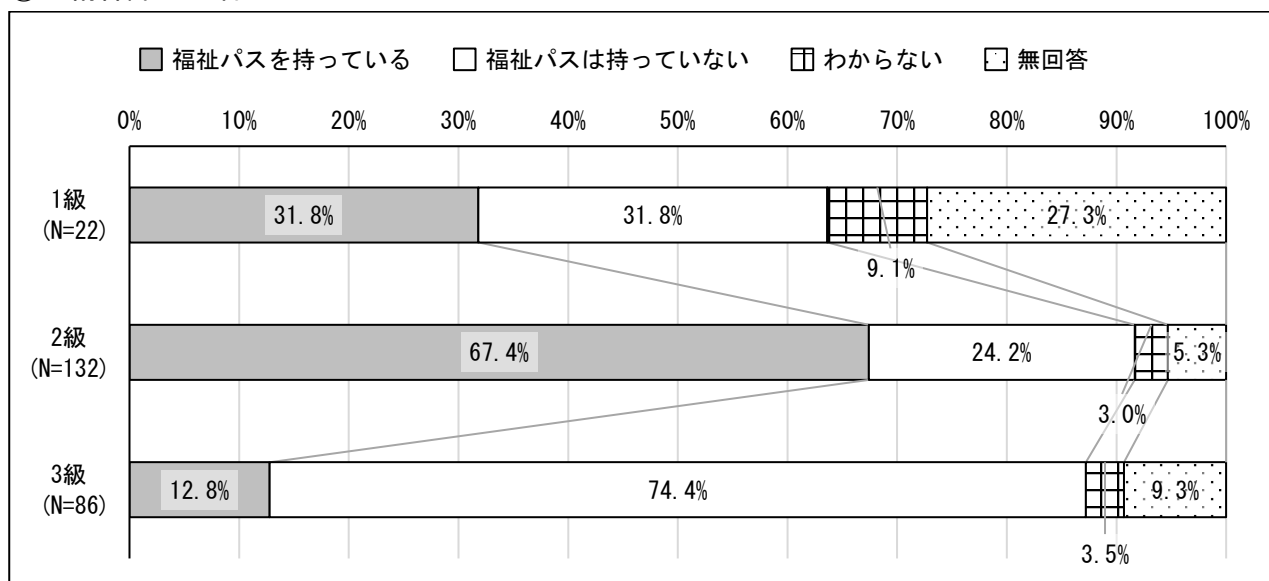
① 身体障がい者



② 知的障がい者



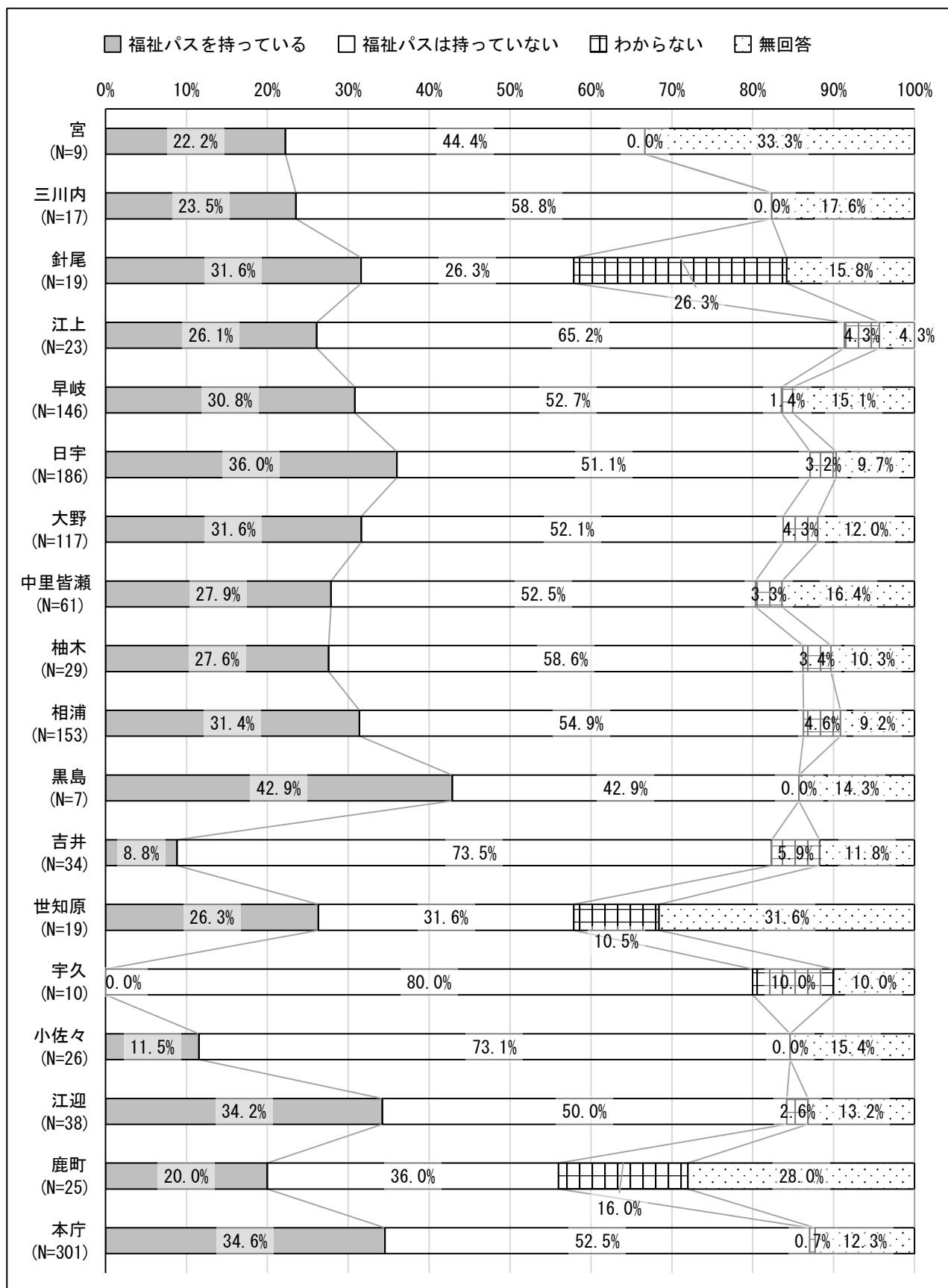
③ 精神障がい者



- 身体障がい者では、「福祉パスを持っている」と回答した割合が最も高かったのは「2級」だった。級が下がるにつれこの割合は減少する傾向にある。ただし、「1級」においては「2級」より下回った。
- 知的障がい者では、級が下がるにつれ「福祉パスを持っている」と回答した割合が増加する傾向にある。
- 精神障がい者における「福祉パスを持っている」と回答した割合は、「2級」が突出して高い結果となった。

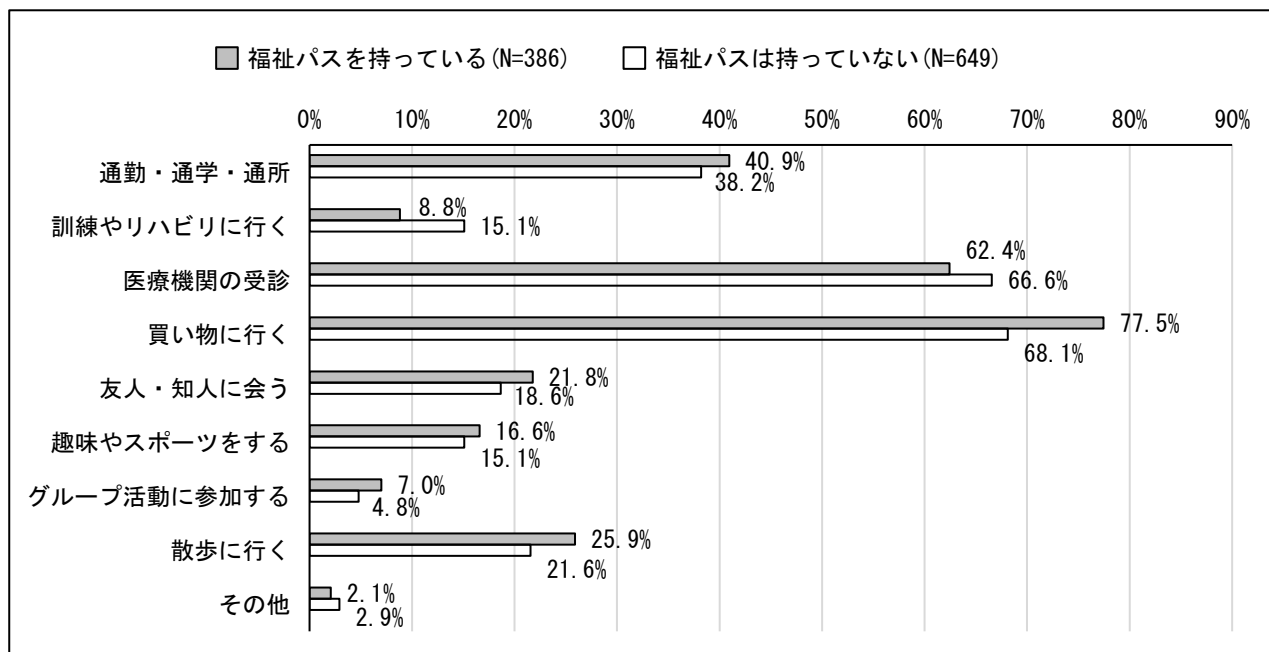
2 調査の結果

■ お住まいの地区とのクロス集計



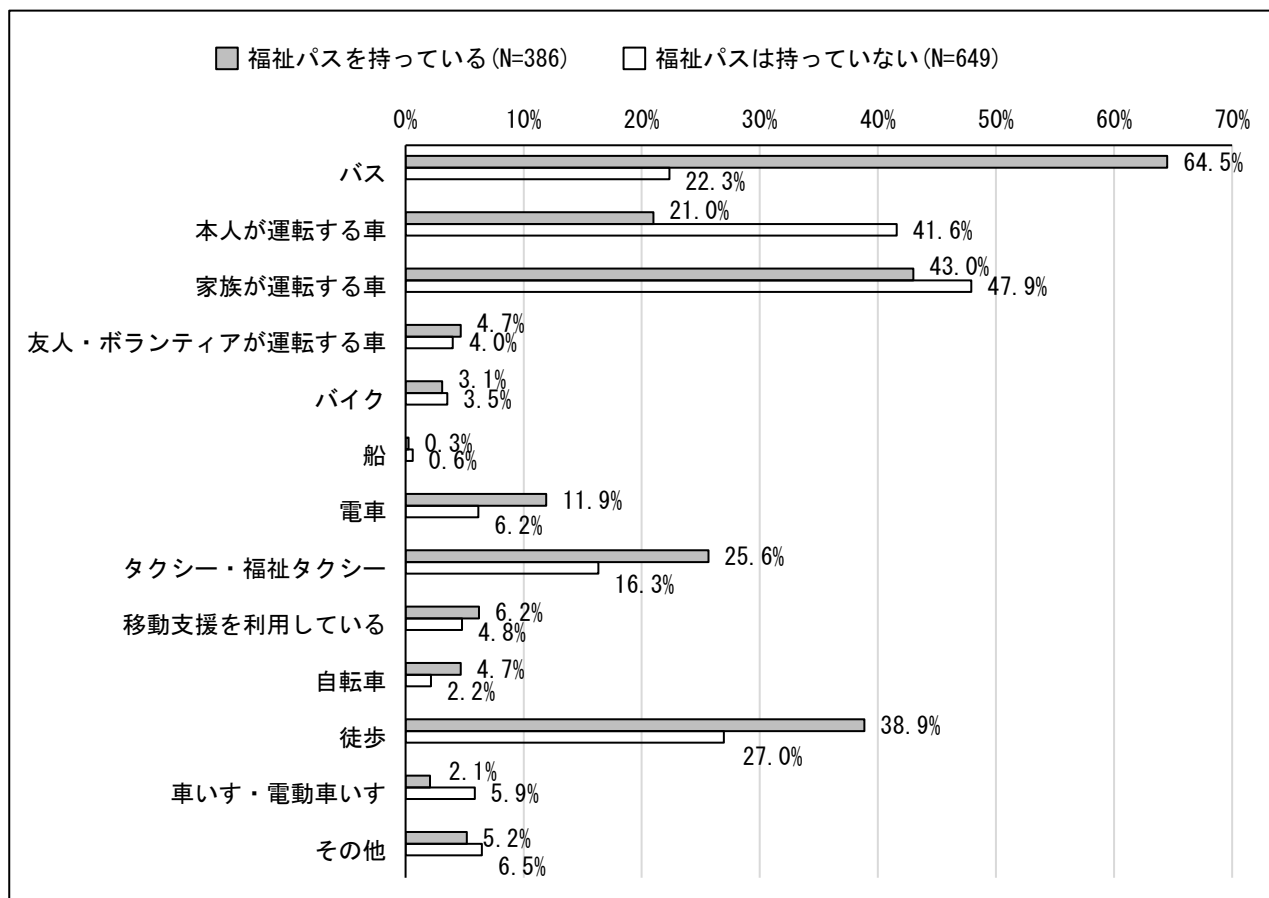
● 「福祉パスは持っていない」と回答した割合は、「宇久」「吉井」「小佐々」の順となった。

■ 「福祉パスの有無」と「外出目的」とのクロス集計



- 「福祉パスは持っている」「福祉パスは持っていない」と回答した人別の「外出目的」は同じ傾向を示す。

■ 「福祉パスの有無」と「外出方法」とのクロス集計

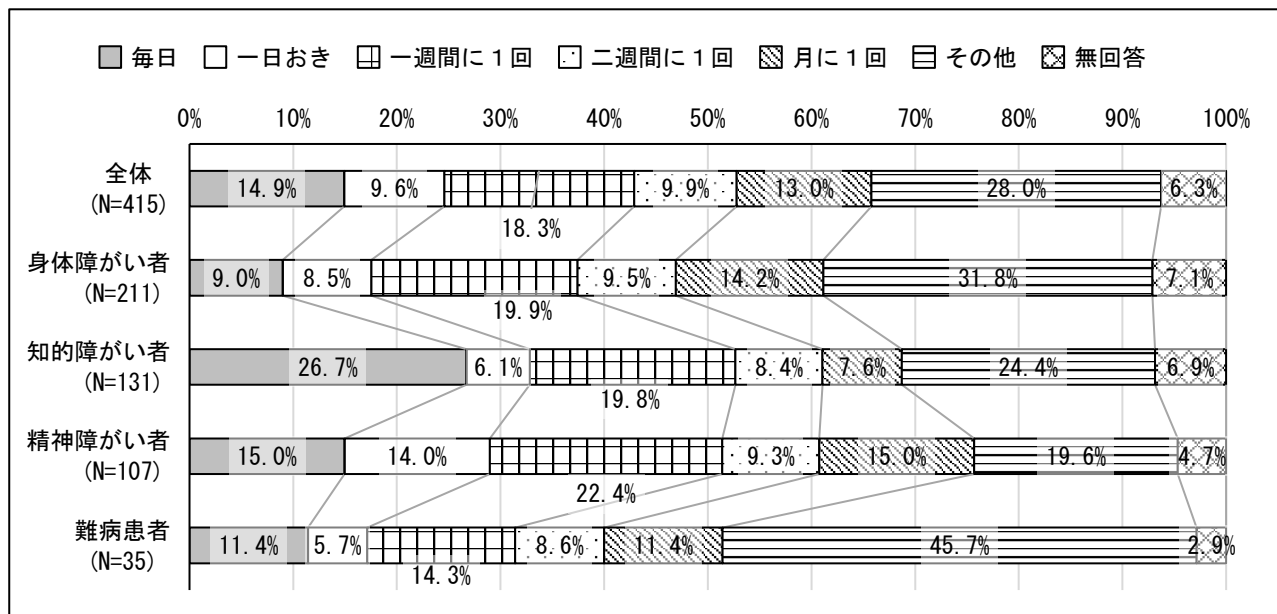


- 「福祉パスは持っていない」と回答した人の「外出方法」は、「家族が運転する車」、「本人が運転する車」、「徒歩」の順番となった。

2 調査の結果

問 17 (1)「福祉パス」の利用頻度を教えてください。(1つに○印)

※問 17で「福祉パスを持っている」を選択した方のみ

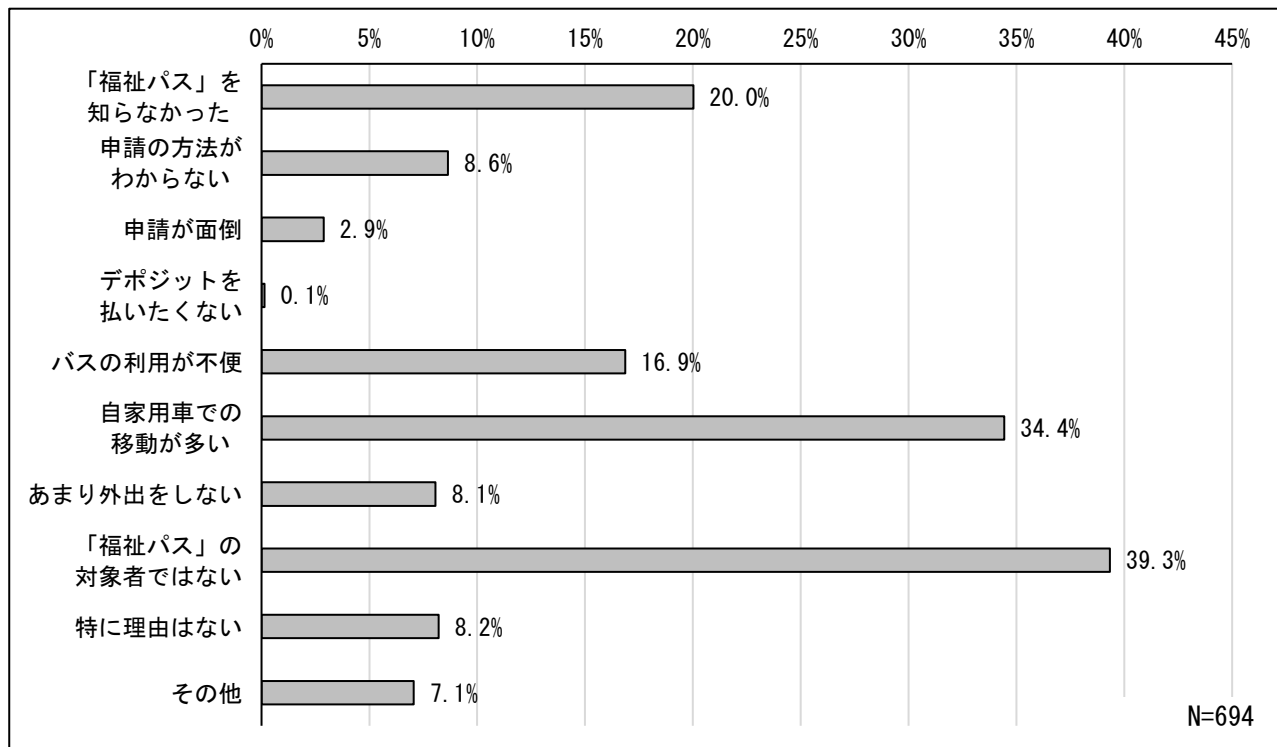


■ その他回答

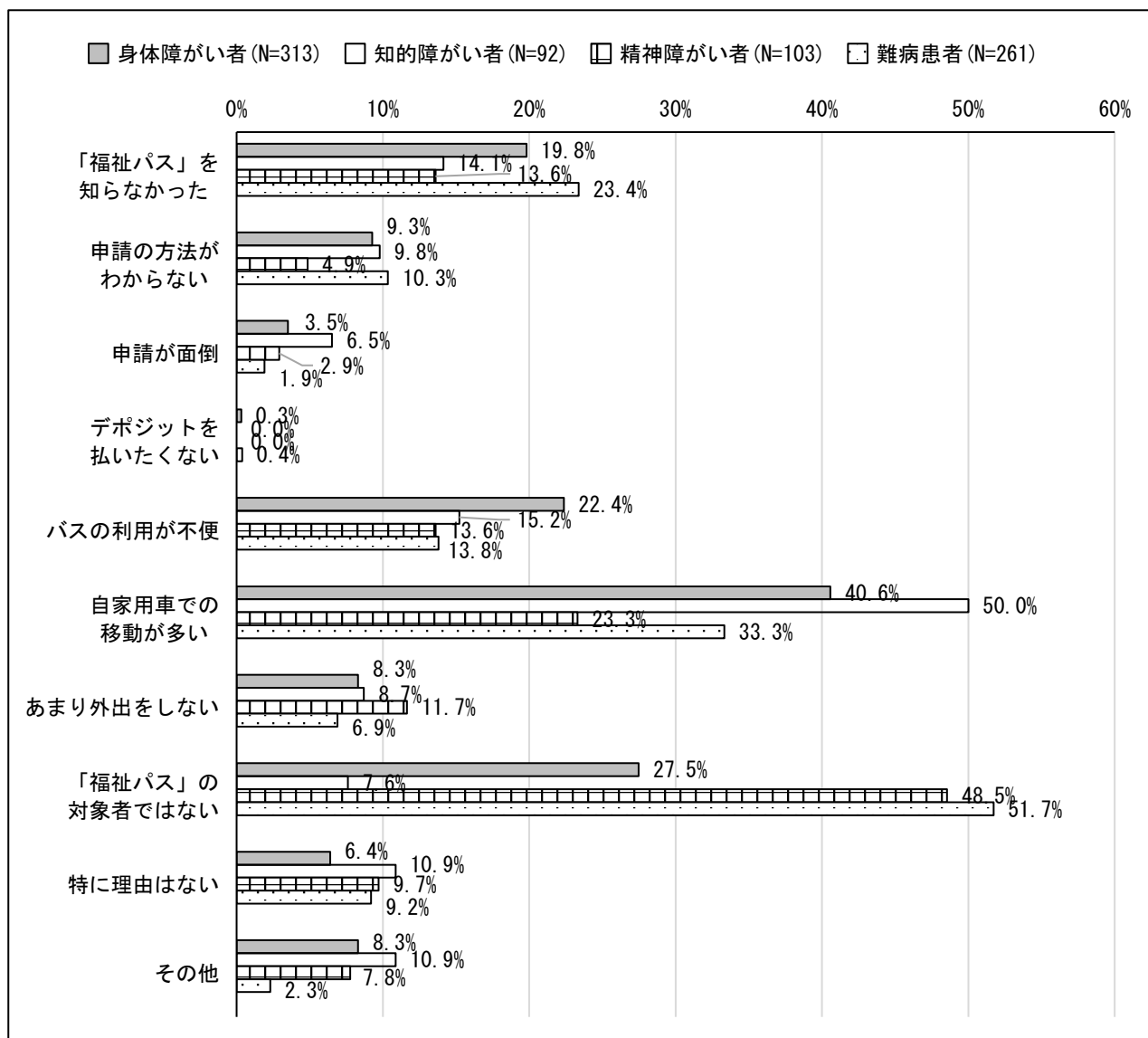
ほとんど使っていない(50)、年に数回(32)

- 身体障がい者・難病患者では「その他」が、知的障がい者では「毎日」、精神障がい者では「一週間に1回」が最も高い割合となっており、障がい種別によって異なる結果となった。
- その他(116)の内、62%が「ほとんど使っていない」及び「年に数回」と答えている。

問 17 (2)「福祉パス」を持っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)



■ 障がい種別クロス集計結果



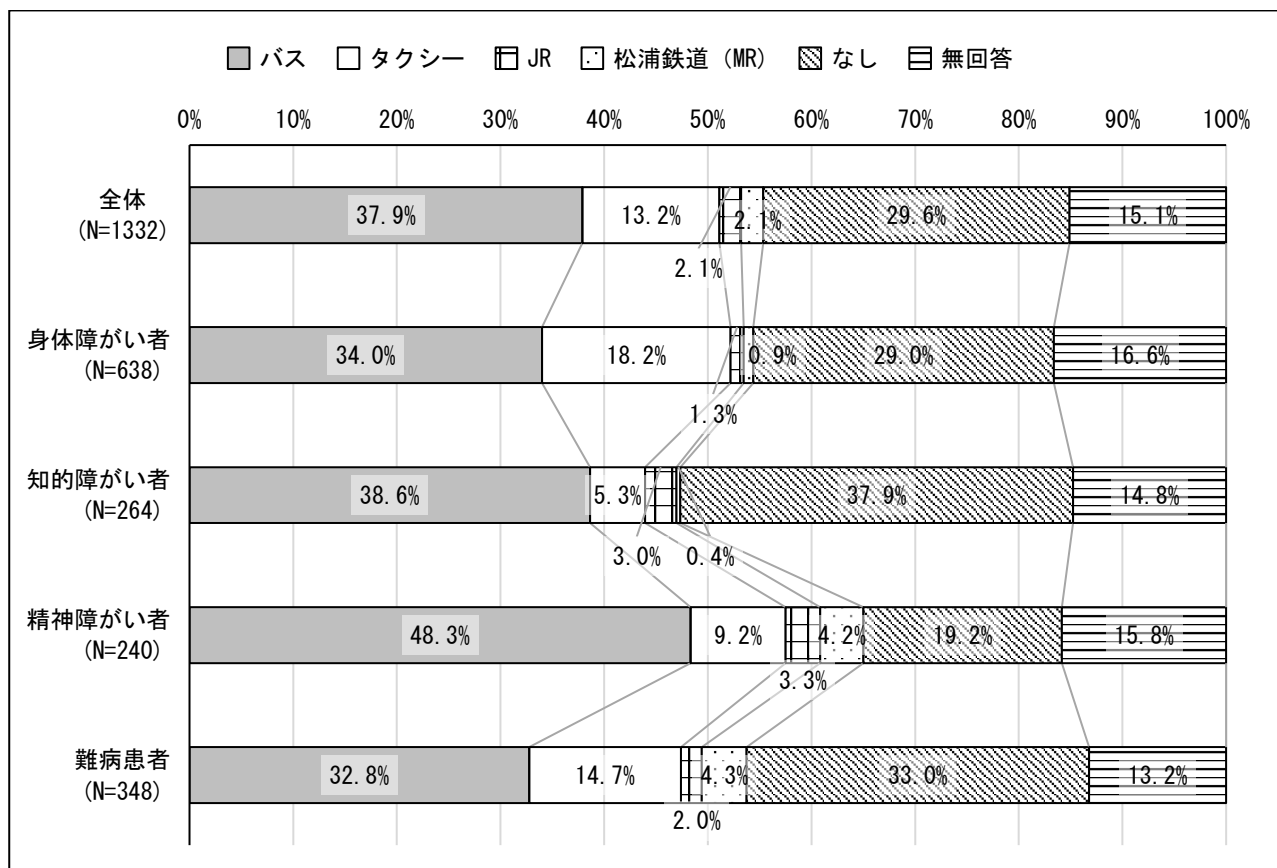
■ その他回答

その他	件数	その他	件数
(継続) 申請していない	5	身体障害手帳で割引	3
敬老パス使用	8	精神的・体調的に乗れない	14
施設送迎	5	必要がない・利用する時がない	3
病院・施設入所中	7		

- 身体障がい者及び知的障がい者では、「自家用車での移動が多い（あなた自身の運転、家族の運転）」が、精神障がい者・難病患者では「『福祉パス』の対象者ではない」が最も高い回答となった。
- 身体障がい者及び・難病患者は、他の障がい種別と比較して「『福祉パス』を知らなかった」と回答した割合が高い。
- その他の理由では、「精神的・体調的に乗れない」、「敬老パス使用」、「病院・施設入所中」の順となっている。

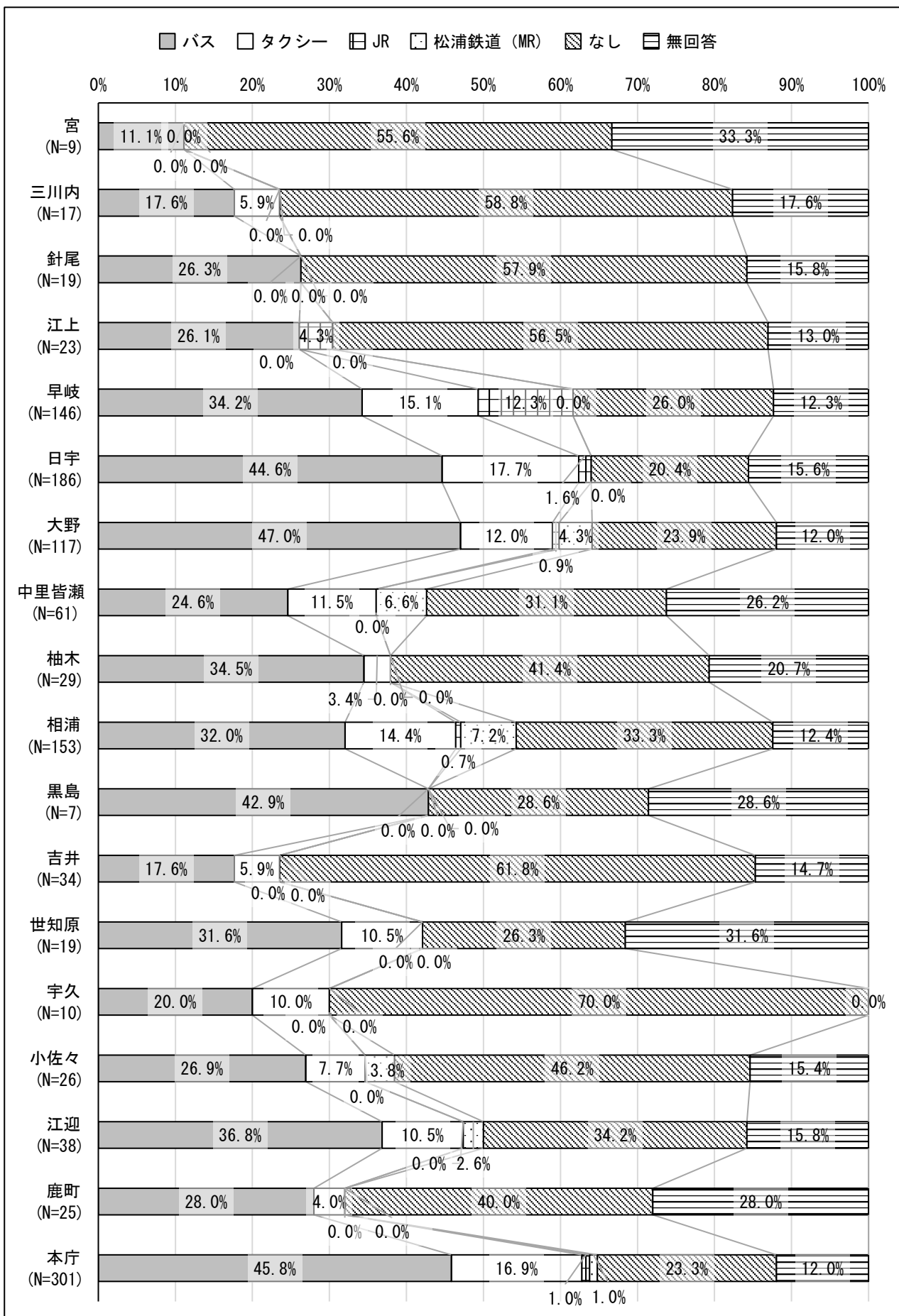
2 調査の結果

問 17 (3) お住いの地域で最も利用する交通機関を教えてください。(1つに○印)



- 全障がい種別及び難病患者で「バス」が最も高い割合となっている。身体障がい者・難病患者に限っては、「タクシー」の割合が高い傾向にある。

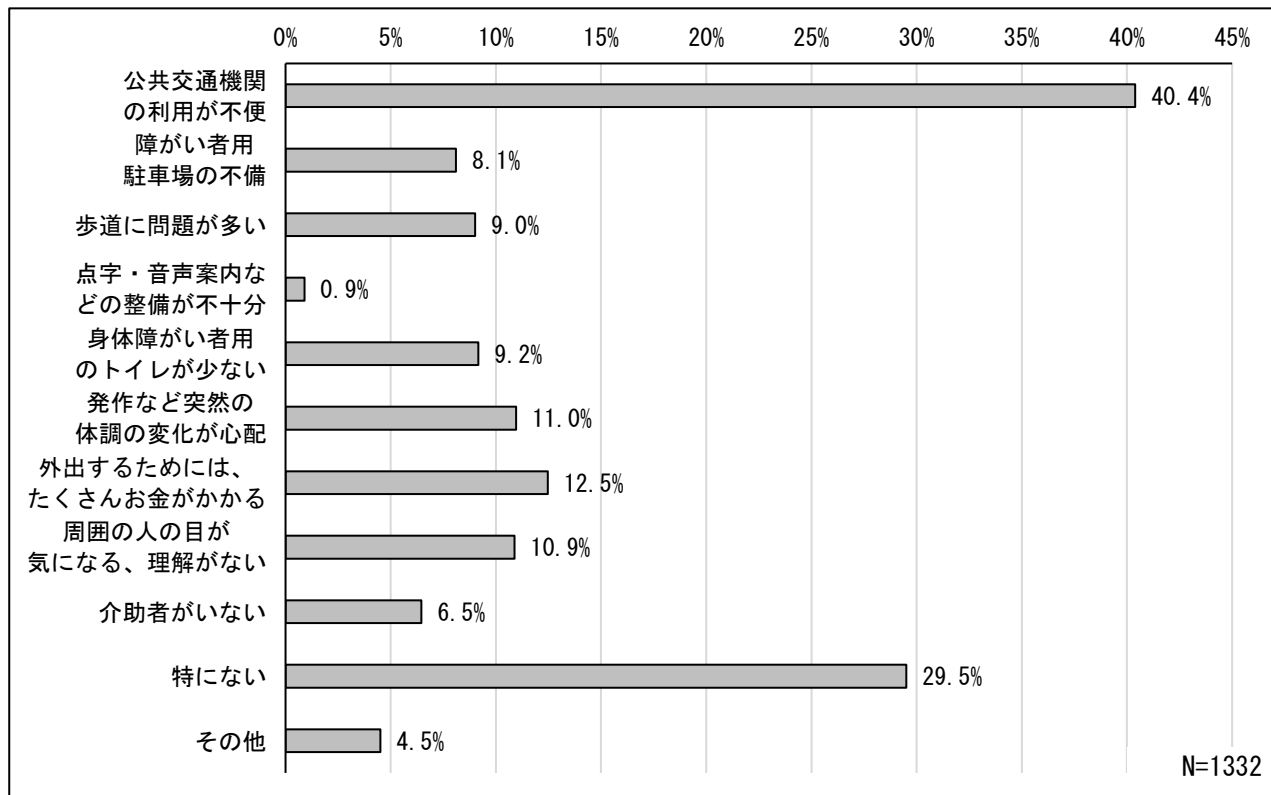
■ お住まいの地区とのクロス集計



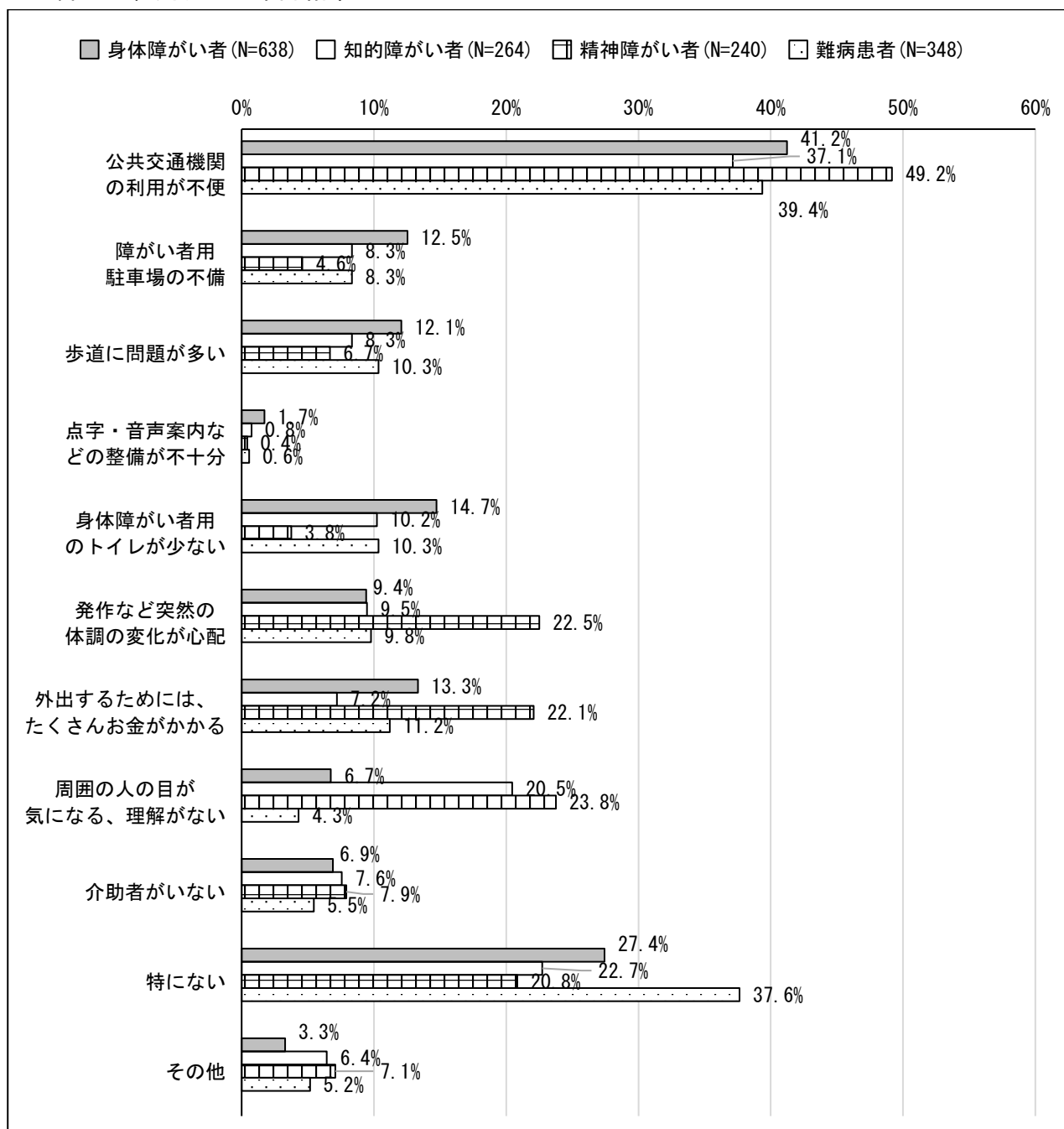
2 調査の結果

2-5 外出時や生活での困りごとについて

問18 外出するとき、不便に感じたり困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）



障がい種別クロス集計結果



- 全障がい種別及び難病患者ともに「公共交通機関の利用が不便(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)」が最も高い割合となっている。
- 身体障がい者が他の障がい種別と比較して高い割合を示すのは、「障がい者用駐車場の不備、または少ない」、「身体障がい者用のトイレが少ない・利用しにくい」であった。
- 知的障がい者が他の障がい種別と比較して高い割合を示すのは、「周囲の人の目が気になる、理解がない」であった。
- 精神障がい者が他の障がい種別と比較して高い割合を示すのは、「発作など突然の体調の変化が心配」、「外出するためには、たくさんお金がかかる」、「周囲の人の目が気になる、理解がない」であった。
- 難病患者が他の障がい種別と比較して高い割合を示すのは、「特にない」であった。

2 調査の結果

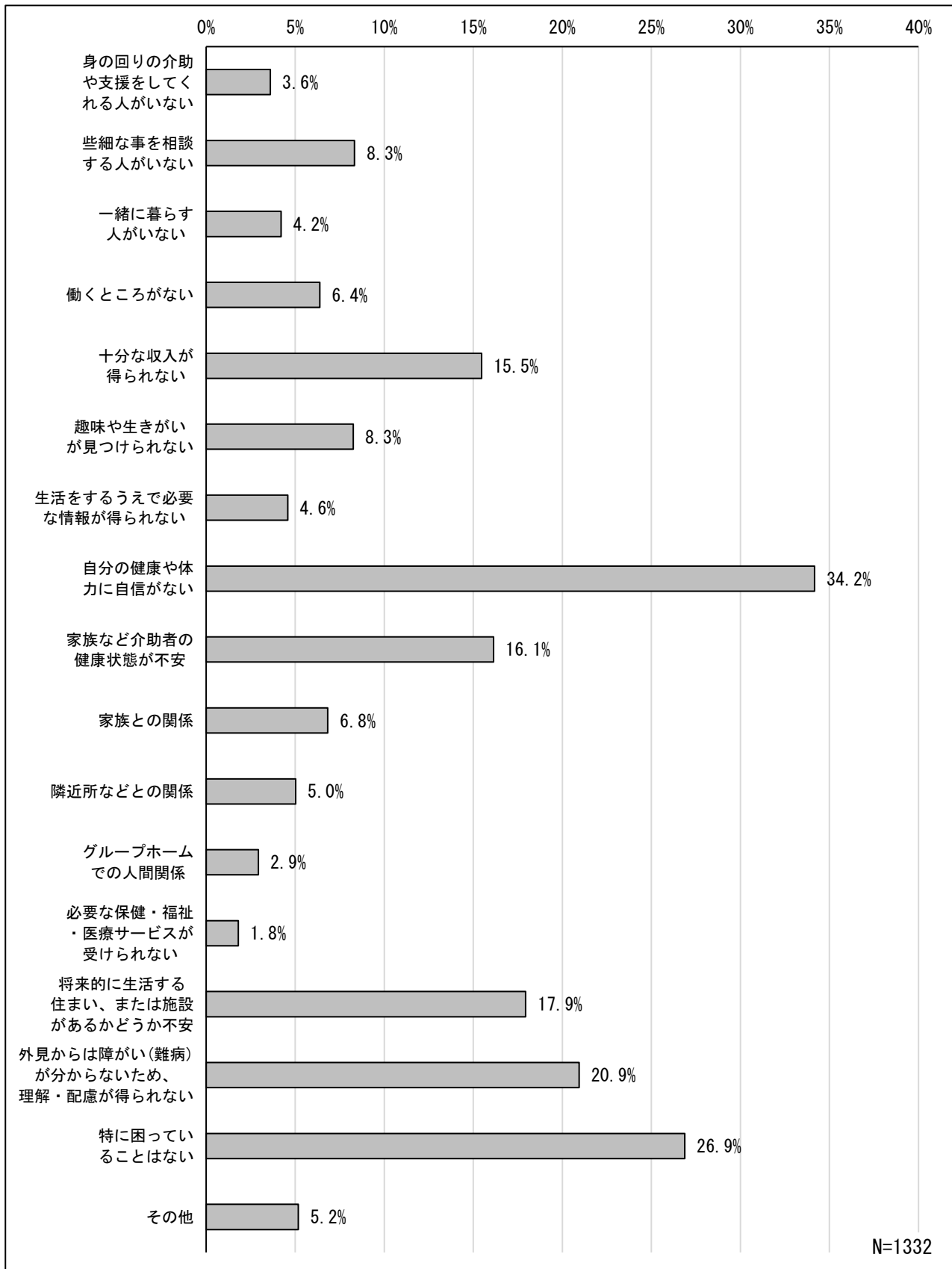
■ その他回答

性別	年齢	その他
女性	33	キャッシュレス決済ができない所が多く、手指が動かしづらい時に不便（計算も難しい）。公共交通機関や市営サービスなどの割引はあるが、体調的にそもそも利用が出来ない。割引率が低すぎるのでタクシー移動が通院に使いづらい。障害者手帳が紙なので持ち物がただでさえ多いのにかさばる。カード型などにしてほしい。Or デジタル化を希望
女性	85	タクシーの割引き、料金に長距離の時の割引きをお願いします。
男性	52	タクシー代が高額
男性	44	バスで使うニモカ（無料）で行ける範囲が狭い
女性	70	バスの乗車料金が高い
女性	94	バス停に屋根、椅子が欲しい。
男性	85	バス停まで、長い階段、坂道、上り、下がりが多い
女性	57	意思疎通が困難なため不可
男性	26	移動支援を利用しなくても、受けてくれる事業所がない。（そもそも移動支援をやっている事業所が少ない）
女性	69	一人での行動は好きで、福祉パスはとてもありがたい
女性	51	一人で外出できない
男性	56	何でも一人でするのは困難
女性	62	家族の協力がなくて外出できないが、家族にも仕事や家庭があるので予定を合わせるのが難しい事がある。
女性	75	介助者（夫）との相互の体調や都合の調整がなかなか折り合わない
女性	69	階段、急な坂が多い。
女性	88	階段があって行けない
男性	82	階段を上り下りしなければならず、身体のバランス、歩行ができるか心配
男性	67	外出する気になれない
女性	36	外出そのものに恐怖があります。
女性	84	外出時は余り困らない
男性	54	街内に座る所が少ない。途中休憩ができない
女性	89	近くにバス停がない
男性	75	現在のところは、自家用車移動なので、ただ車道までが坂で将来は不安
男性	86	今は車に乗れるからいいけど乗れなくなったらどうしよう。ふれあいタクシーがあるけどな
女性	80	時間割表が欲しい
女性	55	自らの外出はない。（出来ないため）
女性	82	車イスで入れるところが少ない。階段や段差が多い。
女性	62	車の駐車時、難病の人は、障がい者用駐車を利用できない
女性	27	車道、歩道が白線でわけてある道路でデコボコが多い
男性	53	障がい者用駐車場に一般車が停まっていて使用できない

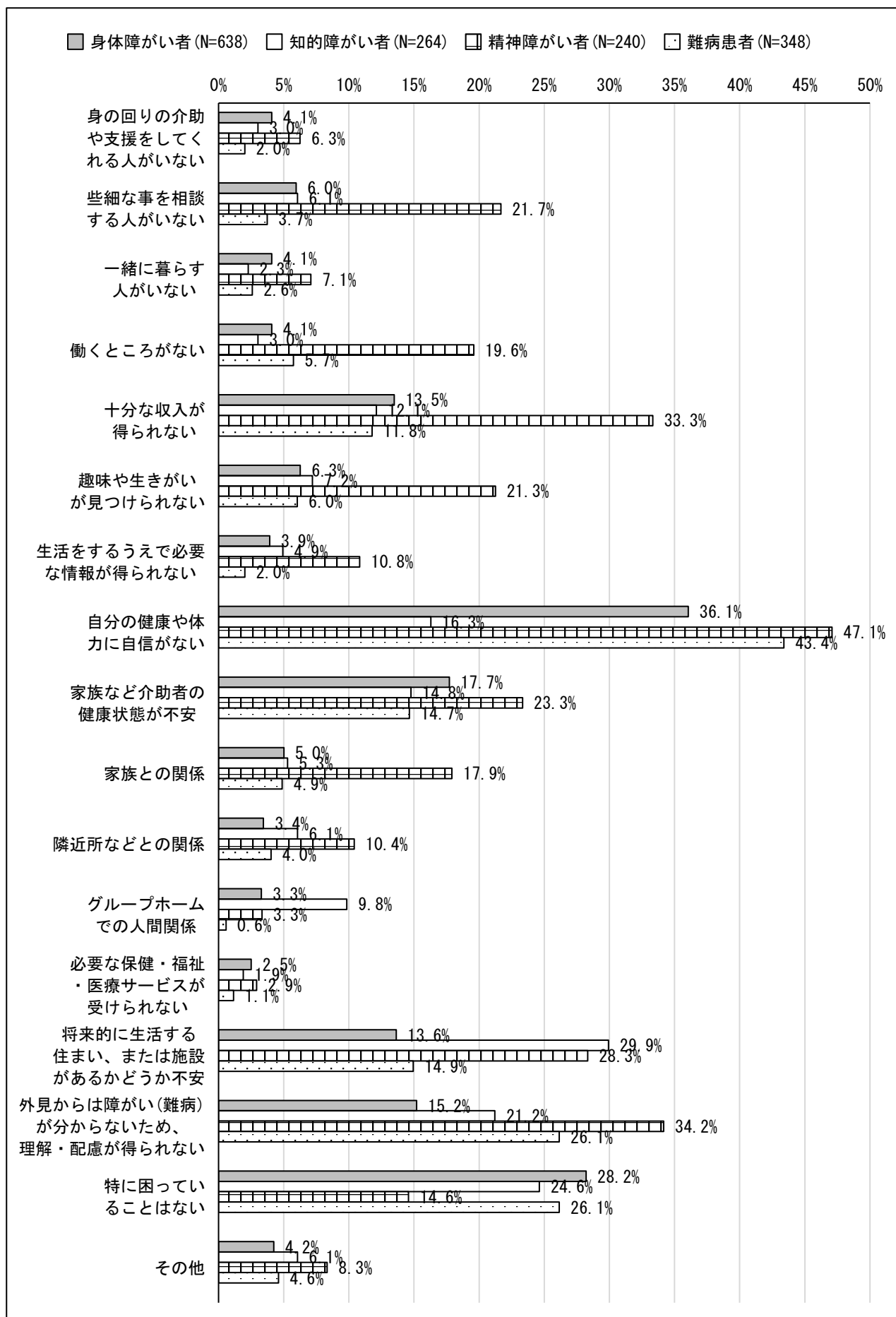
性別	年齢	その他
女性	66	障がい者用駐車場に健常者が駐車してある事が多い
男性	61	息切れ時、呼吸を整えるのに使える椅子が無い。撤去されている。（JR 佐世保駅等）
女性	52	足のうらが火がついたように熱く痛くなり歩くのがつらい
男性	13	知らない場所、人、乗り物に慣れないからパニックになる
女性	31	知らない場所は不安。道もわからない。
女性	69	長く歩くことが出来ないし、足のはり、及感覚がわからなくなる時がある
女性	85	長畑町の病院に通ってるのですが、バスがなくなり1か月に1度タクシーを利用してます
女性	55	天気に左右される（雨天時は杖しようなので傘が持てない。半身不随）
女性	84	徒歩時転倒をしないよう、可能な限り注意（骨折避けるため）
女性	54	買い物をする場所に不便さを感じる。遠い。
男性	31	迷惑駐車

2 調査の結果

問１９ 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○印）



■ 障がい種別クロス集計結果



2 調査の結果

- 身体障がい者で最も高い割合は、「自分の健康や体力に自信がない」であり、続いて「特に困っていることはない」、「家族など介助者の健康状態が不安」となっている。
- 知的障がい者で最も高い割合は、「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」であり、続いて「特に困っていることはない」、「外見からは障がい（難病）が分からないため、理解・配慮が得られない」となっている。
- 精神障がい者・難病患者で最も高い割合は、「自分の健康や体力に自信がない」であり、続いて「外見からは障がい（難病）が分からないため、理解・配慮が得られない」、「十分な収入が得られない」となっている。しかし、精神障がい者のみ「特に困っていることはない」と回答した割合は、他の障がい種別より低い。
- 全障がい種別において「必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない(移送サービスやヘルパーなど)」に関しては低い割合にとどまっている。

■ その他回答

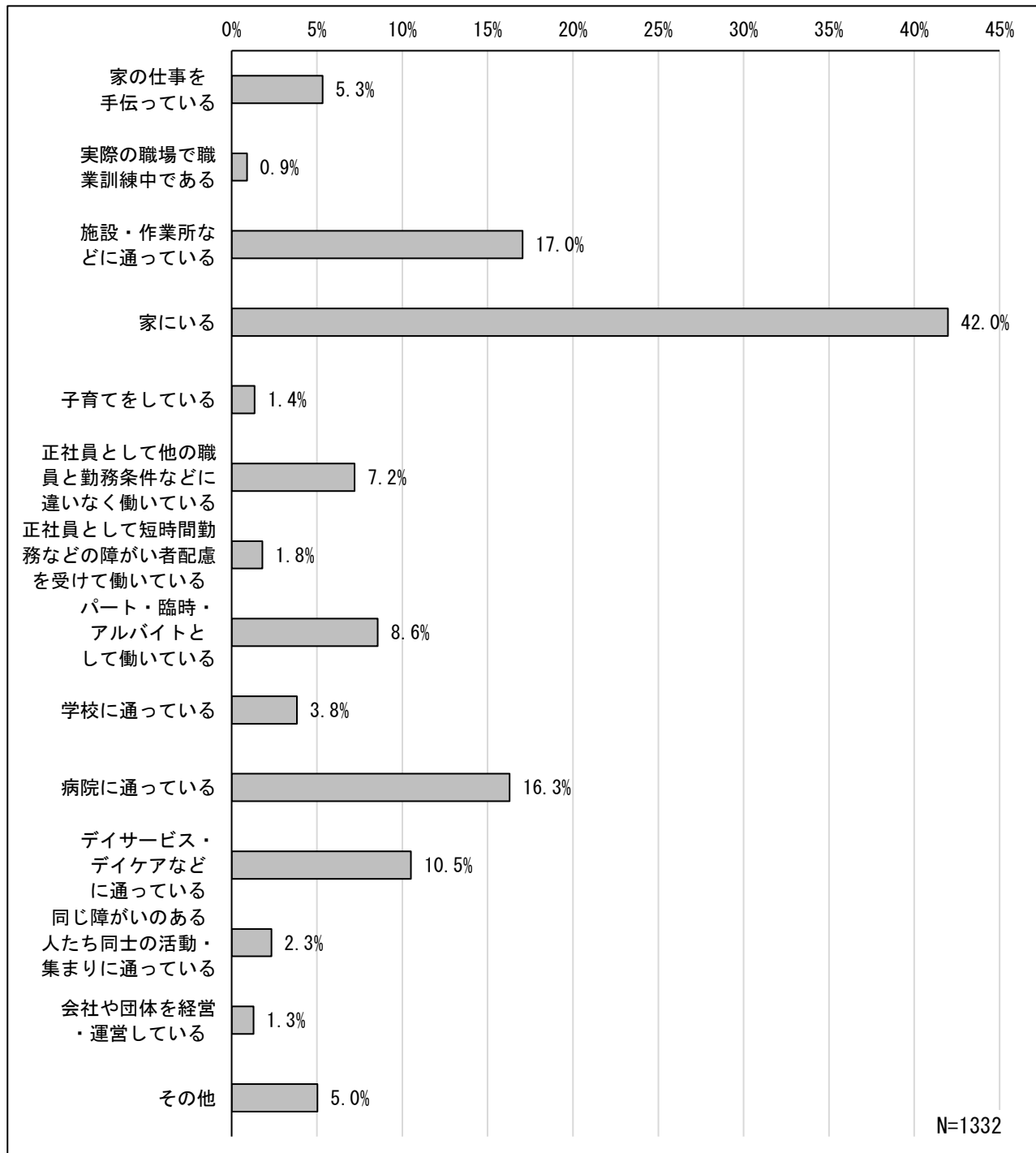
性別	年齢	その他
男性	44	1 級に比べると医療福祉を受ける範囲、内容が少ない
女性	80	1 人でいることが多く暇をもてあそんでいる
女性	83	7 月に亡くなった主人に頼っていたので不安がある。
女性	88	グループホームの支払いが困ってる。
男性	77	ごみの処理、庭の手入れ
女性	56	ごみを捨てるのは一人でできない。災害時の不安
男性	55	すべてにおいて不安で困ってます。
男性	21	できるだけ困らないようにサービスを利用しているが、まだ先の事が心配ではある
女性	86	ヒザが悪く、1 人で立ち上げれない
女性	12	やる気がおきない。集団がつらい
女性	76	遺品の整理
女性	38	医療費が高い。
女性	84	加齢が進む毎体力弱り困る事も増えているが、かといって他人様にお世話になる事も嫌だし悩む事多し
女性	33	家族（夫）以外頼れる人が身近にいない。金銭的に病気や障害で自分の収入が少ないので、生活が苦しくなる。老後や夫が体調不良になったり、災害の際はどうしたら良いか分からない。他人と共同で生活するのは大変困難
女性	32	家族が高齢になり死んだりした後の生活
女性	88	咳など物音に苦情。隣から
女性	31	環境の変化、体調面が心配
女性	66	急に具合が悪くなった時に不安
女性	103	経済的に苦しい
女性	75	経済面で負担が気になっている
女性	69	現在は大丈夫ですが、漠然と将来が不安になる時あり
男性	81	現状を末永く、続けられるように。

性別	年齢	その他
男性	75	困ってまでいないが不安
女性	92	施設に入居しているが、何でも値上がりして不安
女性	81	施設に入所しており、分からない
男性	81	施設職員さんの不足
女性	56	治療にかかる費用がかかりすぎる
女性	60	自己注射が高額なので先々の生活が不安
女性	30	自宅周辺にスーパー等の商業施設が無い
女性	91	受診以外外出不可能
男性	13	将来の経済的なこと
無回答	無回答	障害者年金が打ち切られた。
男性	52	職場での人間関係
男性	25	親が動けるうちは、面倒見れるが、高齢になったときは不安である
女性	45	身体症状があつて、医療機関を受診したとしても精神障がいがあることが判明すると、詳細な検査もせず、「気持ちの問題」として診断されることがある。（その後、ほかの病院で緊急手術が必要となった）
男性	14	進学、就労
女性	36	全てのことに恐怖があります。
女性	94	息子は掃除嫌いのため、お手伝いの人欲しい。同居人がいるため、介護が（掃除など）受けられない。介護保険全く役に立っていない。
女性	72	中度の難聴のため
男性	78	登り坂は50mも歩けない痛みが出るので歩かない
女性	27	働きたくても、働けない。家族に迷惑かけてる
女性	83	同居の子が車イスの障害者であること。私が介助をしている
女性	82	難聴と耳鳴りで人とのききとりが全く出来ない
男性	75	脳梗塞の後遺症の為、寝たきりでリハビリの意欲が無い
女性	52	買物に行っても重い荷物が持てない
男性	56	母が亡くなったら、現在の収入では現在の生活は維持は困難。将来車の運転も難しそう
男性	49	毎食事考える事が大変。（メニュー）
女性	60	目が見えづらい
女性	56	友達がいない
女性	51	頼れる人、信頼できる人がいない。理解者がいない。悩み、相談できる人が欲しい。
男性	51	恋愛がうまくいかない。自分に好意をもってくれる人が現れない事
女性	68	話をする人がいないので1人ごとと言っている

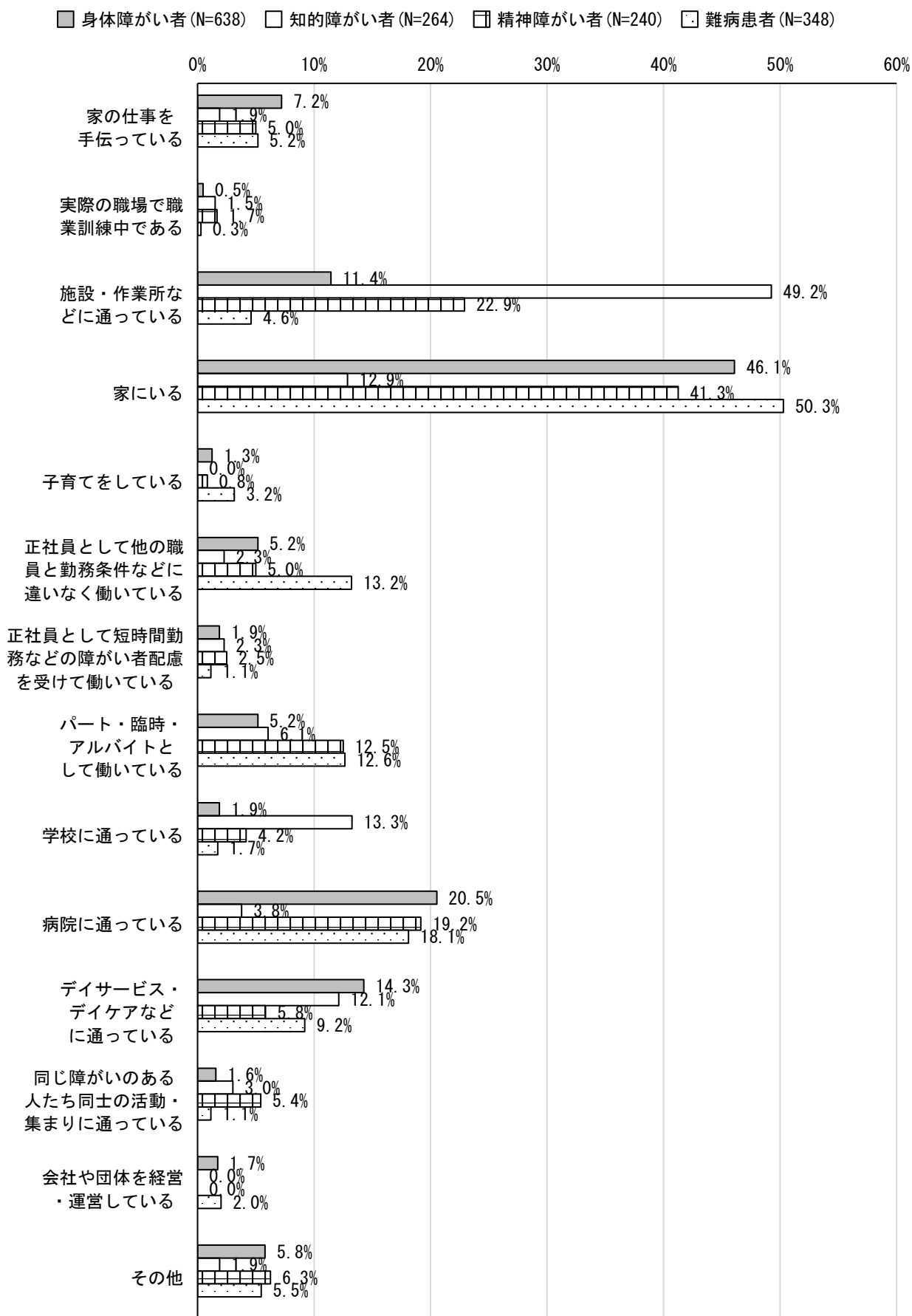
2 調査の結果

2-6 日中の過ごし方について

問20 あなたは、日中（昼間）をどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○印）



障がい種別クロス集計結果



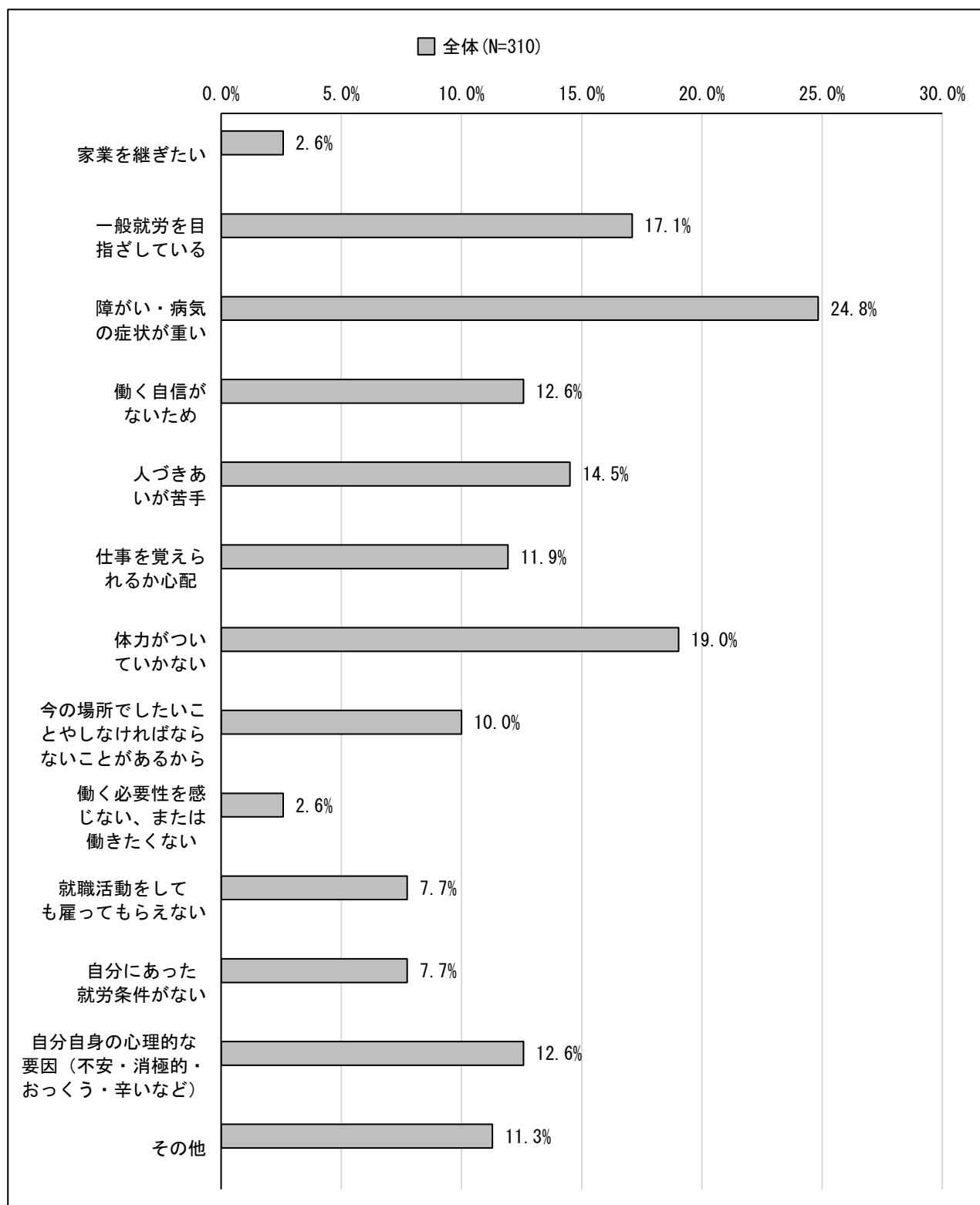
2 調査の結果

- 全体では「家にいる（家事をしている）」（41.4％）に回答が集まっている。この傾向は身体障がい者（45.5％）と精神障がい者（40.8％）に強くみられる。その他でも、「家にいるが仕事や家事はしていない」と答えた件数が、全件数55件中32件（58.2％）あった。
- 知的障がい者では、他の障がい者と比較して「施設・作業所などに通っている（入所している）」（46.6％）、「学校（幼稚園・保育園）に通っている」に回答が集まっている。逆に、「家にいる（家事をしている）」（12.5％）、「病院に通っている（入院している）」（3.8％）は他の障がい種別と比較して低い結果となっている。

■ その他回答

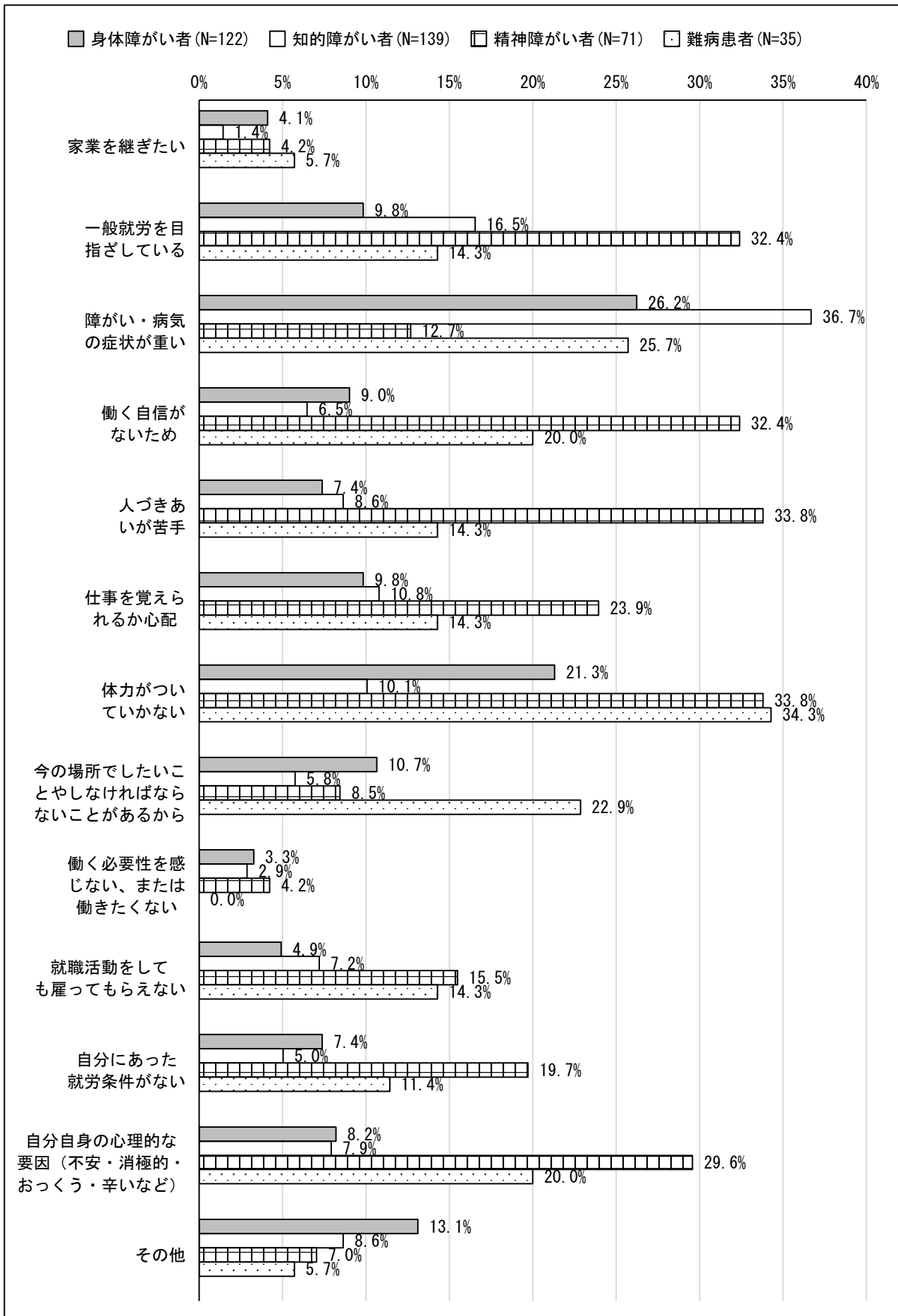
その他	件数
GLA、ボランティア活動や学び	1
ウォーキング、散歩、等健康管理。	1
ウォーキングが好きだから、天気を気にしながら外出	1
サロン	1
ジムに通って運動している（軽く）	1
スポーツジム通い、病院に見舞い	1
パソコン等	1
ボランティアでキルトを教えている	1
リハビリに行く	1
一週間に一回リハビリに通っている	1
運動・サークル活動趣味の為外出が多い	1
園芸、読書	1
家にいるが仕事や家事はしていない	32
歌の指導をしている	1
義母の介護	1
休職中	1
求職中	1
散歩や絵画（油絵）趣味	1
趣味（クラブ）している	1
障がいのある娘の世話と作業所への送迎を毎日行っている	1
同じ趣味のグループ参加をする	1
普通に暮らしている	1
訪問リハビリで週2回リハビリをしている	1
友人宅に行く	1

問20(1) 1～3をお選びになったのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○印)



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果



- 身体障がい者では、「障がい・病気の症状が重い」、「体力がついていかない」の順に回答が集まっている。
- 知的障がい者では、「障がい・病気の症状が重い」に回答が集まっている。
- 精神障がい者では、「障がい・病気の症状が重い」以外は他の障がい者より高い値を示す傾向があり、「体力がついていかない」、「人づきあいが苦手」の順に回答が集まっている。
- 難病患者では、「体力がついていかない」、「障がい・病気の症状が重い」そして「今の場所での生活が難しい」と回答している。

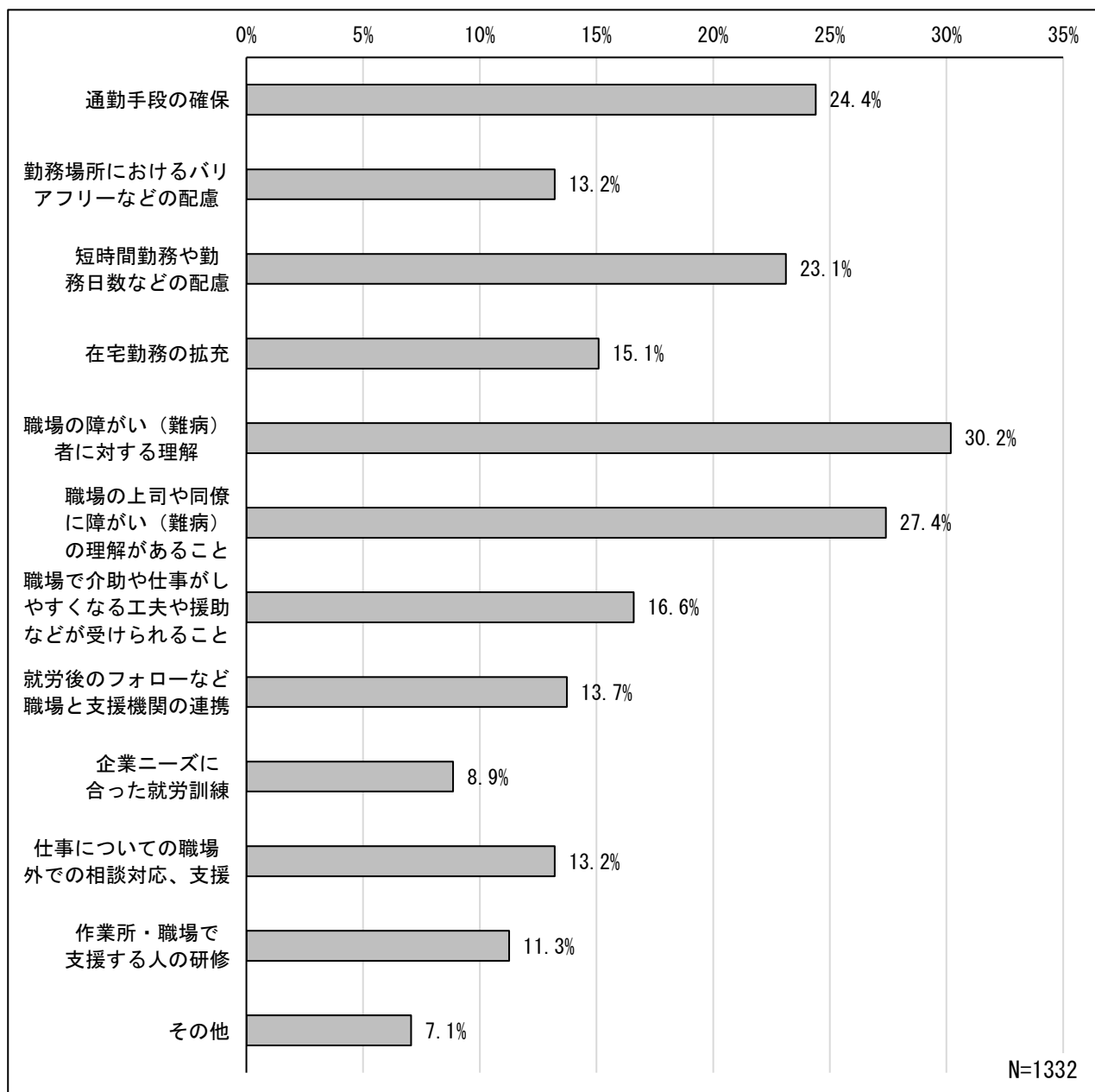
■ その他回答

性別	年齢	その他
女性	58	22 才の時から通っているため
男性	73	お金が欲しい。
無回答	74	家業手伝
女性	43	休んでもいいし、無理をしないようにする為
女性	103	行動できる体力がない
女性	95	高齢者のため必要なし
男性	73	今の仕事を頑張りたい
男性	79	困ってる方の手伝（特に草刈り）
男性	45	作業所に通いながら、資格取得を目指しているから
男性	69	事務
男性	73	自営業（本人）
女性	33	自分に合った働き方を模索中
男性	25	自分に合っているから
男性	51	常に指示が必要なため、つきっきりで支援が確保できない
男性	86	体作りに畑耕したり草取ったり
女性	56	体力がない
男性	67	定年退職
女性	71	特になし
男性	69	特になし
男性	80	農業専業
女性	87	畑仕事
女性	59	病院代を稼ぐ
女性	48	夫の手伝い
女性	36	母親も精神科に通院歴があり不安定になることがある。物をため込んでしまうため、部屋の片づけをしなければならない。介護認定で要支援 2 で手助けが必要な時がある。
男性	77	民生委員活動
女性	31	両親がいない。親族も高齢。

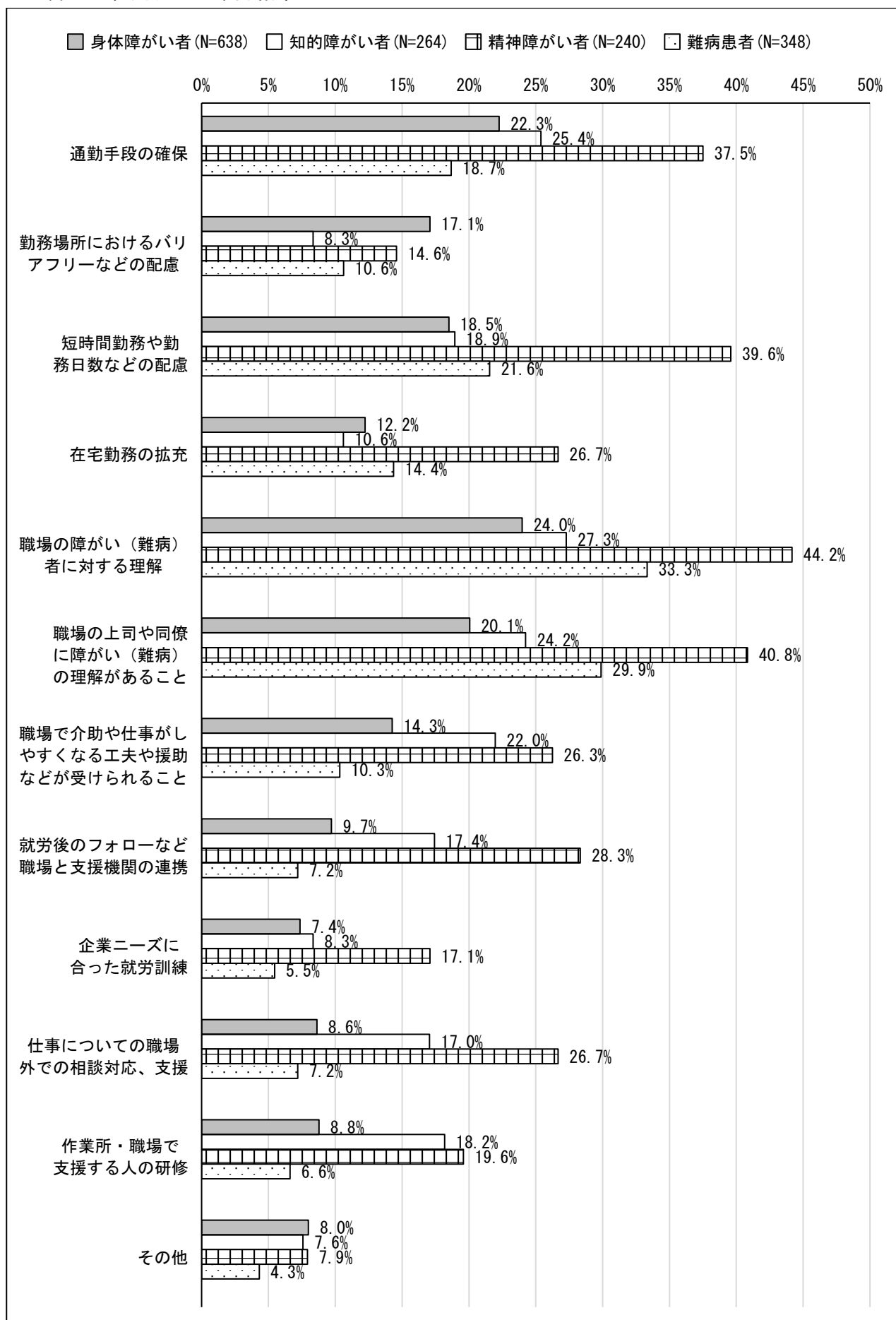
2 調査の結果

2-7 就労状況について

問2-1 あなたは、障がい（難病）者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

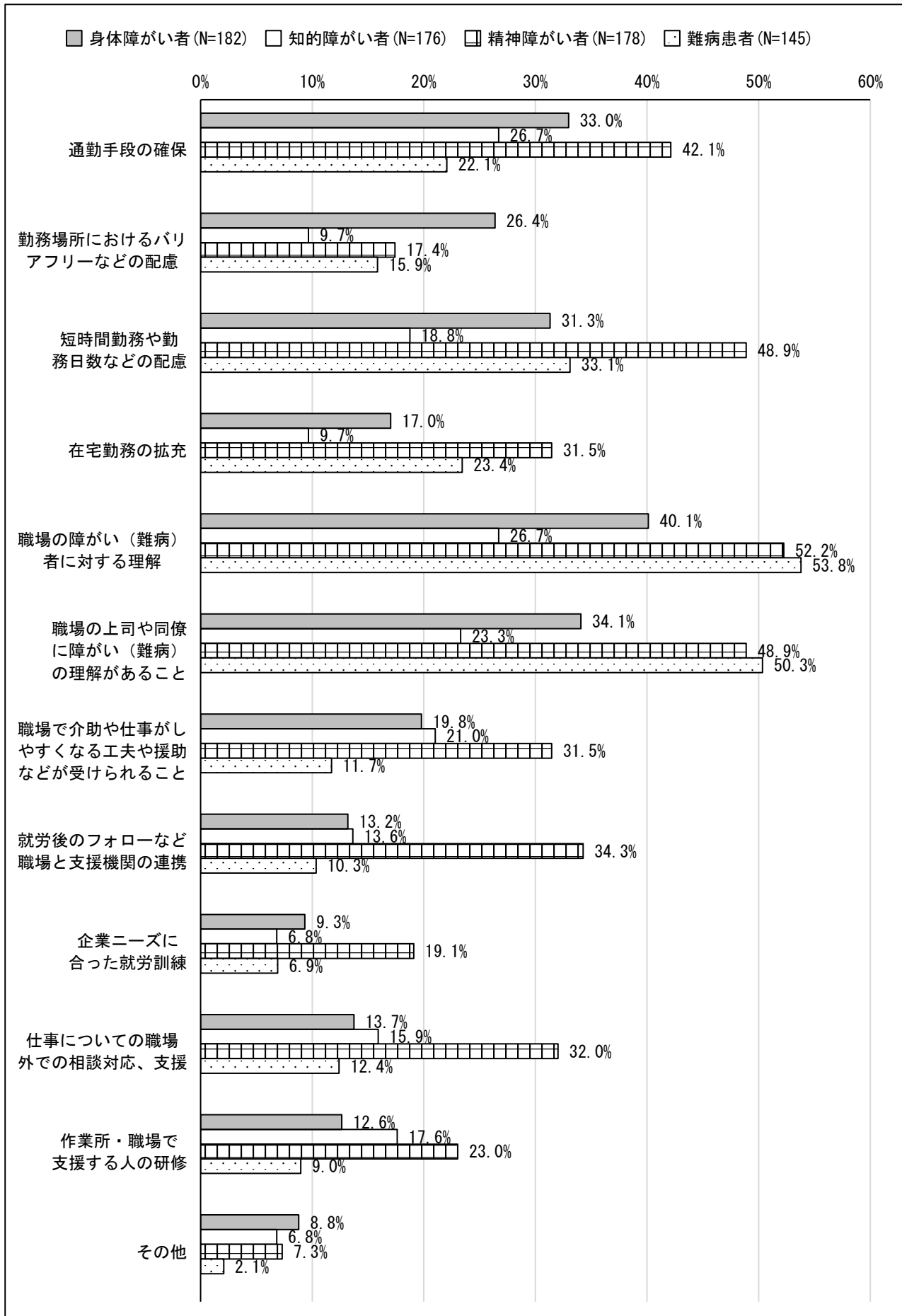


障がい種別クロス集計結果



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果（１８～６５歳）



- 全体では「職場の障がい者理解」(30.2%)、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」(27.4%)に回答が集まっている。この傾向は全障がい種別でも同様の傾向を示している。
- 身体障がい者及び知的障がい者、難病患者においては、精神障がい者と比較すると回答率が低い。身体障がい者においては、障がい者の年齢層に起因するものと思われる。そこで、年齢を18歳～65歳に限定すると、障がいの特性によるニーズの差が顕著に示されている。

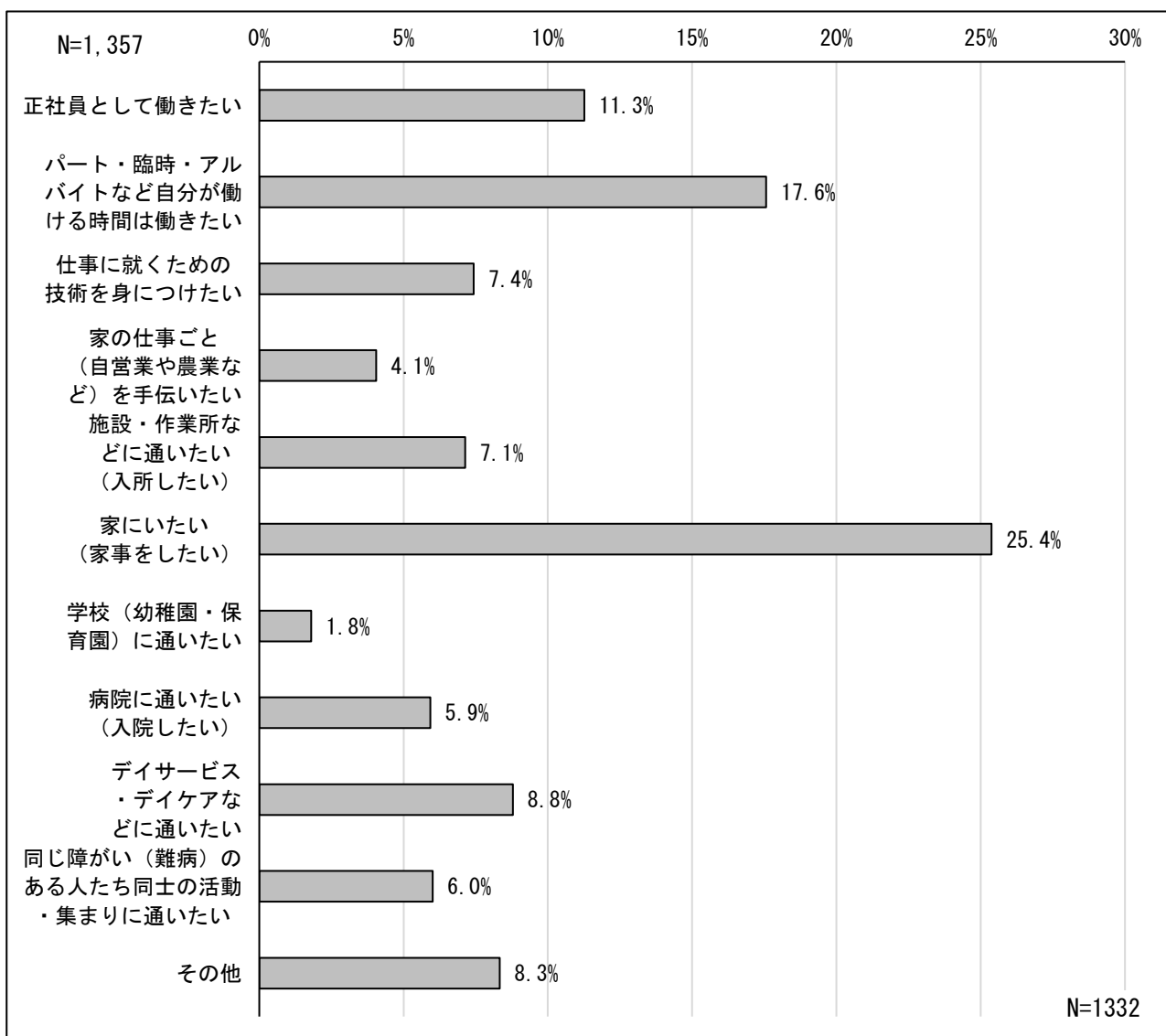
■ その他回答

性別	年齢	その他	件数
女性	79	78才まで働いて来たから今ゆっくり過ごしています	1
男性	45	あまりにも重度なので就労は考えられない	1
女性	36	スマホのアプリでの連絡手段	1
女性	33	給与が低い。肉体労働が多くスキルアップや他の企業で働くのが難しい。在宅ワークができないと通勤や勤務中の体調不良や対人関係のトラブルが増えてしまうので、出来高制でも体調に合わせて能力に合わせて働ける形態があれば良いと思う	1
女性	69	個人としては特にはない。(年齢的にも)	1
女性	88	後期高齢なので働くことが出来ない	1
女性	76	工賃の額が安い←公的な支援(障害年金・正確保護)	1
男性	63	仕事ができない	1
	78	仕事に就いていないので何とも言えない	1
女性	88	仕事は何も出来ない。	1
女性	83	施設に入る予定ですので仲間の人と仲良く出来るように。	1
女性	80	私について近所の人への不満は聞いたことがない	1
男性	28	自家用車にかかる負担の軽減	1
男性	56	自分が持っている得意な事を伸ばすのが良いと思う	1
女性	56	手引きなどの支援の拡充	1
男性	78	就労支援については解りません	1
女性	46	重度の障がい者で就労はできません。	1
女性	33	障がい者のその日の症状に合わせて仕事内容の調整、または、常に複数の仕事内容から選んで作業に取り組める環境の整備	1
女性	55	障がい者雇用の拡大、需要	1
女性	65	障害が軽いと見た目からは障害者と理解されにくく、職を失いたくない為に、ちょっとした無理な事をやらざるを得ない。(ちょっとした事で人を呼んで、これをして下さいと言にくい)	1
女性	65	障害の上に他の病気で仕事が出来なくなりました	1
女性	32	障害の特質があまりにも異なるので分からない	1
男性	50	職場の抜き打ち検査による実態把握	1

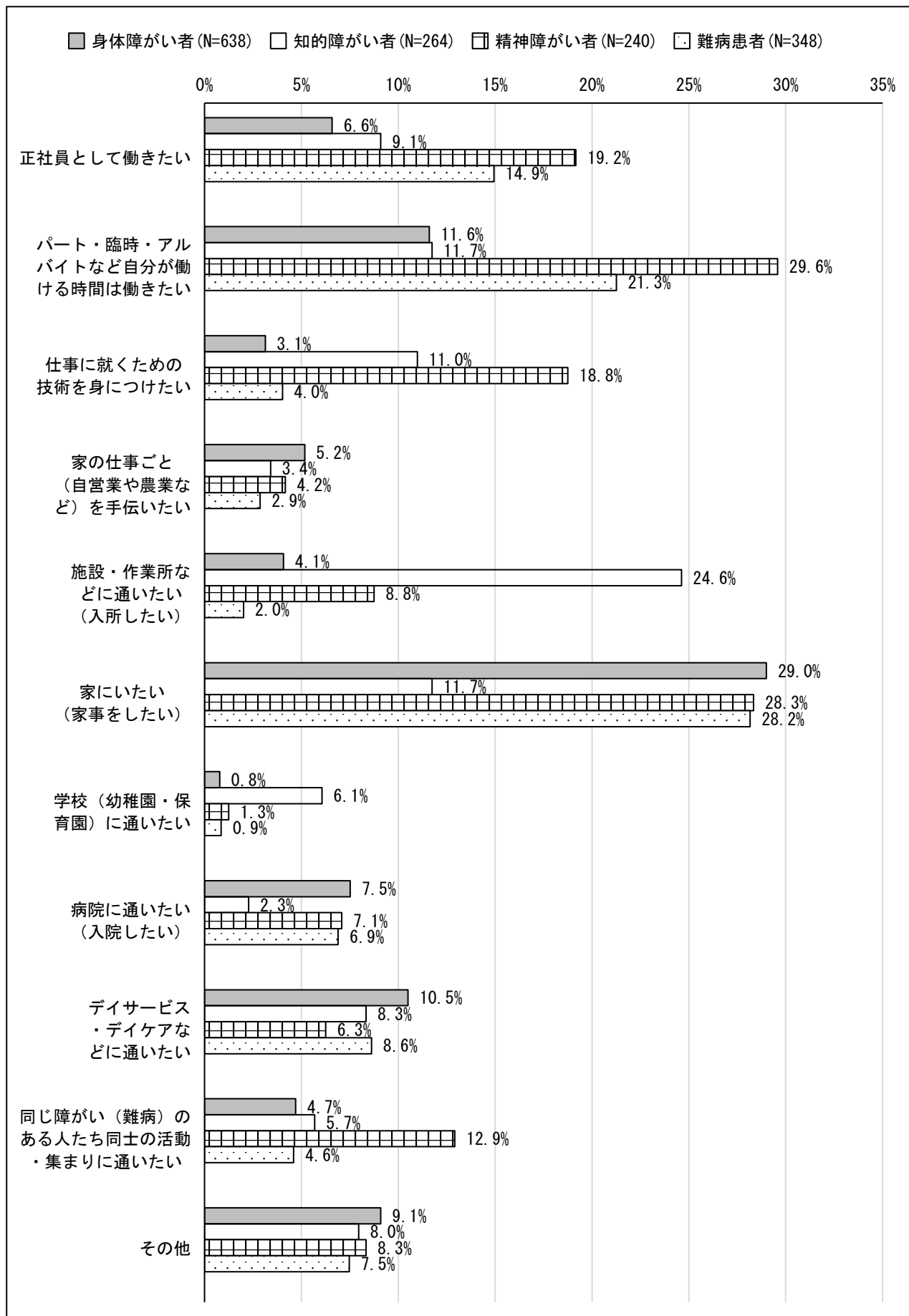
2 調査の結果

性別	年齢	その他	件数
男性	74	年金生活者であるが、おおむね障がい者就労等理解が、社会的に及んでいるものと楽観視している。	1
答えない	73	年令的にも病状的にも就労できる状況にない	1
女性	77	病気が進行しても利用できる施設	1
女性	28	聞き取りが困難な方は文字を見て理解するため目と文字がいるため、文字アプリがいる	1

問22 あなたは、今後、日中（昼間）はどのようなことをしていきたいですか。（あてはまるものすべてに○印）

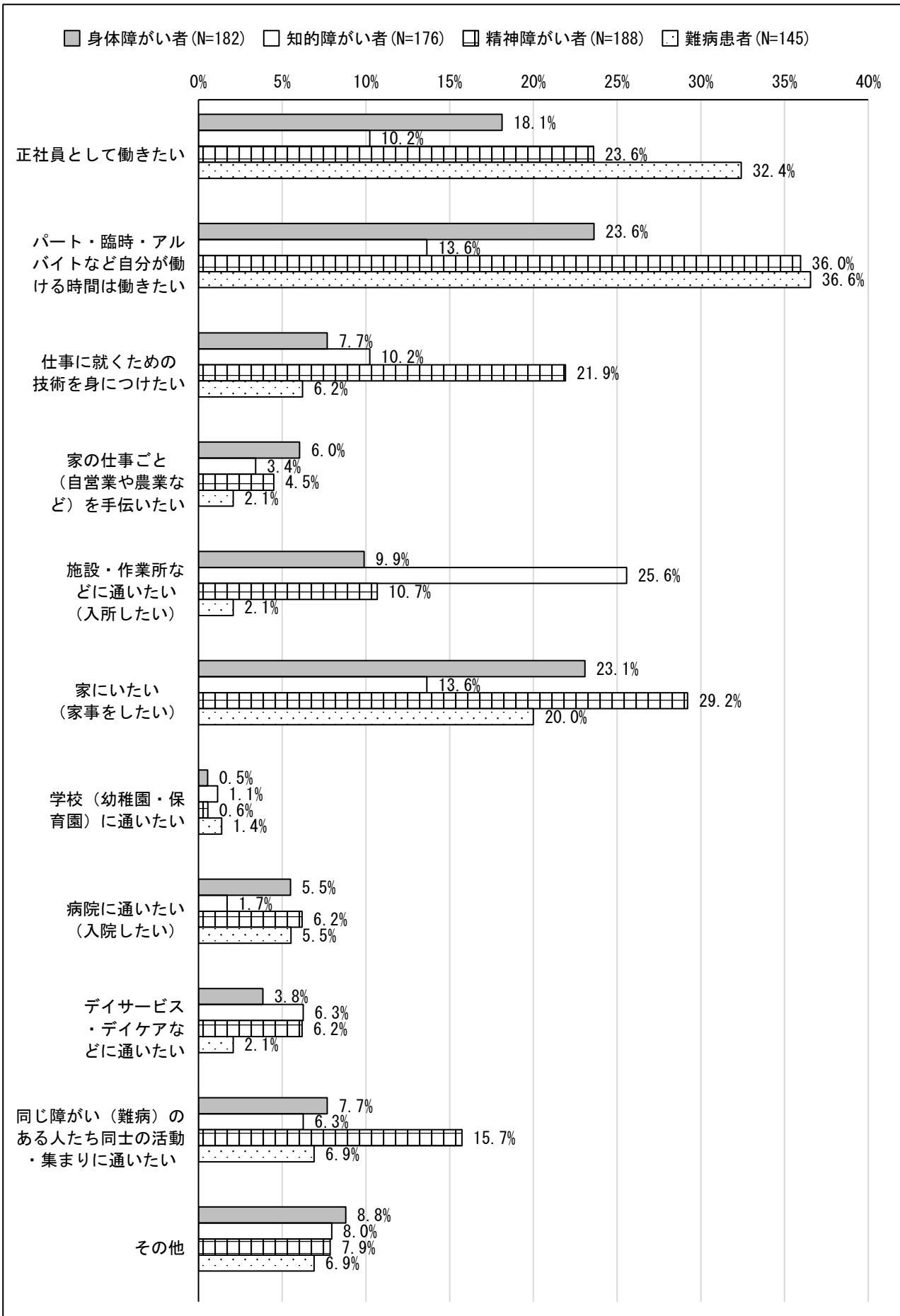


障がい種別クロス集計結果



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果（18～65歳）



- 全体では「家にいたい（家事をしたい）」（25.4％）に回答が集まっている。この傾向は身体障がい者、精神障がい者、難病患者にみられる傾向である。精神障がい者では、この他に「正社員として働きたい」、「パート・臨時・アルバイトなど自分が働ける時間は働きたい」、「仕事に就くための技術を身につけたい」と就職意識が高いのが窺える。身体障がい者では、これらは低い回答結果となっているが、これは障がい者の年齢層に起因するものと思われる。よって、18歳～65歳間での分析では難病患者、身体障がい者も就労意識が高い割合を示す。
- 知的障がい者では、「施設・作業所などに通いたい（入所したい）」（24.6％）に最も多く回答されている。逆に、「家にいたい（家事をしたい）」は、他の障がい種別と比較すると、低い割合に留まっている。

■ その他回答

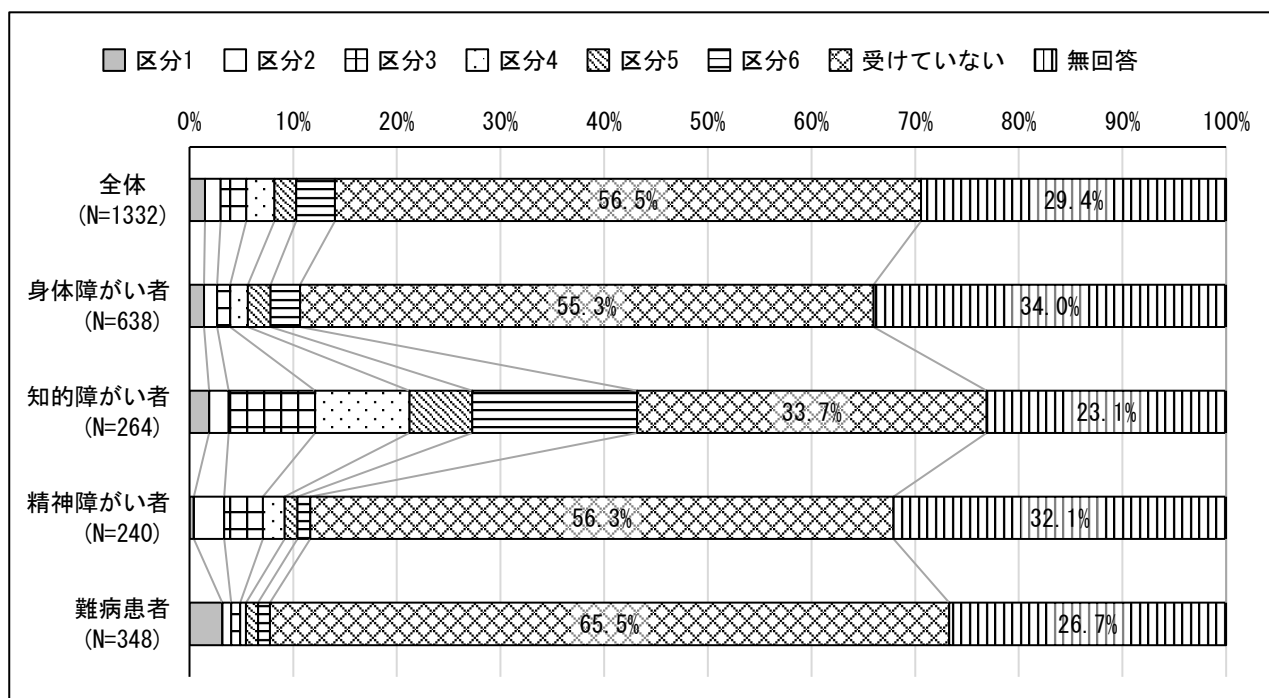
性別	年齢	その他
女性	31	このまま、施設に入所していて、1ヶ月1回、親族の家に帰省したい。
女性	27	フリーランスで働きたい
女性	57	ペットが飼いたい（犬）
女性	43	ゆっくりしたい
女性	39	リハビリを頑張りたい
女性	32	穏やかな日々を過ごしたい
女性	29	何かしたいけど、何をしたいかわからない。
男性	26	家事を身につけながら、在宅でできる仕事に就かせたい。 ※本人の日常をみている家族が考えている将来です。
女性	33	勤務時間を延ばしていきたい
女性	28	好きな事や興味で教室や学習に行きたいですね
男性	65	高齢、左手足マヒの為家でゆっくりしたい
男性	51	今の施設でくらしたい
男性	62	今まで通り働きたい
女性	61	在宅で仕事ができるようになりたい。
女性	38	在宅で仕事をしたい
女性	33	在宅で働きたい。単純な作業のみの仕事や作業所だけでなく、知的障害はないがコミュニケーションが苦手、対人や人口密度が高い所や通勤が苦手、難しい。長時間決まったスケジュールで働く事が難しい。パソコン作業など、在宅で少しでも働けたらいいと思う（出来高でもOK）
男性	64	自営業なので、できる限り、今の仕事を続けていきたい
女性	59	自宅ワークが出来たら良いと思う。しかし、詐欺も多いのでなかなかできない
男性	56	自分の会社を続けていきたい
男性	56	自分の得意な事を生かしていきたい
女性	57	趣味の時間を持ちたい
女性	48	趣味の時間を大切にしたい
男性	26	趣味を仕事にできるようになりたい
男性	25	生活介護事業所へ通いながら、自分で身の回りのことを少しでもできるように訓練したり、通所でのイベントなどに参加できるようになりたい。
女性	62	体調の不安がありどうしたいはわからない
女性	54	体調面でお仕事するのに困難。無理難題。
男性	22	働いているので特になし

2 調査の結果

性別	年齢	その他
男性	46	働いている為、特になし
男性	51	同じ趣味の仲間が欲しい
女性	65	年令的に自由に働く事が出来るよう頑張ります
女性	51	理解のある人に悩み、相談を聞いて欲しい。

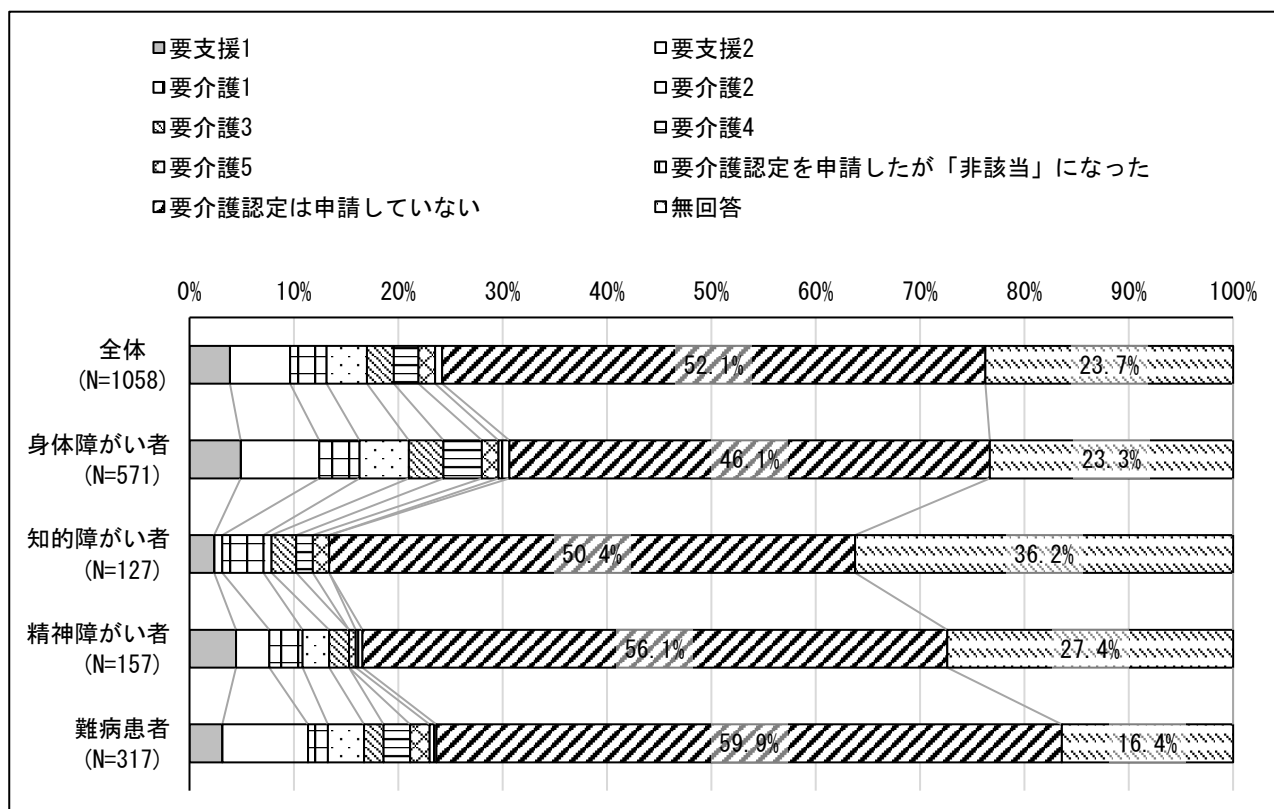
2-8 現在の福祉サービスなどの利用について

問23 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○印)



- 「全体」では56.5%が「受けていない」、また29.4%が「無回答」であり、認定を受けていると回答した障がい者は、14.1%に止まっている。しかし、知的障がい者では、43.2%が何らかの認定を受けていると回答した。

問24 現在、40歳以上の方におたずねします。介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は要介護度をお答えください。(1つに○印)

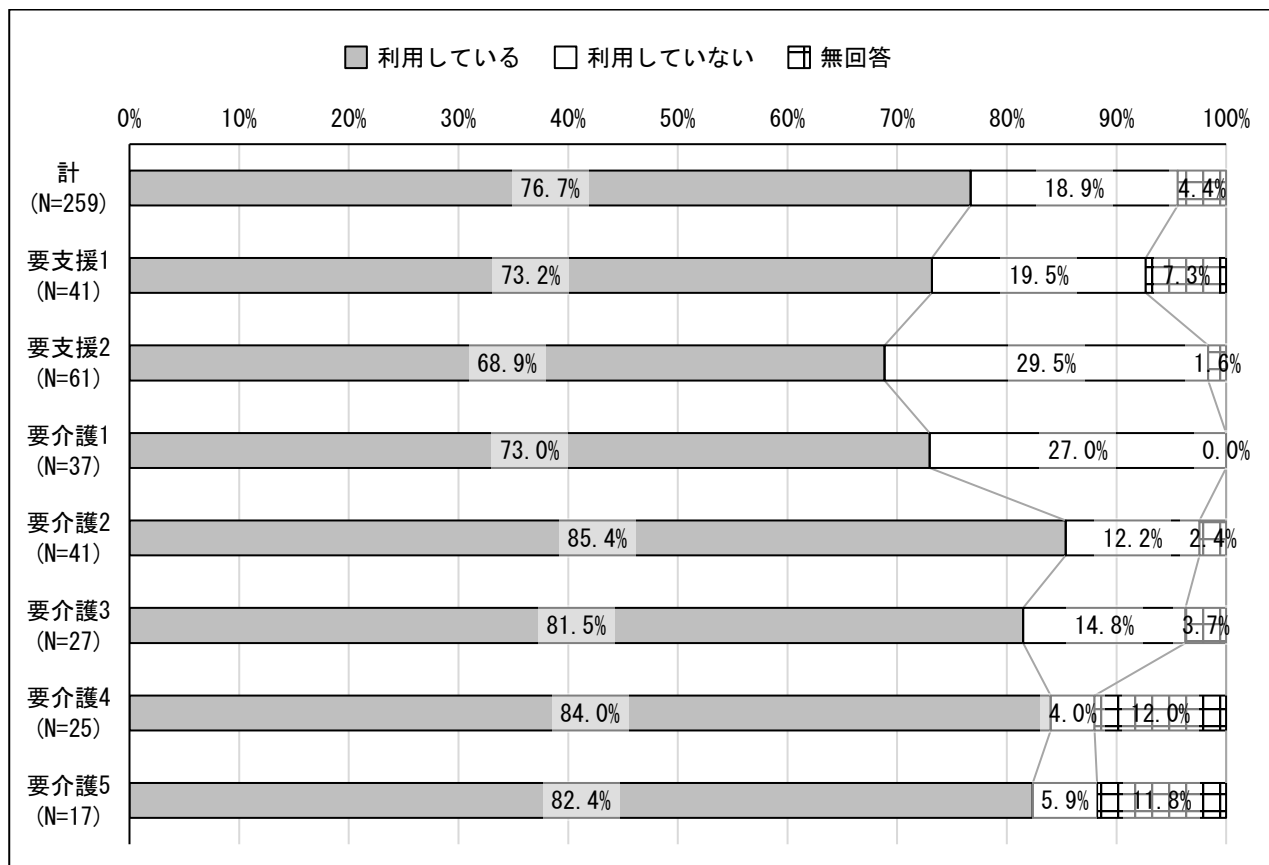


2 調査の結果

- 「全体」では「要介護認定を受けている」と回答したのは、23.5%であり、身体障がい者が一番高く29.6%、難病患者23.0%、精神障がい者で15.9%、知的障がい者で13.4%の順となっている。これは身体障がい者の年齢層に起因するものと思われる。

問24（1）あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。（1つに○印）

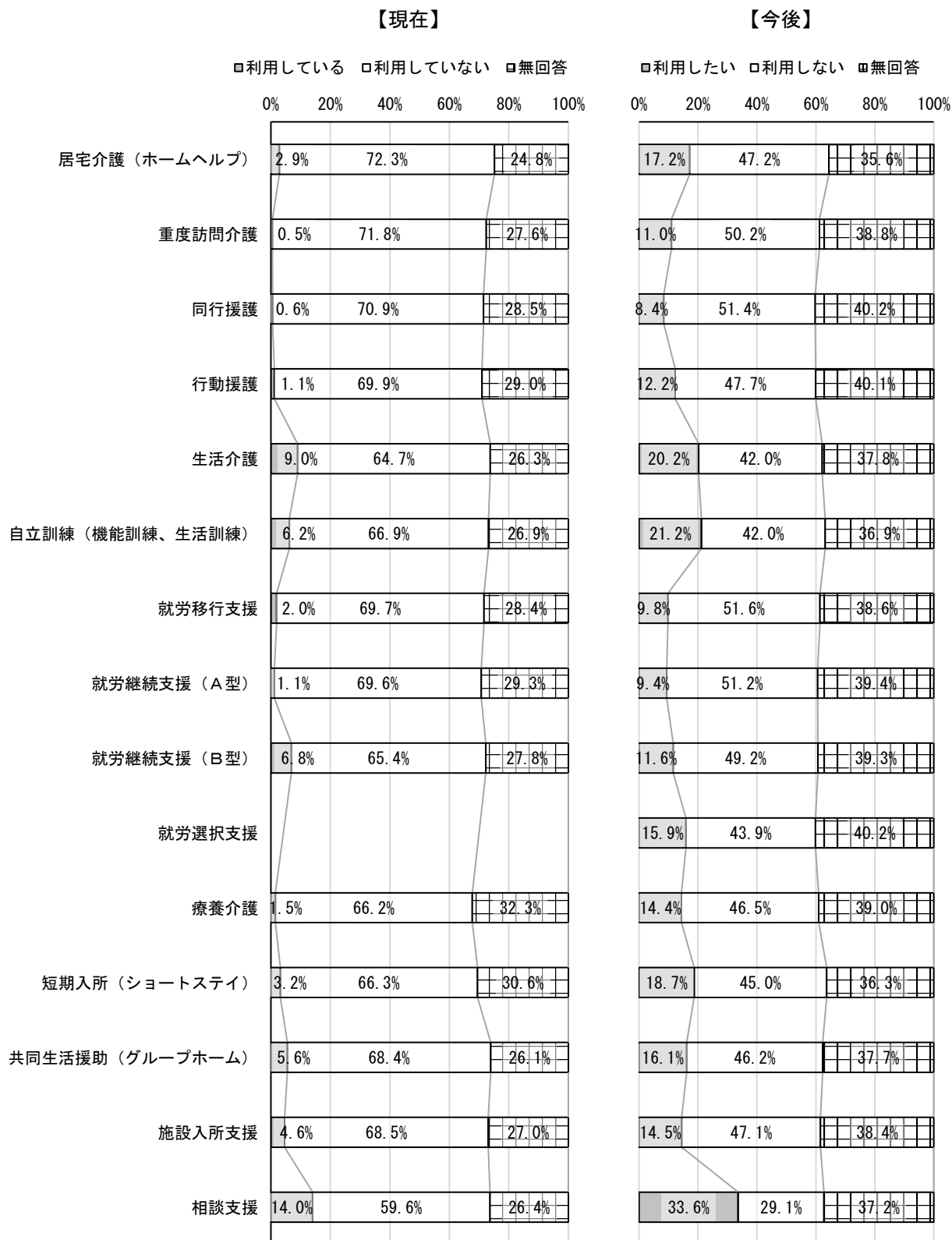
※問24で「（1）要介護認定を受けている場合」を選択した人のみ



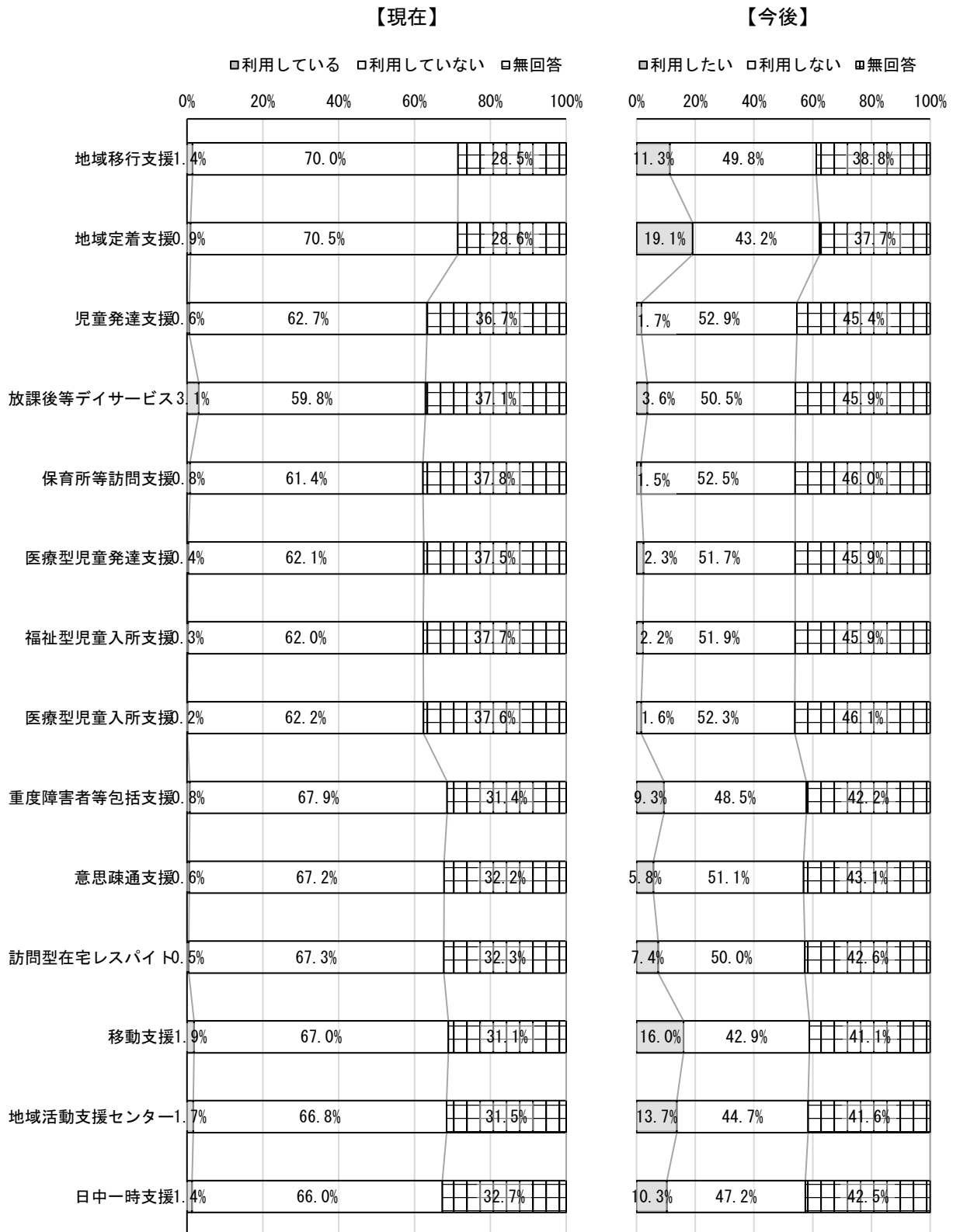
- 「全体」では「利用している」との回答が76.7%である。
- 要介護度別に見ると、「要支援1」～「要介護1」の方が、「要介護2」～「要介護5」と比較すると低い割合を示す傾向にある。

問25 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑳のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方をお答え(番号に○)ください)

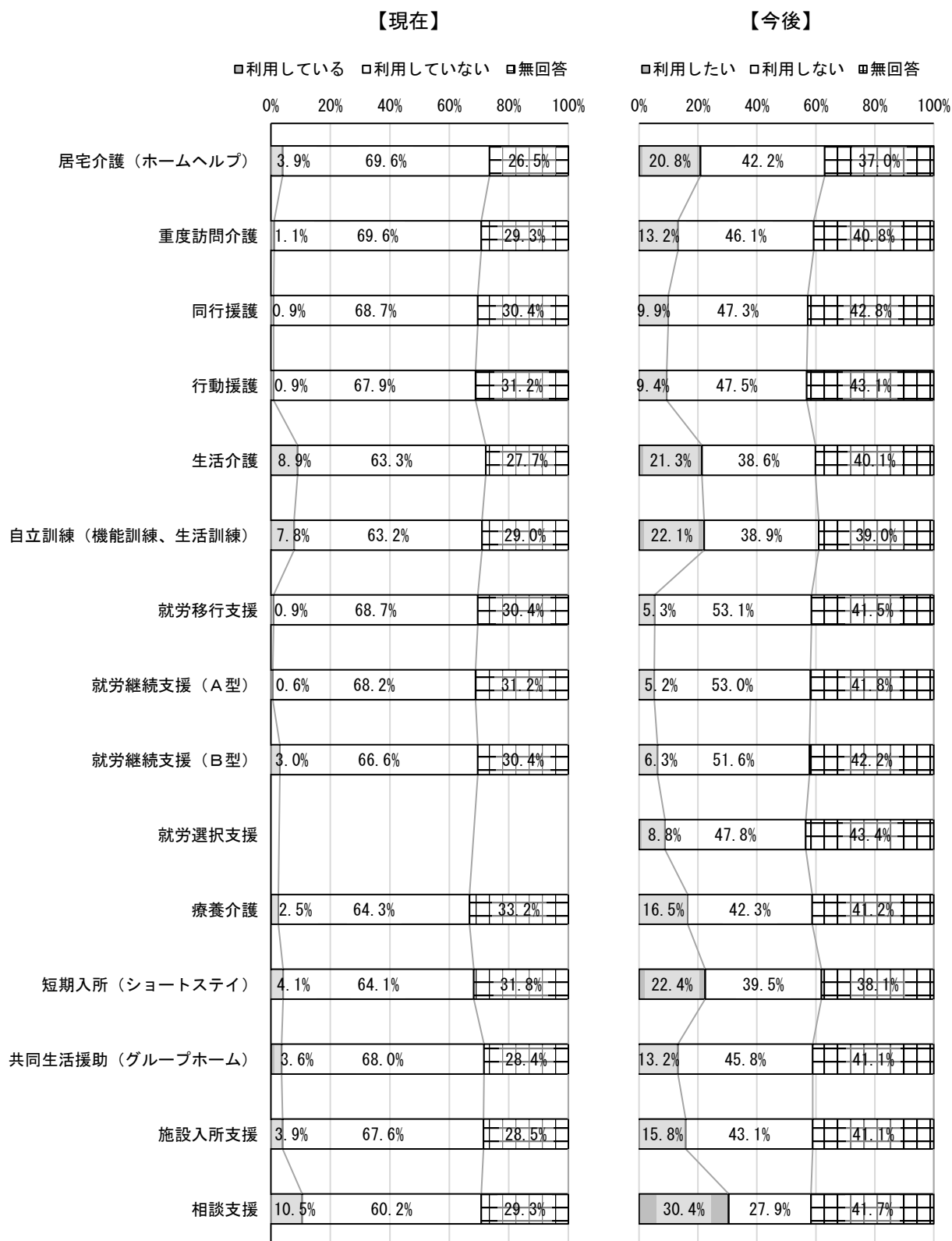
A. 全体 (N=1,332)



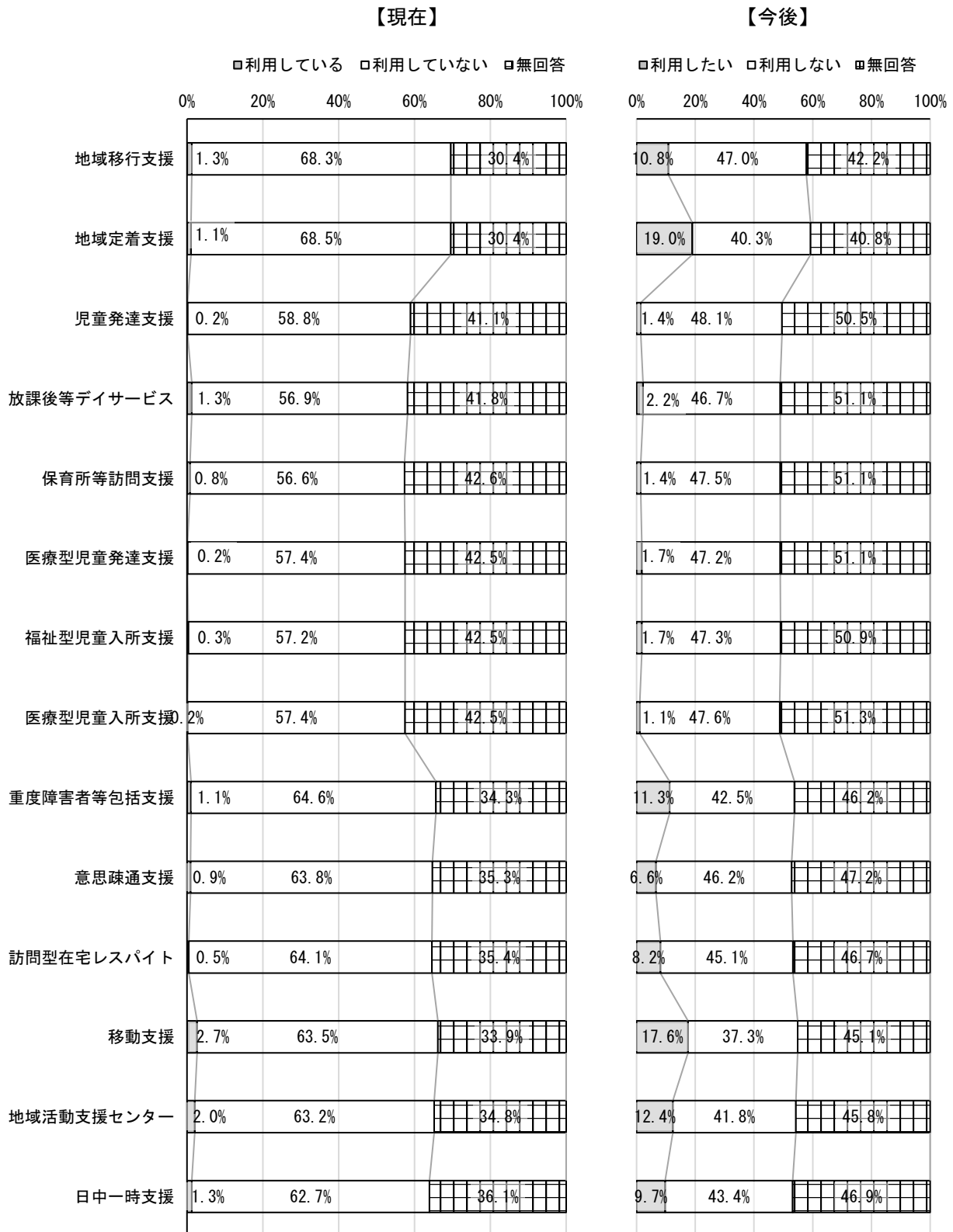
2 調査の結果



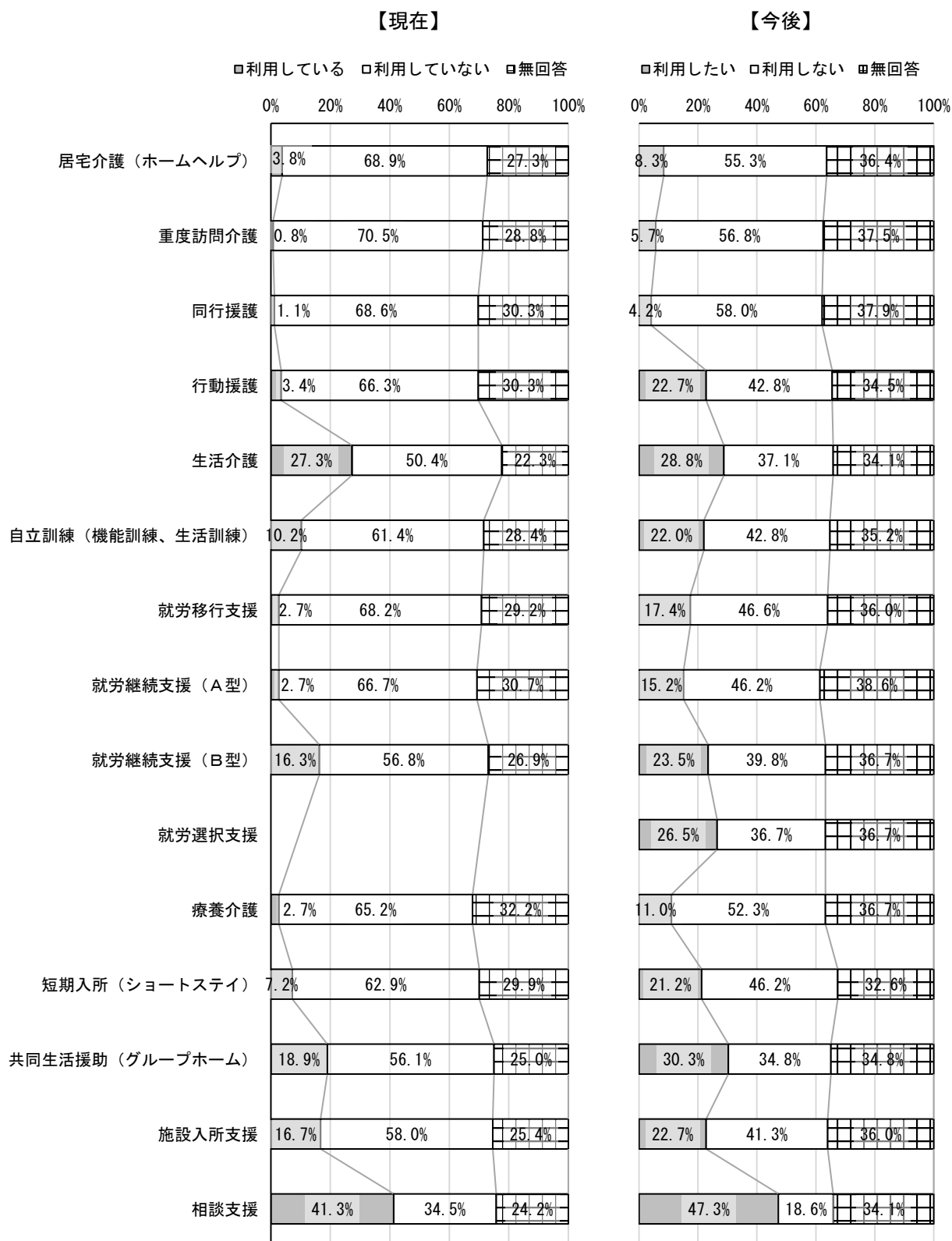
B. 身体障がい者 (N=638)



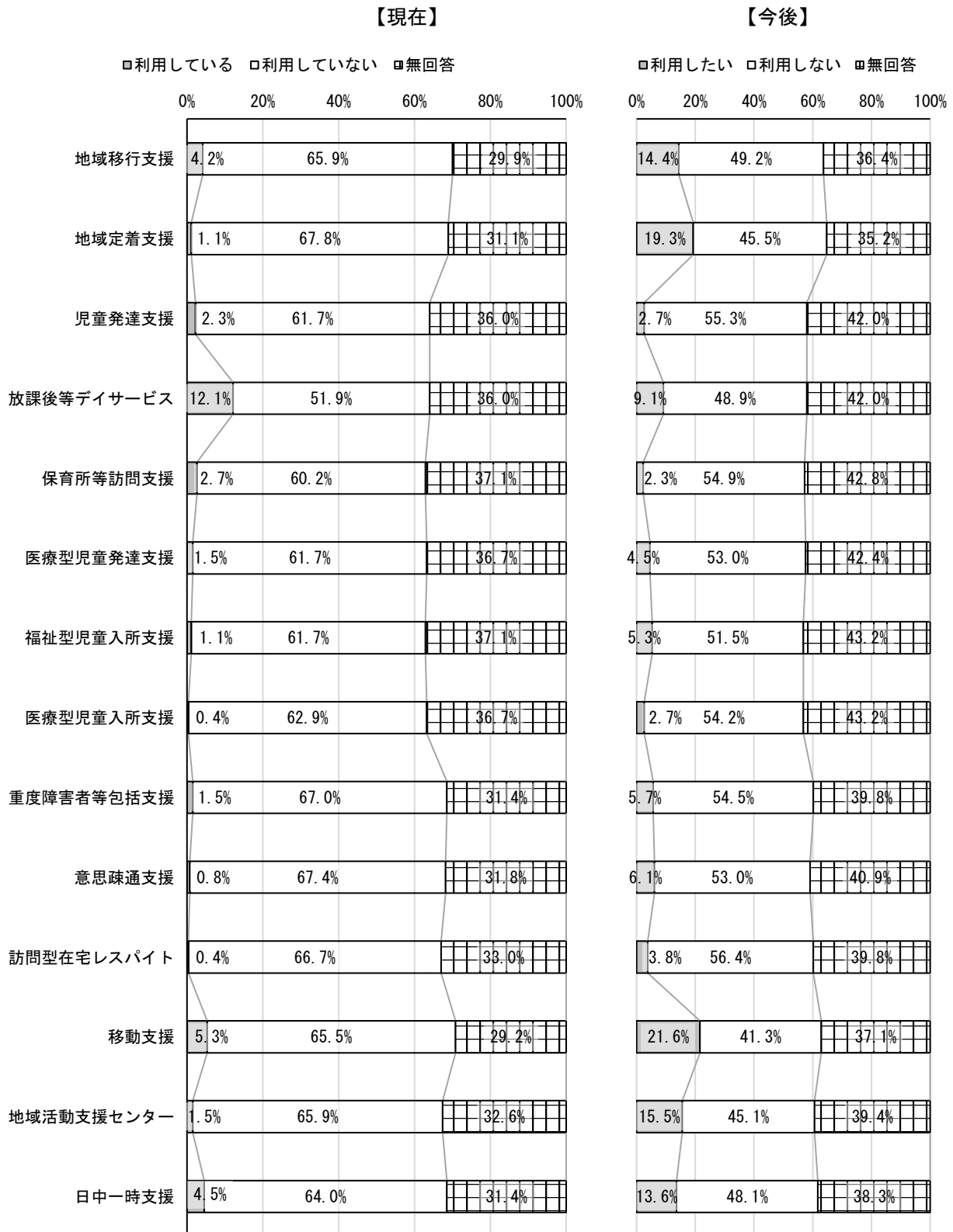
2 調査の結果



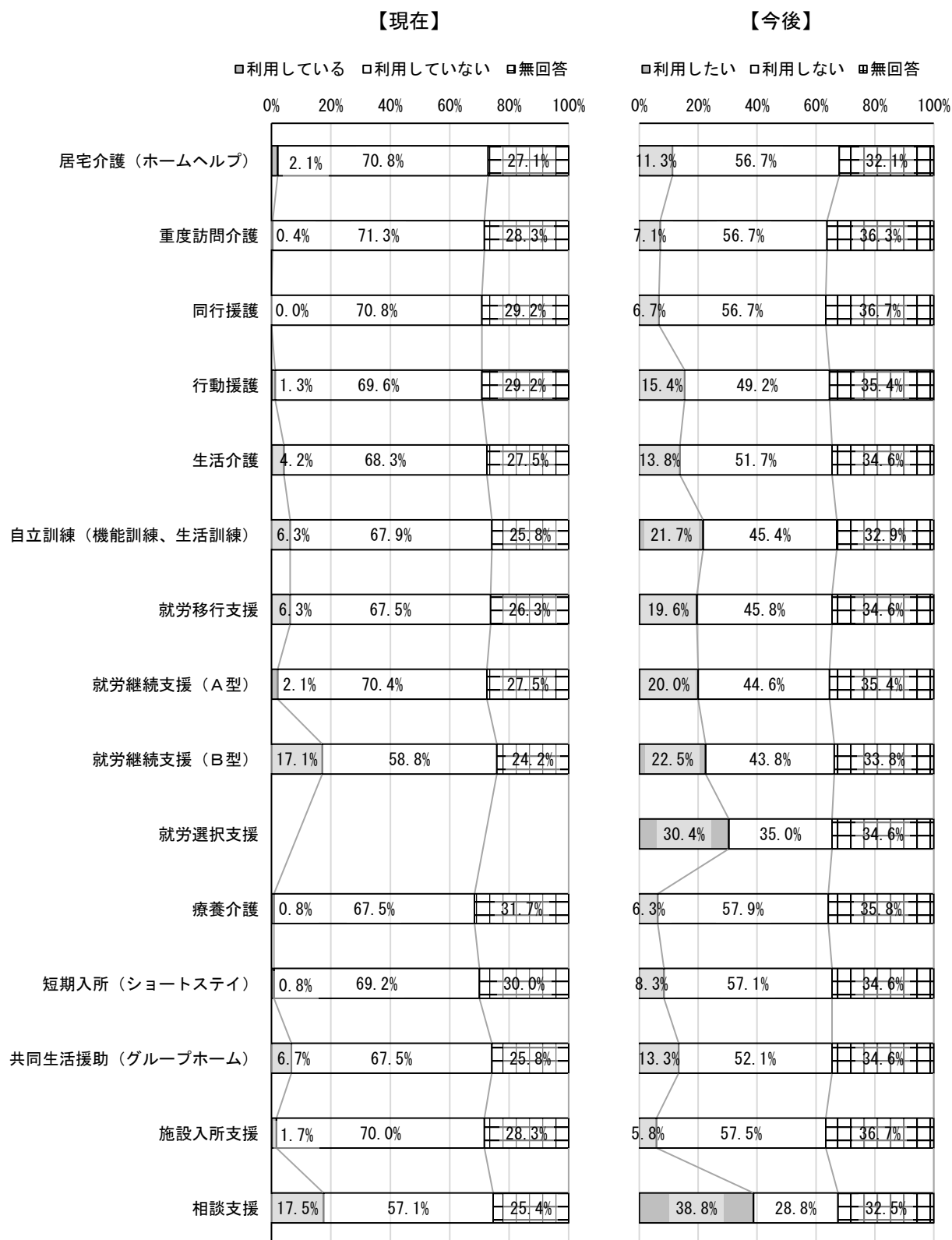
C. 知的障がい者 (N=264)



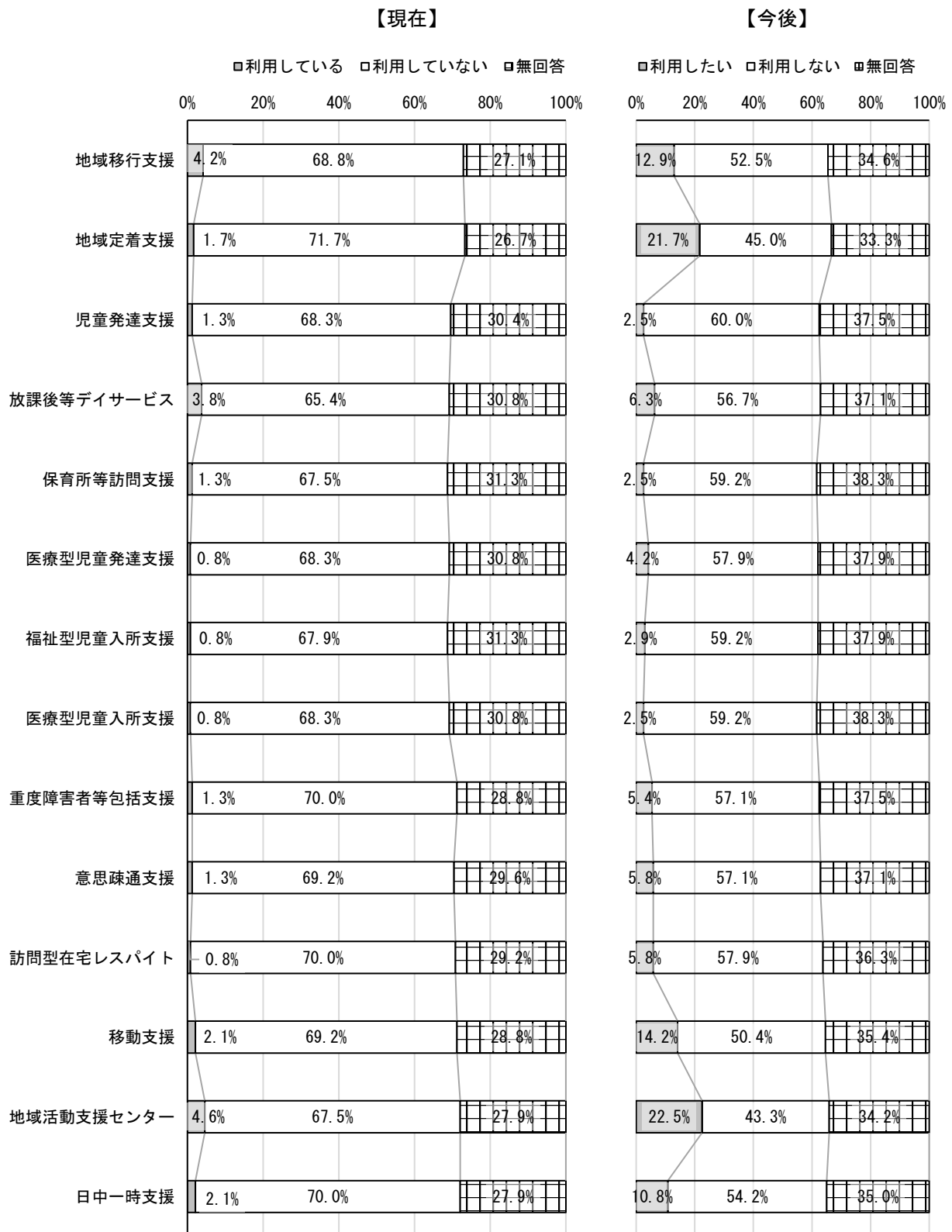
2 調査の結果



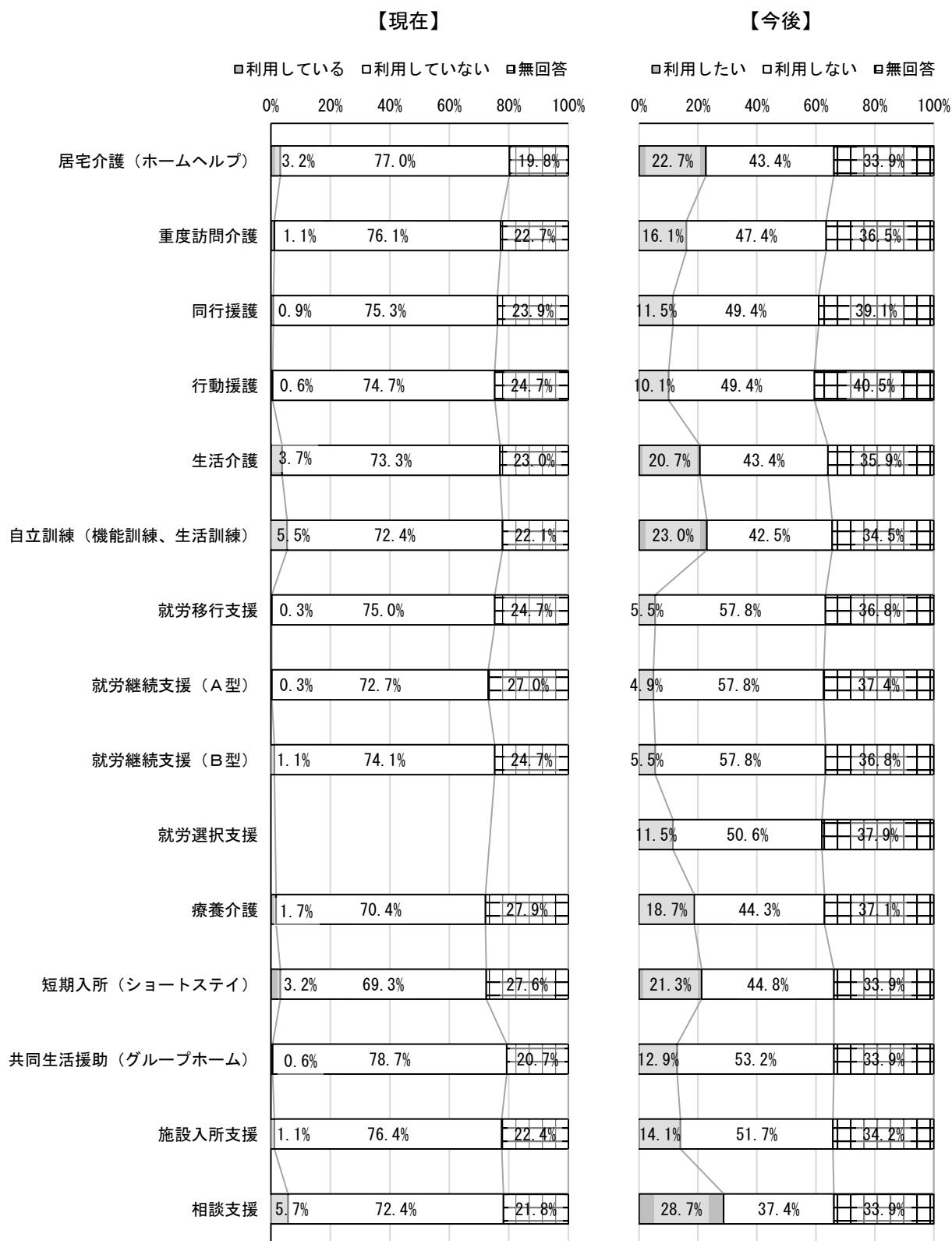
D. 精神障がい者 (N=240)



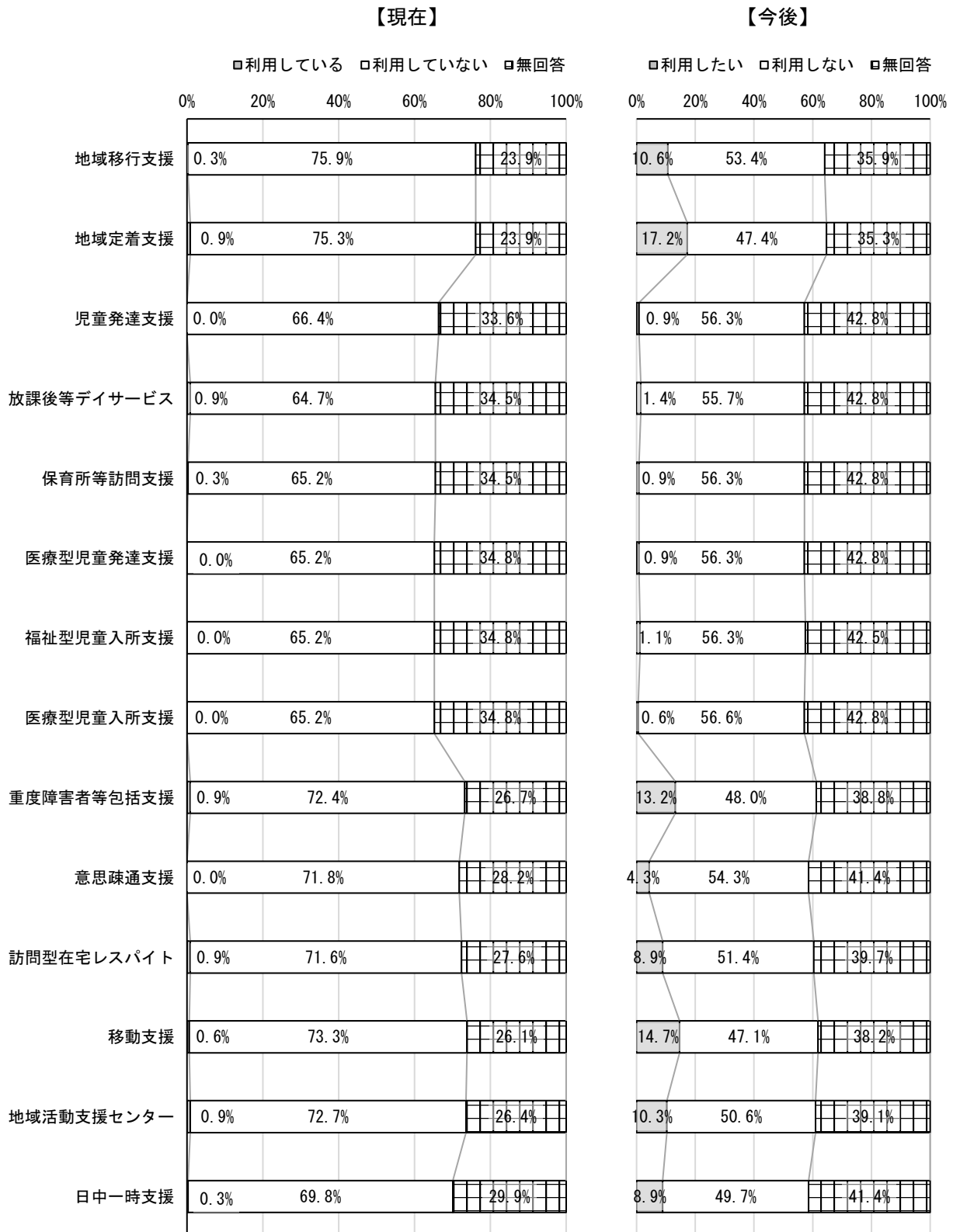
2 調査の結果



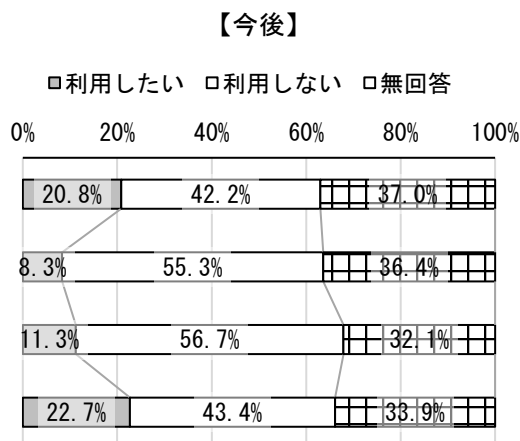
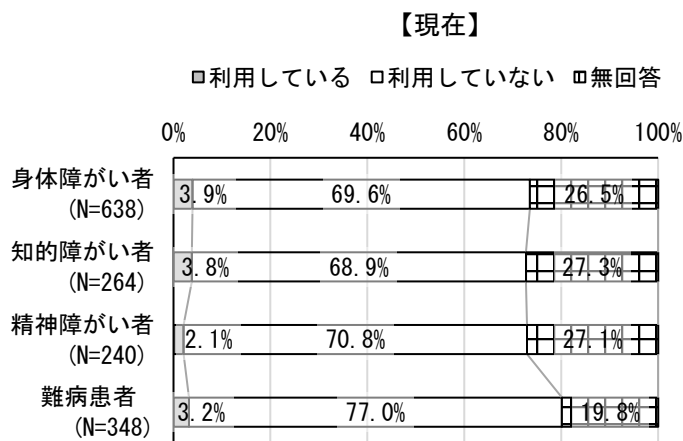
E. 難病患者 (N=348)



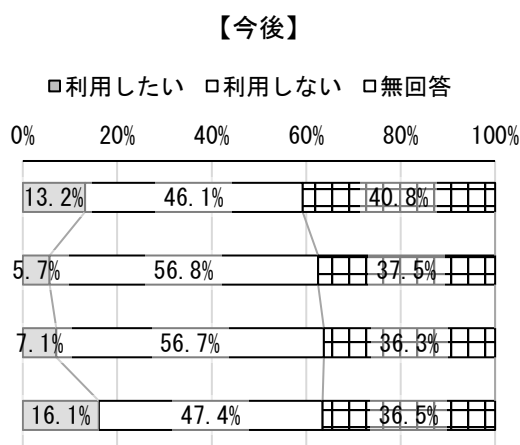
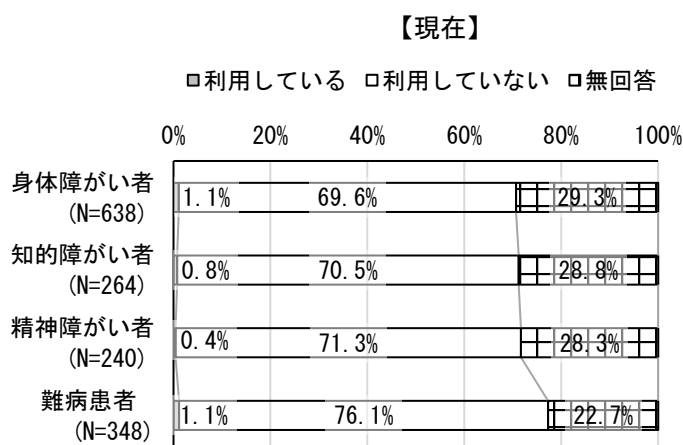
2 調査の結果



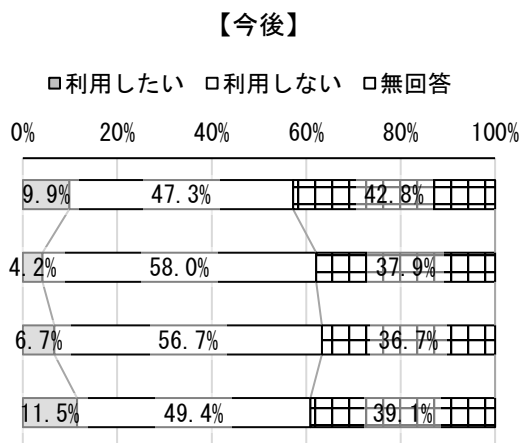
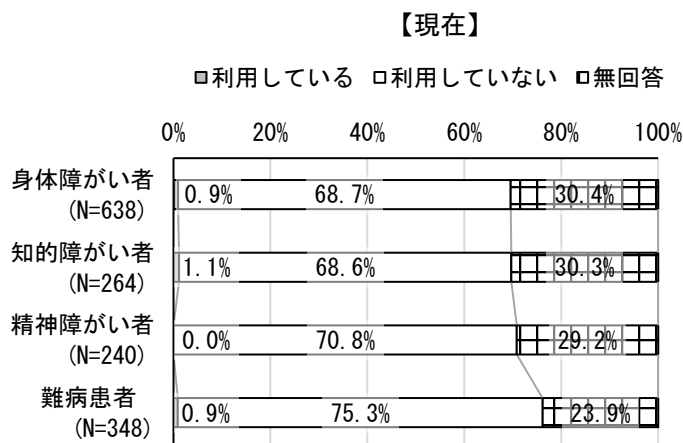
1) 居宅介護（ホームヘルプ）



2) 重度訪問介護

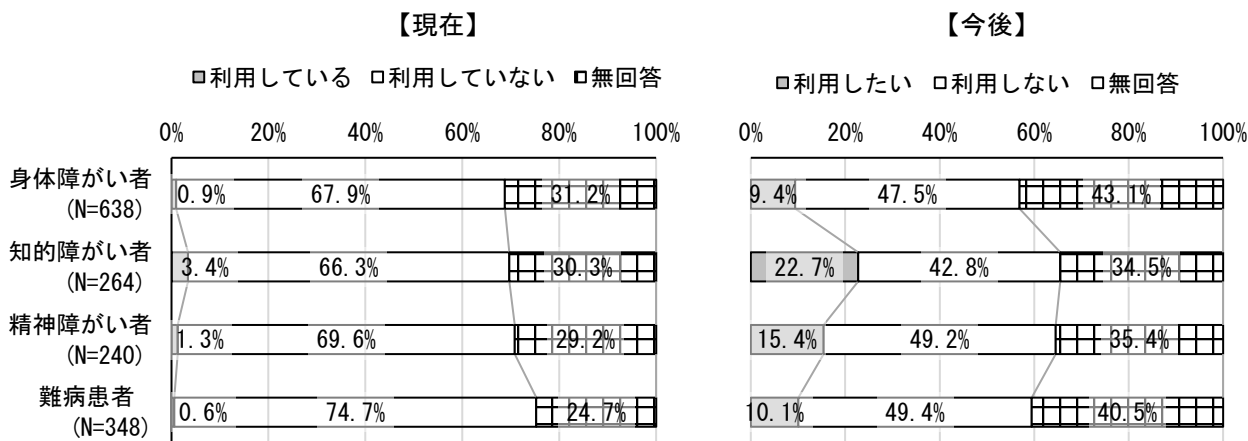


3) 同行援護

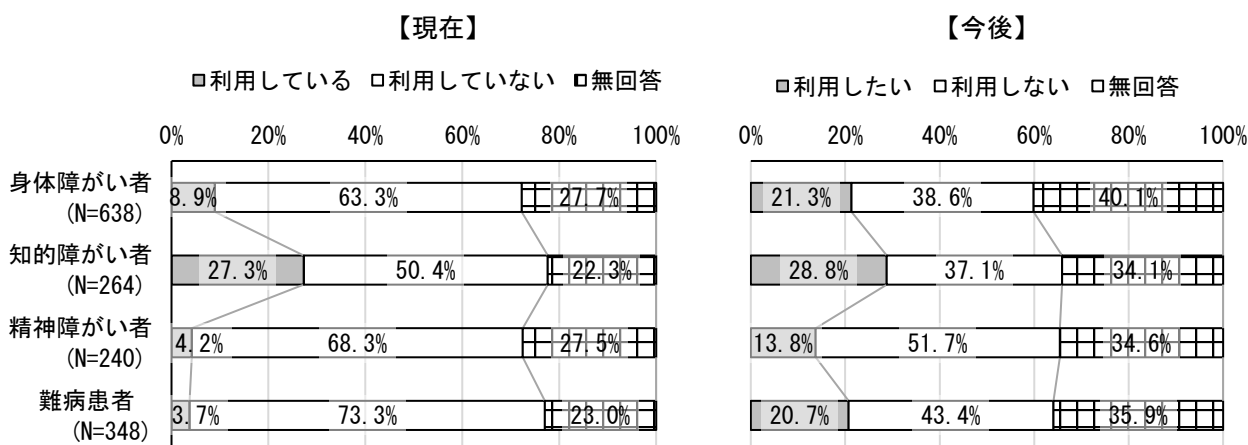


2 調査の結果

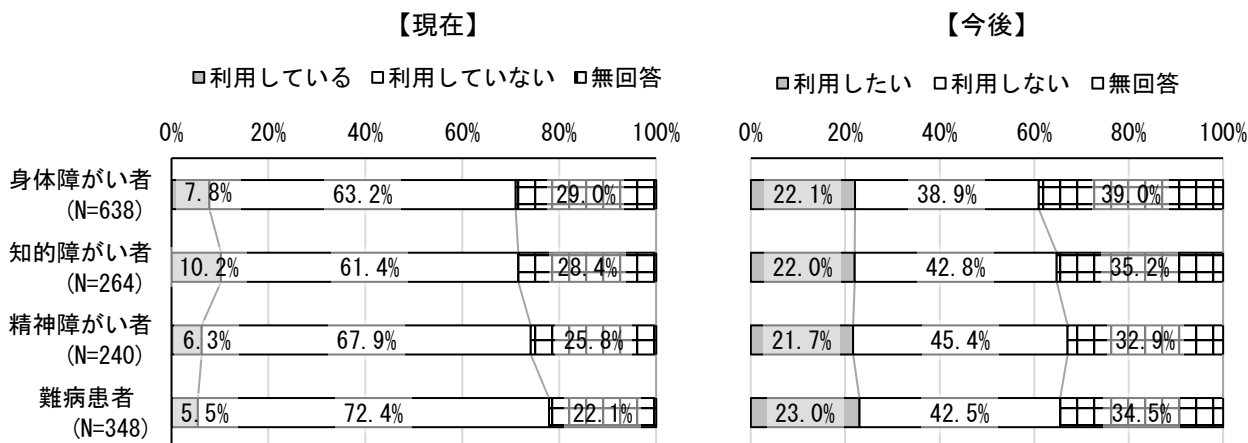
4) 行動援護



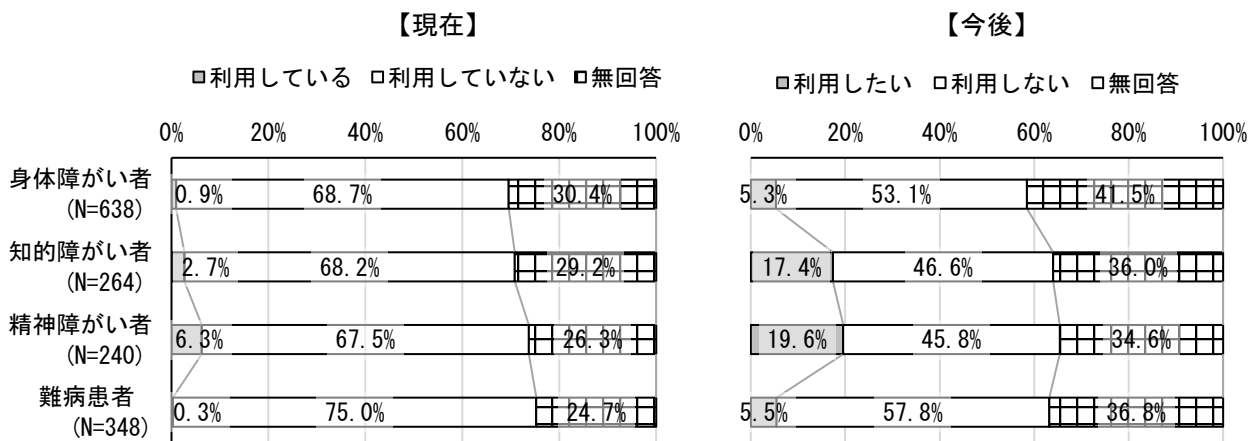
5) 生活介護



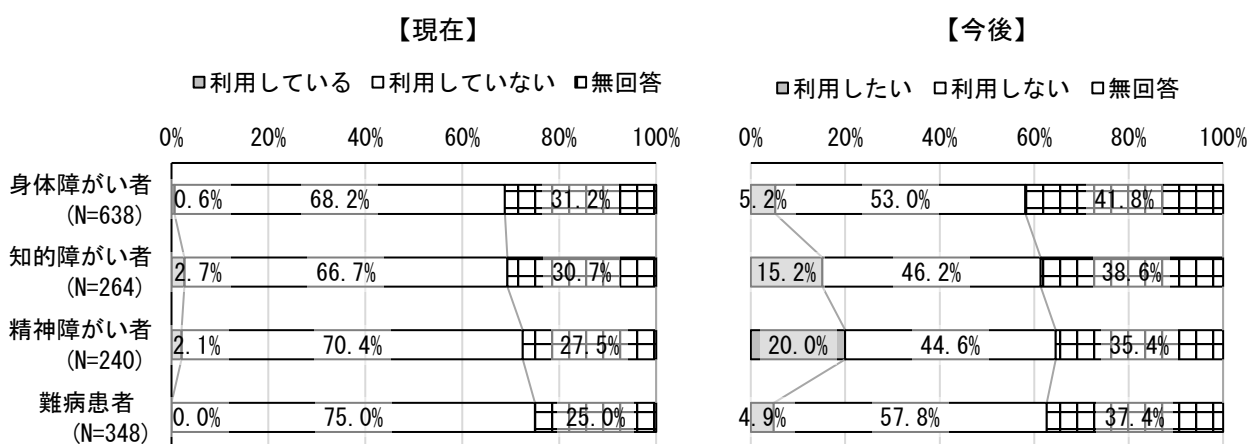
6) 自立訓練（機能訓練、生活訓練）



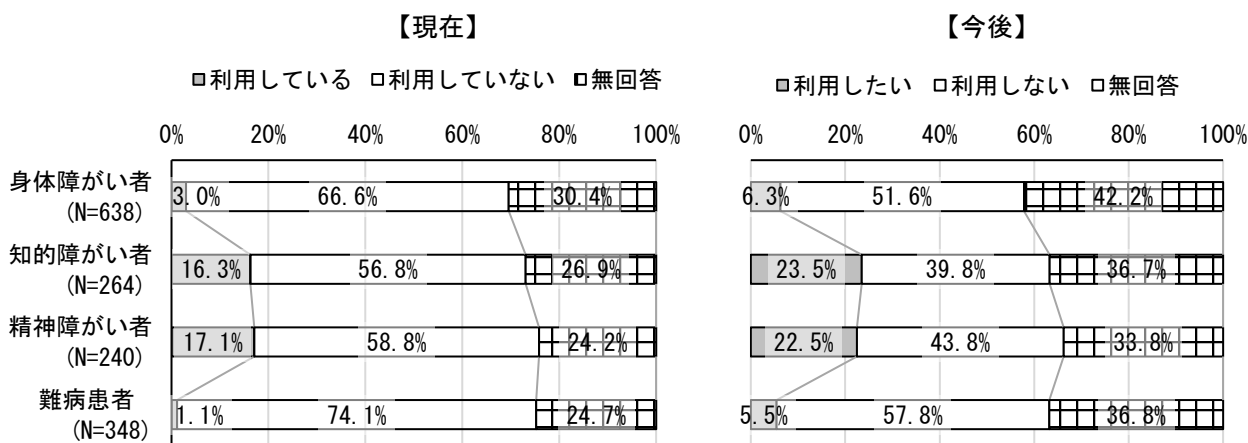
7) 就労移行支援



8) 就労継続支援（A型）

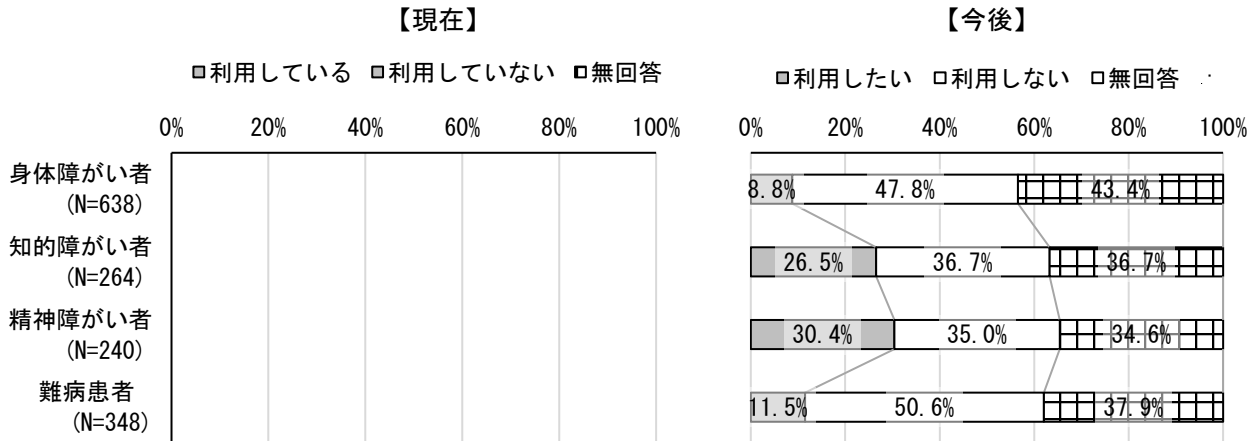


9) 就労継続支援（B型）

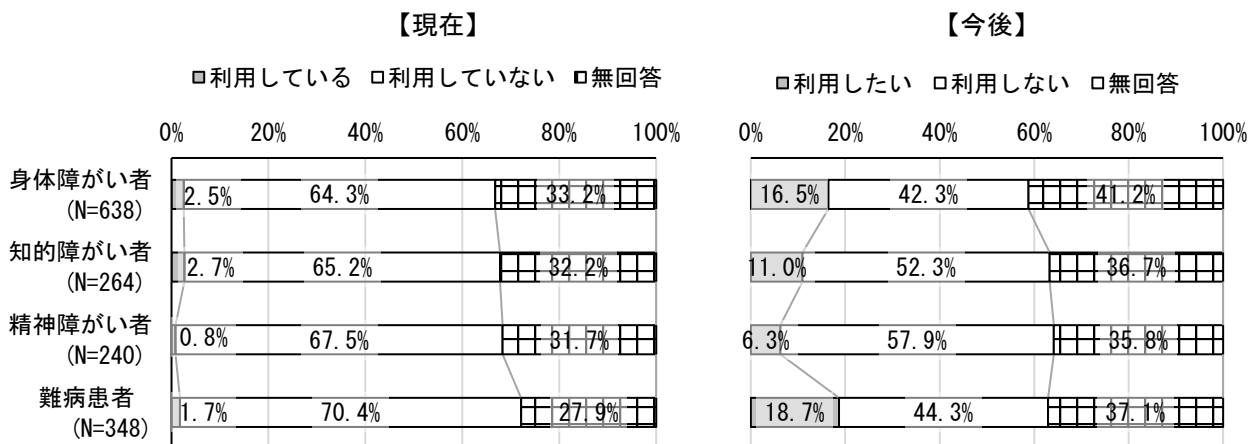


2 調査の結果

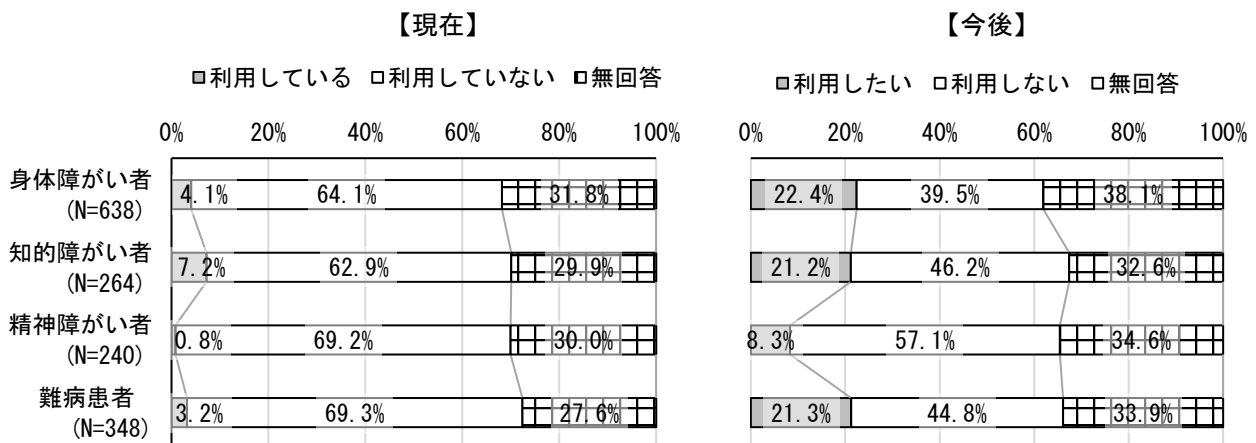
10) 就労選択支援



11) 療養介護

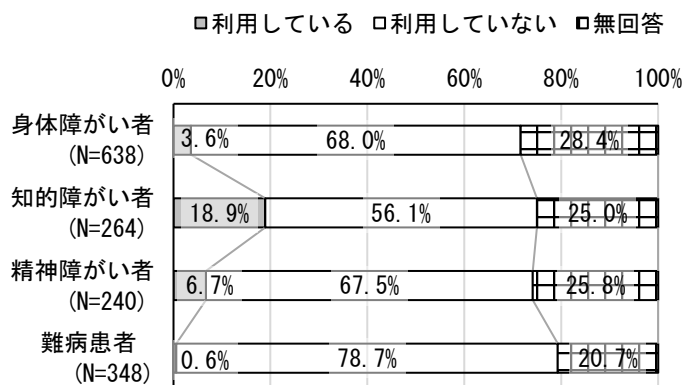


12) 短期入所 (ショートステイ)

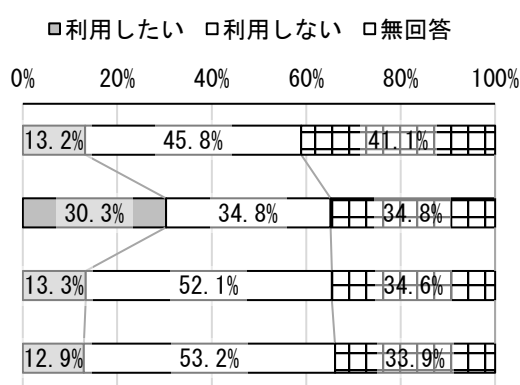


13) 共同生活援助（グループホーム）

【現在】

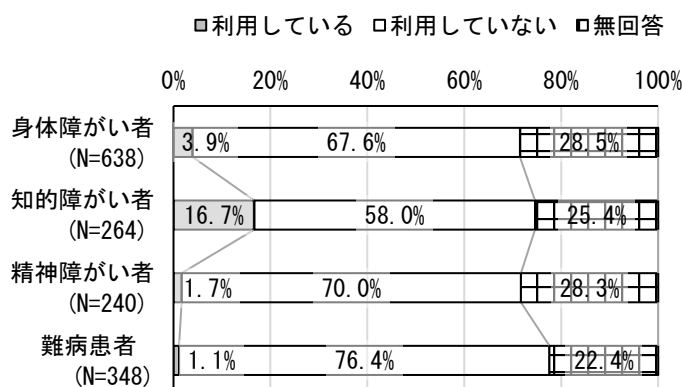


【今後】

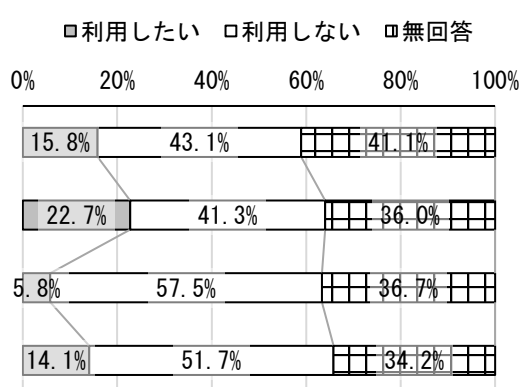


14) 施設入所支援

【現在】

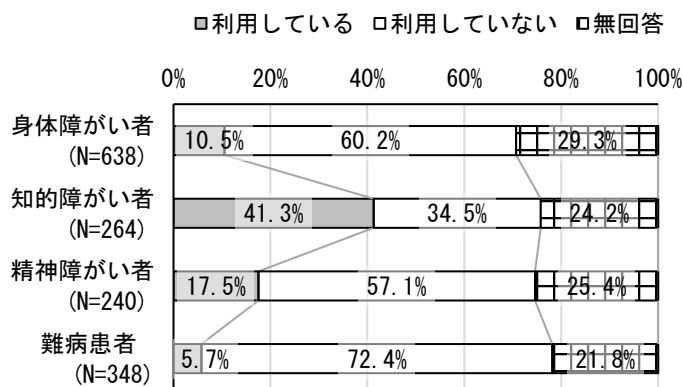


【今後】

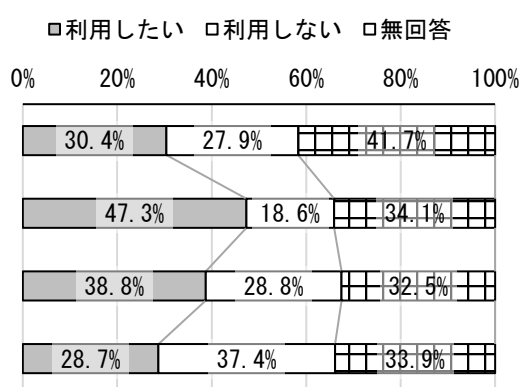


15) 相談支援

【現在】

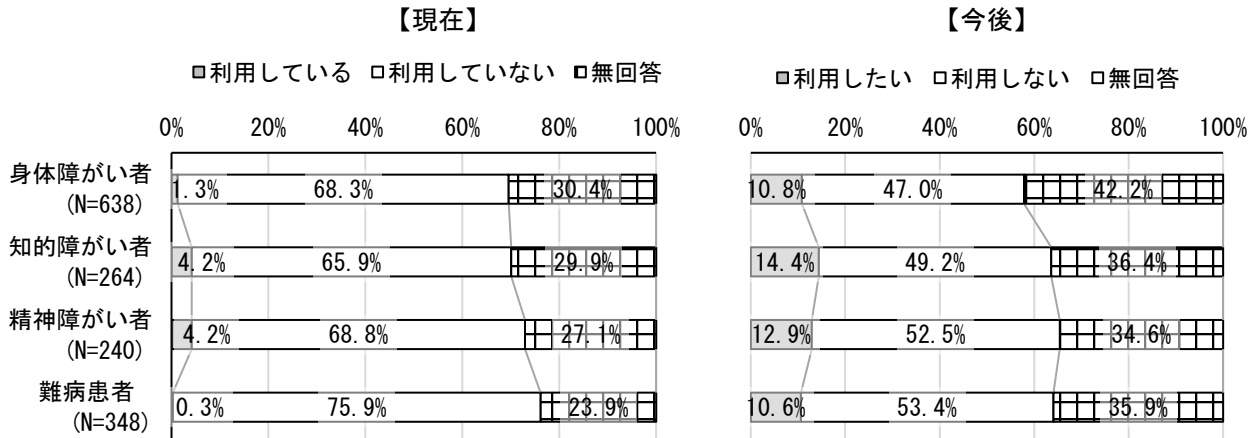


【今後】

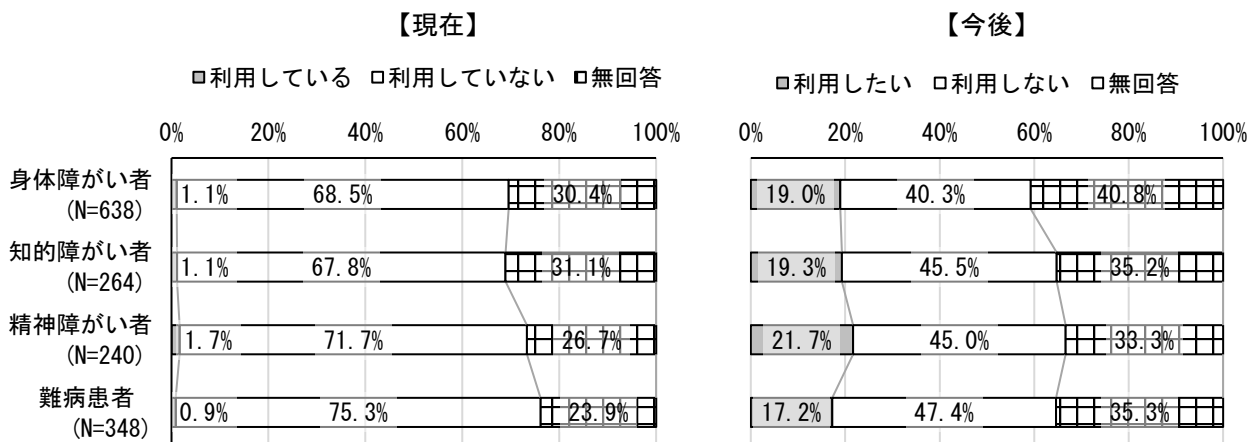


2 調査の結果

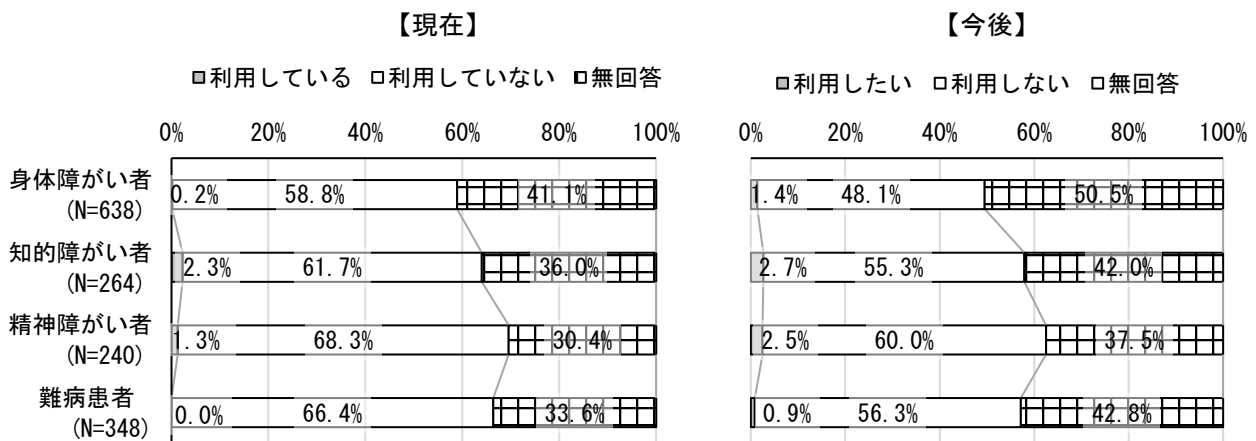
16) 地域移行支援



17) 地域定着支援

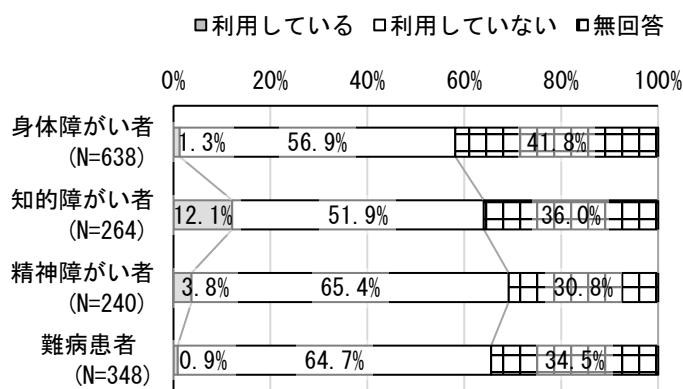


18) 児童発達支援

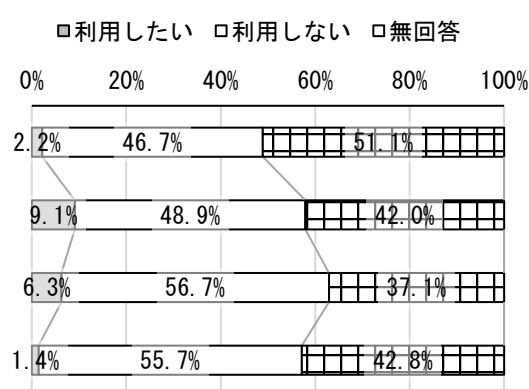


19) 放課後等デイサービス

【現在】

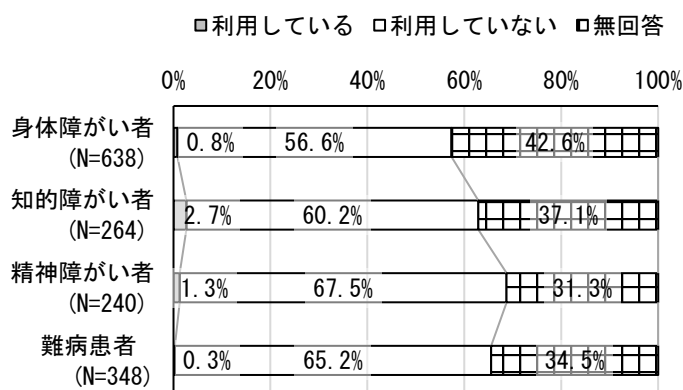


【今後】

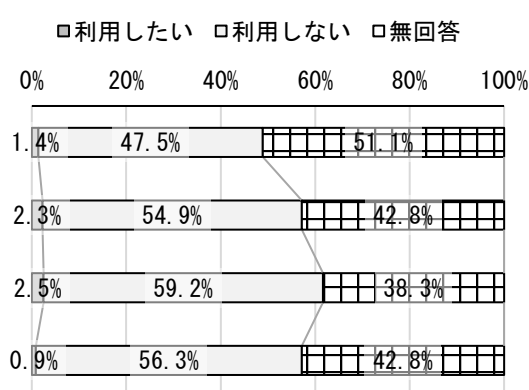


20) 保育所等訪問支援

【現在】

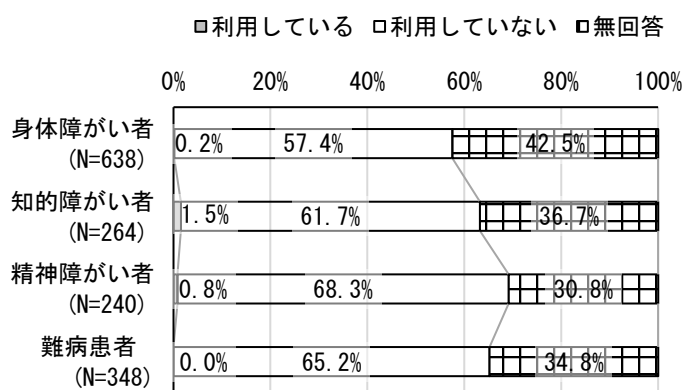


【今後】

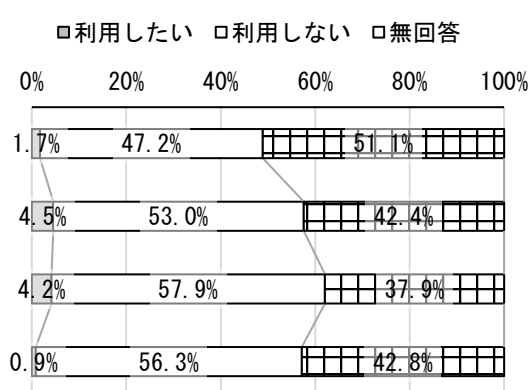


21) 医療型児童発達支援

【現在】

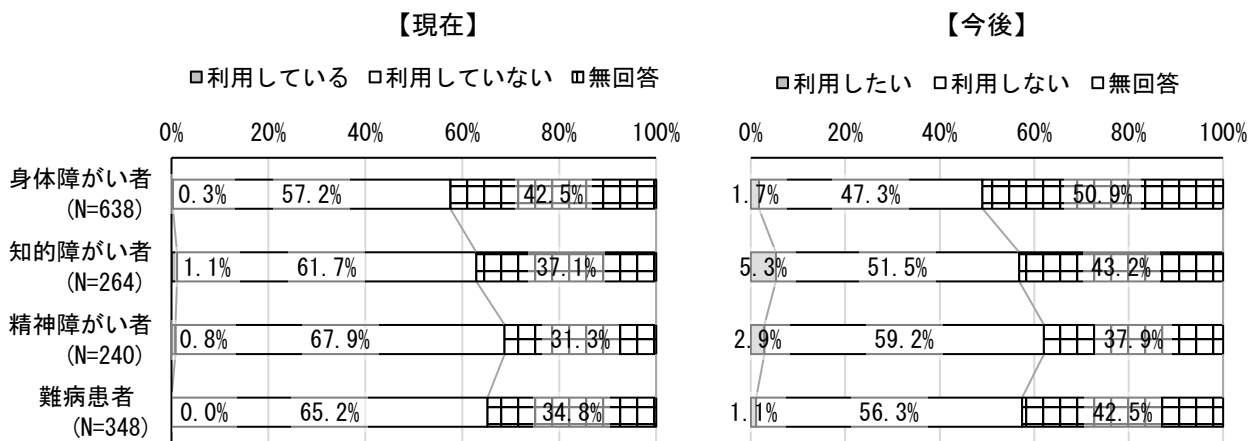


【今後】

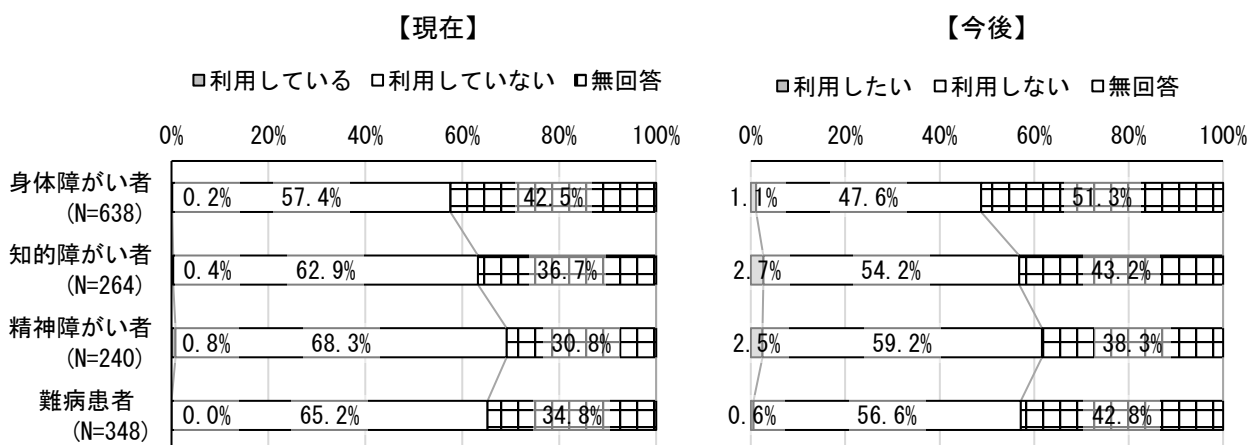


2 調査の結果

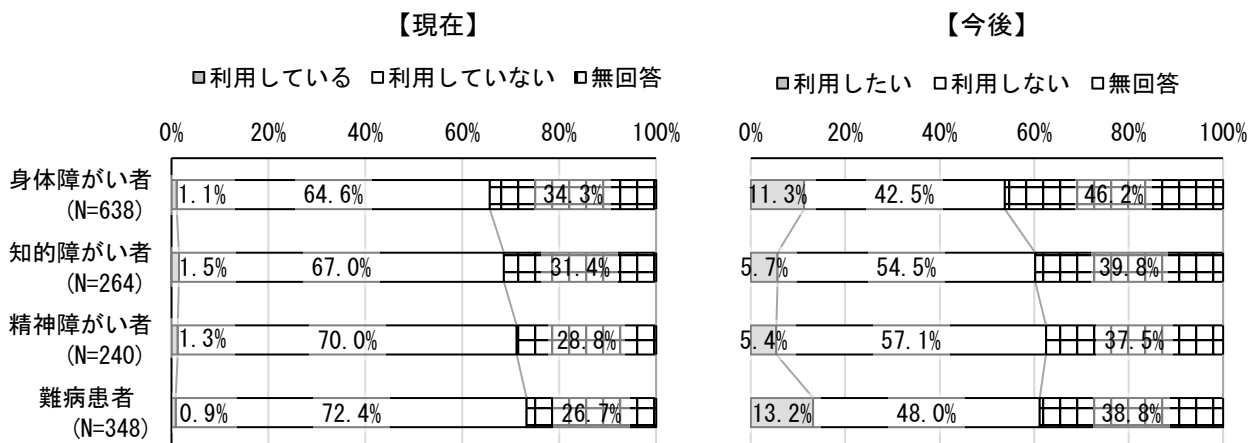
22) 福祉型児童入所支援



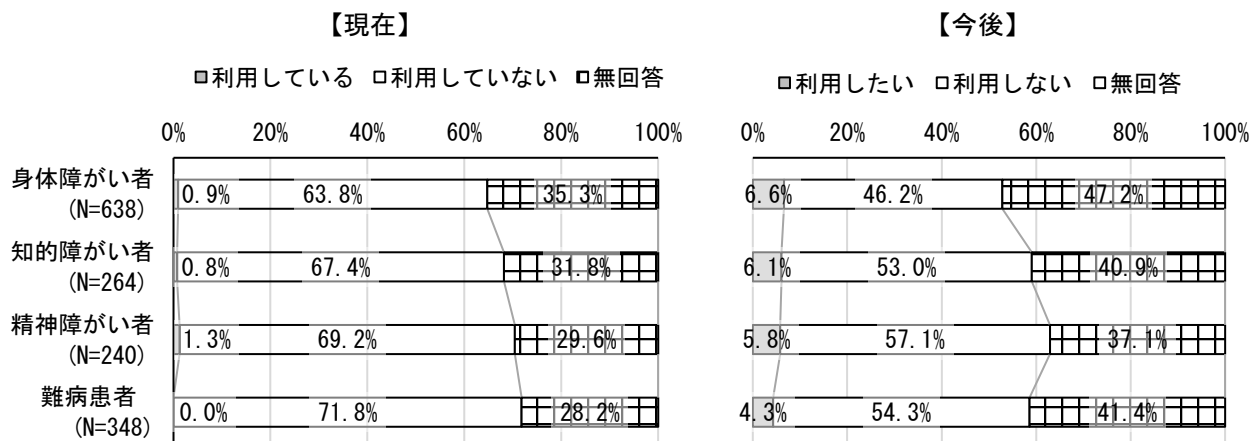
23) 医療型児童入所支援



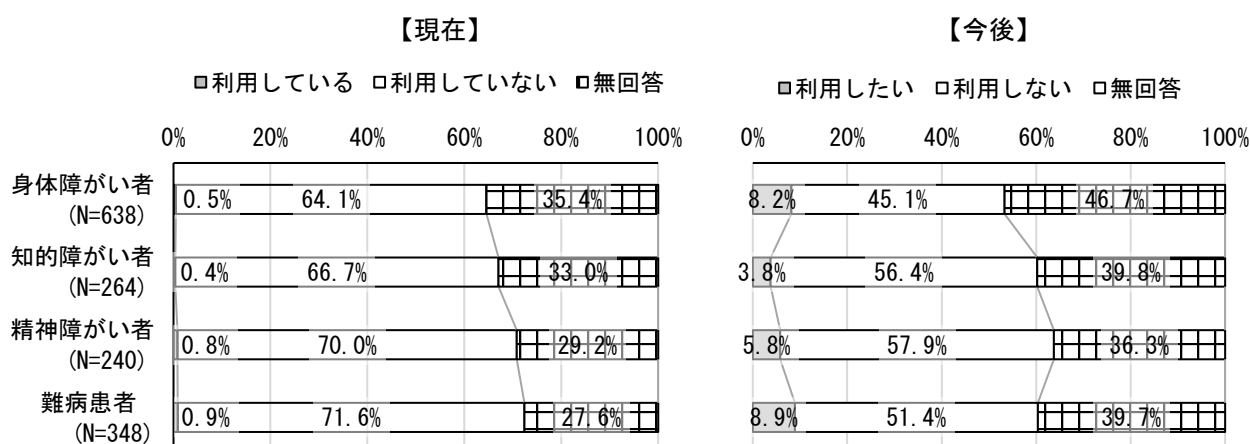
24) 重度障害者等包括支援



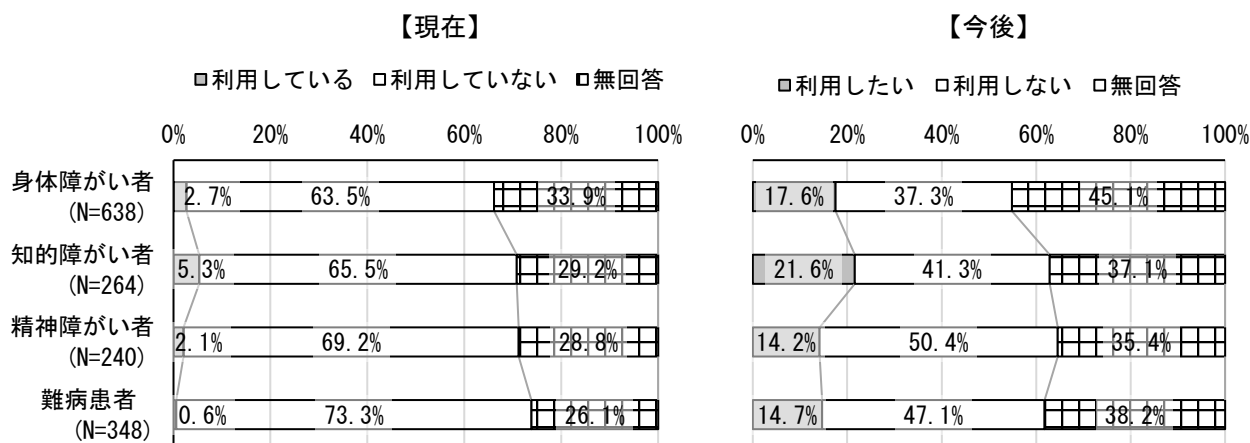
25) 意思疎通支援



26) 訪問型在宅レスパイト

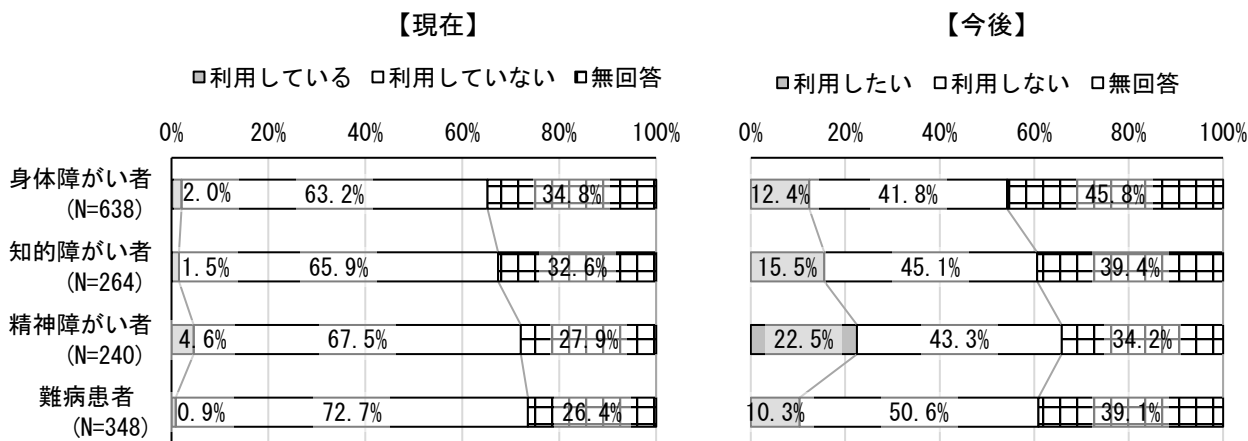


27) 移動支援

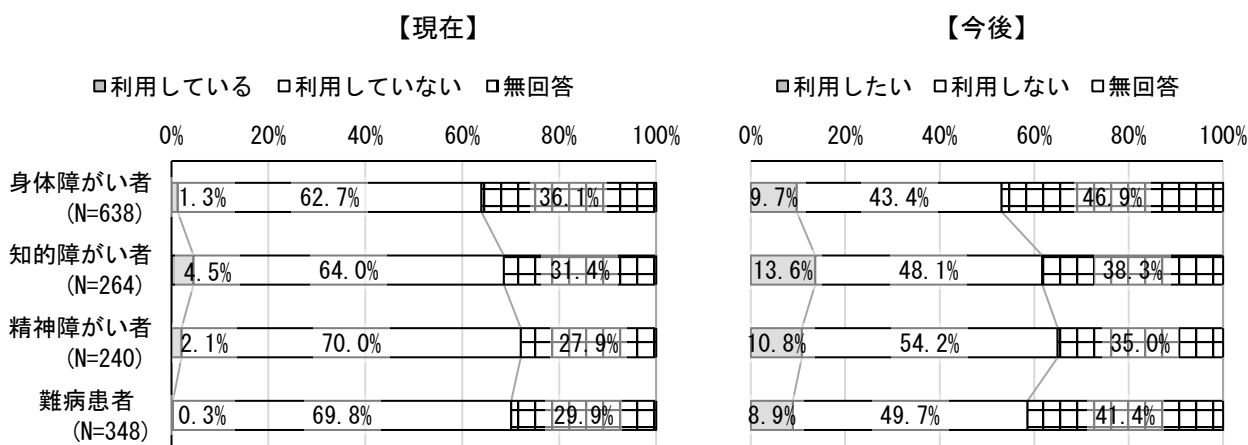


2 調査の結果

28) 地域活動支援センター



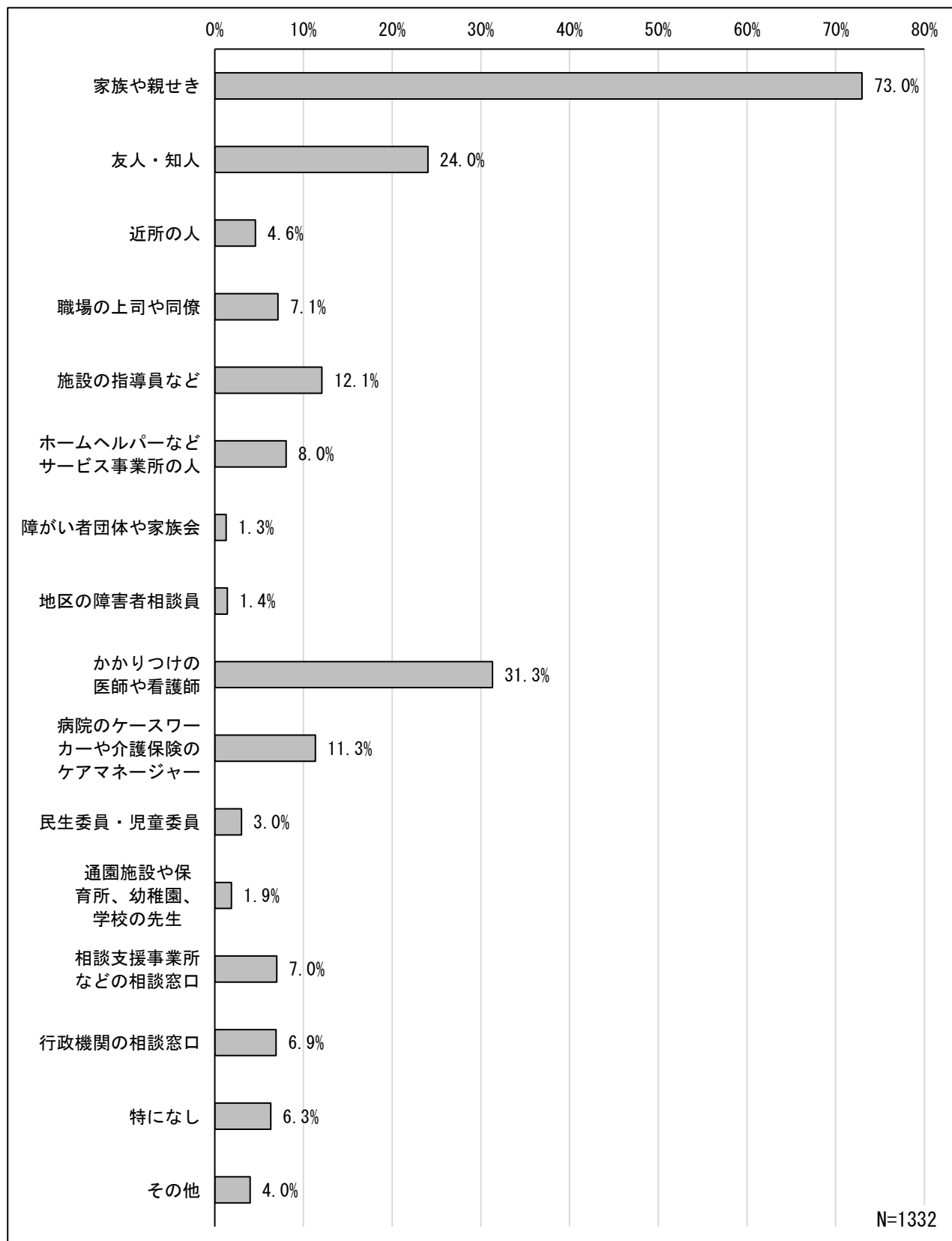
29) 日中一時支援



- 「現在」における状況は、「全体」では「相談支援」（14.0%）、「生活介護」（9.0%）、「就労継続支援（B型）」（6.8%）の順に回答が集まっている。身体障がい者の場合は、「就労継続支援」の代わりに「自立訓練」（7.8%）となっている。知的障がい者では、他の障がい者と比べ、比較的利用率は高い。「就労継続支援」の代わりに「共同生活援助」（18.9%）となっている。精神障がい者では、「相談支援」（17.5%）、「就労継続支援（B型）」（17.1%）以外は10%を下回る値となっている。難病患者は、全般的に割合が低い。
- 「今後」における「利用したい」に関して、20%を超えて希望されているサービスは、「全体」では、「相談支援」（33.6%）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（21.2%）、「生活介護」（20.2%）となっている。身体障がい者では、「相談支援」の次は「短期入所（ショートステイ）」（22.4%）となっている。知的障がい者では、「相談支援」の次は「共同生活援助（グループホーム）」（30.3%）、「生活介護」（28.8%）となっている。精神障がい者では、「相談支援」の次は、今年度から始まった「就労選択支援」（30.4%）、「就労継続支援（B型）」（22.5%）など就労系が高い値となっている。難病患者では、「生活介護」に変わり「居宅介護（ホームヘルプ）」（22.7%）となる。

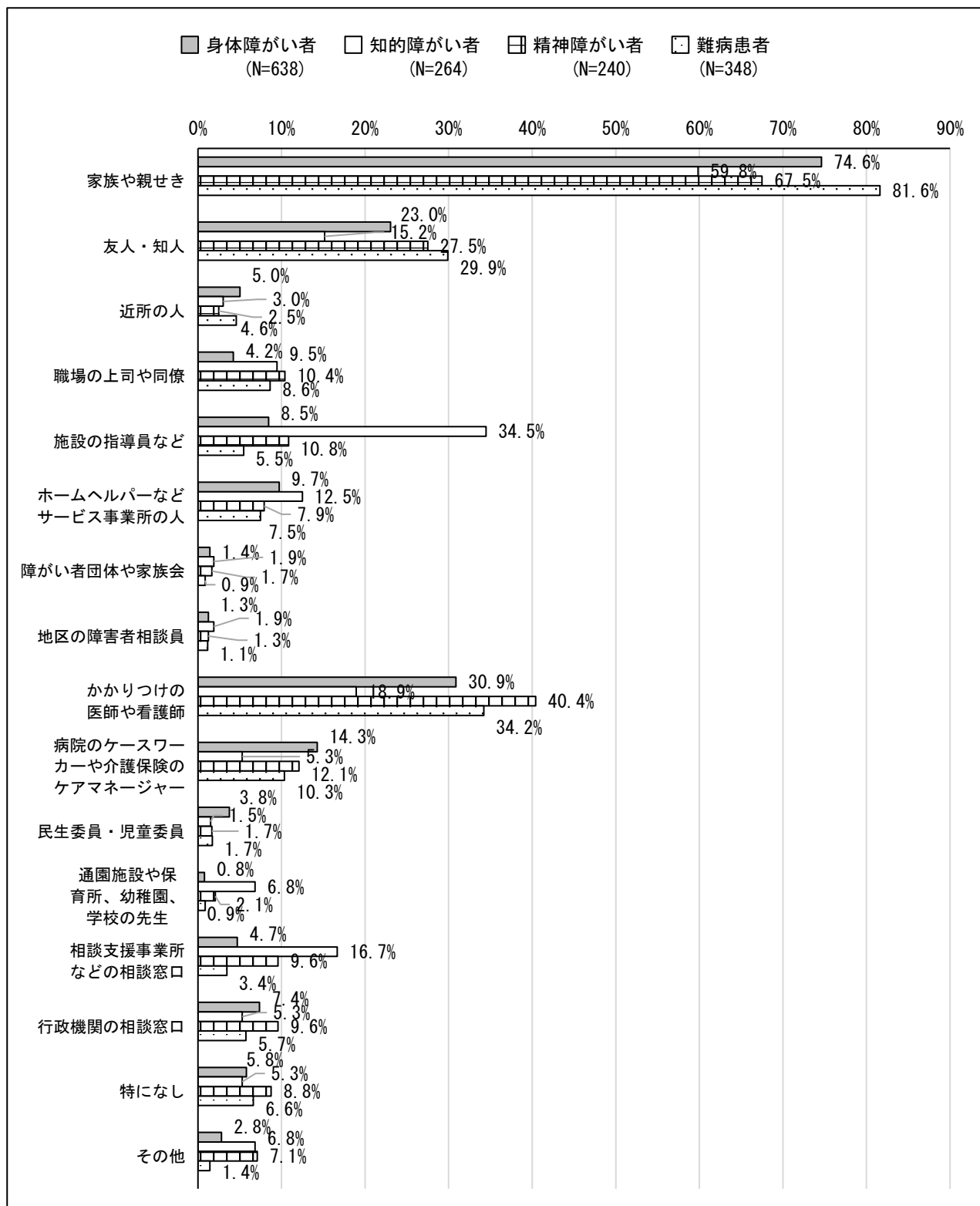
2-9 悩みや困ったことがあるときの相談相手について

問26 悩みや困ったことがあるとき、あなたはだれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○印)



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果

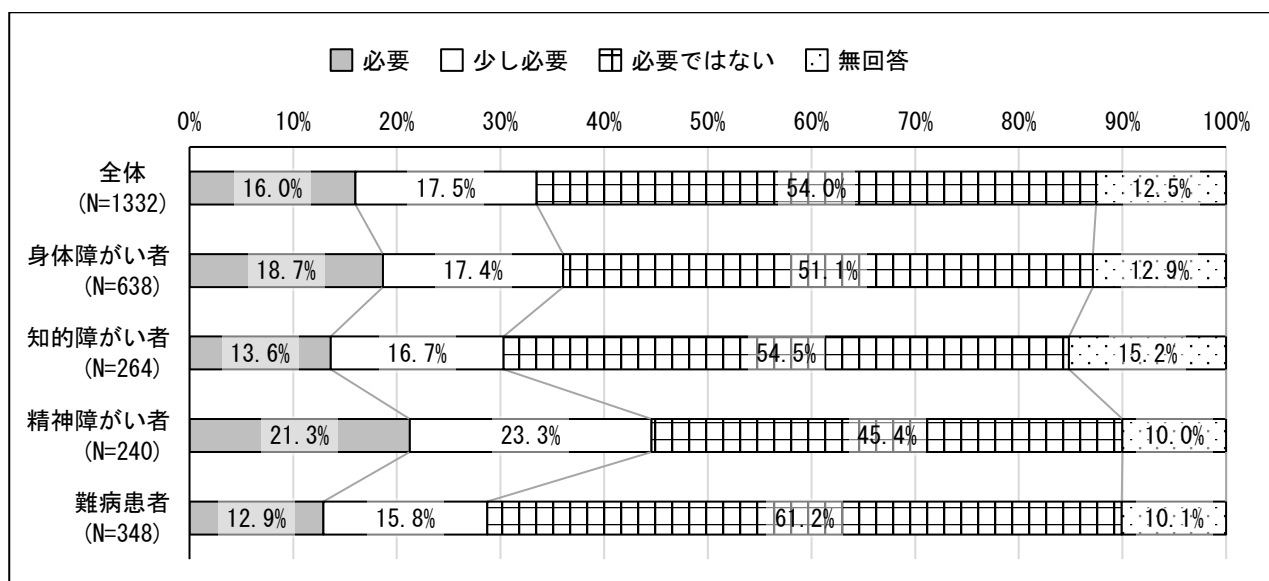


■ その他回答

インターネット(2)、AI(2)

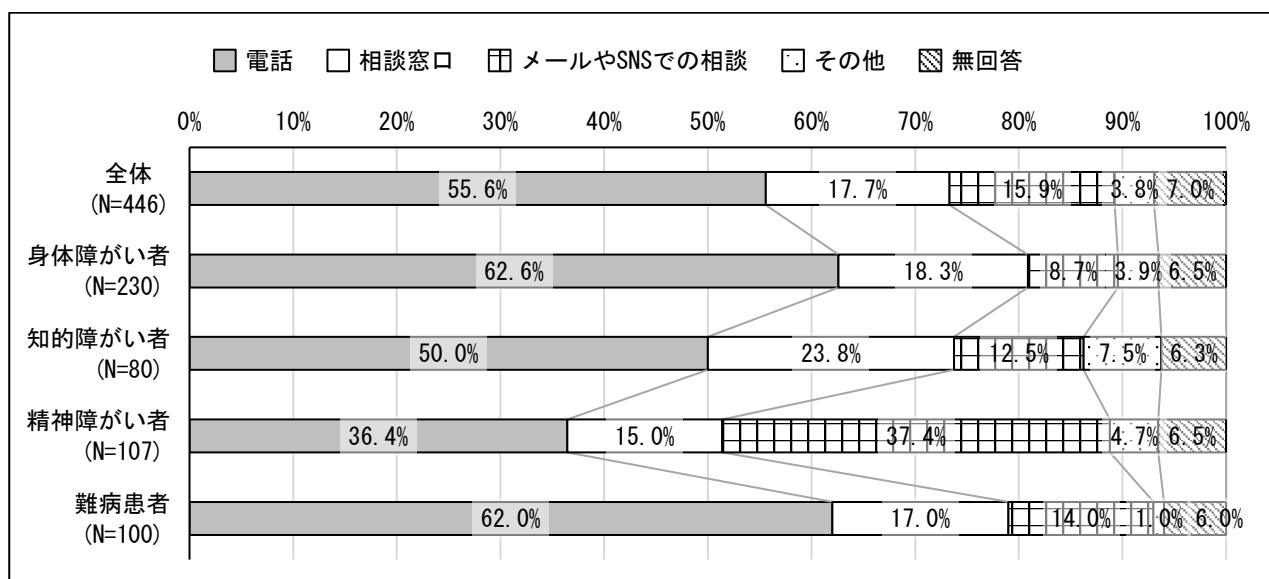
- 全体では「家族や親せき」(73.0%)に回答が集まっている。
- 身体障がい者、精障がい者、難病患者では「かかりつけの医師や看護師」、知的障がい者では「施設の指導員など」に他の障がい種別と比較して回答が集中している。

問 2 7 休日や夜間に相談することのできる手段が必要ですか。(1 つに○印)



- 「必要」及び「少し必要」の割合の合計は「全体」で33.5%だった。
- 障がい種別で分析すると、「必要」及び「少し必要」の割合合計は、精神障がい者(44.6%)が最も高く、続いて身体障がい者(36.1%)、知的障がい者(30.3%)、最も低いのが難病患者(28.7%)であった。

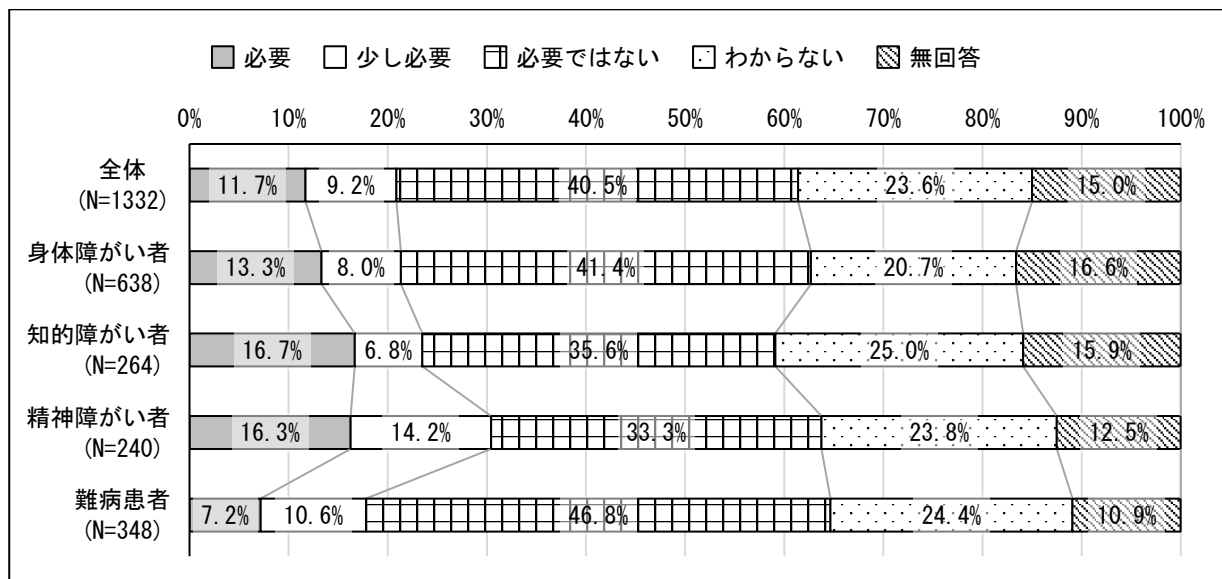
問 2 7 (1) 必要(少し必要)だと思う方は、どのような相談手段が必要ですか。(1 つに○印)



- 身体障がい者及び知的障がい者、難病患者は「電話」が最も高く50%を超えている。これに対し精神障がい者のみは「メールやSNSでの相談」が最も高い。

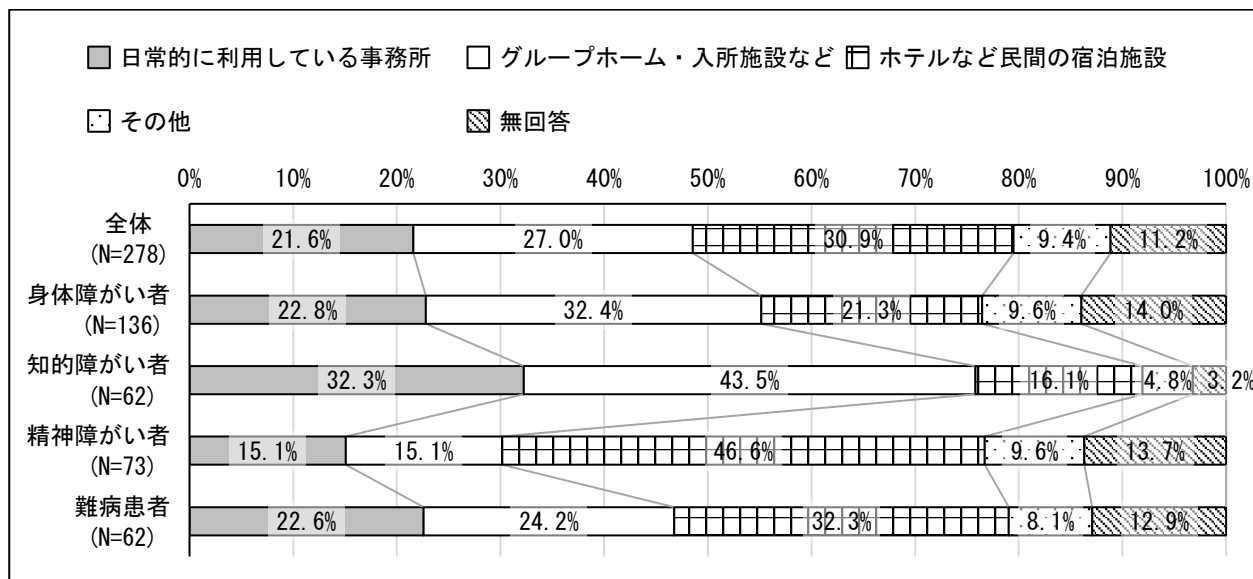
2 調査の結果

問28 悩みや困ったことがあるとき、休日や夜間に、一時的に滞在できる場所が必要ですか。(1つに○印)



● 身体障がい者及び知的障がい者、難病患者では「必要ではない」が「必要」「少し必要」の合計より割合が高い。これに対し、精神障がい者では、両者がほぼ拮抗している。

問28 (1) 必要(少し必要)だと思う方は、どのような場所が必要ですか。(1つに○印)

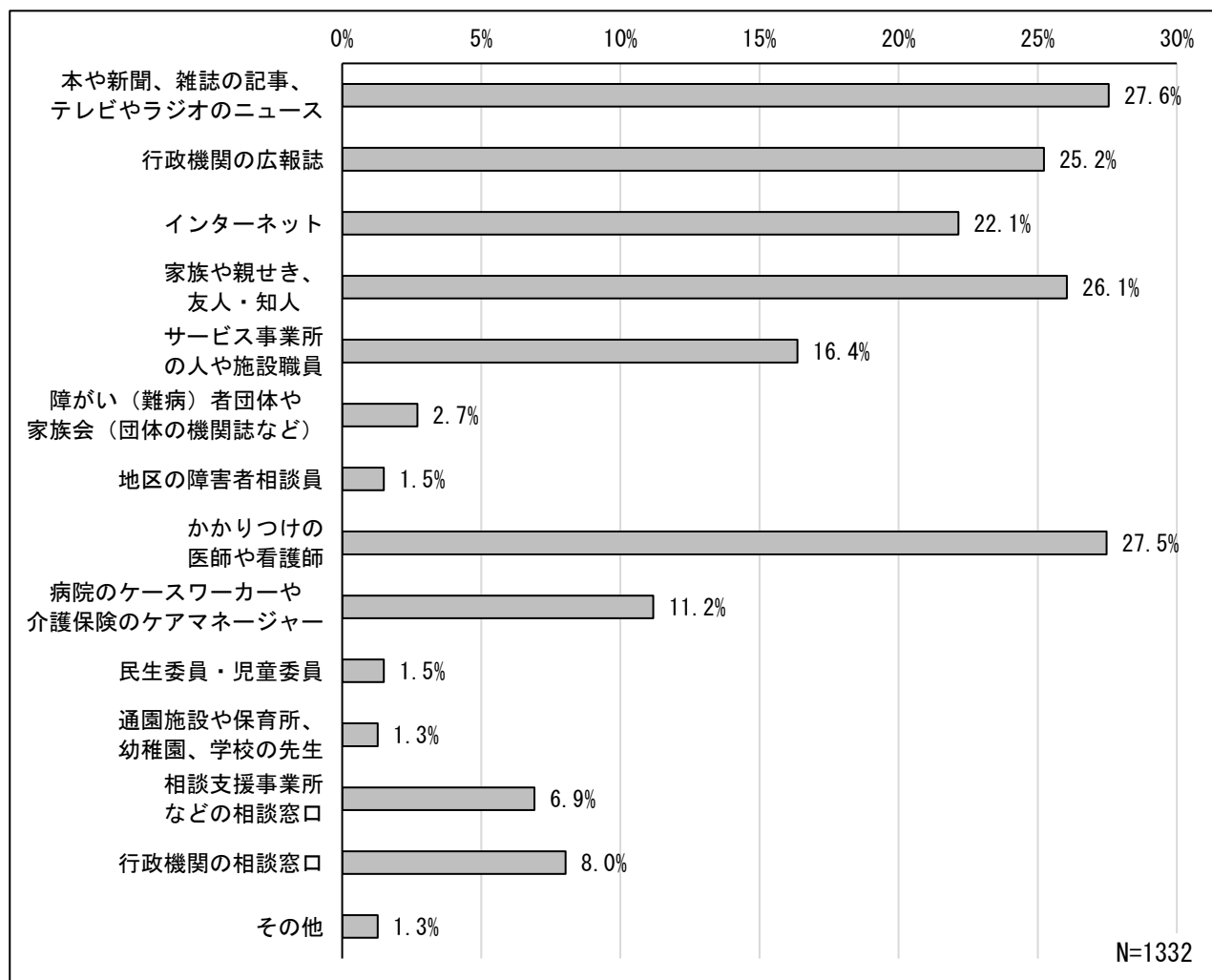


■ その他回答

医療機関(9)、家(5)、グループホーム以外の事業所、どこでもいいから一人になれる所、屋内型無料休憩所、市役所、ハローワーク、手話通訳者に出会って相談。道を歩く、友人宅(各1)

● 身体障がい者及び知的障がい者では「グループホーム・入所施設」が最も高いが、精神障がい者及び難病患者では、「ホテルなどの民間の宿泊施設」となっている。

問29 あなたは障がい（難病）のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○印）



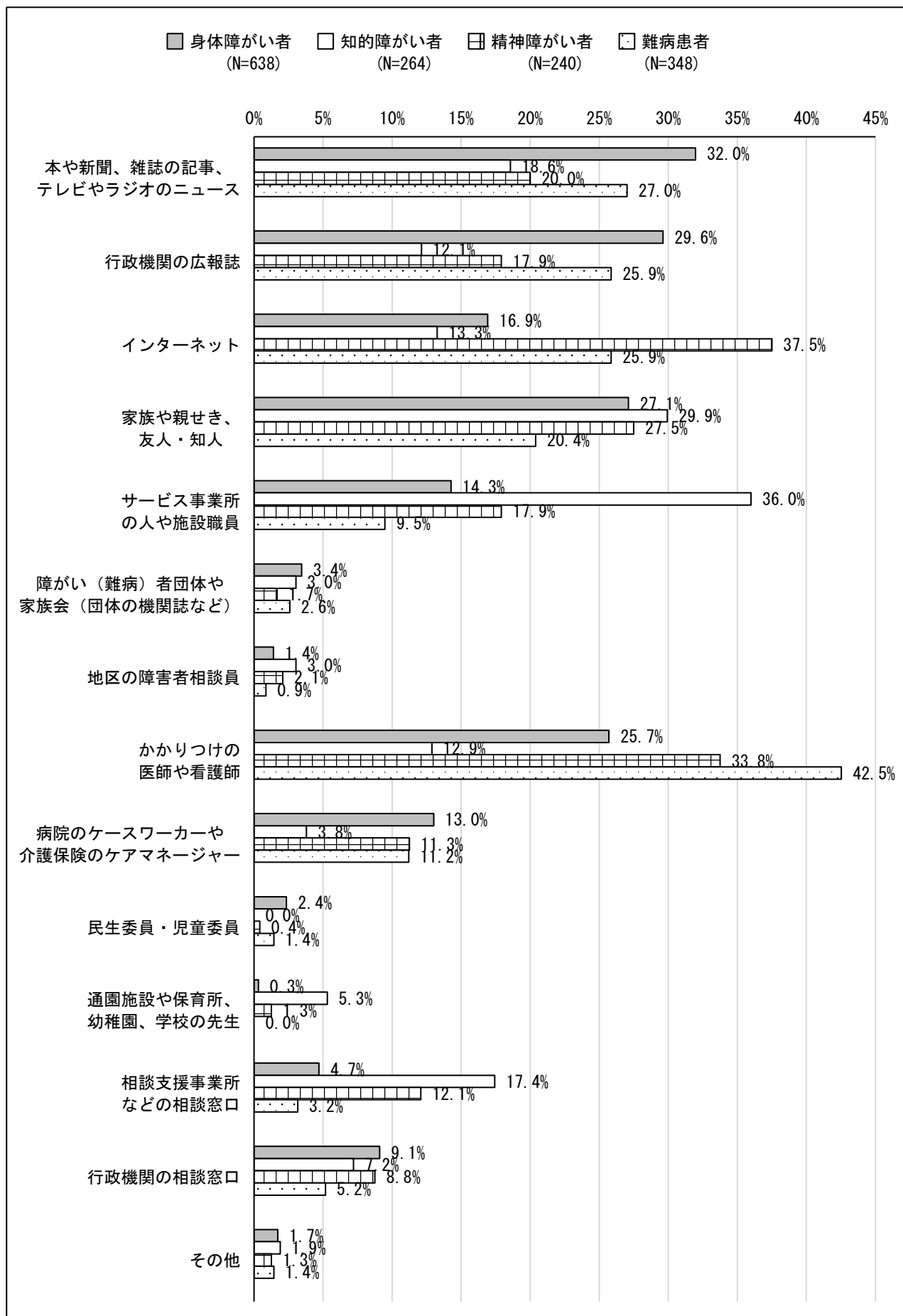
■ その他回答

職場(1)、携帯(1)

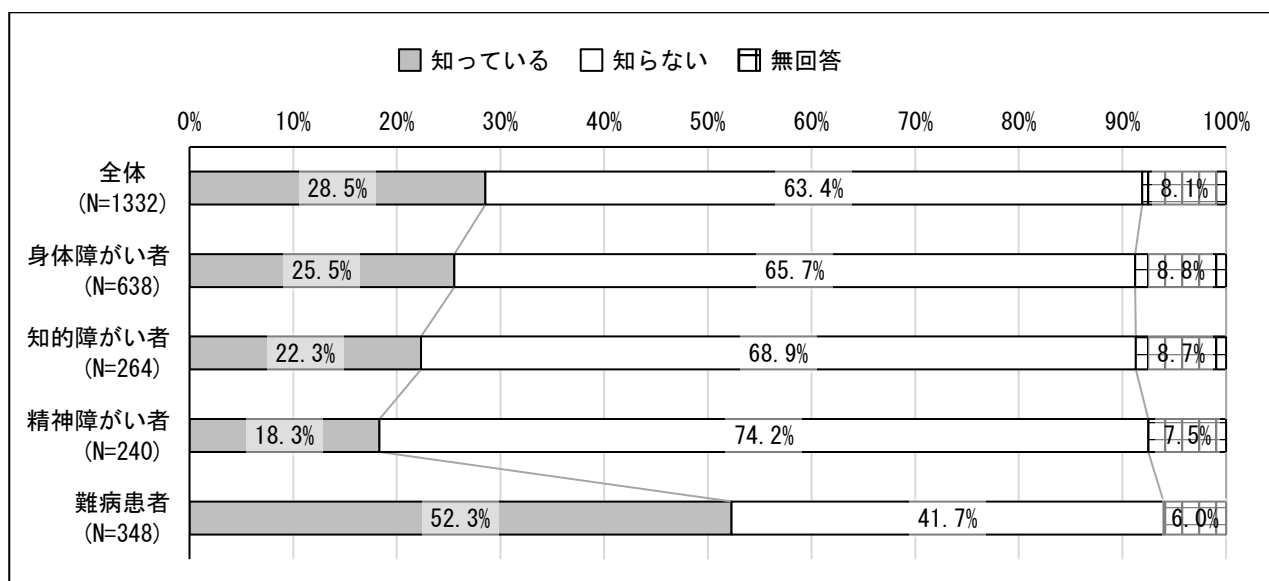
- 全体では「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」（27.6%）、「かかりつけの医師や看護師」（27.5%）、「家族や親せき、友人・知人」（26.1%）の順に回答が集まっている。
- 身体障がい者では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」、「行政機関の広報誌」、「家族や親せき、友人・知人」の順に回答が集まっている。
- 知的障がい者では、「サービス事業所の人や施設職員」、「家族や親せき、友人・知人」の順に回答が集まっている。
- 精神障がい者では、「インターネット」、「かかりつけの医師や看護師」、「家族や親せき、友人・知人」の順に回答が集まっている。
- 難病患者では、「かかりつけの医師や看護師」、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の順に回答が集まっている。

2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果

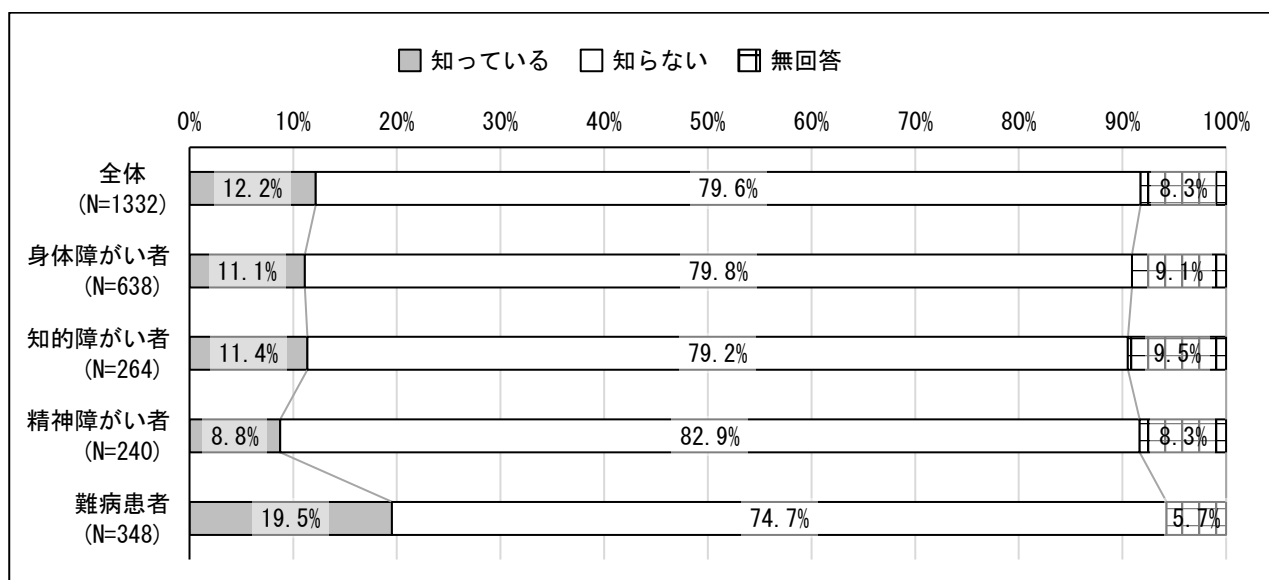


問30 あなたは各種障がい者団体・難病患者会の存在を知っていますか。(1つに○印)



- 「知っている」と回答した割合は、難病患者が圧倒的に高く52.3%となっている。続いて身体障がい者が25.5%、そして、知的障がい者、精神障がい者の順となる。

問31 あなたは各種障がい者団体・難病患者会の活動内容を知っていますか。(1つに○印)

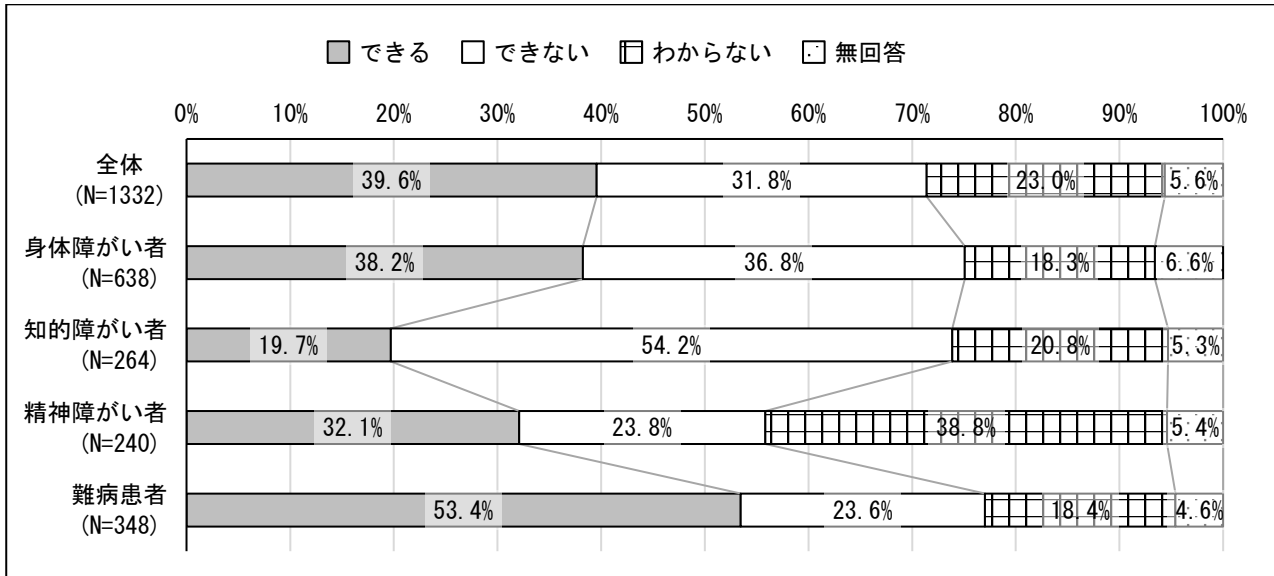


- 難病患者のみ「知らない」と回答した割合は、少し低く74.7%であるが、他の障がい種別では、8割の人が「知らない」と回答した。

2 調査の結果

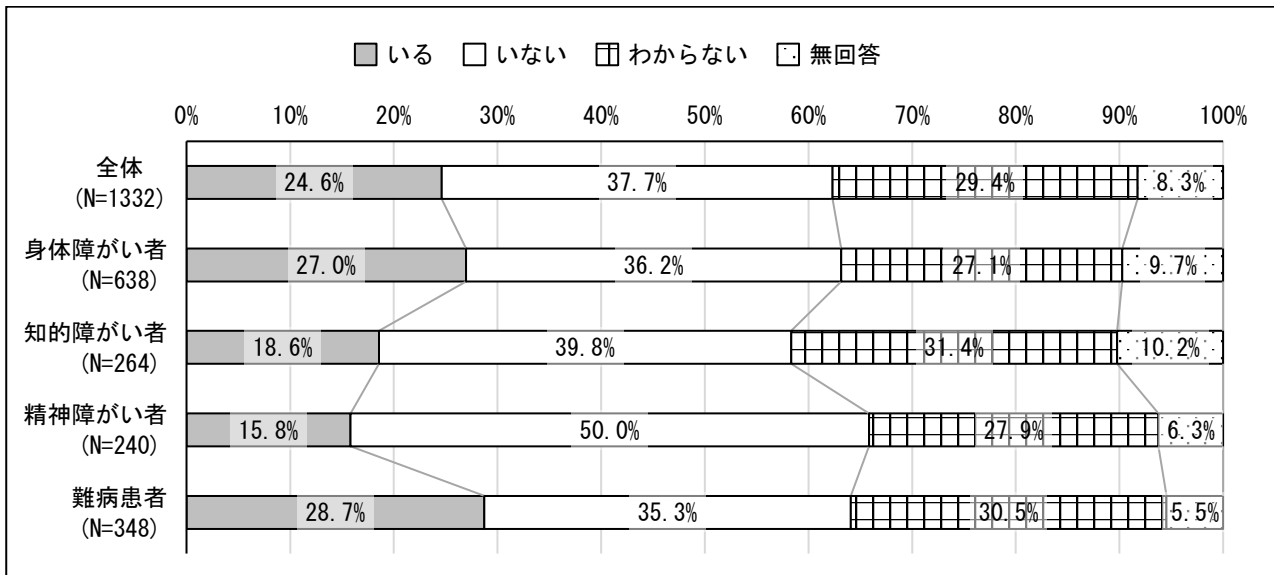
2-10 災害の時の避難などについて

問32 あなたは、火事や地震等の災害の時に一人で避難できますか。（1つに○印）



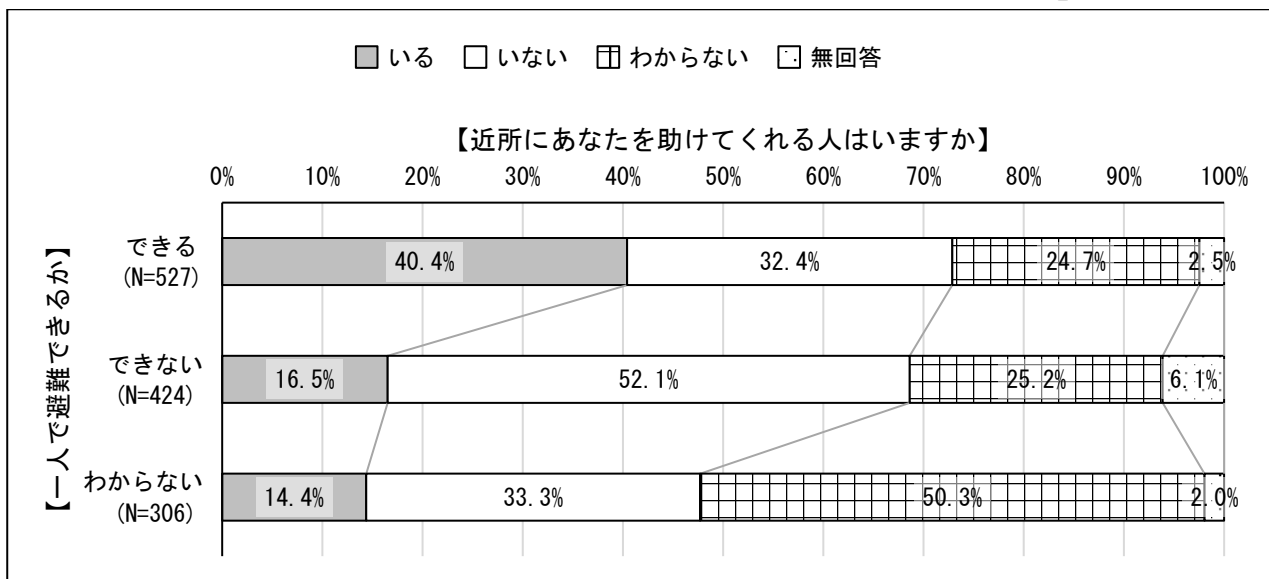
- 最も高い割合で「できる」と回答したのは、難病患者であった。逆に、最も高い割合で「できない」と回答したのは、知的障がい者であった。身体障がい者及び精神障がい者では、「できる」と回答した割合が「できない」より少し高い割合であった。ただし、精神障がい者では、他の障がい種別と比較して「わからない」という割合が10%高い結果となった。

問33 家族が家にいない時や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。（1つに○印）



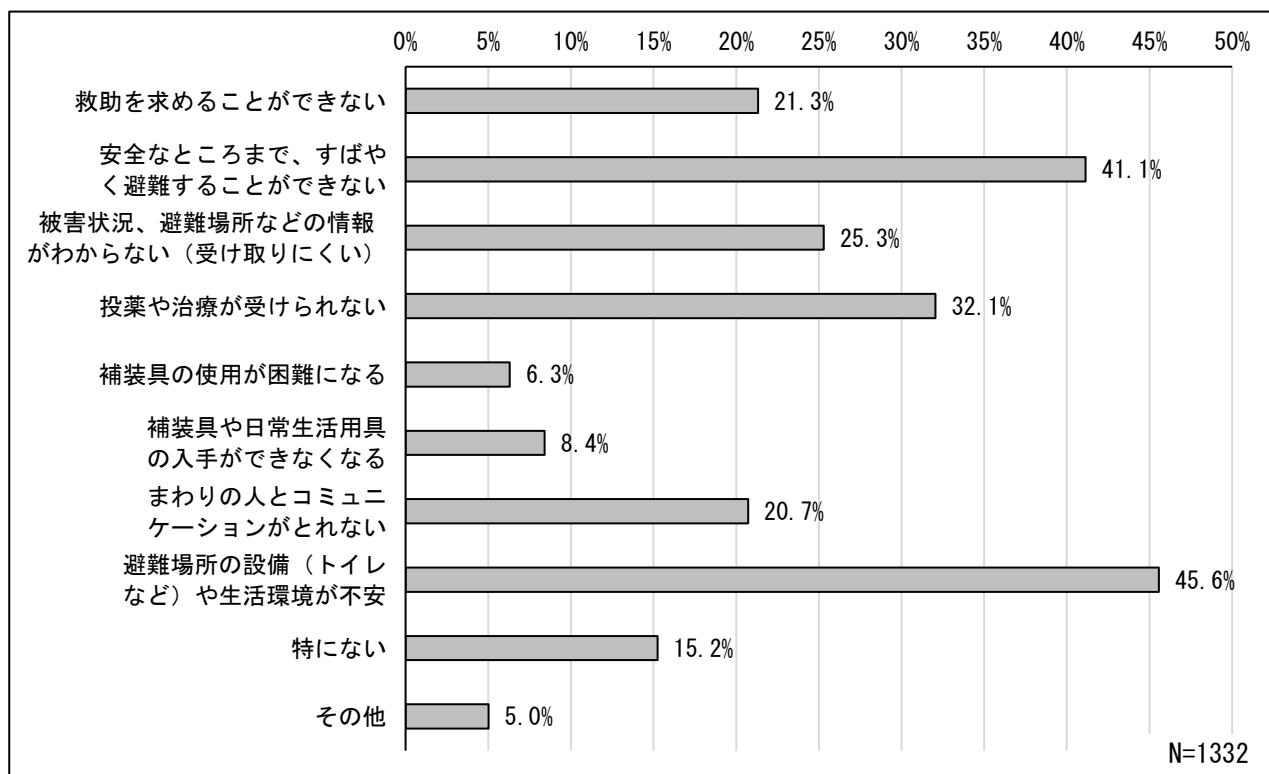
- 全障がい種別において「いる」より、「いない」と回答した人の割合は高い。
- 「いる」と回答した率の方が最も高いのは、難病患者（28.7%）であり、続いて身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の順となった。知的障がい者では、「わからない」という回答をした人、精神障がい者では、「いない」と回答した人の割合が他の障がい種別より高い傾向を示した。難病患者も「わからない」と回答した割合は、知的障がい者に続いて高い割合だった。

■ 「一人で避難できるか」と「近所にあなたを助けてくれる人はいますか」のクロス集計



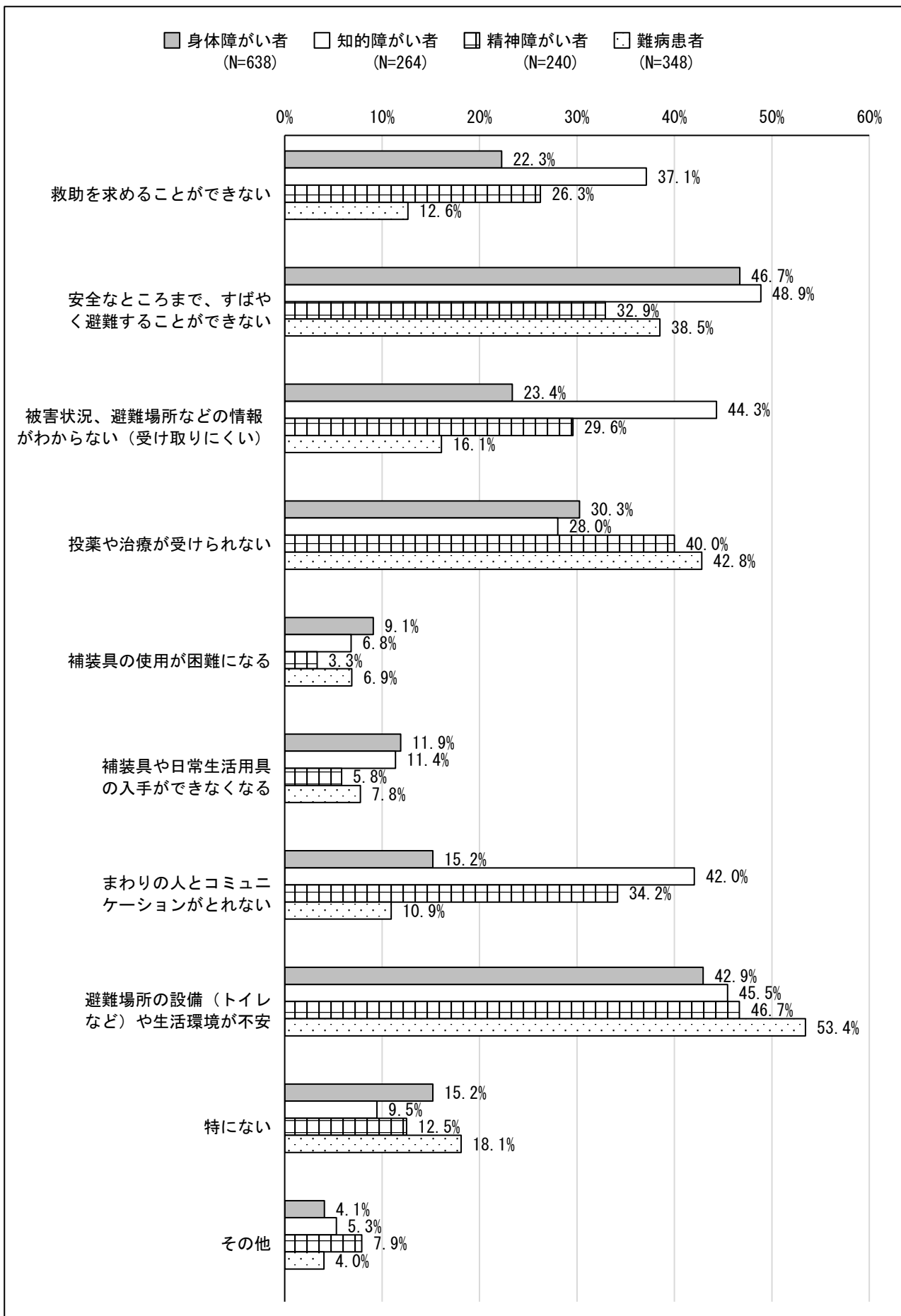
- 「一人で避難できる」と回答した人の方が、「できない」「わからない」と回答した人より「いる」と回答した人の割合が大きく増えた。

問34 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果



- 全体では「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」（45.6%）、「安全なところまで、すばやく避難することができない」（41.1%）、「投薬や治療が受けられない」（32.1%）の順に回答が集まっている。
- 身体障がい者では、「安全なところまで、すばやく避難することができない」に最も回答が集中している。知的障がい者でも同様だが、「被害状況、避難場所などの情報がわからない」、「まわりの人とコミュニケーションがとれない」にも回答が集中している。精神障がい者では「投薬や治療が受けられない」にも回答が集中している。難病患者では、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」に最も回答が集中している。

■ その他回答

年齢	性別	障がい種別				その他
88	女性	身体				ウロガードを使うためにベットでないとだめ
82	女性	身体				ここの地区が人が少ないで、何も思うようにいきません
62	女性	身体			難病	さっさと行動を移せない時不安がある
55	男性	身体				すべてが困ります。
28	女性	身体				スマホの充電が切れると情報がつかめなくなる（ごはんの情報など）
84	女性				難病	その場にいたれば冷静でいれるか、動揺しておろおろしないか心配する
56	女性					ひとりで動けない
53	男性			精神		ペットのこと
72	女性	身体		精神		移動（車いす用）
8	女性	身体				医ケアができないと困る
84	女性					一人では、何もできない
75	男性				難病	一般の人と同じだと思う
36	女性	身体	療育	精神		何が怖いかわからないけど怖いです。
55	女性			精神		家族を抱えて避難場所までたどり着けるか不安

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				その他
62	女性			精神		環境が変わると精神的に落ち着けず不安な気持ちになる。
21	男性	身体	療育			環境変化に弱くパニックになりやすい、大声を出してしまう
90	女性	身体				近所が離れている
65	女性				難病	犬・猫が自分より心配
68	女性			精神		犬がいるので避難できない
37	女性	身体				犬と一緒に生活しているため
28	女性			精神		見通しが立たなくてパニックを起こす…かもしれない
69	女性	身体				災害時、正常な判断が出来ての行動ができるかの心配はあります。
41	女性				難病	災害時は自分よりも子ども優先なので、子どもをだっこやおんぶがむずかしく、すみやかに避難できるかがわからない
83	女性	身体				子どもも障害者であり、私も難聴障害と老いの身である
82	女性				難病	自宅のベットでないと横になれない
70	男性	身体				車イストイレ
53	男性	身体				就寝時、機器に繋がっているので、どう対応できるか
6	男性		療育			集団行動ができず、指示が通らず言葉でのコミュニケーションができない
65	女性				難病	重い荷物を持つことができないのが不安。身のまわり等の自身の荷や備蓄を持ち出せない

2 調査の結果

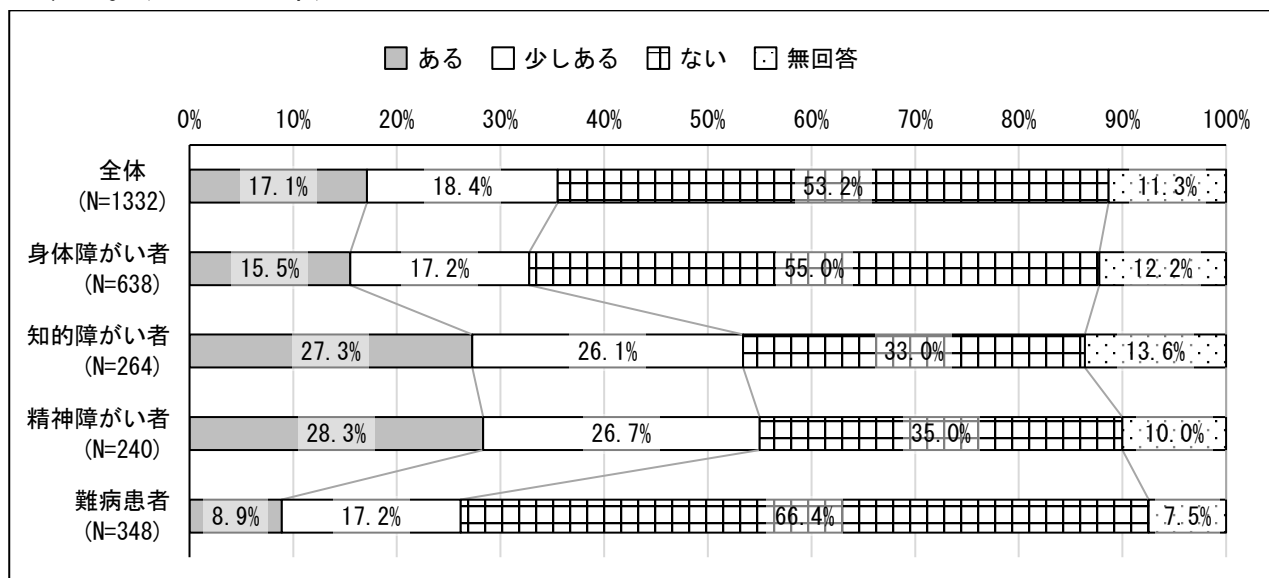
年齢	性別	障がい種別				その他
33	女性			精神		障害、病気、女性、近くに知人がいない。地理が分からない。体力がない。コミュニケーションが難しい。そもそも避難所での生活が、ほぼ不可能なのに自活を迫られる状況になる。安否も伝える方法がなく、広域避難も自力では難しく、ライフラインが途絶えると自力で給水や食料の支援場所まで行くことや運搬も難しい。地域の人と協力して生活ということが障害や病気の特性上難しいので、精神的にもお互いに受け入れられないと思う。また日常よりさらに体調不良になりやすい。自分がどこに、どうする場合避難するのが良いか分からない。外出先の場合、障害や病気の影響で動けなくなると思う
76	男性				難病	上記の事になった事がないのでわからない
23	男性				難病	食事面が心配
41	女性			精神		食料にありつけるかな
36	女性			精神		人が多くいる所でパニックを起こす
9	女性		療育			人が沢山いる場所が苦手だと思っていることを言葉で伝えることがとても困難。知らない人は関わりを持たない。
12	女性			精神		人の目がきになる。集団がきつい。
41	女性	身体	療育			全介助です
78	女性				難病	足と片方の眼が悪いので、素早い動作ができない。
56	男性			精神		他人が大勢いる場所が苦手な為、避難所ですごせない
28	男性			精神		大勢の人の中にいることが困難
21	男性		療育			知らない場所、建物に行けない、入れない（暴れる）
71	男性	身体			難病	透析治療の有無
57	女性				難病	難病で飲んでいる薬がきれること
66	女性		療育			入院中

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				その他
71	女性	身体				入院中
25	男性		療育			避難場所など、他人がいる所では落ち着けない。また、大声を出してしまったり、多動の為他の方への迷惑を掛ける。
58	女性					服薬できないと困る
69	女性			精神		母が年をとってるのと車がない。親戚も年をとっている。お金がない
80	女性			精神		無いだろうと思っている

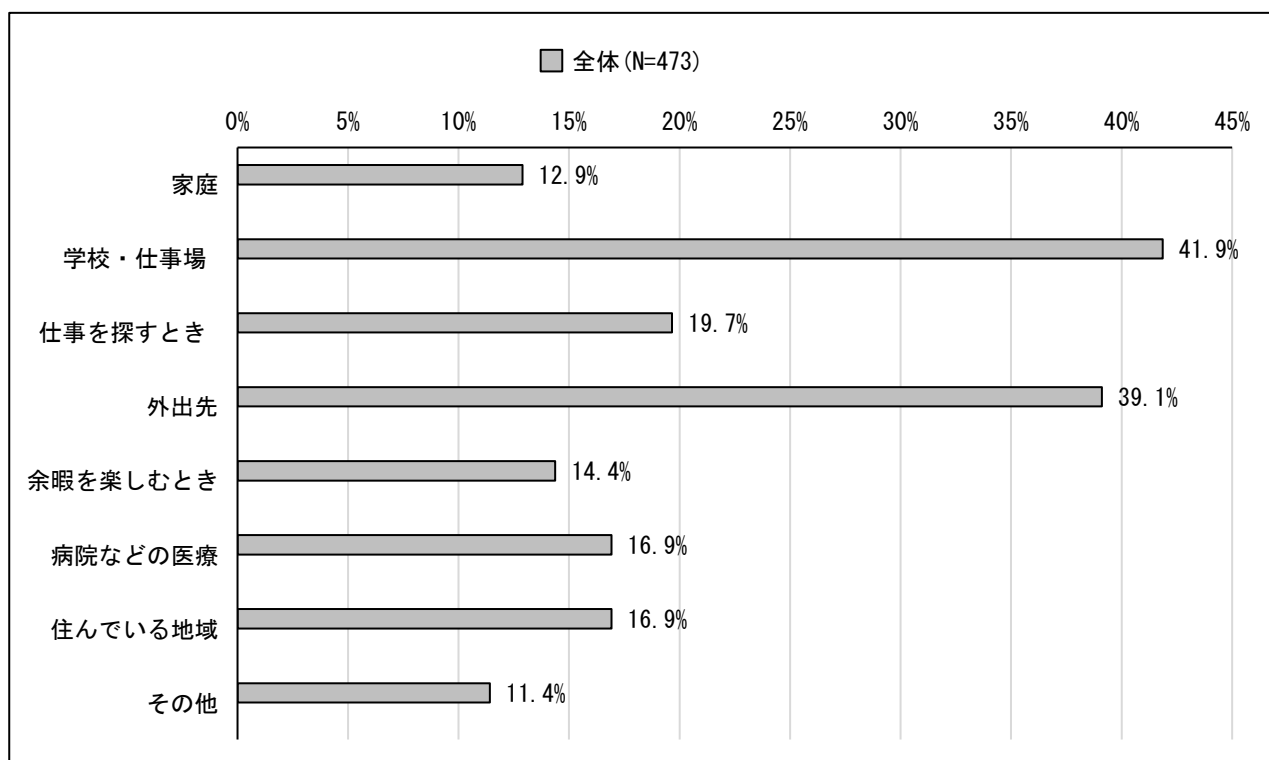
2-1-1 権利擁護について

問35 あなたは、障がい（難病）があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（1つに○印）



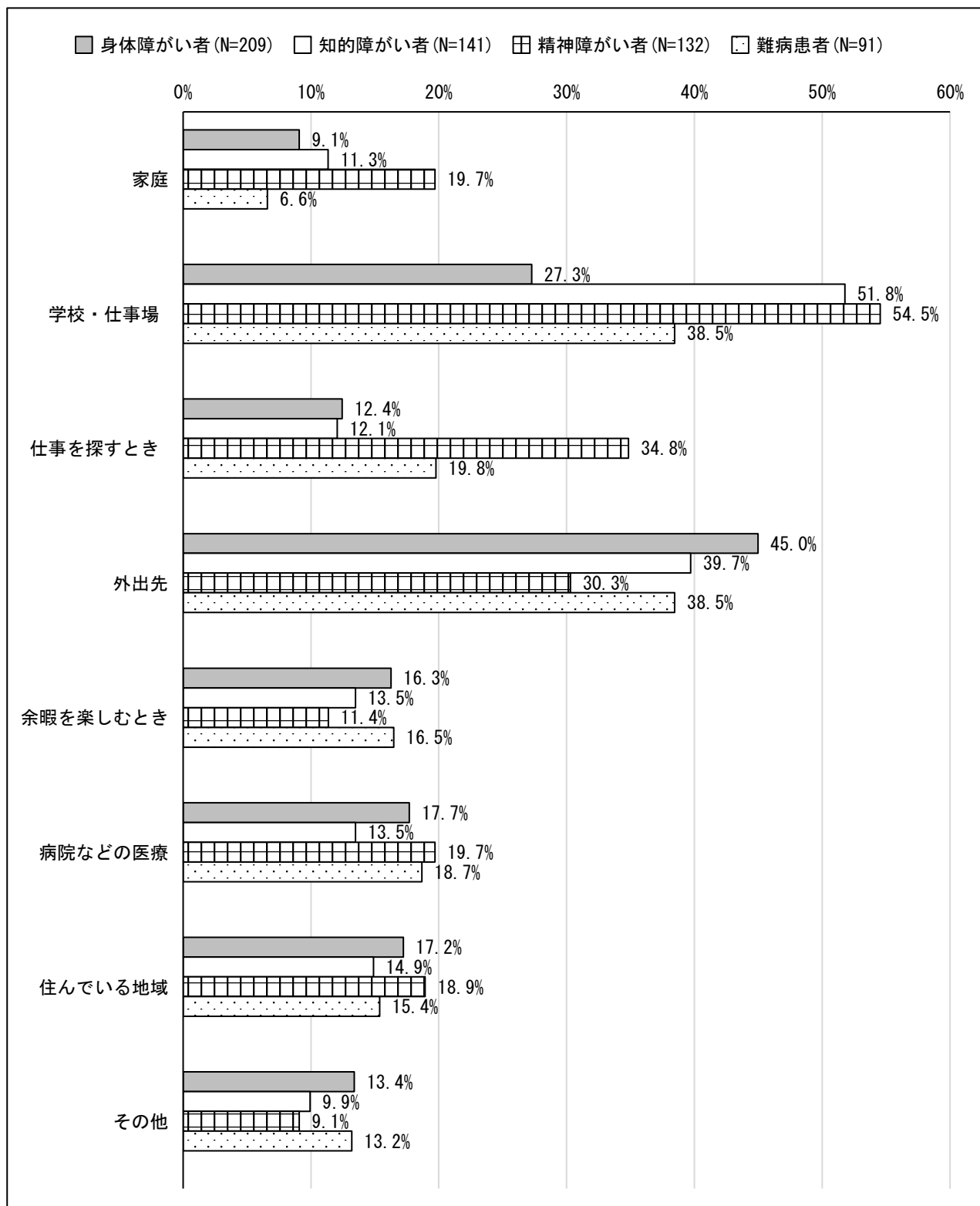
- 難病患者と身体障がい者では「ない」と回答した率が過半数を上回っている。これに対し、知的障がい者では、「ある」と「少しある」の合計が、53.4%、同様に精神障がい者では55.0%と過半数を上回っている。

問35（1）ある（少しある）とお答えになった方は、どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○印）



2 調査の結果

■ 障がい種別クロス集計結果



- 全体では「学校・仕事場」(41.9%)、「外出先」(39.1%)、の順に回答が集まっている。身体障がい者、知的障がい者、難病患者では、これと同じ傾向がみられる。身体障がい者、難病患者は、「学校・仕事場」では、他の障がい者と比較して低い値を示している。これは、年齢層に起因するものと思われる。精神障がい者では、全項目とも高くなる傾向があるが、特に「仕事を探すとき」で他の障がい者より大きく回答が集中している。

問36 令和3年に障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1日から事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。

あなたが受けたい、日常生活での合理的配慮は何ですか。

ありましたらご自由にご記載ください。

年齢	性別	障がい種別				コメント
18	男性	身体			難病	読み上げや代筆
35	男性		療育	精神		障害者の意見をしっかり聞いてほしい。昔の職員だから、聞かない人が多い。本人が一番きつい。
95	女性	身体				ストーマ用のトイレの拡充
81	女性	身体			難病	認知が進んでいるため、施設の方には、服装など身なりについてはもう少し配慮していただきたい。 汚れたままだったり、室温に合っていなかったりが見受けられる。
45	女性			精神		・一度に複数の項目を説明するときは、文章やメモ書き等で説明をしてもらえると助かる。(口頭での説明のみだと理解、記憶できない時がある)
66	女性			精神		就労活動する為、ハローワークに通っていますが、窓口が一般と障害に分けられているところが、まず嫌です。
7	男性		療育			分かりやすい表現を使って説明をする等の意思疎通の配慮
77	女性	身体			難病	ゴミ捨て場の時間的制約
73	女性	身体				筆談
36	女性	身体	療育	精神		絵を使って説明をする。
13	男性		療育			言葉でのコミュニケーションが難しいので、カード等で伝えられるようにして頂けたら働きやすくなるだろうなと思います。(今はまだ学生ですが…)
88	女性	身体				分かりやすい表現を使って説明する等。
17	男性		療育			町中のすべての案内に読み仮名があるといい。
88	男性	身体				耳が聞こえないので筆談
83	男性	身体				各放送局へ字幕の充実をお願いしたい(特に地方局)(字幕の放送が少ない)

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				コメント
70	男性	身体	療育			読み上げによるコミュニケーション
14	男性		療育	精神		学校での ICT の取り入れ。 先生の理解、感覚過敏のための、ノイズキャンセリングイヤホンの許可 支援員さんのサポートを受けて交流へ行きたいが、毎日はいないしもっと いてほしい
48	男性		療育			ゆっくりわかるまで説明してほしい。
67	男性	身体				通院の援助
26	男性	身体	療育		難病	障がい者用トイレの設置、それが出来なければ救護室などの使用
73	女性		療育			病院に行ったときに、接しかたがあまりよくない。真剣に、親切に扱ってほ しい。
77	女性	身体				代筆、読み上げ
18	男性			精神		・ 貧乏ゆすり・口より図で説明して欲しい。 ・ 部屋が汚い（整理整頓が苦手） ・ 首周りが敏感（ネクタイ着けたくない）
15	女性		療育			分かりやすい表現を使って説明をする。
29	男性		療育			簡単な言葉でゆっくりわかりやすく話してもらおう。聞く時もゆっくり聞いて もらおう。
96	男性					耳元で話してくれる
56	女性	身体				・ 手引き ・ 手話通訳 ・ 環境整備（ゴミ捨てに行きやすい道路整備） ・ 手すりの設置（公共の場所）
19	男性	身体				バリアフリー
39	女性			精神		メモに伝えたいことを書いたり、図で示したりして、目で見ても分かりやすく 説明してもらおう。
49	男性			精神		食事・介助
30	男性			精神		図を用いた分かりやすい行政手続きマニュアル

年齢	性別	障がい種別				コメント
45	男性			精神	難病	読み上げ、分かりやすい表現を使って説明をするなど
38	女性	身体		精神		乗り物（特にバス）の運転手が本当に研修をしているのか分からないくらいに、手際もわるくフックのかけ方も間違えていて危険な目にも遭い、乗客からもヒソヒソと何かを言われたりして、福祉パスをもらっていても怖くて乗れないので、しっかりと研修をしてほしい。（月に1度くらいはJRの方はしっかりとされているので。）
27	女性			精神		・曖昧じゃない指示 ・ゆっくりとした会話 ・やさしさ
8	男性	身体				・学校の手すり ・学校の駐車場に身体障害者用のスペースを1つ確保してほしい。
73	女性					筆談、手話、による会話
18	男性		療育			筆談
36	女性			精神		精神障害者でも車の専用駐車場を使わせてもらいたい。精神障害者でも安心して働ける職場（十分な賃金が払える）が欲しい。障害者雇用の求人が少なすぎる。障害年金の申請を簡単にして欲しい。年金事務所以外での施設（役場など）で申請をしたい。何回も通うのはムリ。書類も難しい。
90	男性	身体			難病	今はホームに入ったので先々のお金のことが心配
63	男性		療育			目でわかる説明
29	女性			精神		・車イスで使用しやすい高さのレジがほしい。 ・日常的に車イスを使用している精神障害者は、障害者駐車場の予約ができず（スポーツ観戦等）困るので、精神でも「パーキングパーミット」等の所持があれば予約できるようにしてほしい。
43	男性	身体	療育			わかりやすい言葉などを使って説明してほしい
25	女性	身体	療育			分かりやすい表現を使って説明するなどの意思疎通の配慮
9	男性		療育			・気持ちを引き出せるよう選択肢を与えどの気持ちが（言葉が）近いかなどの補助等希望。 ・嫌な事に会った時にフタをしがち、嫌だった事を吐き出せるように手伝ってほしい

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				コメント
12	女性			精神		自閉スペクトラム症があるので、優先順位や指示を分かりやすく、短く説明してほしい 仕方を何回も忘れてしまうので、その都度優しく教えてほしい。 集団が苦手なつらいので、本人の意思を確認しながら配慮してほしい (学校、会社でもっと特別支援補助指導員みたいな方を増やしてほしい)
29	女性		療育			・障害者(知的)を持っている方々に思いやりの心と優しい言葉掛けをして欲しい。
26	男性		療育			将来的に息子が在宅で何らかの仕事をするようになった場合に、会話でのコミュニケーションがスムーズにできないため、メール、LINEでのやり取りでコミュニケーションをはかってもらうこと。
64	女性					混雑時に「ヘルプカード」が見えているので、できるだけ椅子に座れるように配慮してくれればありがたい。(特に学生さんがたくさん乗るバスは配慮が足りていないので、もっと障がい者に寄り添えるよう指導してくれればありがたいです。)
51	男性	身体				障がいの度合にあわせた適切な配慮
51	男性		療育			言葉によるコミュニケーションで、分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮
20	男性			精神		相手から声を掛けられる、行動によるサイン等の自分の意思を伝える方法
61	男性		療育			難しい事が苦手なので分かりやすい表現等してほしい。
29	男性			精神		「～くらい」「適当に」といった曖昧な表現が理解できないので具体的に説明してほしい。 手順やどこになにがあるかを壁に貼ってほしい。
24	男性			精神		分かりやすい表現(耳から、目から、絵を使うなど) 説明の工夫がほしい
28	女性			精神		・身近なところに「クールダウン」ができる場所がほしい。 ・障がい理解のための講演会や啓発活動を通して、合理的配慮について話してほしい。(理解することで新しい配慮が増えるかもしれないから)
42	男性	身体		精神		精神障害者に対しての配慮が難しいのは理解出来るが、頭ごなしに「否」にしないでほしい(就活時) 障害者枠の求人においても同様(ほとんどの求人)で精神障害者は他よりも無下にされやすい。駐車場とか不安ですが。
75	女性	身体				階段やスロープ等への手すりの設置

年齢	性別	障がい種別				コメント
76	女性			精神		障害者トイレの充実（まだまだ少ない）介護者も一緒に入れるような広さ必要
38	女性				難病	病院やショッピングモールから自宅付近までの交通手段（歩くのがしんどいので）
70	女性	身体				建物のバリアフリー及び階段の手すりの設置
36	男性					理解しやすい言葉、行動で説明してもらうこと。
45	男性	身体	療育			コミュニケーション（意思疎通）が一番大事だと思っているが、私の場合、気管切開しているので（コアトーン・電動式人口咽頭）を使っているが、事業者が使いこなせるか心配。
28	女性	身体				・ 全社集会があって、ビデオが流れてきて字幕がシンプルな多いので各自でスマホを使って文字起こしをしながら参加してます。アプリが増やしてほしい。 ・ 耳に障害があるから持っているからといえ、店長などのレベルにしないのが多いのは現状だと思います。もう少し働きやすい環境にしたら、よりよく差別や嫌な思いがしない人が増えるかもです。 ・ ドコモ限定の TEL は見える電話アプリは無料だったのに廃止されて、電話リレーサービスができたのは嬉しいが、電話の使い放題と電話リレーサービスの料金を合わせるととても高い。無料なのが復活させてほしい。
82	女性	身体				筆談
21	女性	身体				電話でのやり取りが難しいため、メール等での文章でやり取りをしていただくことで、コミュニケーションを取りやすくなる。 また、職場では、電話を他の方に取っていただくなどお願いをしている。 大きな声でゆっくりと、はっきりと話していただきたい。
30	女性			精神		・ てんかんで車が運転できないし、公共交通機関は使い物にならない程、不便なので、それさえ解決されれば他はどうでもいい。 ・ 健全者が義務化のせいで面倒臭そうに配慮してますよ感しか出さないのは、こちら側としては、ものすごく不快です。 ・ 障害の内容や病気の種類別に、緊急時はどう対処したら良いか等のマニュアルぐらい置いてあれば、まだ安心なのでは。
21	男性		療育			視覚での情報（写真など） トイレ
6	男性		療育			視覚での理解の方が早いため、写真や絵などでスケジュールや見通しを提示してくれるとありがたいです
83	女性	身体				私は難聴であるので、例題にあるように分かりやすい表現で説明などの配慮があると大変ありがたい。

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				コメント
8	女性	身体				・移動手段の幅の広がり（電車・バス・新幹線・飛行機・タクシーなど）気軽に乗れるような環境 ・寝たきりの医ケア児のことを知ってもらう機会が増えること
63	男性					行政機関などによる自宅訪問などの定期的声掛けや見守りでの安心安全の配慮
32	女性	身体	療育			コミュニケーションとは通常、表音言語によるものが中心、その他手話などの手段が常識とされています。しかし表音言語をもってコミュニケーションをとることが出来ない者にとって相手の気持ち配慮、さらに深層心理までくみをとるという能力があります。話が出来ないから分からないはずだという固定概念で接するとパニックに陥ったり人を傷つけような行為に出てしまいます。まずは観察、そしていかにより添うことが出来るか、このことが何より大切だと思います。
65	女性			精神		一生付き合っていく病院へ行く事が出来るように、交通を整えてほしい
74	女性	身体				耳が悪いので（例）で記入されている配慮が必要。障がい者福祉サービス事業所に勤務。利用者さんに対しては配慮がある社員としての情報の共有がない（大事な時はある）。耳が悪い為、利用者さんも相談事、挨拶をしない。こちらから「おはようございます」と言っても利用者さんから「おはようございます」の言葉がかえって来ない時がある。耳が悪いからとあきらめているがストレスになりやすい。
24	女性	身体	療育			・交通機関の「優先席」は知っている方が多いと思いますが、実際には守られず困った事があるので、「優先席」の標字を大きく分かりやすくしてもらえると助かります。また車内アナウンスをしてもかえると助かります。 ・選挙に関心があるのですが、そのたびに候補者についてや何を言われているのか分かりにくいので障がい者にも分かりやすく（簡単な解説文・フリガナ・イラスト）や必要に応じて（点字の文章だったり、音声や手話での解説動画）などのサービスがあれば投票所に行こうと思う障がい者が増えると思います。
27	女性			精神		休みたいときに嫌なこと言われないか、（陰で言われそうで怖い） 休み以外で、受診の時間をとれるか。
31	女性			精神		・疲れやすいので、休憩する場所が職場にあるとよい。 ・その人に合った説明をしてほしい。 ・参加できない会の会費を給料からとられたくない。
54	男性				難病	職場で通院などの時、有休を使いたい時配慮してほしい（すんなり有給が使えない）

年齢	性別	障がい種別				コメント
54	女性			精神		体調不良等による欠勤への配慮。短時間勤務の配慮
30	女性			難病		特定疾患の影響もあり、体力の面には不安はあるが、健常者と同じように仕事はできます。就労支援を利用するとその賃金が低いので、利用せずに就職してきました。当然！！病気の事は理解してもらえず無理して勤務することが当たり前、新たな枠が、新たな制度ができるとありがたいです。
52	男性			難病		通院投薬時の特別休暇等
51	男性			精神		仕事でコミュニケーションが困難な時にサポートしてくれる人がいればいいと思います
22	男性			精神		普通に就職する予定ですが、体調が悪い時に、上司や職場が理解してくれるか不安なので、障害については様子を見て相談するつもりだが、理解してくれる環境だと仕事も長く続けられると思います。
65	女性	身体				職場でのその障害者の等級だけでなく、障害の内容が各自違うので、その人に合った仕事内容であるかを明確にして雇用して欲しい。軽度の障害者でもなかなか出来る様な仕事はなく、つらい仕事が多い様に感じます。仕事をしないと年金だけでは生活できませんので。
49	男性	身体				・転勤をなくしてほしい。 ・長期勤務を認めてほしい。 ・適材適所での配置を考えてほしい。 ・今の職場のままでいい。
67	男性			精神		・事業者及び従業員による、障害の知識不足、偏見、差別があり、解消されていない。 ・障害者の雇用条件が低い。 ・身体障害は配慮されやすいが、精神障害は配慮されにくい。
17	男性					指示を一度にではなく、その都度して欲しい
59	女性	身体		難病		体力や勤務条件への配慮。 補装具着用時の理解、配慮
31	男性			精神		既に職場でも配慮してもらっているが、受診のための年休使用や、プレッシャーを感じる際の別室移動や、座席の配慮。
69	男性	身体				仕事場での障害の理解不足
56	女性	身体		難病		急な体調不良時に欠勤するとマイナス査定となり、次回の契約を切られる現状の職場。障害者申請をすすめて来るのであれば配慮必要。(社員は認められるらしいがパートは不可)

2 調査の結果

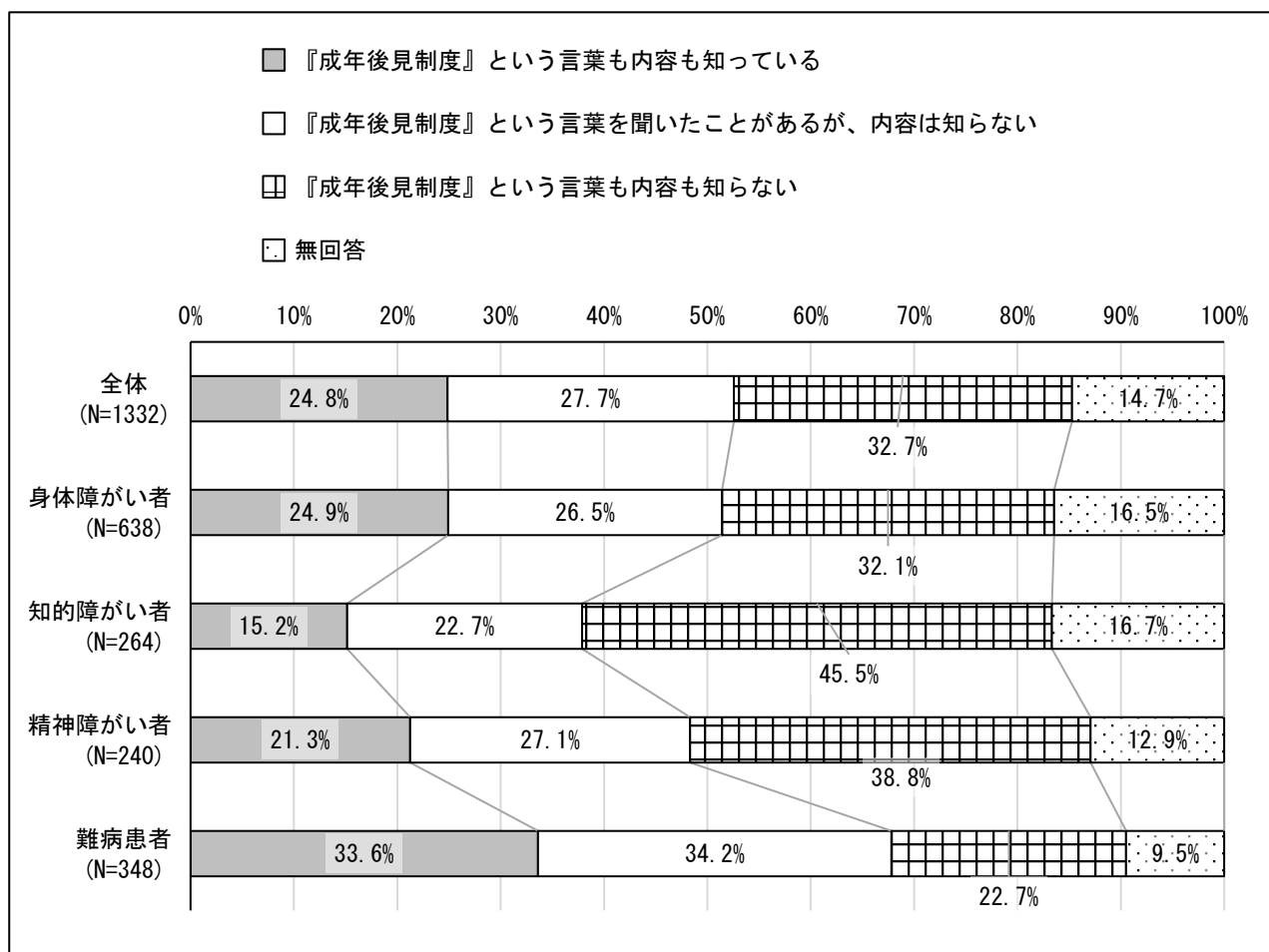
年齢	性別	障がい種別				コメント
62	女性			精神		目に見えない障害、わかりづらい障害者に対して思ったことをすぐ言葉に出すのをやめてほしい。 以前タクシーを利用したときに手帳を見せたら 「あなたウソついてますよね？悪いことする人いるからさ～」と言われたり、目的地について手帳を見せると 「いまだされても割引しないよ。乗ってすぐ言って」と言われたことがあり手帳を見せること自体がイヤになり、障害を隠すようになった。
81	女性	身体				耳の左の方から話をしてほしい。
9	女性		療育			母からになります・・・障害があるとプライバシーも何もないなって思うことが多いです。 引っ越しを検討した際、障害を持つ子供がいることをお伝えした際、入居を拒まれたことがあったり、根掘り葉堀聞かれ精神的苦痛だったり・・・ 私自身（母）が仕事を探したり、働く上で障害を持つ子供がいるとなかなか理解してもらえなかったり・・・ とても生きにくい世の中だなと感じております。 ひとり親で障害を持つ子供がいる大変さをもう少しわかってもらいたい。 見た目では分からない障害を持つ子供なので特に理解が得られないです。 まともに見えるためその分本当に理解してもらえなくて、だからと言ってどこかに相談（お母さんがつらいならと学校などから勧められますが）は逆に生き立ちからすべて話して色々聞かれてプライベートまでいろいろ知られてプライバシーもないし精神的にきついし、何の解決にもならない。結局逆に病みます。人とかかわるのが本当に苦痛です。
70	女性	身体				難聴で補聴器はつけているのですが、コロナウイルスによりマスク着用にて、相手の口元が見えない分、聞こえにくい。仕方ないのであきらめています
70	女性	身体				障がいある人の差別をしてほしくないです。（そういう社会がほしいです）
55	女性			精神		障害者と聞いて、態度が変わったりするので、どちらかという、単々としていてもらったほうが助かります
35	男性			精神		人を見ただけで判断しないこと
66	男性			精神		障害への理解
46	男性			精神		病気（精神障害）による発作に対する周囲の理解

年齢	性別	障がい種別				コメント
43	女性		療育			健常者には当たり前の事でも、特に知的障害者には、そうじゃない時もあります。あーもういいよ！と面倒臭がらずに最後まで、本人が理解できるまで、突き放さないで欲しいです。 分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮、とても大切だと思います。
47	女性			精神		職場で障害を知られても、普通に受け入れられる。そのことで居ずらくなったりしない様になって欲しい。日本全てでそうなると良いと願う
41	女性			精神		同じ人間であることを認めてほしいのとふつうの人間と同じように生きれない出来ない事に手を回してほしいワガママを受け入れてほしい 障害を理由に差別し、受け入れ拒否をしない世の中になり、障害者を受け入れたフリして利用してモノ扱いなどしない利益を得たりなどしない世の中になれば障害のある人も合理的配慮の整った所を探し出してお互いに気持ち良く暮らせる様に工夫していけるといいですね
37	男性	身体	療育			障害者個々なのでその子に合う（沿う）会話・説明が必要と思います
40	女性			精神		目には見えにくい症状（重たい荷物を背負って）を抱えて生活、仕事している事を受け留めてほしいと思います。 一見普通にみえても、様々な状況への対応にエネルギーを使っています。
71	女性	身体				普通の人と同じように接してほしい。 身体的又は外観について差別しないでほしい。
31	男性		療育			障がい者への理解、及び積極支援を行う企業に対する援助及び公表の義務
51	女性			精神		病気、症状の理解。偏見は絶対にやめてほしい。正しい知識の習得。差別や不当な扱いを受けたくない。ただでさえ何年も辛いのに、理解されず、心に傷が増え続けています。家族や友人にも理解者はいません。不安と自責と恐怖が増幅し悪化しました。誰でもなる病気だという事を理解してほしいで。
56	男性			精神		バカにされたり、人に聞こえよがしに色々と言われるのは嫌だ。けっこう頻繁に嫌なことをわざと聞こえるように言われたり、他人の事に干渉してくる人がいる

2 調査の結果

年齢	性別	障がい種別				コメント
33	女性			精神		・障害自体を知らない人が多く、それゆえに心を傷つけられることがあったので、せめて全医療機関の医師へは周知しておいてほしい（特に老人医師） ・行政サービスの申請（手帳更新など）がそもそも役所へ出向いて、対面でいくつもの書類を書いてというのが体調的に難しい。 ・行政サービスの申請、住居等の契約などは全てオンラインで在宅で完了できるとありがたい。 ・書類が難しすぎて、病気や障害で理解力が低くなっている時に、必要な支援を申請すること自体がかなり負担であり、自力では難しい。 ・契約や、引っ越し、通院、買い物など一人では難しいことの代行サービスの割引きや一緒に付き添ってくれる人。移動手段（タクシーなど）の割引を拡充してほしい。イベントホール（アルカス SASEBO など）内に障害者用の個室（授乳室の様な、ベビー用室のような）がほしい。 ・障害者や病気がある人を介助して生活している家族は仕事もセーブしているので、通院に付き添うための休みを取れるようにしたり、手当金を出してほしい。障害者手帳のカード化、デジタル化。街中の店のキャッシュ化。
27	男性		療育			本人の環境の不得意・得意の理解と配慮。
50	女性				難病	もっと社会に周知させてほしい。知らない事業者等が多すぎて先ず、先に進まない。
33	女性			精神		障がいがあると伝えた途端、今までの対応とガラリと変わり（それまでは普通に接してきた人の様子も）まるで、私が突然暴れ出すかもしれないくらい周囲の人がビクつき出すことがありました。極端な配慮は時として人を傷つけることを知ってほしい。自分がそうされたらどう思うかを考えてほしい。
80	女性			精神		1人暮らしのストレス。暮らしのたのしみも欲しい。

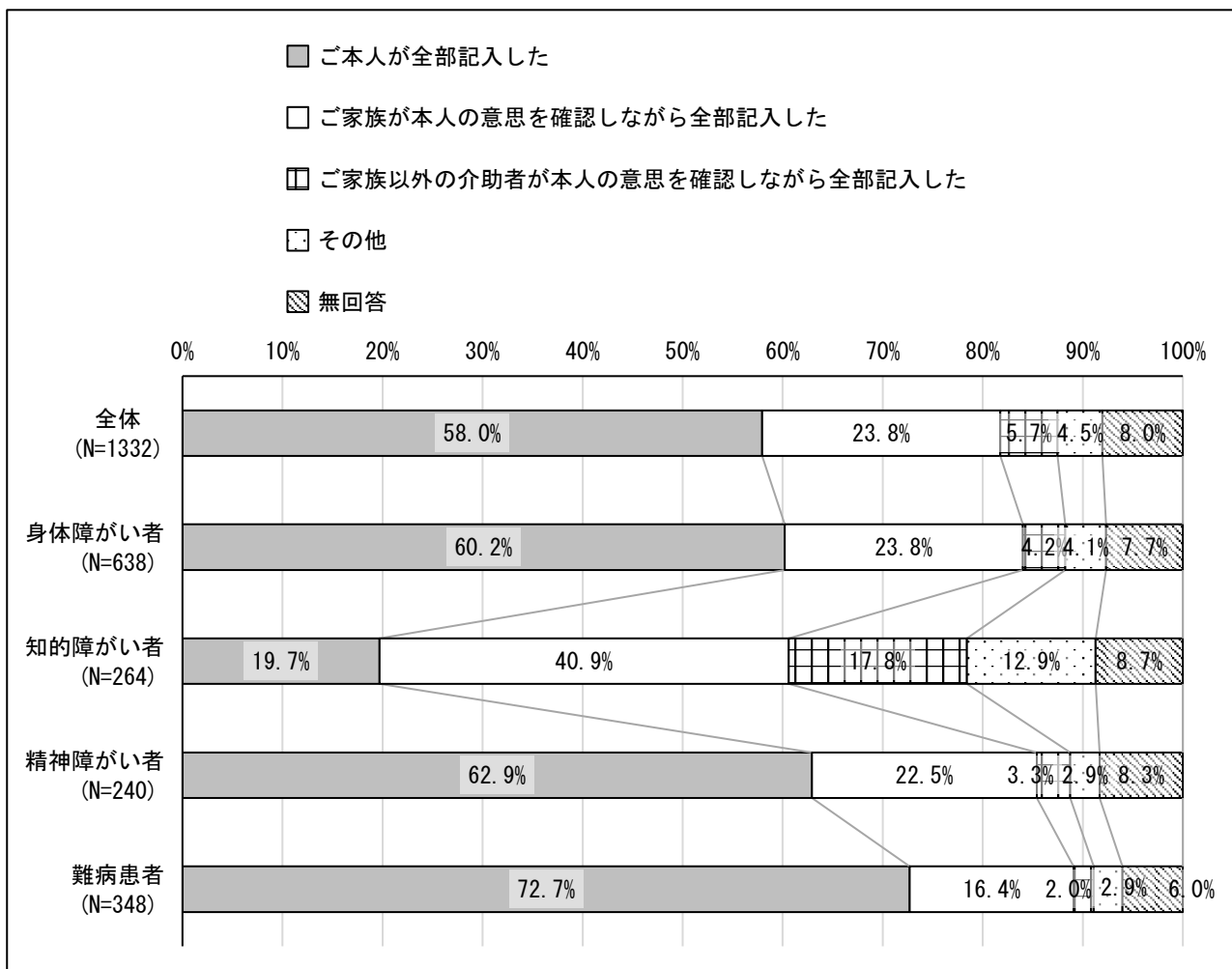
問37 成年後見制度について知っていますか。(1つに○印)



- 最も「言葉も内容も知っている」と回答したのは、難病患者であり、続いて身体障がい者、精神障がい者となっている。これらは、「言葉も内容も知っている」及び「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した割合が「言葉も内容も知らない」と回答した割合を上回っている。しかし、知的障がい者では37.9%に対し45.5%と「言葉も内容も知らない」と回答した人の割合の方が高かった。

2 調査の結果

問 3 8 記入していただいたのは、どなたですか。（1つに○印）



- 身体障がい者、精神障がい者、難病患者は、6割以上の方が「ご本人が全部記入した」と回答した。
- 知的障がい者のみは、「ご家族が本人の意思を確認しながら全部記入」したが最も高い割合となっている。また、「ご家族以外の介助者が本人の意思を確認しながら全部記入した」も、他の障がい者と比較して高い割合となっている。

第3部 障がい者・難病患者 関係団体ヒアリング調査の結果

3 障がい者・難病患者関係団体ヒアリング調査の結果

1) ヒアリング調査の目的

次期障がい福祉計画及び障がい児福祉計画の策定に向け、障がい者(児)・難病患者の福祉に関するアンケート調査を実施し、障がいや難病のある方の状況やお困りごと等を調査・分析し、計画策定の基礎資料とする中で、当事者のみならず、障がい者・難病患者関係団体へのヒアリングを実施し、障がい福祉分野に広く、様々な視点からの意見等を反映させるもの。

2) ヒアリング調査実施時期

令和7年10月14日から令和7年10月23日まで

3) ヒアリング調査対象団体

	団 体 名
1	佐世保市身体障害者団体連合会
2	佐世保市肢体障害者協会
3	佐世保市視覚障害者協会
4	一般社団法人 長崎県ろうあ協会 佐世保支部
5	社会福祉法人 佐世保市手をつなぐ育成会
6	佐世保市内部障害者協議会
7	長崎県難病連絡協議会 県北支部
8	佐世保地区精神障がい者家族会 ゆみはり会

3 ヒアリング調査の結果

4) ヒアリング調査の結果

1. 佐世保市身体障害者団体連合会

【 日 時 】 令和7年10月14日

【 場 所 】 佐世保市福祉活動プラザ

《現状》

- ・現在の会員数は270～280名で年々減少している。

《お困りごと》

- ・当連合会は、各団体から会費を徴収せず（各団体も会員の減少等で運営が厳しいため）、自販機を設置し、その売上金や委託事業等で運営しているが、売り上げには変動があり、それを資金源にするのは厳しい現状である。
- ・資金が少ないため、行事へのサポーター等への手当が払えない。参加者からの徴収を増やすか、行事の中止を考えなければならない。

《要望等》

- ・当連合会は全ての身体障害者のサポートを行っており、これは本来佐世保市が行わなければならないことであるはずという認識のもと、今後の活動の安定化に向けて運営費への補助等を予算化してほしい（自販機の売り上げではなく）。

2. 佐世保市肢体障害者協会

【 日 時 】 令和7年10月14日

【 場 所 】 佐世保市福祉活動プラザ

《現状》

- ・社会参加を目的とした佐世保市肢体障害者協会が発足し、50年を超えている。令和7年の正会員数は82名。賛助会員は54名。
- ・若い人がなかなか入らない状況であり、障がい者への制度が整ってきたことから必要性を感じていない人が増えている可能性がある。
- ・介護保険デイサービスの充実により、外出確保できるようになった。

《お困りごと》

- ・新規会員の獲得が難しく、会員数の減少に伴い、会費収入も減少している。最低賃金の上昇によって事務員の人件費等も苦しくなり、出勤日を減らすことも検討している。
- ・役員の高齢化も進んでおり、障がいの程度が重度の人も多くなかなか動けない。
- ・行事等のサポートをしてくれるボランティアの人も少なくなっている。
- ・観光地の混雑化で座る場所等がない。
- ・交通に関してはバスの減便等で不便になったと感じる。高齢者の増加によりバスに乗っても席を譲ってもらえないことが多い。

《要望等》

- ・障がい者が絡む全国規模の大会等の参加人員が限られる開会式等の式典に障がい者の枠を設けてほしい(ながさきピース文化祭 2025の開会式を受けて)。
- ・ノンステップバスが増えたことや、バスのカードリーダーの位置のアナウンス、停止ボタンが増えたのはありがたい。

3 ヒアリング調査の結果

3. 佐世保市視覚障害者協会

【 日 時 】 令和7年10月23日

【 場 所 】 佐世保市福祉活動プラザ

《現状》

- ・ 現在会員数は 47 名
会員の高齢化が進み、減少傾向にある。
- ・ 白杖の意味を知らない方がいることから周知を行っている。視覚障がい者自身もできるだけ白杖を持つようお願いしている。

《お困りごと》

- ・ 福祉活動プラザで使用している部屋の壁（廊下側）の上部が開いており、空調の効きが悪かったり、廊下の騒音が聞こえたりと不便である。
- ・ すこやかプラザでの福育マルシェで、机等で点字ブロックを塞いでいる状況がみられた。視覚障がい者にとって点字ブロックを塞がれるということはとても困る。

《要望等》

- ・ 役所の窓口での対応や B 型作業所でスタッフから障がいの特性を理解されていないような扱いを受けた。目が見えていないということを理解して合理的配慮をお願いしたい。
- ・ 選挙の際サポートをする人から、誰に投票しますかと周りにもきこえるような大声で聞かれる。誰に投票するかは他の人には知られたくない情報であるから、少しは離れたところで聞くなどの配慮がほしい。
- ・ 日常生活用具の PC トーカー(視覚障害者用活字文書読み上げ装置)の耐用年数が 6 年になっているが、更新期間が 5 年で来るため合わせてほしい。
- ・ 日常生活用具の給付要件に視覚障害者のみの世帯となっているものについて、状況によっては障がい者しか在宅していない場面が多々あるため、緩和してほしい。

4. 一般社団法人 長崎県ろうあ協会 佐世保支部

【 日 時 】 令和7年10月27日

【 場 所 】 佐世保市福祉活動プラザ

《現状》

- ・会員数が年々減少しており、交通の不便化もあいまって定例会等の集合人数が少なくなっている。
- ・市から委託されている手話通訳者養成講座の受講希望者も高齢化しているため、若い人が受講してくれるよう募集の方法を工夫したい。

《お困りごと》

- ・JRは駅スタッフ等へのコミュニケーションボードの導入が始まっているものの、西肥バスやタクシーは無いため困る。
- ・バスの時間が不便になった。通勤、通学時間帯以外の便数が非常に少ない。
- ・佐世保支部の対象範囲は、平戸市や松浦市を含む広範囲であるため、例会等で集まるのが大変な状況である。
- ・市役所の遠隔手話通訳サービスは非常に助かるが、業務時間外で利用できない際は困ることがある。

《要望等》

- ・市から委託を受けている手話通訳者養成事業については今後も継続してほしい。
- ・交通機関でのコミュニケーションボードの設置については、手話言語条例が広まったところもあり、今後積極的に要望したい。
- ・日常生活用具の聴覚障害者用屋内信号装置が、聴覚障がい者のみ及びこれに準ずる世帯が給付対象となっている。世帯に健聴者がいる世帯でも、健聴者が不在のときなどは多くあるため、対象を拡げることが検討してほしい。

3 ヒアリング調査の結果

5. 社会福祉法人 佐世保市手をつなぐ育成会

【 日 時 】 令和7年10月15日

【 場 所 】 佐世保市手をつなぐ育成会本部（竹辺町）

《現状》

- ・利用者及び親の高齢化が進んでおり、車の運転ができない親が増加しているため、施設職員が運転して利用者を病院へ送迎したりしている。
- ・コロナ禍は職員が不足する状況であったが、落ち着いてからは募集への応募が増えるなど充足してきた。

《お困りごと》

- ・基幹相談支援センターの立ち上げにあたり、相談員の雇用が課題。
- ・コロナ以降収入が不安定な部分があり、人件費や物価の高騰で運営は厳しい状況である。
- ・事業所等と繋がりがない軽度の障がいがある人の対応が難しい。
- ・管理者の後継者不足。

《要望等》

- ・病院へ施設が利用者を搬送しなければならない場合、その時間が施設利用時間から除外されるのはおかしいため、算定時間として認めてほしい。
- ・人件費、物価高騰への対策についての補助を検討してほしい。

6. 佐世保市内部障害者協議会、7. 長崎県難病連絡協議会 県北支部

【 日 時 】 令和7年10月14日

【 場 所 】 佐世保市福祉活動プラザ

《現状》

- ・ 県難病連本部から県北支部への資金が出ないため(設立時の約束)、年間約 20 万円の資金面の調達に苦慮している。
- ・ 難病カフェの開催については、テーマを簡素化することによって県北支部の来訪者は増加している。
- ・ 内部障がい者についてはコロナ禍以降、感染症について過敏に反応して外出ができなくなってしまっている人がいる。
- ・ 内部障害については、制度が一定充実したと感ずるため、現制度が悪くならないような運動も必要である。

《お困りごと》

- ・ 協議会、県北支部いずれも資金の調達面に苦慮している。
- ・ 内部障害については手帳更新のタイミングが多いが、指定医師の存在を知らずに指定医師以外のところに行ってしまったということをよく聞く。
- ・ 佐世保市内に透析治療などの医療と介護の両方を提供する入院可能な医療介護施設が少ない。(1ヶ所のみ)
- ・ コロナ禍以降、ネットの情報が先行してしまっていると感じる。行政の正しい情報の発信と、受け取る側も正しく情報を受けとることが大事。

《要望等》

- ・ 難病についての行政の事業で、当支部に委託できるものがないか検討してほしい。

3 ヒアリング調査の結果

8. 佐世保地区精神障がい者家族会 ゆみはり会

【 日 時 】 令和7年10月21日

【 場 所 】 すこやかプラザ3階 デイケア室

《現状》

- ・現在、会員は29名。会員数は横ばい状態だが、高齢の方が多い状況である。
- ・月に一回例会を行っており、例会後にデイケアも行っている。
- ・「ふたばの陽」とも交流があり、当会主催のイベント参加など、同じ悩みを話せる場があるのはとても良い。
- ・第二日曜日に風船バレーをサンアビリティー佐世保もしくは大野のコミュニティセンターで行っている。
- ・家族学習会については、担当者の負担が大きく高齢化もあり2、3年でできていない。

《お困りごと》

- ・会員の高齢化が進んでいる。
- ・花園町のボランティアセンター別館が閉鎖されたことにより、例会等の場所を確保するのに困っており、統一した活動場所を確保できない状況である。
地区コミュニティセンターでは利用料、福祉活動プラザでは駐車場代にお金がかかるなど課題もある。また、物品等の保管場所確保も同様である。

《要望等》

- ・基幹相談支援センターについて、その詳細を知りたい。
(12月の例会にて説明を実施)

第 4 部 調査票

しょう しゃ じ なんびょうかんじゃ ふくし かん 障がい者(児)・難病患者の福祉に関するアンケート

きょうりよく ねが 【ご協力のお願い】

させほし しょう なんびょう かた ちいき じりつ あんしん せいかつ かんきょう
佐世保市では、障がい(難病)のある方が地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づ
くりを進めるための計画「佐世保市障がい福祉計画・佐世保市障がい児福祉計画」を令和8
ねんどちゅう みなお よてい
年度中に見直す予定です。

ちょうさ けいかく き そしりょう しょうがいしゅてちょう も かた なんびょう していなんびょう
この調査は、計画の基礎資料とするため、障害者手帳をお持ちの方、難病(指定難病)の
にんてい う かた たいしょう にちじょうせいかつ じょうきょう いこう
認定を受けておられる方を対象に、日常生活の状況やご意向などをおうかがいするもので
す。調査結果は、計画策定の基礎資料以外には使用しません。また、回答の内容が特定されたり
することはありません。

ちょうさ じっし させほしこじんじょうほうほ ごじょうれい もと てきせい かんり
このアンケート調査の実施にあたっては、佐世保市個人情報保護条例に基づき、適正な管理
をおこな ちょうさけっか しゅうけいご せきにん しょうぶん
を行うとともに、調査結果集計後、責任をもって処分いたします。

いそが てすう ちいききょうせいしゃかい くら し じつげん
お忙しいところお手数をおかけしますが、地域共生社会とよりよい暮らしの実現のためご
理解とご協力をお願いいたします。

このアンケートの対象者は、令和7年7月31日現在で障害者手帳をお持ちの方及び難病
(指定難病)の認定を受けておられる方の中から無作為(ランダム)に抽出しております。

れいわ ねん がつ
令和7年9月

させほし
佐世保市

きにゅう ねが 《ご記入にあたってのお願い》

- この調査票は、できる限り宛名のご本人がお答えください。ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場に立ってお答えください。
- お答えは、あてはまるお答えの番号に○を付けてください(一部、お答えを直接ご記入いただくものもあります)。
- 質問によっては、お答えしていただく人が限られる場合がありますので、矢印(→)に従ってお答えください。
- 答えたくない質問や、ご本人に関係のない質問、また、どう答えたらいいかわからない質問にはお答えいただくなくて構いません。
- 調査票の記入が終わりましたら、10月17日(金)までに同封の返信用封筒にて郵便ポストに投函してください。調査票及び封筒に住所やお名前を書く必要はありません。切手は不要です。

と あ さき 《お問い合わせ先》

させほしやくしよしょう ふくしか てんわ だいひょう
佐世保市役所障がい福祉課 電話:0956-24-1111(代表) FAX:0956-25-2281

これ以降、この調査票が郵送された宛名の人を「あなた」とお呼びします。
あなたの状況などについて、お答えください。

※アンケートは問1～問38まであります。よろしくお願いいたします。

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○印）

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和7年9月1日現在）

満

歳

問3 現在、あなたが住まいの地区（本庁・支所行政センター管内）はどちらですか。
（1つに○印）

- | | | |
|--------|---------|------------|
| 1. 宮 | 8. 中里皆瀬 | 15. 小佐々 |
| 2. 三川内 | 9. 柚木 | 16. 江迎 |
| 3. 針尾 | 10. 相浦 | 17. 鹿町 |
| 4. 江上 | 11. 黒島 | 18. 本庁 |
| 5. 早岐 | 12. 吉井 | 19. わからない |
| 6. 日宇 | 13. 世知原 | 20. 答えたくない |
| 7. 大野 | 14. 宇久 | |

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、誰ですか。

（あてはまるものすべてに○印）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 配偶者（妻・夫） | 4. その他の親族 |
| 2. 父親・母親 | 5. その他（ ） |
| 3. 子 | 6. いない |

※グループホーム、福祉施設などを利用されている人は「6.」に○をしてください。

問5 日常生活及び社会生活を送る上で、次のことをするのに介助が必要ですか。項目①から⑥のそれぞれにお答えください。(①から⑥ごとに、1つに○印) ※「部分的に介助が必要」とは「その日によって介助が必要」な場合を含みます。

項目	一人でできる	部分的に介助が必要	全面的に介助が必要
[記入例]	1	②	3
① 身のまわりのこと (食事、入浴、着がえなど)	1	2	3
② 洗濯・炊事・ごみ捨てなどの家事	1	2	3
③ 外出(買い物、通院など)	1	2	3
④ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑤ お金の管理	1	2	3
⑥ 薬の管理	1	2	3

問6 主な介助者・年齢・性別・健康状態・障がい(難病)の有無についてお答えください。(主な介助者につき1つに○印、年齢を記載し、性別と健康状態及び障がい(難病)の有無につき1つに○印)

主な介助者	年齢	性別				健康状態			障がい(難病)の有無	
		男性	女性	その他	答えたくない	よい	ふつう	よくない	あり	なし
[記入例] ② 配偶者(夫又は妻)	58歳	①	2	3	4	1	②	3	1	②
1 父母・祖父母・兄弟	歳	1	2	3	4	1	2	3	1	2
2 配偶者(夫又は妻)	歳	1	2	3	4	1	2	3	1	2
3 子ども	歳	1	2	3	4	1	2	3	1	2
4 施設の職員など										
5 その他の人										

※年齢については令和7年9月1日現在

問7 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。持っている場合、あなたの「身体障害者手帳」に記載された総合等級は何級ですか。（1つに○印）

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級
7. 身体障害者手帳は持っていない

(1) 「身体障害者手帳」をお持ちの方は、主たる障がいをお答えください。
(1つに○印)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 視覚障害 | 5. 肢体不自由（下肢） |
| 2. 聴覚障害 | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害（1～6以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢） | |

問8 あなたは「療育手帳」をお持ちですか。持っている場合、あなたの「療育手帳」に記載された判定はどれですか。（1つに○印）

1. A1 2. A2 3. B1 4. B2 5. 療育手帳は持っていない

問9 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。持っている場合、あなたの「精神障害者保健福祉手帳」に記載された判定はどれですか。（1つに○印）

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 精神障害者保健福祉手帳は持っていない

問10 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。認定を受けている場合、あなたの疾患名は何ですか。（1つに○印、1.受けている場合は疾患名を記入）

- | | |
|--|-----------|
| 1. 受けている
疾患名（ ）
※わからない、答えたくない場合は
未記入で構いません。 | 2. 受けていない |
|--|-----------|

※難病（指定難病）とは、全身性エリテマトーデスやクローン病などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

問11 あなたは難病患者が、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく「障害福祉サービス等」の対象となることを知っていますか。（1つに○印）

1. 知っている

2. 知らない

問12 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。（1つに○印）

1. ある

2. ない

※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問13 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。（1つに○印）

1. ある

2. ない

※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害などにより脳に損傷を受けその後遺症などとして生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害などを指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」などの症状があります。

問14 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。
（あてはまるものすべてに○印）

1. 気管切開

2. 人工呼吸器（レスピレーター）

3. 吸入

4. 吸引

5. 胃ろう・腸ろう

6. 鼻腔経管栄養

7. 中心静脈栄養（IVH）

8. 透析

9. カテーテル留置

10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）

11. 服薬管理

12. その他（ ）

せいかつじょうきょう
生活状況についておたずねします

問15 あなたは現在どのように暮らしていますか。（1つに○印）

1. 病院に入院している
2. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている
3. 一人で暮らしている
4. 家族と暮らしている
5. グループホームで暮らしている
6. その他（ ）

（1）あなたは将来どのように暮らしたいと思いますか。（1つに○印）

1. 今のまま生活したい
2. グループホームで暮らしたい
3. 家族と暮らしたい
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5. その他（ ）

（2）地域で生活するためには、どのような支援があればいいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○印）

1. 在宅で訪問診療や訪問看護などの医療ケアなどが適切に得られること
2. 障がい者に適した住宅の確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練などの充実
5. 経済的な負担の軽減
6. 相談対応などの充実
7. 地域住民などの理解
8. コミュニケーションについての支援
9. 金銭管理の支援
10. その他（ ）

がいしゅつじょうきょう
外出状況についておたずねします

問16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(1つに○印)

- | | |
|---|-------------------------------|
| <p>1. 毎日外出する
まいにちがいしゅつ</p> <p>2. 1週間に数回外出する
しゅうかん すうかいがいしゅつ</p> <p>3. めったに外出しない
めったにがいしゅつ</p> | <p>4. まったく外出しない
がいしゅつ</p> |
|---|-------------------------------|

(1) あなたが外出する時は、主に誰と一緒にですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---|--|
| <p>1. 父母・祖父母・兄弟
ふぼ そふぼ きょうだい</p> <p>2. 配偶者(夫又は妻)
はいぐうしゃ おとまた つま</p> <p>3. 子ども
こ</p> | <p>4. ホームヘルパーや施設の職員
しせつ しよくいん</p> <p>5. その他の人(ボランティア・友人等)
たひと ゆうじんなど</p> <p>6. 一人で外出する
ひとり がいしゅつ</p> |
|---|--|

(2) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 通勤・通学・通所
つうきん つうがく つうしょ</p> <p>2. 訓練やリハビリに行く
くんれん</p> <p>3. 医療機関の受診
いりょうきかん じゅしん</p> <p>4. 買い物に行く
か もの い</p> <p>5. 友人・知人に会う
ゆうじん ちじん あう</p> | <p>6. 趣味やスポーツをする
しゅみ</p> <p>7. グループ活動に参加する
かつどう さんか</p> <p>8. 散歩に行く
さんぽ い</p> <p>9. その他 ()</p> |
|---|---|

(3) 外出するときは何を使いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--|--|
| <p>1. バス</p> <p>2. 本人が運転する車
ほんにん うんてん くるま</p> <p>3. 家族が運転する車
かぞく うんてん くるま</p> <p>4. 友人・ボランティアが運転する車
ゆうじん うんてん くるま</p> <p>5. バイク</p> <p>6. 船
ふね</p> <p>7. 電車
でんしゃ</p> | <p>8. タクシー・福祉タクシー
ふくし</p> <p>9. 移動支援を利用している
いどうしえん りよう</p> <p>10. 自転車
じてんしゃ</p> <p>11. 徒歩
とほ</p> <p>12. 車いす・電動車いす
くるま でんどうくるま</p> <p>13. その他 ()</p> |
|--|--|

福祉パスについておたずねします

問17 あなたは、「福祉パス」を持っていますか。(1つに○印)

※福祉パスとは、心身障がい者(児)の社会活動への積極的参加のため、西肥バスに無料で乗車できる福祉特別乗車証を交付する制度です。

対象となる方は、6歳以上で、

○身体障害者手帳の1～3級をお持ちの方または4級で下肢切断をしている方

○療育手帳をお持ちの方

○精神障害者保健福祉手帳の1級または2級をお持ちの方です。

ただし、施設入所、入院中の方には交付できません。

1. 福祉パスを持っている

2. 福祉パスは持っていない

3. わからない

(1)「1. 福祉パスを持っている」と答えた方に質問です。

「福祉パス」の利用頻度を教えてください。(1つに○印)

1. 毎日

2. 一日おき

3. 一週間に1回

4. 二週間に1回

5. 月に1回

6. その他 ()

(2)「2. 福祉パスは持っていない」と答えた方に質問です。

「福祉パス」を持っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 「福祉パス」を知らなかった

2. 申請の方法がわからない

3. 申請が面倒

4. デポジット(預り金)を払いたくない

5. バスの利用が不便(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)

6. 自家用車での移動が多い(あなた自身の運転、家族の運転)

7. あまり外出をしない

8. 「福祉パス」の対象者ではない

9. 特に理由はない

10. その他 ()

(3) お住いの^{すま}地域^{ちいき}で最^{もっと}も利用^{りよう}する交通^{こうつう}機関^{きかん}を^{おし}教えてください。(1つに○印^{じるし})

1. バス

2. タクシー

3. JR

4. 松浦鉄道^{まつうらてつどう} (MR)

5. なし

がいしゅつ じ せいかつ こま
外出時や生活でのお困りごとについておたずねします

とい 問18 がいしゅつ 外出するとき、ふべん 不便に感じたりこま 困ることは何ですか。なん

(あてはまるものすべてに○印)

1. こうきょうこうつうきかん 公共交通機関の利用がふべん 不便(ろせん 路線がない、バス の びん 便が すす 少ない、乗降が じょうこう 難しいなど)
2. しょう 障がい者用 しゃうちゆうしゃじょう 駐車場の ふ 不備、または すす 少ない
3. ほど 歩道に ちんたい 問題が多い (せま 狭い、しょうがいぶつ 障害物、ゆうどう 誘導ブロックの ふ 不備など)
4. てんじ 点字・おんせいあんない 音声案内などの せいび 整備が ぶんぶん 不十分
5. しんたいしやう 身体障がい者用の しゃよう トイレが すす 少ない・利用しにくい
6. ほっさ 発作など とうぜん 突然の たいちやう 体調の へんか 変化が じんぱい 心配
7. がいしゅつ 外出するためには、たくさん お金がかかる
8. しゅうい 周囲の ひと 人の め 目 が け 気になる、りかい 理解がない
9. かいじょしや 介助者がいない・ すす 少ない
10. とく 特にない
11. その他 ()

とい 問19 げんざい 現在の生活で こん 困っていることや ふあん 不安に こん 思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. み まわ 身の 回り の かいじょ 介助や しえん 支援をしてくれる ひと 人がいない
2. ささい 些細な こと 事を そうだん 相談する ひと 人がいない
3. いっしょ 一緒に くら 暮らす ひと 人がいない
4. はたら 働く ところ がない
5. じゅうぶん 十分な しょうにゅう 収入が え 得られない
6. しゅみ 趣味や 生きがい 生きがい が み 見つけれない
7. せいかつ 生活をする うえ で 必要な じょうほう 情報が え 得られない
8. じぶん 自分の けんこう 健康や たいりよく 体力に じしん 自信がない
9. かぞく 家族など かいじょしや 介助者の けんこうじやうたい 健康状態が ふあん 不安
10. かぞく 家族 との かんけい 関係
11. となりきんじょ 隣近所 などの かんけい 関係
12. グループホームでの じんかんけい 人間関係
13. ひつよう 必要な ほけん 保健・ふくし 福祉・いりよう 医療サービスが う 受けられない (いそう 移送サービスやヘルパーなど)
14. しょうらいてき 将来的に せいかつ 生活する 住まい、または せつ 施設があるかどうか ふあん 不安
15. がいけん 外見からは しょう 障がい (なんびやう 難病) が ぶん 分からないため、りかい 理解・はいりよ 配慮が え 得られない
16. とく 特に こん 困っていることはない
17. その他 ()

日中の過ごし方についておたずねします

問20 あなたは、日中（昼間）をどのように過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○印）

1. 家の仕事（自営業や農業など）を手伝っている
2. 実際の職場で職業訓練中である（社会適応訓練など）
3. 施設・作業所などに通っている（入所している）
4. 家にいる（家事をしている）
5. 子育てをしている
6. 正社員として他の職員と勤務条件などに違いなく働いている
7. 正社員として短時間勤務などの障がい者配慮を受けて働いている
8. パート・臨時・アルバイトとして働いている
9. 学校（幼稚園・保育園）に通っている
10. 病院に通っている（入院している）
11. デイサービス・デイケアなどに通っている
12. 同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通っている
13. 会社や団体を経営・運営している
14. その他（

（1）1～3をお選びになったのは、どのような理由からですか。
（あてはまるものすべてに○印）

1. 家業を継ぎたい
2. 一般就労を目指している
3. 障がい・病気の症状が重い
4. 働く自信がないため
5. 人づきあいが苦手
6. 仕事を覚えられるか心配
7. 体力がついていかない
8. 今の場所でのしたいことやしなければならないことがあるから
9. 働く必要性を感じない、または働きたくない
10. 就職活動をしてもらえない
11. 自分にあった就労条件がない
12. 自分自身の心理的な要因（不安・消極的・おっくう・辛いなど）
13. その他（

就労状況についておたずねします

問21 あなたは、障がい（難病）者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮
3. 短時間勤務や勤務日数などの配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の障がい（難病）者に対する理解
6. 職場の上司や同僚に障がい（難病）の理解があること
7. 職場で介助や仕事がしやすくなる工夫や援助などが受けられること
8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
9. 企業ニーズに合った就労訓練
10. 仕事についての職場外での相談対応、支援
11. 作業所・職場で支援する人の研修
12. その他（ ）

問22 あなたは、今後、日中（昼間）はどのようなことをしていきたいですか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 正社員として働きたい
2. パート・臨時・アルバイトなど自分が働ける時間は働きたい
3. 仕事に就くための技術を身につけたい
4. 家の仕事（自営業や農業など）を手伝いたい
5. 施設・作業所などに通いたい（入所したい）
6. 家にいたい（家事をしたい）
7. 学校（幼稚園・保育園）に通いたい
8. 病院に通いたい（入院したい）
9. デイサービス・デイケアなどに通いたい
10. 同じ障がい（難病）のある人たち同士の活動・集まりに通いたい
11. その他（ ）

現在の福祉サービスなどの利用についておたずねします

問23 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○印)

※障害支援区分とは、障害者総合支援法におけるサービス利用申請に対する支給について、障がい(難病)や心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを6段階に区分したものです。

※各種手帳の等級や特定医療費(指定難病)医療受給者証の断層区分とは異なります。

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4

5. 区分5
6. 区分6
7. 受けていない

問24 現在、40歳以上の方におたずねします。介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は要介護度をお答えください。(1つに○印)

(1) 要介護認定を受けている場合

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5

(2) 要介護認定を受けていない場合

8. 要介護認定を申請したが「非該当」になった。
9. 要介護認定は申請していない。

(1) あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(1つに○印)

1. 利用している

2. 利用していない

問25 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと
 考えますか。(①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用した
 いか」の両方をお答え(番号に○)ください)

※ 障がい福祉サービスは、特定医療費(指定難病)医療受給者証で利用できるサ
 ービスもあります。

	現在		今後	
	利用し ている	利用し ていな い	利用し たい	利用し ない
[記入例]	1	②	①	2
① 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービス です。	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な人に、自宅で 入浴や排せつ食事などの介助や外出時の移動の補助 を行うサービスです。	1	2	1	2
③ 同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な人に、外出に 必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービス です。	1	2	1	2
④ 行動援護 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に 介護が必要な人に、行動するとき必要な介助や外出時 の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	1	2
⑤ 生活介護 常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の 介護や創作的活動などの機会を提供するサービスで す。	1	2	1	2
⑥ 自立訓練(機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の 期間における身体機能や生活能力向上のために必要 な訓練を行うサービスです。	1	2	1	2

	げんざい 現在		こんご 今後	
	りよう 利用し ている	りよう 利用し ていない	りよう 利用し たい	りよう 利用し ない
⑦ 就労移行支援 つうじょう じぎょうしょ はたら ひと いってい きかん しゅうろう 通常の事業所で働きたい人に、一定の期間、就労に ひつよう ちしき およ のうりよく こうじょう くんれん おこな 必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサー ビスです。	1	2	1	2
⑧ 就労継続支援（A型） いっぱん きぎょう など しゅうろう こんなん かた こうようけいやく もと 一般企業等での就労が困難な方に、雇用契約に基づく しゅうろう きかい ていきょう のうりよく こうじょう くんれん おこな 就労の機会の提供や能力の向上のための訓練を行 うサービスです。	1	2	1	2
⑨ 就労継続支援（B型） いっぱん きぎょう など しゅうろう こんなん かた しゅうろう きかい 一般企業等での就労が困難な方に、就労の機会の ていきょう のうりよく こうじょう くんれん おこな 提供や能力の向上のための訓練を行うサービスで す。	1	2	1	2
⑩ 就労選択支援 ※令和7年10月から開始 しゅうろうせんたく しえん れいわ ねん がつ かいし しゅうろうさき はたら かた よ せんたく 就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、 ほんにん きぼう しゅうろうのうりよく てきせいどう せんたく しえん 本人の希望、就労能力や適性等にあった選択を支援す るサービスです。			1	2
⑪ 療養介護 いりよう ひつよう ひと つね かいご ひつよう ひと おも 医療が必要な人で、常に介護を必要とする人に、主に ひるま びょういん き のうく んれん りようようじょう かんり 昼間に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、 かんご ていきょう 看護などを提供するサービスです。	1	2	1	2
⑫ 短期入所（ショートステイ） ざいたく しょう しゅ じ かいご ひと びょうき ば あい 在宅の障がい者（児）を介護する人が病気の場合など しょう しゅ じ しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい に、障がい者（児）が施設に短期間入所し、入浴、排 せつ、食事の介護などを 行うサービスです。	1	2	1	2

	現在 げんざい		今後 こんご	
	りよう 利用し ている	りよう 利用し ていな い	りよう 利用し たい	りよう 利用し ない
⑬ 共同生活援助（グループホーム） きょうどうせいかつえんじょ やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ そうだん にちじょう 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	1	2
⑭ 施設入所支援 しせつにゅうしょしえん しゅ やかん しせつ にゅうしょ しょう しゃ じ たい 主として夜間、施設に入所する障がい者（児）に対し、 にゅうよく はい しょうじ かいご しえん おこな 入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑮ 相談支援 そうだんしえん ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん おう ひつよう 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な じょうほう ていきょう じよげん おこな 情報の提供や助言などを行うサービスです。	1	2	1	2
⑯ 地域移行支援 ちいきいこうしえん しょうがいしゃしえんしせつ せいしんかびょういん にゅうしょ にゅういん 障害者支援施設や精神科病院に入所・入院している しょうがいしゃ しゃ たい しせつ びょういんどう で ちいき せいかつ 障がい者に対し、施設・病院等を出て地域で生活する じゅうきょ かくほ ちいきせいかつ ために、住居の確保や地域生活に移るための相談、支援 おこな を行うサービスです。	1	2	1	2
⑰ 地域定着支援 ちいきていちやくしえん しせつ びょういんなど たいしょ たいいん しょう しゃ かぞく 施設・病院等から退所・退院した障がい者、家族との どうきょ ひとりぐ 同居から一人暮らしになった障がい者、地域生活が ふあんてい しょう しゃ だんしん せいかつ しょう しゃ たい 不安定な障がい者など、単身で生活する障がい者に対し、 つね れんらく たいせい かくほ きんきゅう しえん ひつよう 常に連絡がとれる体制の確保や、緊急に支援が必要 じたい しょう さい きんきゅうほうもん そうだん おこな な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などを行う サービスです。	1	2	1	2

	げんざい 現在		こんご 今後	
	りよう 利用し ている	りよう 利用し ていな い	りよう 利用し たい	りよう 利用し ない
⑱ 児童発達支援 しゅうがくまえ じどう じどう はったつ しえん 就学前児童が、日常生活における基本的な動作の 指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの 支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑲ 放課後等デイサービス しゅうがくじ がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこうび じどう 就学児が、学校の授業終了後や学校の休校日に、児童 発達支援センターなどの施設に通い、生活能力向上の ために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援 を行うサービスです。	1	2	1	2
⑳ 保育所等訪問支援 ほいくしよ ほうもん しやう じ たい しやう 保育所などを訪問し、障がい児に対して、障がい児 以外の児童との集団生活への適応のための専門的な 支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
㉑ 医療型児童発達支援 にちじょうせいかつ きほんてき どうさ しどう ちしきぎのう 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の 付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行う サービスです。	1	2	1	2
㉒ 福祉型児童入所支援 しやう じ にゅうしよ しせつ にゅうしよ しやう じ たい 障がい児入所施設に入所する障がい児に対して、 保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービ スです。	1	2	1	2
㉓ 医療型児童入所支援 しやう じ にゅうしよ しせつ していいりようきかん にゅうしよ しやう 障がい児入所施設や指定医療機関に入所などする障 がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の 付与や治療を行うサービスです。	1	2	1	2

	げんざい 現在		こんご 今後	
	りよう 利用し ている	りよう 利用し ていな い	りよう 利用し たい	りよう 利用し ない
②④ 重度障害者等包括支援 つね かいご ひつよう ひと かいご ひつよう ていど いちじる 常に介護が必要な人で、介護の必要の程度が著しく たか ひと きょたくかいご ほうかつてき ていきょう 高い人に、居宅介護などのサービスを包括的に提供す るサービスです。	1	2	1	2
②⑤ 意思疎通支援 い し そつう しえん 意思疎通を図ることに支障がある方等に、手話通訳者 い し そつう はか ししょう かたなど しゅ わつうやくしゃ や要約筆記者などの派遣、ろうあ相談員による各種相談 ようやくひっきしゃ はけん そうだんいん かくしゅそうだん を行い、円滑なコミュニケーションの支援ならび おこな えんかつ しえん に必要な情報の提供や助言などを行 うサービスで ひつよう じょうほう ていきょう じょげん おこな ずす。	1	2	1	2
②⑥ 訪問型在宅レスパイト ほうもんがたさいたく 在宅生活を送っている医療的ケアが必要な障がい者 ざいたくせいかつ おく いりようてき ひつよう しょう しゃ (児)のご自宅に、看護師等が滞在し、介護者の代わり じ じたく かんごしなど たいざい かいごしゃ か に医療的ケアを伴う見守りを行 うサービスです。 いりようてき とこな み まち おこな	1	2	1	2
②⑦ 移動支援 い どう しえん 屋外での移動が単独では困難な 障がい者に対し、外出 おくがい いどう たんどく こんなん しょう しゃ たい がいしゅつ を支援するサービスです。 しえん	1	2	1	2
②⑧ 地域活動支援センター ち い き かつ どう しえん 障がい者が、自立した生活や社会生活を 営 めるよう、 しょう しゃ じりつ せいかつ しゃかいせいかつ いとな 創作活動や生産活動の機会を提供するとともに、地域 そうさくかつどう せいさんかつどう きかい ていきょう 社会との交 流を促進するための支援を行 うサービス しゃかい こうりゅう そくしん しえん おこな です。	1	2	1	2
②⑨ 日中一時支援 にっちゅういち じ しえん 障がい者(児)の放課後等の日中における活動の場の しょう しゃ じ ほうかごどう にっちゅう かつどう ば 確保や訓練ならびに家族の休 息や就 労支援のため、一 かくほ くんれん かぞく きゅうそく しゅうろうしえん いち 時的な保護(見守り)を目的とするサービスです。 じてき ほ ご み まち もくてき	1	2	1	2

悩みや困ったことがあるときの相談相手についておたずねします

問26 悩みや困ったことがあるとき、あなたはだれに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 家族や親せき | 9. かかりつけの医師や看護師 |
| 2. 友人・知人 | 10. 病 院 の ケースワーカーや |
| 3. 近所の人 | 介護保険のケアマネージャー |
| 4. 職場の上司や同僚 | 11. 民生委員・児童委員 |
| 5. 施設の指導員など | 12. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人 | 13. 相談支援事業所などの相談窓口 |
| 7. 障がい者団体や家族会 | 14. 行政機関の相談窓口 |
| 8. 地区の障害者相談員 | 15. 特になし |
| | 16. その他 () |

問27 休日や夜間に相談することのできる手段が必要ですか。(1つに○印)

1. 必要 2. 少し必要 3. 必要ではない

(1) 必要(少し必要)だと思ふ方は、どのような相談手段が必要ですか。(1つに○印)

1. 電話 2. 相談窓口 3. メールやSNSでの相談 4. その他 ()

問28 悩みや困ったことがあるとき、休日や夜間に、一時的に滞在できる場所が必要ですか。(1つに○印)

1. 必要 2. 少し必要 3. 必要ではない 4. わからない

(1) 必要(少し必要)だと思ふ方は、どのような場所が必要ですか。(1つに○印)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 日常的に利用している事業所 | 3. ホテルなど民間の宿泊施設 |
| 2. グループホーム・入所施設など | 4. その他 () |

問29 あなたは障がい（難病）のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから
 知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. サービス事業所の人や施設職員
6. 障がい（難病）者団体や家族会（団体の機関誌など）
7. 地区の障害者相談員
8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー
10. 民生委員・児童委員
11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
12. 相談支援事業所などの相談窓口
13. 行政機関の相談窓口
14. その他（ ）

問30 あなたは各種障がい者団体・難病患者会の存在を知っていますか。
 （1つに○印）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問31 あなたは各種障がい者団体・難病患者会の活動内容を知っていますか。
 （1つに○印）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

さいがい とき ひなん
災害の時の避難などについておたずねします

とい 問32 あなたは、か じ じしん さいがい とき ひとり ひなん 災害の時に一人で避難できますか。(1つに○印)

1. できる

2. できない

3. わからない

とい 問33 家族が家にいないとき ひとりぐ ばあい きんじょ たす ひと 家族が家にいない時や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。(1つに○印)

1. いる

2. いない

3. わからない

とい 問34 か じ じしん さいがい じ こま なん 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. きゅうじょ もと 救助を求めることができない
2. あんぜん ひなん 安全なところまで、すばやく避難することができない
3. ひがいじょうきょう ひなんばしょ じょうほう 被害状況、避難場所などの情報がわからない(受け取りにくい)
4. とうやく ちりょう う 投薬や治療が受けられない
5. ほ そうぐ しょう こんなん 補装具の使用が困難になる
6. ほ そうぐ にちじょうせいかつようぐ にゅうしゅ 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
7. ひと まわりの人とコミュニケーションがとれない
8. ひなんばしょ せつび せいかつかんきょう ふあん 避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安
9. とく 特にない
10. その他()

権利擁護についておたずねします

問35 あなたは、障がい（難病）があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（1つに○印）

1. ある

2. 少しある

3. ない

（1）ある（少しある）とお答えになった方は、どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 家庭

2. 学校・仕事場

3. 仕事を探すとき

4. 外出先

5. 余暇を楽しむとき

6. 病院などの医療

7. 住んでいる地域

8. その他

問36 令和3年に障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1日から事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。

あなたが受けたい、日常生活での合理的配慮は何ですか。

ありましたらご自由にご記載ください。

例）筆談、読み上げ、手話などによるコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮

問37 成年後見制度について知っていますか。(1つに○印)

1. 『成年後見制度』という言葉も内容も知っている
2. 『成年後見制度』という言葉聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 『成年後見制度』という言葉も内容も知らない

※成年後見制度とは

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方々は、不動産や預貯金などの財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要がある場合であっても、自分で行うのが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害にあうおそれもあります。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援するのが成年後見制度です。(法務省ホームページより)

記入していただいた方についておたずねします

問38 記入していただいたのは、どなたですか。(1つに○印)

1. ご本人 (この調査票が郵送された宛名の方) が全部記入した
2. ご家族が本人の意思を確認しながら全部記入した
3. ご家族以外の介助者が本人の意思を確認しながら全部記入した
4. その他

さいご しょう ふくし
最後に 障 がい福祉について、あなたが お 考 え になっていることが
ありましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケートは 終 了 了 了 です。
ご協 力 いただき、ありがとうございました。